

博士課程の教育プログラムへの満足度等に関する調査

－2020 年における博士人材データベース(JGRAD)ウェブアンケート調査－

2021 年 2 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所

第 1 調査研究グループ

齋藤 経史 梅川 通久 星野 利彦

【調査研究体制】

齋藤 経史 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 上席研究官

梅川 通久 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 上席研究官

星野 利彦 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ 総括上席研究官

【Contributors】

SAITO Keiji Senior Research Fellow, 1st Policy-Oriented Research Group,
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT.

UMEKAWA Michihisa Senior Research Fellow, 1st Policy-Oriented Research Group,
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT.

HOSHINO Toshihiko Director, 1st Policy-Oriented Research Group,
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP), MEXT

本報告書の引用を行う際には、以下を参考に出典を明記願います。

Please specify reference as the following example when citing this NISTEP RESEARCH MATERIAL.

齋藤経史, 梅川通久, 星野利彦「博士課程の教育プログラムへの満足度等に関する調査－2020 年における博士人材データベース(JGRAD)ウェブアンケート調査－」, 調査資料 No.302, 文部科学省 科学技術・学術政策研究所.

DOI: <https://doi.org/10.15108/rm302>

SAITO Keiji, UMEKAWA Michihisa, and HOSHINO Toshihiko “Survey on satisfaction with doctoral education programs - Web Questionnaire Survey on Japan Graduates Database (JGRAD) in 2020-” NISTEP RESEARCH MATERIAL, No.302, National Institute of Science and Technology Policy, Japan.

DOI: <https://doi.org/10.15108/rm302>

博士課程の教育プログラムへの満足度等に関する調査

－2020 年における博士人材データベース（JGRAD）ウェブアンケート調査－

科学技術・学術政策研究所 第1 調査研究グループ

齋藤 経史 梅川 通久 星野 利彦

要旨:

文部科学省 科学技術・学術政策研究所では、博士人材の活躍状況を把握するため、博士人材データベース（JGRAD）を構築・運営している。本稿は、博士人材データベースの登録者に対して 2020 年 3 月から 5 月にかけてウェブアンケートとして実施した「教育プログラムへの満足度等に関する調査」の結果をまとめたものである。なお、本調査は「博士課程在籍者向け」と「博士課程修了者等向け」で調査票を分けて実施した。

博士課程在籍者と博士課程修了者等の双方に、博士課程プログラム（専門分野）に関する 8 つの側面の満足度を 6 拓の択一式で尋ねた。その結果「とても満足している」と「まあ満足している」の合計割合が最も高かったのは、双方ともに「得られた研究への態度・考え方」であった。一方、それらの合計割合が最も低かったのは、博士課程在籍者と博士課程修了者等の双方ともに「経済的支援」であった。これらの「経済的支援」の満足割合は、「博士課程教育リーディングプログラム」「卓越大学院プログラム」の該当者が、非該当者に比べて有意に高かった。

Survey on satisfaction with doctoral education programs

- Web Questionnaire Survey on Japan Graduates Database (JGRAD) in 2020-

SAITO Keiji, UMEKAWA Michihisa, and HOSHINO Toshihiko

1st Policy-Oriented Research Group

ABSTRACT:

NISTEP builds and maintains JGRAD (Japan Graduate Database) to obtain data of doctoral human resources. This report presents results of “Survey on satisfaction with the educational program” conducted from March 2020 to May 2020 for registrants of JGRAD. This survey was conducted by dividing the web questionnaire into "For doctoral student" and "For doctoral graduate".

Both questionnaires asked about their satisfaction with eight aspects of specialty in the doctoral program with 6 options. As a result, the highest total ratio of [Very satisfied] and [Rather satisfied] was "the attitude/viewpoint to research you got" both in doctoral students and doctoral graduates. On the other hand, the lowest total ratio was "the financial support" both in doctoral students and doctoral graduates. The ratio of satisfaction with these "the financial support" was significantly higher in respondents under “Program for Leading Graduate Schools” or “Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education (WISE Program)”.

【目次】

第 1 章 博士人材データベース(JGRAD)とウェブアンケート調査	10
1-1. JGRAD による情報収集	10
1-2. 回答者の属性	12
1-3. 本調査の調査目的と先行研究との関係	18
1-4. 「教育プログラムへの満足度等に関する調査」の調査項目	19
第 2 章 博士課程在籍者の調査結果	21
2-1. 博士課程に進学した理由(在[問 1]～[問 3])	21
2-2. 博士課程修了後に希望する就職先(在[問 4]～[問 5])	24
2-3. 博士課程で身につけたい能力(在[問 6]～[問 8])	27
2-4. 博士課程の専門分野に関する満足度(在[問 9]～[問 17])	31
2-5. 博士課程の専門分野以外に関する満足度(在[問 18]～[問 23])	39
2-6. 博士課程教育関連プログラムに関する満足度(在[問 24]～[問 31])	47
2-7. 博士課程のプログラム全体に関する満足度(在[問 32]～[問 34])	53
第 3 章 博士課程修了者等の調査結果	55
3-1. 博士課程教育の現在の職務への寄与(修[問 1])	55
3-2. 博士課程で身につけた能力(修[問 2]～[問 4])	56
3-3. 博士課程の専門分野に関する満足度(修[問 5]～[問 13])	60
3-4. 博士課程で印象に残ったこと(修[問 14]～[問 15])	68
3-5. 博士課程の専門分野以外に関する満足度(修[問 16]～[問 21])	69
3-6. 博士課程教育関連プログラムに関する満足度(修[問 22]～[問 29])	77
3-7. 博士課程のプログラム全体に関する満足度(修[問 30]～[問 32])	83
[参考文献]	85
[謝辞]	86
[役割分担]	86
【参考資料 1】 調査結果表	87
参考 1-1. 博士課程在籍者に関する調査結果表	87
参考 1-2. 博士課程修了者等に関する調査結果表	104
【参考資料 2】 自由記述の回答例	120
参考 2-1 博士課程在籍者の自由記述の回答例	120
参考 2-2 博士課程修了者等の自由記述の回答例	135

【参考資料 3】 調査票のテキスト	155
参考 3-1 日本語版調査票のテキスト(博士課程在籍者向け).....	155
参考 3-2 日本語版調査票のテキスト(博士課程修了者等向け).....	168
参考 3-3 英語版調査票のテキスト(博士課程在籍者向け).....	179
参考 3-4 英語版調査票のテキスト(博士課程修了者等向け).....	193

【図表目次】

図表 1-1-1 JGRAD の参加大学一覧(2020 年 3 月 26 日時点)	11
図表 1-2-1 回答者の年齢層と性別	12
図表 1-2-2 回答者の専攻分野と国籍(日本国籍/外国籍)	13
図表 1-2-3 回答者の専攻分野と在籍・出身大学院の種別	13
図表 1-2-4 回答者の専攻分野と入学年度(博士課程在籍者)	14
図表 1-2-5 回答者の専攻分野と入学年度(博士課程修了者等)	14
図表 1-2-6 回答者の専攻分野と修了年度(博士課程修了者等)	15
図表 1-2-7 回答者の専攻分野と博士課程教育関連プログラムの該当・非該当	16
図表 1-2-8 回答者の専攻分野と回答時の所属機関種(博士課程修了者等)	17
図表 2-1-1 博士課程に進学した理由に関する回答数(博士課程在籍者)	22
図表 2-1-2 専攻分野別: 博士課程に進学した理由に関する回答数(博士課程在籍者)	23
図表 2-2-1 博士課程修了後に希望する就職先の回答数(博士課程在籍者)	24
図表 2-2-2 専攻分野別: 博士課程修了後に希望する就職先の回答数(博士課程在籍者)	25
図表 2-2-3 博士課程修了後に希望する職種の回答割合(博士課程在籍者)	26
図表 2-3-1 博士課程で身につけたい能力の回答数(博士課程在籍者)	27
図表 2-3-2 属性別: 博士課程で身につけたい能力の回答数(博士課程在籍者(1))	28
図表 2-3-3 属性別: 博士課程で身につけたい能力の回答数(博士課程在籍者(2))	29
図表 2-3-4 属性別: 博士課程で身につけたい能力の回答数(博士課程在籍者(3))	30
図表 2-4-1 博士課程の専門分野に関する各満足度の回答割合(博士課程在籍者)	31
図表 2-4-2 属性別: 在[問 9: 専門分野における教育の内容]の満足度(博士課程在籍者)	32
図表 2-4-3 属性別: 在[問 10: 専門分野における教員と学生の関係]の満足度(博士課程在籍者)	33
図表 2-4-4 属性別: 在[問 11: 専門分野における教員の研究指導の質]の満足度(博士課程在籍者)	33
図表 2-4-5 属性別: 在[問 12: 専門分野における教員の研究指導の機会(頻度)]の満足度(博士課程在籍者)	34
図表 2-4-6 属性別: 在[問 13: 専門分野で得られた知識・技術]の満足度(博士課程在籍者)	35
図表 2-4-7 属性別: 在[問 14: 専門分野で得られた研究への態度・考え方]の満足度(博士課程在籍者)	35
図表 2-4-8 属性別: 在[問 15: 専門分野における研究の施設・設備]の満足度(博士課程在籍者)	36
図表 2-4-9 属性別: 在[問 16: 専門分野における経済的支援]の満足度(博士課程在籍者)	37
図表 2-4-10 在[問 17]の頻出用語(博士課程在籍者)	38
図表 2-5-1 博士課程の専門分野以外に関する各満足度における回答(7)の割合(博士課程在籍者)	40
図表 2-5-2 博士課程の専門分野以外に関する各満足度の回答割合(博士課程在籍者(回答(7)を除く))	40
図表 2-5-3 属性別: 在[問 18]における回答(7)の割合(博士課程在籍者)	41
図表 2-5-4 属性別: 在[問 18]の満足度(博士課程在籍者(回答(7)を除く))	41
図表 2-5-5 属性別: 在[問 19]における回答(7)の割合(博士課程在籍者)	42
図表 2-5-6 属性別: 在[問 19]の満足度(博士課程在籍者(回答(7)を除く))	42
図表 2-5-7 属性別: 在[問 20]における回答(7)の割合(博士課程在籍者)	43
図表 2-5-8 属性別: 在[問 20]の満足度(博士課程在籍者(回答(7)を除く))	43
図表 2-5-9 属性別: 在[問 21]における回答(7)の割合(博士課程在籍者)	44
図表 2-5-10 属性別: 在[問 21]の満足度(博士課程在籍者(回答(7)を除く))	44
図表 2-5-11 属性別: 在[問 22]における回答(7)の割合(博士課程在籍者)	45
図表 2-5-12 属性別: 在[問 22]の満足度(博士課程在籍者(回答(7)を除く))	45

図表 2-5-13 在[問 23]の頻出用語〈博士課程在籍者〉	46
図表 2-6-1 博士課程の教育関連プログラムに関する各満足度の回答割合〈該当する博士課程在籍者〉	47
図表 2-6-2 属性別：在[問 24]の満足度〈該当する博士課程在籍者〉	48
図表 2-6-3 属性別：在[問 25]の満足度〈該当する博士課程在籍者〉	49
図表 2-6-4 属性別：在[問 26]の満足度〈該当する博士課程在籍者〉	49
図表 2-6-5 属性別：在[問 27]の満足度〈該当する博士課程在籍者〉	50
図表 2-6-6 属性別：在[問 28]の満足度〈該当する博士課程在籍者〉	51
図表 2-6-7 属性別：在[問 29]の満足度〈該当する博士課程在籍者〉	51
図表 2-6-8 属性別：在[問 30]の満足度〈該当する博士課程在籍者〉	52
図表 2-7-1 属性別：博士後期課程のプログラム全体に関する満足度〈博士課程在籍者〉	53
図表 2-7-2 属性別：博士後期課程に進学した現在の状況に関する満足度〈博士課程在籍者〉	54
図表 2-7-3 在[問 34]の頻出用語〈博士課程在籍者〉	54
図表 3-1-1 属性別：博士課程教育の現在の職務への寄与の回答割合〈博士課程修了者等〉	55
図表 3-2-1 修[問 2]～[問 4]の回答数〈博士課程修了者等〉	56
図表 3-2-2 属性別：修[問 2]～[問 4]の回答数〈博士課程修了者等(1)〉	57
図表 3-2-3 属性別：修[問 2]～[問 4]の回答数〈博士課程修了者等(2)〉	58
図表 3-2-4 属性別：修[問 2]～[問 4]の回答数〈博士課程修了者等(3)〉	59
図表 3-3-1 博士課程の専門分野に関する各満足度の回答割合〈博士課程修了者等〉	60
図表 3-3-2 属性別：修[問 5:専門分野における教育の内容]の満足度〈博士課程修了者等〉	61
図表 3-3-3 属性別：修[問 6:専門分野における教員と学生の関係]の満足度〈博士課程修了者等〉	62
図表 3-3-4 属性別：修[問 7:専門分野における教員の研究指導の質]の満足度〈博士課程修了者等〉	62
図表 3-3-5 属性別：修[問 8:専門分野における教員の研究指導の機会(頻度)]の満足度〈博士課程修了者等〉	63
図表 3-3-6 属性別：修[問 9:専門分野で得られた知識・技術]の満足度〈博士課程修了者等〉	64
図表 3-3-7 属性別：修[問 10:専門分野で得られた研究への態度・考え方]の満足度〈博士課程修了者等〉	64
図表 3-3-8 属性別：修[問 11:専門分野における研究の施設・設備]の満足度〈博士課程修了者等〉	65
図表 3-3-9 属性別：修[問 12:専門分野における経済的支援]の満足度〈博士課程修了者等〉	66
図表 3-3-10 修[問 13]の頻出用語〈博士課程修了者等〉	67
図表 3-4-1 属性別：博士課程で最も印象に残った事項の回答割合〈博士課程修了者等〉	68
図表 3-5-1 修[問 16]～[問 20]における回答(7)の割合〈博士課程修了者等〉	70
図表 3-5-2 博士課程の専門分野以外に関する各満足度の回答割合〈博士課程修了者等(回答(7)を除く)〉	70
図表 3-5-3 属性別：修[問 16]における回答(7)の割合〈博士課程修了者等〉	71
図表 3-5-4 属性別：修[問 16]の満足度〈博士課程修了者等(回答(7)を除く)〉	71
図表 3-5-5 属性別：修[問 17]における回答(7)の割合〈博士課程修了者等〉	72
図表 3-5-6 属性別：修[問 17]の満足度〈博士課程修了者等(回答(7)を除く)〉	72
図表 3-5-7 属性別：修[問 18]における回答(7)の割合〈博士課程修了者等〉	73
図表 3-5-8 属性別：修[問 18]の満足度〈博士課程修了者等(回答(7)を除く)〉	73
図表 3-5-9 属性別：修[問 19]における回答(7)の割合〈博士課程修了者等〉	74
図表 3-5-10 属性別：修[問 19]の満足度〈博士課程修了者等(回答(7)を除く)〉	74
図表 3-5-11 属性別：修[問 20]における回答(7)の割合〈博士課程修了者等〉	75
図表 3-5-12 属性別：修[問 20]の満足度〈博士課程修了者等(回答(7)を除く)〉	75
図表 3-5-13 修[問 21]の頻出用語〈博士課程修了者等〉	76

図表 3-6-1 博士課程の教育関連プログラムに関する各満足度の回答割合〈該当した博士課程修了者等〉	77
図表 3-6-2 属性別:修[問 22]の満足度〈該当した博士課程修了者等〉	78
図表 3-6-3 属性別:修[問 23]の満足度〈該当した博士課程修了者等〉	79
図表 3-6-4 属性別:修[問 24]の満足度〈該当した博士課程修了者等〉	79
図表 3-6-5 属性別:修[問 25]の満足度〈該当した博士課程修了者等〉	80
図表 3-6-6 属性別:修[問 26]の満足度〈該当した博士課程修了者等〉	81
図表 3-6-7 属性別:修[問 27]の満足度〈該当した博士課程修了者等〉	81
図表 3-6-8 属性別:修[問 28]の満足度〈該当した博士課程修了者等〉	82
図表 3-7-1 属性別:博士後期課程のプログラム全体に関する満足度〈博士課程修了者等〉	83
図表 3-7-2 属性別:博士課程修了後の現在の状況に関する満足度〈博士課程修了者等〉	84
図表 3-7-3 修[問 32]の頻出用語〈博士課程修了者等〉	84
参考表 1-1-1 属性別:在[問 1]の回答数〈博士課程在籍者〉	87
参考表 1-1-2 属性別:在[問 2]の回答数〈博士課程在籍者〉	88
参考表 1-1-3 属性別:在[問 4]の回答数〈博士課程在籍者〉	88
参考表 1-1-4 属性別:在[問 5]の回答数〈博士課程在籍者〉	89
参考表 1-1-5 属性別:在[問 6]の回答数〈博士課程在籍者〉	90
参考表 1-1-6 属性別:在[問 7]の回答数〈博士課程在籍者〉	91
参考表 1-1-7 属性別:在[問 8]の回答数〈博士課程在籍者〉	92
参考表 1-1-8 属性別:在[問 9]の回答数〈博士課程在籍者〉	93
参考表 1-1-9 属性別:在[問 10]の回答数〈博士課程在籍者〉	93
参考表 1-1-10 属性別:在[問 11]の回答数〈博士課程在籍者〉	94
参考表 1-1-11 属性別:在[問 12]の回答数〈博士課程在籍者〉	94
参考表 1-1-12 属性別:在[問 13]の回答数〈博士課程在籍者〉	95
参考表 1-1-13 属性別:在[問 14]の回答数〈博士課程在籍者〉	95
参考表 1-1-14 属性別:在[問 15]の回答数〈博士課程在籍者〉	96
参考表 1-1-15 属性別:在[問 16]の回答数〈博士課程在籍者〉	96
参考表 1-1-16 属性別:在[問 18]の回答数〈博士課程在籍者〉	97
参考表 1-1-17 属性別:在[問 19]の回答数〈博士課程在籍者〉	97
参考表 1-1-18 属性別:在[問 20]の回答数〈博士課程在籍者〉	98
参考表 1-1-19 属性別:在[問 21]の回答数〈博士課程在籍者〉	98
参考表 1-1-20 属性別:在[問 22]の回答数〈博士課程在籍者〉	99
参考表 1-1-21 属性別:在[問 24]の回答数〈該当する博士課程在籍者〉	99
参考表 1-1-22 属性別:在[問 25]の回答数〈該当する博士課程在籍者〉	100
参考表 1-1-23 属性別:在[問 26]の回答数〈該当する博士課程在籍者〉	100
参考表 1-1-24 属性別:在[問 27]の回答数〈該当する博士課程在籍者〉	101
参考表 1-1-25 属性別:在[問 28]の回答数〈該当する博士課程在籍者〉	101
参考表 1-1-26 属性別:在[問 29]の回答数〈該当する博士課程在籍者〉	102
参考表 1-1-27 属性別:在[問 30]の回答数〈該当する博士課程在籍者〉	102
参考表 1-1-28 属性別:在[問 32]の回答数〈博士課程在籍者〉	103
参考表 1-1-29 属性別:在[問 33]の回答数〈博士課程在籍者〉	103
参考表 1-2-1 属性別:修[問 1]の回答数〈博士課程修了者等〉	104

参考表 1-2-2 属性別:修[問 2]の回答数<博士課程修了者等>	105
参考表 1-2-3 属性別:修[問 3]の回答数<博士課程修了者等>	106
参考表 1-2-4 属性別:修[問 4]の回答数<博士課程修了者等>	107
参考表 1-2-5 属性別:修[問 5]の回答数<博士課程修了者等>	108
参考表 1-2-6 属性別:修[問 6]の回答数<博士課程修了者等>	108
参考表 1-2-7 属性別:修[問 7]の回答数<博士課程修了者等>	109
参考表 1-2-8 属性別:修[問 8]の回答数<博士課程修了者等>	109
参考表 1-2-9 属性別:修[問 9]の回答数<博士課程修了者等>	110
参考表 1-2-10 属性別:修[問 10]の回答数<博士課程修了者等>	110
参考表 1-2-11 属性別:修[問 11]の回答数<博士課程修了者等>	111
参考表 1-2-12 属性別:修[問 12]の回答数<博士課程修了者等>	111
参考表 1-2-13 属性別:修[問 14]の回答数<博士課程修了者等>	112
参考表 1-2-14 属性別:修[問 16]の回答数<博士課程修了者等>	112
参考表 1-2-15 属性別:修[問 17]の回答数<博士課程修了者等>	113
参考表 1-2-16 属性別:修[問 18]の回答数<博士課程修了者等>	113
参考表 1-2-17 属性別:修[問 19]の回答数<博士課程修了者等>	114
参考表 1-2-18 属性別:修[問 20]の回答数<博士課程修了者等>	114
参考表 1-2-19 属性別:修[問 22]の回答数<該当した博士課程修了者等>	115
参考表 1-2-20 属性別:修[問 23]の回答数<該当した博士課程修了者等>	115
参考表 1-2-21 属性別:修[問 24]の回答数<該当した博士課程修了者等>	116
参考表 1-2-22 属性別:修[問 25]の回答数<該当した博士課程修了者等>	116
参考表 1-2-23 属性別:修[問 26]の回答数<該当した博士課程修了者等>	117
参考表 1-2-24 属性別:修[問 27]の回答数<該当した博士課程修了者等>	117
参考表 1-2-25 属性別:修[問 28]の回答数<該当した博士課程修了者等>	118
参考表 1-2-26 属性別:修[問 30]の回答数<博士課程修了者等>	118
参考表 1-2-27 属性別:修[問 31]の回答数<博士課程修了者等>	119

【概要】

博士人材の活躍状況を把握するため、科学技術・学術政策研究所では博士人材データベース(JGRAD: <https://jgrad.nistep.go.jp/>)を構築・運営している。本稿は2020年3月～5月にかけてJGRADの登録者に実施したウェブアンケート調査「教育プログラムへの満足度等に関する調査」の結果をとりまとめたものである。

(1)調査対象者

2020年3月25日時点でJGRADに登録している博士課程在籍者および博士課程修了者・退学者のうちメールアドレスが記入されている全員に調査を行った。なお、本稿においては、博士課程修了者と退学者を合わせて博士課程修了者等と表記する。

※ 2014年より整備を進めているJGRADは2020年3月において、49大学(国立大学35、公立大学8、私立大学6)が参加していた。なお、一部の研究科・プログラムのみが参加している大学もあり、全研究科参加は27大学であった。

(2)調査方法

調査依頼を電子メールで調査対象者全員に送付し、JGRADのウェブサイト上に設置したウェブアンケート(博士課程在籍者向け調査票または博士課程修了者等向け調査票)に回答を求めた。なお、調査依頼は日本語と英語を併記し、ウェブアンケートの調査票は日本語版と英語版を選択できる形式とした。

(3)調査期間

2020年3月26日～2020年5月22日(当初4月30日を締め切りとしたが、延長)

(4)回答者数

調査依頼メール送信の対象者数:21,207名

調査期間中のJGRADへのログイン者数:1,918名

回答者数:1,514名(博士課程在籍者866名、博士課程修了者等648名)

調査依頼メール送信対象者数に占める回答者数:7.1%

調査期間中のログイン者数に占める回答者数:78.9%

(5)アンケート調査内容

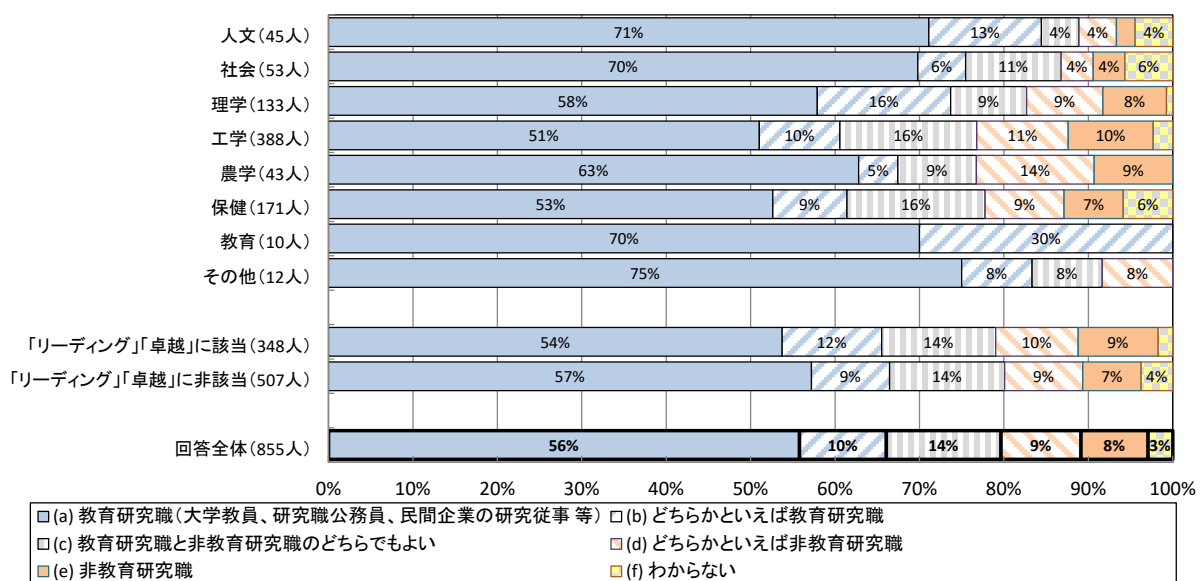
- ・ 博士課程に進学した理由(博士課程在籍者のみ)
- ・ 博士課程修了後に希望する就職先(博士課程在籍者のみ)
- ・ 博士課程教育の現在の職務への寄与(博士課程修了者等のみ)
- ・ 博士課程で身につけたい能力/身についた能力(在籍者・修了者等共通)
- ・ 博士課程の専門分野に関する満足度(在籍者・修了者等共通)
- ・ 博士課程で印象に残ったこと(博士課程修了者等のみ)
- ・ 博士課程の専門分野以外に関する満足度(在籍者・修了者等共通)
- ・ 博士課程教育関連プログラムに関する満足度(在籍者・修了者等共通)
- ・ 博士課程のプログラム全体の満足度(在籍者・修了者等共通)

- I. 本稿の調査結果は日本語調査票への回答と英語調査票への回答を合算し、JGRADのデータベースに記録されている属性情報と照合し、集計したものである。
- II. 本稿で示す専攻分野は学校基本調査を参考に、各回答者が在籍した博士課程の研究科に基づく[人文(科学)][社会(科学)][理学][工学][農学][保健][教育][その他]である。
- III. 博士課程在籍者は「博士課程教育リーディングプログラム」「卓越大学院プログラム」の該当・非該当に区分した。また博士課程修了者等に関しては、博士課程の在学時における「博士課程教育リーディングプログラム」の該当・非該当に区分した。
- IV. 博士課程修了者等に関しては、JGRADに記録されている所属機関の情報に基づき[回答時に「大学等」に所属][回答時に「民間企業」に所属]に区分している。なお、回答時の所属機関が大学等、民間企業のいずれにも該当しない場合および回答時の所属機関が不明な場合は、当該回答は2種の区分のいずれにも含まれない。

(1)博士課程修了後に希望する職種<博士課程在籍者>

概要図表1は、博士課程在籍者における博士課程修了後に希望する職種に関する属性別回答割合である。博士課程在籍者の回答全体では、[回答(a) 教育研究職(大学教員、研究職公務員、民間企業の研究従事 等)]と[回答(b) どちらかといえば教育研究職]の合計割合が66%(855人のうち565人)となっていた。

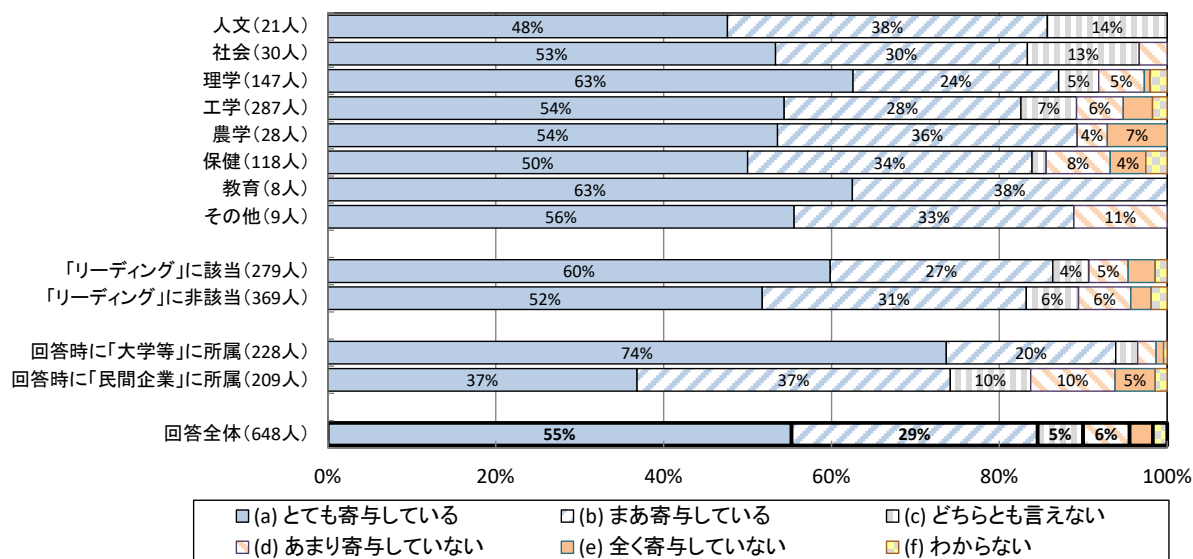
概要図表 1 属性別：博士課程修了後に希望する職種の回答割合<博士課程在籍者>



(2)博士課程教育の現在の職務への寄与<博士課程修了者等>

概要図表 2 は、博士課程修了者等における博士課程教育の現在の職務への寄与の属性別回答割合である。回答全体では、[回答(a) とても寄与している]と[回答(b) まあ寄与している]の合計割合は 85%(648 人のうち 548 人)となっていた。

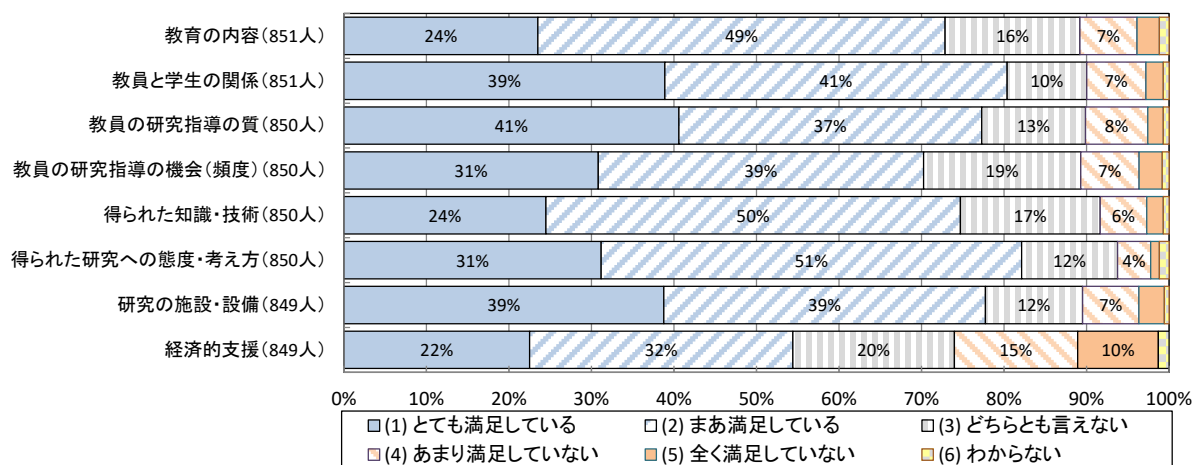
概要図表 2 属性別：博士課程教育の現在の職務への寄与の回答割合
〈博士課程修了者等〉



(3) 博士課程の専門分野に関する満足度

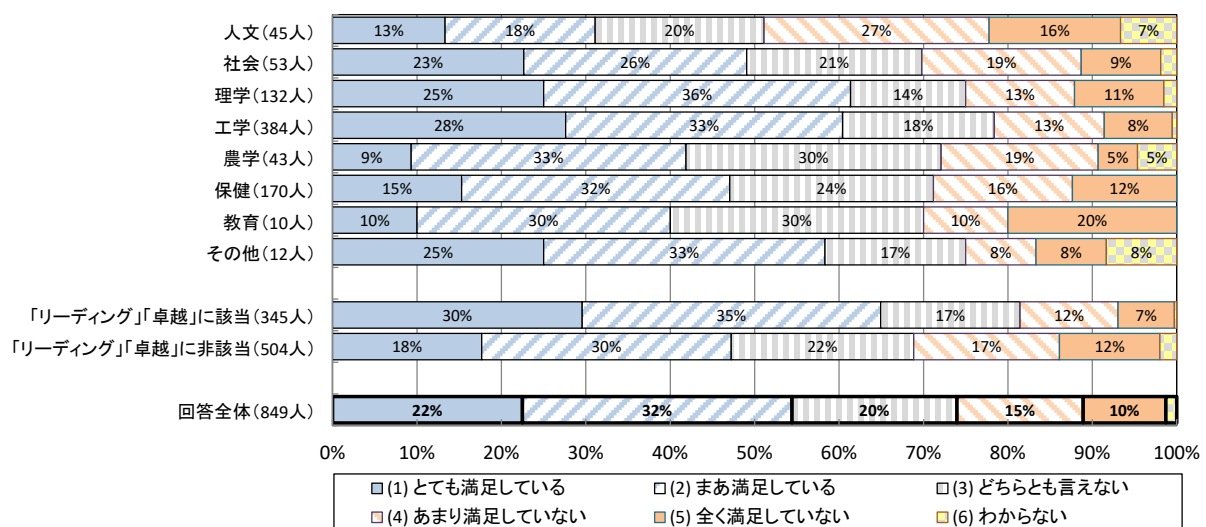
博士課程在籍者および博士課程修了者等に対して、博士課程プログラム(専門分野)に関する8つの側面の満足度を尋ねた。概要図表3は、博士課程在籍者の博士課程プログラム(専門分野)に関する各満足度の回答割合である。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは得られた研究への態度・考え方の82%(850人のうち698人)であった。一方、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も低かったのは経済的支援の54%(849人のうち462人)であった。

概要図表 3 博士課程の専門分野に関する各満足度の回答割合〈博士課程在籍者〉



概要図表 4 は、博士課程在籍者の博士課程プログラム(専門分野)における経済的支援についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 54%(849 人のうち 462 人)となっていた。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」「卓越」に該当]においては 65%(345 人のうち 224 人)である一方で、「リーディング」「卓越」に非該当]においては 47%(504 人のうち 238 人)であった。博士課程在籍者の経済的支援に関する満足度において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」「卓越」の該当の有無によって、有意な差があった¹。

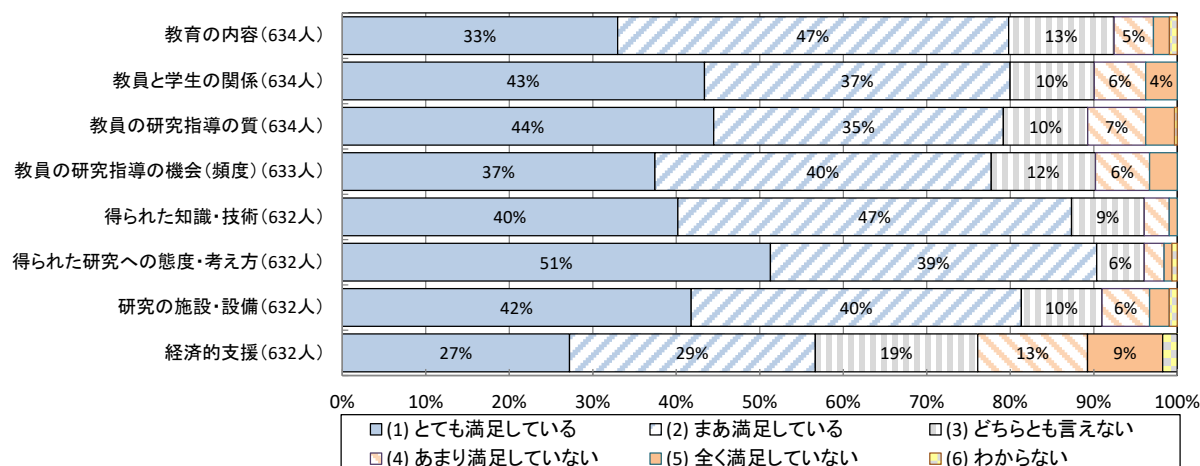
概要図表 4 属性別：専門分野における経済的支援の満足度<博士課程在籍者>



概要図表 5 は博士課程修了者等の博士課程プログラム(専門分野)に関する各満足度の回答割合である。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは得られた研究への態度・考え方の 90%(632 人のうち 571 人)であった。一方、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も低かったのは経済的支援の 57%(632 人のうち 358 人)あった。

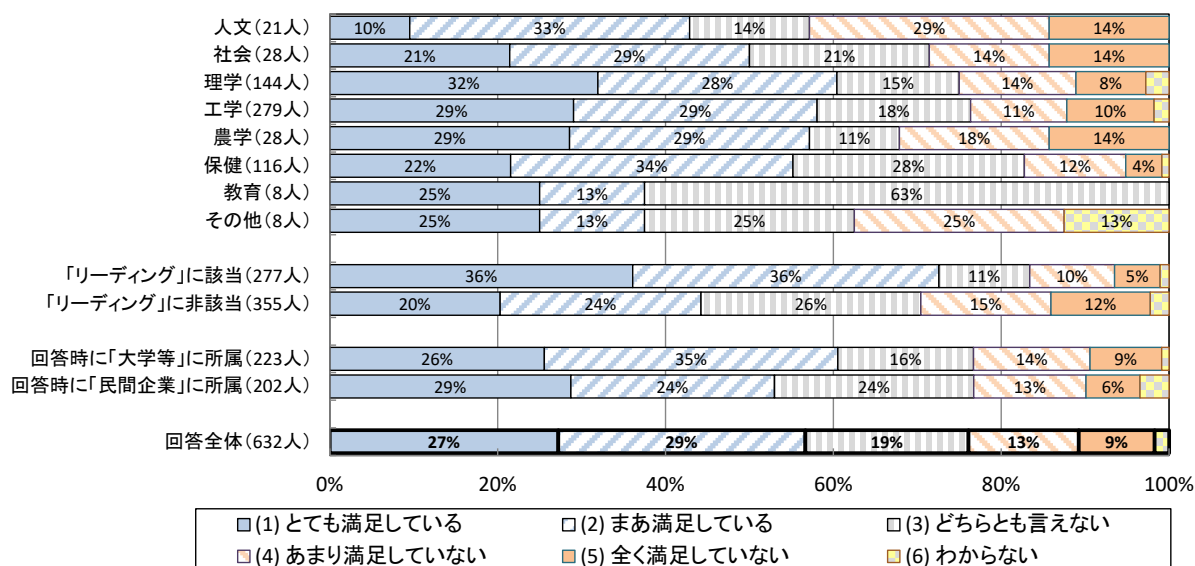
¹ 「リーディング」「卓越」に該当]と「リーディング」「卓越」に非該当]の二群において、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合とそれ以外の回答の合計割合によって母比率の差の検定を行ったところ z 値は 6.09 となり、両側 0.01%水準においても母比率が等しいという帰無仮説を棄却できる。

概要図表 5 博士課程の専門分野に関する各満足度の回答割合〈博士課程修了者等〉



概要図表 6 は博士課程修了者等の博士課程プログラム(専門分野)における経済的支援についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が 57%(632 人のうち 358 人)となっていた。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」に該当]においては 73%(277 人のうち 201 人)である一方で、「リーディング」に非該当]においては 44%(355 人のうち 157 人)であった。博士課程修了者等の経済的支援に関する満足度において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」の該当の有無によって、有意な差があった²。

概要図表 6 属性別:専門分野における経済的支援の満足度〈博士課程修了者等〉

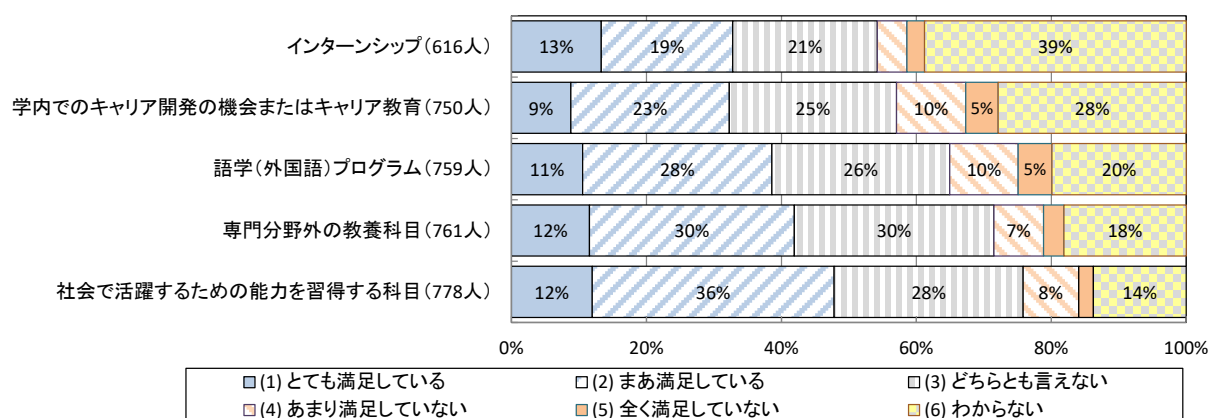


² 「リーディング」に該当]と「リーディング」に非該当]の二群において、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合とそれ以外の回答の合計割合によって母比率の差の検定を行ったところ z 値は 7.13 となり、両側 0.01%水準においても母比率が等しいという帰無仮説を棄却できる。

(4) 博士課程の専門分野以外に関する満足度

博士課程在籍者および博士課程修了者等に対して、博士課程プログラム(専門分野以外)に関する6つの側面の満足度を尋ねた。概要図表7は、[回答(7) 開講されていない・履修できない]を除いた博士課程在籍者の博士課程プログラム(専門分野以外)に関する各満足度の回答割合である³。概要図表7において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例:研究倫理、プレゼンテーション講座等)の48%(778人のうち372人)であった。

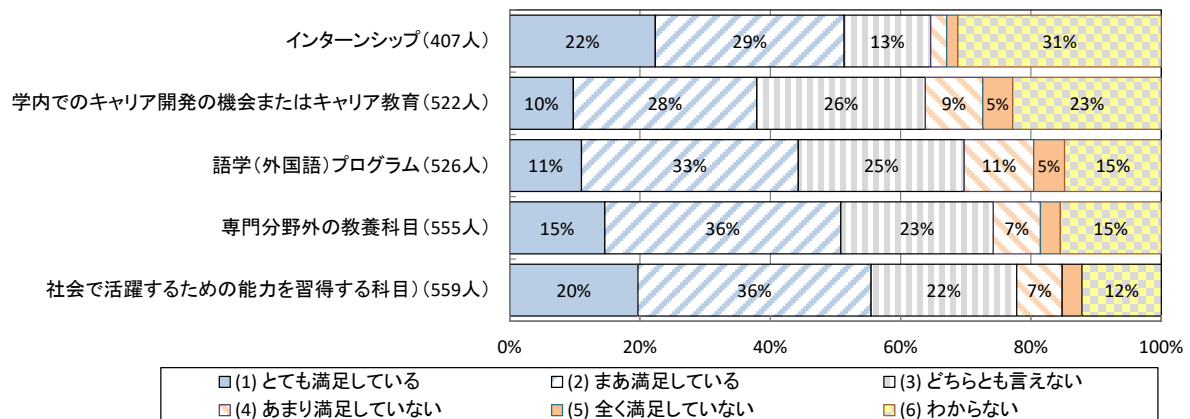
概要図表7 博士課程の専門分野以外に関する各満足度の回答割合
(博士課程在籍者([回答(7) 開講されていない・履修できない]を除く))



概要図表8は、[回答(7) 開講されていない・履修できない]を除いた博士課程修了者等の博士課程プログラム(専門分野以外)に関する各満足度の回答割合である。概要図表8において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例:研究倫理、プレゼンテーション講座等)の55%(559人のうち310人)であった。

³ 概要図表7および概要図表8では表示を簡略化して、最下段の項目名を「社会で活躍するための能力を習得する科目」としているが、調査票における記載は「社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例:研究倫理、プレゼンテーション講座等)」であった。

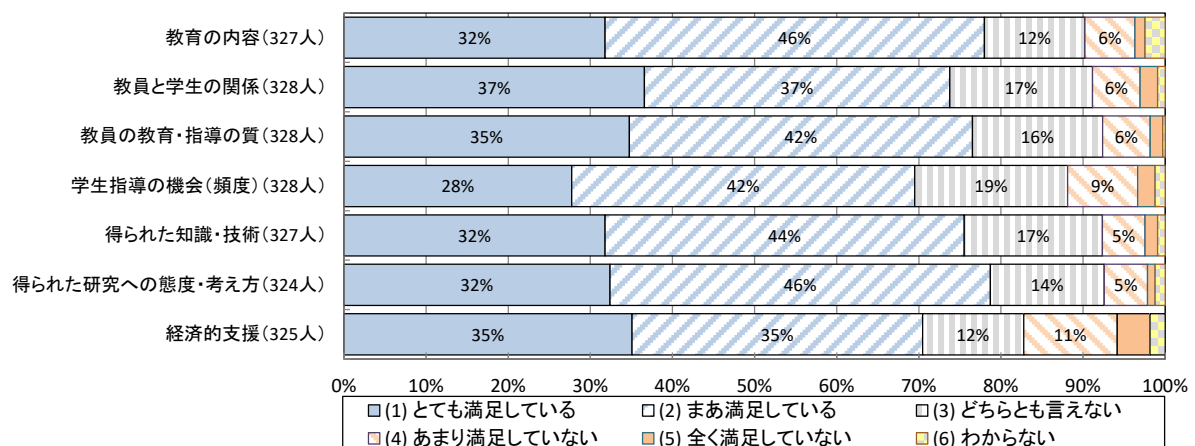
概要図表 8 博士課程の専門分野以外に関する各満足度の回答割合
 〈博士課程修了者等（[回答(7) 開講されていない・履修できない]を除く）〉



(5) 博士課程の教育関連プログラム(リーディング・卓越)に関する満足度

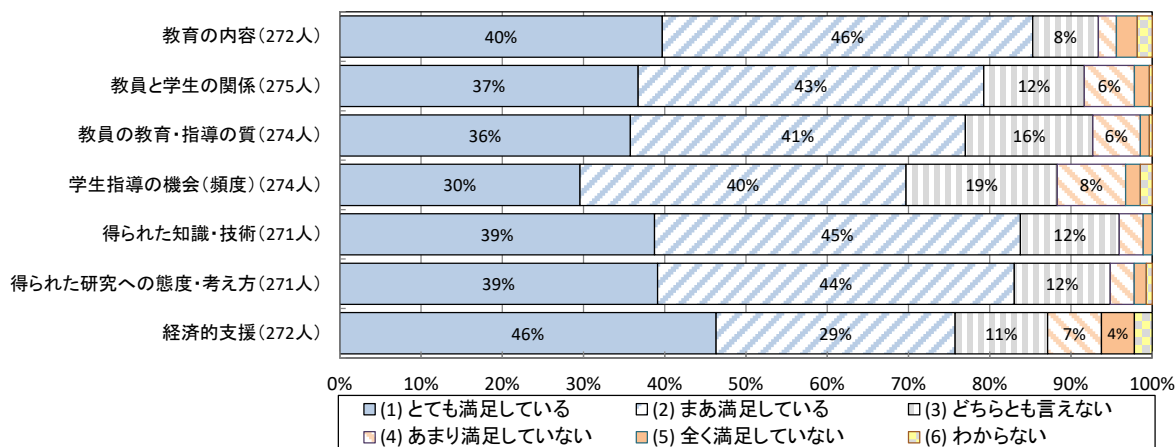
博士課程在籍者および博士課程修了者等に対して、博士課程教育関連プログラム（博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラム）に関する 6 つの側面の満足度を尋ねた。概要図表 9 は、教育関連プログラムに該当する博士課程在籍者の各満足度の回答割合である。**[回答(1) とても満足している]**と**[回答(2) まあ満足している]**の合計割合が最も高かったのは**得られた研究への態度・考え方**の 79% (324 人のうち 255 人)であった。

概要図表 9 博士課程の教育関連プログラムに関する各満足度の回答割合
 〈該当する博士課程在籍者〉



概要図表 10 は教育関連プログラムに該当した博士課程修了者等の各満足度の回答割合である。**[回答(1) とても満足している]**と**[回答(2) まあ満足している]**の合計割合が最も高かったのは**教育の内容**の 85% (272 人のうち 232 人)であった。

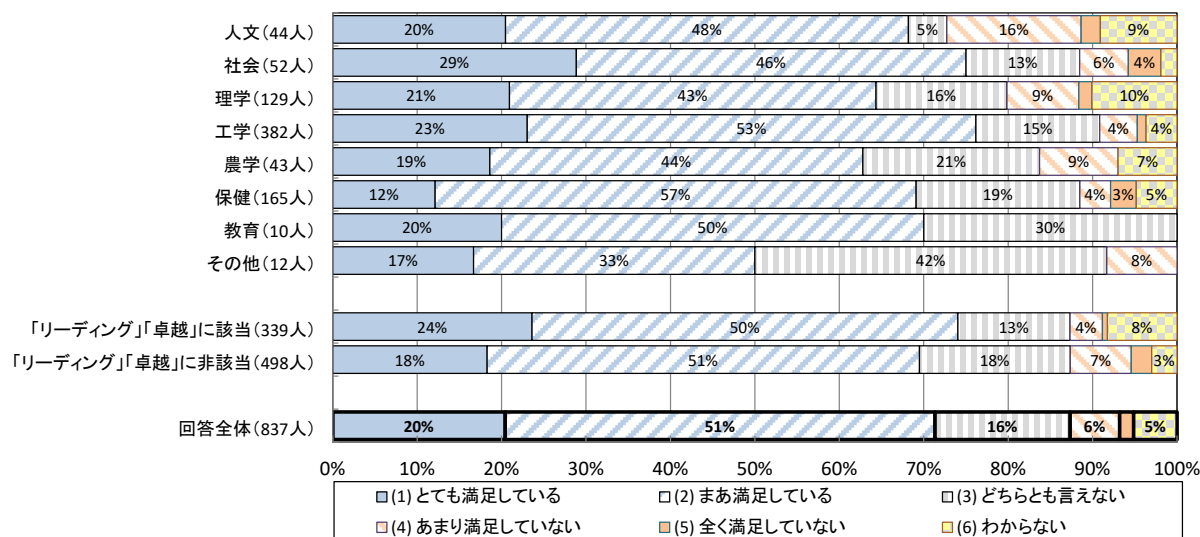
概要図表 10 博士課程の教育関連プログラムに関する各満足度の回答割合
〈該当した博士課程修了者等〉



(6) 博士後期課程のプログラム全体に関する満足度

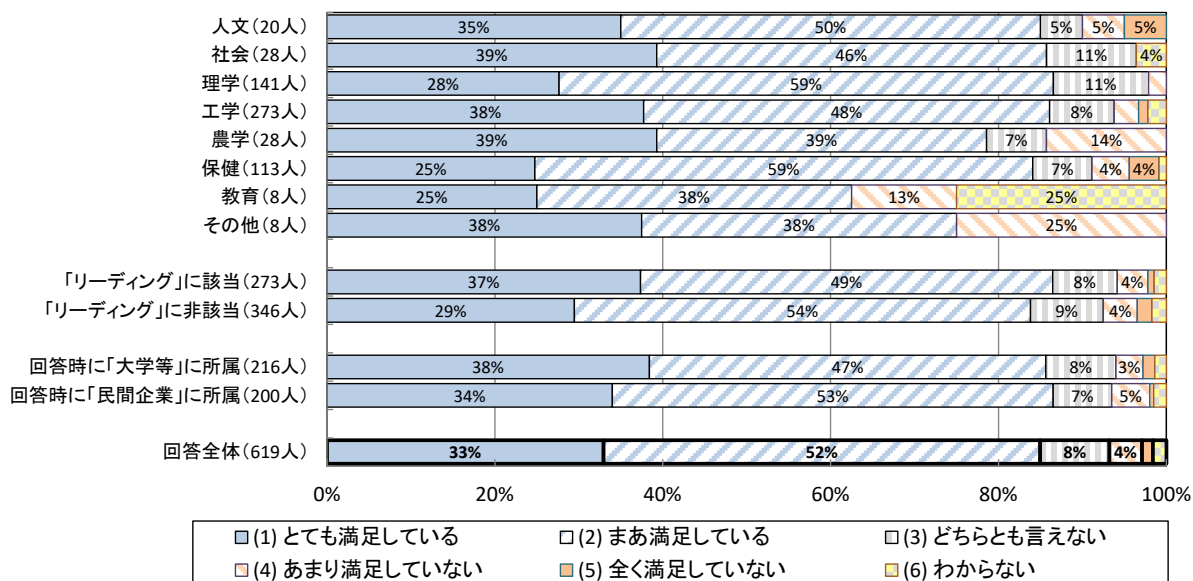
博士課程在籍者および博士課程修了者等に対して、博士後期課程のプログラム全体に関する満足度を尋ねた。概要図表 11 は、博士課程在籍者の博士後期課程のプログラム全体についての満足度に関する属性別回答割合である。概要図表 11 の回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 71%(837 人のうち 597 人)となっていた。

概要図表 11 属性別：博士後期課程のプログラム全体に関する満足度
〈博士課程在籍者〉



概要図表 12 は、博士課程修了者等の博士後期課程のプログラム全体についての満足度に関する属性別回答割合である。概要図表 12 の回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 85%(619 人のうち 526 人)となっていた。

概要図表 10 属性別：博士後期課程のプログラム全体に関する満足度
〈博士課程修了者等〉



※ 調査結果の図表では、四捨五入によるパーセンテージの整数表示によって、文中に記載している回答割合の合算値と一致しないケース、割合の合計値が 100 にならないケースが存在する。

第1章 博士人材データベース(JGRAD)とウェブアンケート調査

1-1. JGRAD による情報収集

我が国が知識基盤社会を目指す上で、博士課程修了者等を初めとした高度人材がその能力や技能を生かし、活躍しやすい体制を築くことは重要である。科学技術・学術政策研究所では博士人材の活躍状況を把握するため、2014 年度から博士課程の大学院を有する大学に参加協力を依頼し、博士人材データベース(JGRAD: Japan Graduates Database、以下「JGRAD」)を運営している。

JGRAD の情報収集の流れは次のようになっている。まず、JGRAD に参加している大学、研究科、教育プログラムの事務局の協力によって、科学技術・学術政策研究所が博士課程在籍者のメールアドレスを収集する。続いて、科学技術・学術政策研究所は各メールアドレスに JGRAD のウェブシステムにログインする手順を通知する。通知を受け取った博士課程在籍者は、JGRAD の情報規約に同意後、ウェブシステムに本人の情報を入力する。なお、一部の大学、研究科では大学事務局から科学技術・学術政策研究所に博士課程在籍者のメールアドレスを直接提供せず、大学事務局から博士課程在籍者へログイン ID およびパスワードを配布する形式をとっている。

JGRAD の本来の目的は、博士課程在籍時に各個人との連絡手段(メールアドレス)を確保することで、博士課程修了後の多様なキャリアパスや活躍状況を把握することにある。一方で、JGRAD では博士課程在籍時から、登録者本人との連絡手段を確保しており、博士課程在籍者および修了者に意識や研究環境等のアンケート調査が可能となっている。なお、博士課程を退学した者であっても、本人からの削除要望がなければ、JGRAD ではログイン ID やデータを削除しない⁴。このため、JGRAD のデータには博士課程の退学者も含まれ得る点には留意する必要がある。なお、本稿では、博士課程修了者等と退学者を合わせて博士課程修了者等と表記する⁵。

本調査「教育プログラムへの満足度等に関する調査」は、2020 年 3 月 26 日～2020 年 5 月 22 日を調査期間として JGRAD の登録者全員(同年 3 月 26 日時点で 21,207 名)の連絡先メールアドレスに対してウェブアンケート調査への協力を依頼した⁶。調査開始時点の 2020 年 3 月 26 日における JGRAD の参加大学は、国立大学 35、公立大学 8、私立大学 6 の計 49 大学であった。また、大学によって博士課程を持つ全研究科で参加するケースもあれば、一部の研究科で参加するケースや JGRAD の登録を要請した博士課程教育関連プログラム(博士課程教育リーディングプログラム、卓越大学院プログラム)で参加するケースもある。調査開始時点で博士課程を持つ全研究科

⁴ 博士人材データベースでは、博士課程の退学の状況や退学者を含めたキャリアパスを把握したいというニーズがある。加えて、日本の大学院の一部では、博士課程の単位取得後に退学した場合、退学後 3 年以内に博士論文を提出し、審査に合格した者に博士号を授与する制度がある。このため、博士課程の退学は、必ずしも数年内の博士号取得の断念を意味しない。

⁵ 「教育プログラムへの満足度等に関する調査(2020 年)」の博士課程修了者等(博士課程修了者等および退学者)の有効回答数は 648 名であるが、そのうち大学事務局から退学の連絡があった者は 8 名である。

⁶ 本稿と同様の形式の JGRAD(パイロット運用時含む)上でのウェブアンケートをとりまとめた調査結果として、篠田・松澤(2016)、三木(2019)、齋藤・齊藤・梅川・星野(2019)が挙げられる。

が参加している大学は49大学のうち27大学であった。調査開始時点におけるJGRAD参加大学の内訳は、図表 1-1-1 に示している。

図表 1-1-1 JGRAD の参加大学一覧(2020 年 3 月 26 日時点)

大学種別	大学名	参加年度	参加形態	参加研究科数	博士課程教育関連プログラム	
					博士課程リーディング	卓越大学院
国立	北海道大学	2014	一部研究科	9	○	○
	東北大学	2015	全研究科	16	○	○
	秋田大学	2016	プログラムのみ	0	○	
	山形大学	2016	一部研究科	2	○	
	群馬大学	2016	プログラムのみ	0	○	
	千葉大学	2016	一部研究科	5	○	
	東京大学	2015	一部研究科	1	○	○
	東京医科歯科大学	2014	全研究科	2	○	
	東京農工大学	2014	全研究科	4	○	○
	お茶の水女子大学	2014	全研究科	1	○	
	東京工業大学	2014	全研究科	5	○	○
	電気通信大学	2015	全研究科	3		
	金沢大学	2016	プログラムのみ	0	○	○
	山梨大学	2016	全研究科	1	○	○
	信州大学	2015	全研究科	1	○	
	名古屋大学	2016	登録者の任意参加	-	○	○
	京都大学	2015	一部研究科	6	○	○
	大阪大学	2014	全研究科	16	○	○
	神戸大学	2014	全研究科	15		
	奈良女子大学	2015	全研究科	1		
	岡山大学	2014	全研究科	6		
	広島大学	2014	全研究科	14	○	○
	徳島大学	2016	全研究科	8		
	九州大学	2015	一部研究科	9	○	
	長崎大学	2015	全研究科	6	○	○
	熊本大学	2015	一部研究科	1	○	
	筑波大学	2014	全研究科	7	○	
	滋賀医科大学	2016	全研究科	1	○	
	豊橋技術科学大学	2015	全研究科	1	○	
	奈良先端科学技術大学院大学	2014	全研究科	4		
	政策研究大学院大学	2016	プログラムのみ	0	○	
	新潟大学	2018	全研究科	4		
	一橋大学	2018	全研究科	5		
	長岡技術科学大学	2018	プログラムのみ	0		○
	岐阜大学	2019	一部研究科	4		
公立	名古屋市立大学	2016	全研究科	8	○	
	大阪市立大学	2015	一部研究科	7	○	
	高知県立大学	2016	プログラムのみ	0	○	
	兵庫県立大学	2015	一部研究科	2	○	
	東京都立大学	2016	一部研究科	4		
	大阪府立大学	2015	全研究科	7	○	
	宮城大学	2018	全研究科	3		
	高知工科大学	2018	全研究科	1		
私立	慶應義塾大学	2014	一部研究科	1	○	
	東京理科大学	2015	全研究科	7		
	早稲田大学	2016	プログラムのみ	0	○	○
	日本赤十字看護大学	2016	プログラムのみ	0	○	
	同志社大学	2016	プログラムのみ	0	○	
	近畿大学	2019	全研究科	10		

1-2. 回答者の属性

ここでは本調査の回答者の属性を簡潔に示す⁷。図表1-2-1は、有効回答者1,514名（博士課程在籍者866名、博士課程修了者等・退学者648名）の属性を年齢層と性別のクロス集計表で表したものである。左側の博士課程在籍者では「25～29歳」が最も多く、全体の59%を占めた。一方で、図表1-2-1の右側の博士課程修了者等では、「25～29歳」と「30～34歳」が概ね同数となっていた。また、図表1-2-1の左側の博士課程在籍者では、性別不詳がいるものの男性が69%、女性が30%であった⁸。一方で、図表1-2-1の右側の博士課程修了者等では男性が78%、女性が21%であった。

図表 1-2-1 回答者の年齢層と性別

〈博士課程在籍者〉					〈博士課程修了者等〉				
	男性	女性	性別不詳	性別計		男性	女性	性別不詳	性別計
20～24歳	54	20	0	74(9%)	20～24歳	0	0	0	0(0%)
25～29歳	362	148	2	512(59%)	25～29歳	217	45	1	263(41%)
30～34歳	105	45	0	150(17%)	30～34歳	183	44	1	228(35%)
35～39歳	41	21	0	62(7%)	35～39歳	38	16	0	54(8%)
40歳以上	39	27	0	66(8%)	40歳以上	65	34	0	99(15%)
年齢不詳	0	0	2	2(0%)	年齢不詳	0	0	4	4(1%)
年齢層計	601 (69%)	261 (30%)	4 (0%)	866 (100%)	年齢層計	503 (78%)	139 (21%)	6 (1%)	648 (100%)

図表1-2-2では、回答者の専攻分野と国籍（日本国籍/外国籍）のクロス集計表を示している。なお、本稿における専攻分野は学校基本調査を参考に各回答者が在籍した博士課程の研究科を[人文(科学)][社会(科学)][理学][工学][農学][保健][教育][その他]に分類したものである。図表1-2-2の左側の博士課程在籍者において、専攻分野は[工学]が最も多く45%を占めている。また、回答全体での「外国籍」は29%となっていた⁹。図表1-2-2の右側の博士課程修了者等においても、専攻分野は[工学]が最も多く44%を占め、回答全体での「外国籍」は12%となっていた。博士課程修了者等における[工学]および「外国籍」の回答傾向は、博士課程在籍者に比べて低かったと推察される¹⁰。

⁷ 「①学校基本調査に計上される日本国内の大学における博士課程在籍者」を母集団と考える場合、JGRADにおける博士課程在籍者へのアンケート調査では「②大学・研究科単位のJGRAD参加」「③参加大学内の個人によるJGRADのアクティベーション・メールアドレス登録」「④登録者内の個人によるJGRAD内アンケートへの回答」と②③④の3段階の偏りの可能性がある。①と③の相異に関しては小林・梅川・星野(2020)の2.3で示されている。

⁸ 小林・梅川・星野(2020)では2019年5月時点におけるJGRAD登録者における博士課程在籍者の男性割合は69.6%、女性割合は30.4%と示している。この割合は「教育プログラムへの満足度等に関する調査(2020年)」の回答者の男女割合と近く、男女による回答傾向の差異が小さかったと考えられる。

⁹ 小林・梅川・星野(2020)では2019年5月時点におけるJGRAD登録者における博士課程在籍者のデータから、日本国籍は71.6%としている。「教育プログラムへの満足度等に関する調査」では英語版の調査票を作成したこともあり、日本国籍の有無による回答傾向の差異が小さかったと考えられる。

¹⁰ [工学]の博士課程修了者等は他の分野に比べて民間企業に就職する傾向が強く、[外国籍]は[日本国籍]に比べて日本国外で就職する傾向が強いことが要因となっている可能性がある。

図表 1-2-2 回答者の専攻分野と国籍(日本国籍/外国籍)

〈博士課程在籍者〉					〈博士課程修了者等〉				
	日本国籍	外国籍	国籍不詳	国籍計		日本国籍	外国籍	国籍不詳	国籍計
人文	37	8	0	45(5%)	人文	20	0	1	21(3%)
社会	34	19	0	53(6%)	社会	23	7	0	30(5%)
理学	116	20	1	137(16%)	理学	137	7	3	147(23%)
工学	250	140	4	394(45%)	工学	242	45	0	287(44%)
農学	31	12	0	43(5%)	農学	23	5	0	28(4%)
保健	127	44	1	172(20%)	保健	103	14	1	118(18%)
教育	7	3	0	10(1%)	教育	8	0	0	8(1%)
その他	6	5	1	12(1%)	その他	9	0	0	9(1%)
分野計	608 (70%)	251 (29%)	7 (1%)	866 (100%)	分野計	565 (87%)	78 (12%)	5 (1%)	648 (100%)

図表1-2-3は、回答者の専攻分野と在籍・出身大学院の種別のクロス集計表である。国立大学の博士課程の在籍者・出身者は、博士課程在籍者で90%、博士課程修了者等においては88%を占めた¹¹。

図表 1-2-3 回答者の専攻分野と在籍・出身大学院の種別

〈博士課程在籍者〉					〈博士課程修了者等〉				
	国立大学	公立大学	私立大学	大学種計		国立大学	公立大学	私立大学	大学種計
人文	43	1	1	45(5%)	人文	20	1	0	21(3%)
社会	47	5	1	53(6%)	社会	27	2	1	30(5%)
理学	128	9	0	137(16%)	理学	128	8	11	147(23%)
工学	345	13	36	394(45%)	工学	240	14	33	287(44%)
農学	40	3	0	43(5%)	農学	27	1	0	28(4%)
保健	159	12	1	172(20%)	保健	110	6	2	118(18%)
教育	10	0	0	10(1%)	教育	8	0	0	8(1%)
その他	10	1	1	12(1%)	その他	8	1	0	9(1%)
分野計	782 (90%)	44 (5%)	40 (5%)	866 (100%)	分野計	568 (88%)	33 (5%)	47 (7%)	648 (100%)

図表1-2-4は、博士課程在籍者の回答者における専攻分野と入学年度のクロス集計表である。明瞭な表示のため、図表1-2-4では2011年度と2012年度の入学および2019年度と2020年度を各1列にまとめている。ただし、博士課程在籍者の回答者において、2011年度の入学者と2020年度の入学者は各1名であった¹²。博士課程在籍者では、2019年度入学の296人が最も多く、博士課程在籍者の回答の34%を占めた。博士(後期)課程にも秋入学が一部あるものの、博士課程在籍者では2020年3月から5月の調査期間において博士(後期)課程2年生の回答が最も多かったと考えられる。

¹¹ 小林・梅川・星野(2020)では2019年5月時点におけるJGRAD登録者における博士課程在籍者のデータから、国立大学の博士課程の在籍者は91.2%としている。一方に対応する学校基本調査の博士課程在籍者データでは、国立大学に属する者は67.7%である。この差異はJGRADの参加大学に国立大学に多いことに起因している。

¹² 本調査の調査依頼は2020年3月25日時点のJGRAD登録者を対象に行ったが、2020年4月以降に入学した2020年度の登録者であってもJGRADにログインすれば本調査に回答することは可能であった。ただし、新型コロナウイルス感染症対策の最中という状況もあり、2020年5月25日の調査終了時点では、2020年度の入学者に対するJGRADのアカウント配付は、ほとんど始まっていなかった。

図表 1-2-4 回答者の専攻分野と入学年度〈博士課程在籍者〉

	2011年度・ 2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度・ 2020年度	入学年度計
人文	0	0	2	2	7	6	14	14	45(5%)
社会	0	0	1	2	5	10	17	18	53(6%)
理学	1	0	2	8	20	26	38	42	137(16%)
工学	2	2	4	11	25	70	140	140	394(45%)
農学	0	0	1	0	3	8	11	20	43(5%)
保健	0	1	4	5	17	41	44	60	172(20%)
教育	0	0	1	2	3	1	1	2	10(1%)
その他	0	0	0	2	3	4	2	1	12(1%)
分野計	3 (0%)	3 (0%)	15 (2%)	32 (4%)	83 (10%)	166 (19%)	267 (31%)	297 (34%)	866 (100%)

図表 1-2-5 は、博士課程修了者等の回答者における専攻分野と入学年度のクロス集計表である。2016 年度入学の 136 人が最も多く、博士課程修了者等の回答の 21% を占めた。2020 年 3 月から 5 月の調査期間において、博士課程修了者等では、博士（後期）課程に入学してから約 4 年後の回答者が最も多かったと考えられる。

図表 1-2-5 回答者の専攻分野と入学年度〈博士課程修了者等〉

	2008～ 2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度・ 2019年度	入学年度計
人文	5	2	3	4	2	0	5	0	21(3%)
社会	2	1	3	4	7	5	6	2	30(5%)
理学	4	10	29	33	16	35	19	1	147(23%)
工学	7	17	32	47	53	60	62	9	287(44%)
農学	0	3	5	3	7	7	3	0	28(4%)
保健	2	15	13	26	24	25	8	5	118(18%)
教育	2	1	1	0	1	2	1	0	8(1%)
その他	0	0	0	0	5	2	2	0	9(1%)
分野計	55 (3%)	49 (8%)	86 (13%)	117 (18%)	115 (18%)	136 (21%)	106 (16%)	17 (3%)	648 (100%)

図表 1-2-6 は、博士課程修了者等の回答者における専攻分野と修了年度のクロス集計表である¹³。修了年度不明を除けば、2018年度の修了者の138人が全体の21%を占め、最も多かった。2018年度の修了者は概ね2019年3月の修了と見なせば、博士課程修了者等は、2020年3月から5月の調査期間において博士課程修了後約1年の回答者が最も多かったと考えられる。

¹³ JGRAD の運営から年に 2 回、各大学の事務局に登録者の修了に関する情報提供を依頼している。ただし、各大学内における修了情報の把握および修了情報の JGRAD 運営への連絡が完全ではなく、「修了年度不明」のケースが存在する。

図表 1-2-6 回答者の専攻分野と修了年度〈博士課程修了者等〉

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	修了年度 不明	修了年度計
人文	0	5	4	1	4	0	7	21(3%)
社会	0	3	2	3	11	4	7	30(5%)
理学	4	25	29	25	27	4	33	147(23%)
工学	5	31	42	40	52	19	98	287(44%)
農学	0	5	3	5	7	2	6	28(4%)
保健	2	9	16	17	32	6	36	118(18%)
教育	0	3	1	0	2	1	1	8(1%)
その他	0	0	0	2	3	0	4	9(1%)
分野計	11 (2%)	81 (13%)	97 (15%)	93 (14%)	138 (21%)	36 (6%)	192 (30%)	648 (100%)

また、本稿の分析に利用したデータにおいては、下記①②③の3種の情報に基づき、博士課程教育関連プログラム(「博士課程教育リーディングプログラム」と「卓越大学院プログラム」)の該当と非該当に区分した。

- ① 大学の事務局が登録候補者に付加した「博士課程教育リーディングプログラム」や「卓越大学院プログラム」の情報¹⁴
- ② 登録者本人がJGRADのウェブシステム上で選択した「博士課程教育リーディングプログラム」および「卓越大学院プログラム」の情報¹⁵
- ③ 本稿の調査における博士課程教育関連プログラムの(在[問24]～[問30])(修[問22]～[問28])の回答状況¹⁶

なお、上記①および②による区分においても「博士課程教育リーディングプログラム」と「卓越大学院プログラム」の両方に該当する者がいる。また、上記③の調査回答による区分では「博士課程教育リーディングプログラム」または「卓越大学院プログラム」のどちらに該当したのかを識別することはできない。

博士課程修了者等に関しては、博士課程の在学時期および調査票における質問文から『在学時における「博士課程教育リーディングプログラム」の該当者』と見なす。一方で、博士課程在籍者に関しては、『「博士課程教育リーディングプログラム」または

¹⁴ JGRADの運営において、参加大学事務局から登録候補者の情報を得る際、「博士課程教育リーディングプログラム」および「卓越大学院プログラム」の情報付加を依頼している。ただし、この情報付加が完全ではない可能性があることに加えて、JGRAD登録後に「博士課程教育リーディングプログラム」や「卓越大学院プログラム」の対象者になるケースがある。JGRAD登録後に登録者が該当者となった場合も参加大学の事務局にはJGRADの運営への通知を依頼しているが、各大学内における情報把握またはJGRADの運営への該当者の追加連絡が完全なものとはなっていない可能性がある。

¹⁵ JGRADのウェブシステムにおいては「博士課程教育リーディングプログラム」や「卓越大学院プログラム」の該当、非該当を登録者本人がいつでも変更可能となっている。

¹⁶ 博士課程教育関連プログラムに関して選択肢で尋ねた(在[問24]～[問30])または(修[問22]～[問28])の各6つの質問において、[回答(6) わからない]と[空欄]以外の回答が3問以上かつ回答番号が全て同じではない場合、博士課程教育関連プログラムの該当者であると見なして区分した。

「卓越大学院プログラム」の該当者』と個別の博士課程教育関連プログラムを区別せずに記載する。本稿の 2-6 および 3-6 は、博士課程教育関連プログラムに関する調査結果となっており、該当者のみの回答で集計を行った。

図表 1-2-7 は、回答者の専攻分野と博士課程教育関連プログラム(博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラム)のクロス集計表である。博士課程在籍者に関しては、回答者全体のうち 41%が『「博士課程教育リーディングプログラム」または「卓越大学院プログラム」の該当者』であった。また、博士課程修了者等に関しては、回答者全体のうち 43%が『在学時における「博士課程教育リーディングプログラム」の該当者』となっていた。

図表 1-2-7 回答者の専攻分野と博士課程教育関連プログラムの該当・非該当

〈博士課程在籍者〉				〈博士課程修了者等〉			
	「リーディング」 「卓越」に該当	「リーディング」 「卓越」に非該当	該当と非該当 の計		「リーディング」 に該当	「リーディング」 に非該当	該当と非該当 の計
人文	12	33	45(5%)	人文	5	16	21(3%)
社会	17	36	53(6%)	社会	9	21	30(5%)
理学	82	55	137(16%)	理学	69	78	147(23%)
工学	152	242	394(45%)	工学	129	158	287(44%)
農学	19	24	43(5%)	農学	15	13	28(4%)
保健	59	113	172(20%)	保健	46	72	118(18%)
教育	6	4	10(1%)	教育	2	6	8(1%)
その他	7	5	12(1%)	その他	4	5	9(1%)
分野計	354 (41%)	512 (59%)	866 (100%)	分野計	279 (43%)	369 (57%)	648 (100%)

JGRADでは、ウェブアンケート調査の回答前にJGRAD上のキャリア等の情報を最新化することを回答者に促している。図表1-2-8は、博士課程修了者等における専攻分野と回答時の所属機関のクロス集計表である¹⁷。図表1-2-8の最下段の回答全体を見ると、博士課程修了者等であっても、「大学等」に所属している回答者が最も多かった¹⁸。一方で、[工学]の行に注目すると、「大学等」よりも「民間企業」に所属している回答者が多かった。

本稿では博士課程修了者等の調査結果の表示において、『回答時に「大学等」に所属していた者』および『回答時に「民間企業」に所属していた者』の区分を設ける。本稿の第3章および参考資料1-2では、図表1-2-8において色違いとなっている回答時の所属機関種が「大学等」および「民間企業」になっている場合を区分して表示する。

¹⁷ 科学技術・学術政策研究所 第1調査研究グループ(2020)では、博士人材追跡調査(JD-Pro)の2015年コーホートに関して博士課程修了の0.5年後および3.5年後の雇用先機関を示している。2015年コーホートの修了後の3.5年後において、大学等に雇用されている割合は51.9%、民間企業に雇用されている割合は24.3%、雇用先機関を無回答とした割合は4.3%であった。

¹⁸ JGRADにおける「大学等」は、「国立大学法人(国内)」「公立大学(国内)」「私立大学(国内)」「大学共同利用機関(国内)」「高専・短大(国内)」「国立・公立大学相当(国外)」「私立大学相当(国外)」で構成される。

図表 1-2-8 回答者の専攻分野と回答時の所属機関種〈博士課程修了者等〉

	大学等	公的 研究機関	民間企業	非営利 団体	その他・ 無所属	不詳	回答時の 所属機関計
人文	13	0	1	0	3	4	21(3%)
社会	11	2	9	1	2	5	30(5%)
理学	60	16	35	2	6	28	147(23%)
工学	72	20	129	2	7	57	287(44%)
農学	11	6	4	0	0	7	28(4%)
保健	54	11	26	1	5	21	118(18%)
教育	5	0	2	0	0	1	8(1%)
その他	2	2	3	0	0	2	9(1%)
分野計	228 (35%)	57 (9%)	209 (32%)	6 (1%)	23 (4%)	125 (19%)	648 (100%)

1-3. 本調査の調査目的と先行研究との関係

2020年3月から5月にかけてJGRAD登録者に対して実施した「教育プログラムへの満足度等に関する調査」では、博士(後期)課程における様々な側面の満足度等を調査するために実施した。調査票の「博士課程の専門分野に関する満足度」「博士課程の専門分野以外に関する満足度」「博士課程教育関連プログラムに関する満足度」のそれぞれのパートで各側面に関する満足度を択一式と自由記述式で尋ねた。なお、本稿において、博士課程教育関連プログラムとは、「博士課程教育リーディングプログラム」および「卓越大学院プログラム」を指している。

また、本調査では、補足的な調査項目として博士(後期)課程に関する本人の意識や状態を調査した。博士課程在籍者には「進学理由」「修了後に希望する就職先」「身につけたい能力」を尋ね、博士課程修了者等には「現在の職務への寄与」「身につけた能力」「博士課程で印象に残ったこと」を尋ねた。

JGRAD登録者を対象とした過去のアンケート調査として、篠田・松澤(2016)および三木(2019)が挙げられる。篠田・松澤(2016)では「キャリアパス等に関する意識」の把握を主な調査目的として、2015年11月30日から2016年1月29日にかけて調査を行った。篠田・松澤(2016)の調査では、補足的な調査項目として、「経済的支援の額」を含めた博士課程における10の側面に関する「印象」を[とても良い][まあ良い][どちらともいえない][あまり良くない][全く良くない][分からない]という選択肢で尋ねた。篠田・松澤(2016)では博士課程在籍者の1,003名、博士課程修了者等の48名から回答が得られたが、「博士課程リーディングプログラム」の該当者は60人しかおらず、教育関連プログラムに関する満足度・印象に関して調査結果の表示ができていなかった。教育関連プログラムの該当・非該当で区別した満足度や教育関連プログラムの各種側面の満足度・印象の表示は、本稿が初出となる。

三木(2019)では、「キャリアパス等に関する意識」の把握を主な調査目的として、2018年10月15日から2018年11月末にかけて調査を行った。三木(2019)における調査では、「就職または転職で最も重視した観点」や「海外研究、国内研究の希望理由」といったキャリアパスに関する意識を尋ねたが、本調査の主たる調査目的と類似する博士課程の満足度・印象は尋ねていなかった。

また、科学技術・学術政策研究所ではJGRADとは別に、特定の修了年次における日本国内の博士課程修了者全体に関する調査として、博士人材追跡調査(JD-Pro)を実施している。「博士人材追跡調査」の第2次報告書に当たる第1調査研究グループ(2016)においては、2015年度における博士課程修了者に対して、修了半年後の状態や意識を示している。本稿の調査目的と類似する調査項目として、第1調査研究グループ(2016)の調査では、在籍した博士課程に関する印象として、「教育・研究指導の質」「人的ネットワークの広がり、異分野との交流・協働」「キャリア開発支援や進路指導」「国際性の向上」「博士課程に関する全般的な満足度」を[とても良い][まあ良い][どちらともいえない][あまり良くない][全く良くない]の選択肢で尋ねた。第1調査研究グループ(2016)においては、博士課程の経済的支援に関する満足度・印象は尋ねていなかった。

1-4.「教育プログラムへの満足度等に関する調査」の調査項目

「教育プログラムへの満足度等に関する調査(2020 年)」では、博士課程在籍者向け調査票と博士課程修了者等向け調査票をウェブアンケートとして JGRAD のウェブサイト内に設置した。また、各調査票には日本語版と英語版を用意し、調査対象者は、JGRAD にアクセスし、本人の判断によって回答する調査票を選択する形式をとった。なお、同一のログイン ID から複数回の回答があった場合は、回答内容が最も詳細であった回答を採用し、それ以外の回答は本稿の集計対象から除外した。

博士課程在籍者向け調査票は、下記の 7 つのパートから構成され、択一式の設問 29 問と自由記述式の設問 5 問の合計 34 問を尋ねた。¹⁹

- [1] 博士課程に進学した理由(在[問 1]～[問 3])
- [2] 博士課程修了後に希望する就職先(在[問 4]～[問 5])
- [3] 博士課程で身につけたい能力(在[問 6]～[問 8])
- [4] 博士課程の専門分野に関する満足度(在[問 9]～[問 17])
- [5] 博士課程の専門分野以外に関する満足度(在[問 18]～[問 23])
- [6] 博士課程教育関連プログラムに関する満足度(在[問 24]～[問 31])
- [7] 博士課程全体に関する満足度(在[問 32]～[問 34])

また、博士課程修了者等向け調査票は、下記の 7 つのパートから構成され、択一式の設問 27 問と自由記述式の設問 5 問の合計 32 問を尋ねた。

- [1] 博士課程教育の現在の職務への寄与(修[問 1])
- [2] 博士課程で身につけた能力(修[問 2]～[問 4])
- [3] 博士課程の専門分野に関する満足度(修[問 5]～[問 13])
- [4] 博士課程で印象に残ったこと(修[問 14]～[問 15])
- [5] 博士課程の専門分野以外に関する満足度(修[問 16]～[問 21])
- [6] 博士課程教育関連プログラムに関する満足度(修[問 22]～[問 29])
- [7] 博士課程全体に関する満足度(修[問 30]～[問 32])

博士課程在籍者向け調査票と博士課程修了者等向け調査票の双方で「博士課程の専門分野に関する満足度」「博士課程の専門分野以外の満足度」「博士課程教育関連プログラムに関する満足度」を尋ねるなど、二種の調査票には共通する設問がある。一方で、博士課程在籍者には「博士課程に進学した理由」、博士課程修了者等には「博士課程教育の現在の職務への寄与」を尋ねるなど、各調査票に独特の項目も存在している。

本稿では、「教育プログラムへの満足度等に関する調査(2020 年)」の調査結果を

¹⁹ 過去の JGRAD 登録者(パイロット運用時含む)に対する調査においても、本調査と類似した項目をアンケートで尋ねている。回答の選択肢が異なるケースもあるが、「博士課程に進学した理由」「博士課程で身につけたい能力」は篠田・松澤(2016)および三木(2019)においても尋ねている。また、博士課程に関連する満足度や印象に関しては篠田・松澤(2016)においても尋ねている。ただし、本調査における質問文や回答選択肢と文言が異なるため、単純な比較はできない。

博士課程在籍者に関しては第 2 章、博士課程修了者等に関しては第 3 章において図表で示す。また、参考資料 1 では、択一式の設問の回答数を表で示す。参考資料 2 では、調査回答における自由記述の記載例を表示する。参考資料 3 はウェブアンケート調査の調査票のテキストを示す。

第2章 博士課程在籍者の調査結果

2-1. 博士課程に進学した理由（在[問 1]～[問 3]）

図表 2-1-1 は、博士課程在籍者の[問 1]博士課程後期に進学した「最も主要な理由」および、[問 2]博士課程後期に進学した「2番目の理由」に関する回答全体の回答項目別の回答数である。これらの質問は 2019 年度以降に博士後期課程学生となった方のみに尋ねており、進学[問 1]の回答数は 671 件、[問 2]の回答数は 629 件で合計回答数は 1,300 件であった。なお、調査票では回答(a)～回答(j)の順で回答項目を並べたが、本稿（本編）では図表の分かりやすさを考慮して、博士課程在籍者の回答数が多い順に回答の選択肢を<R01>～回答<R11>に並べ直した。

図表 2-1-1 において、[回答<R01>(b)研究すること自体に興味・関心があった]の回答数が最も多く、[問 1]では 225 件、[問 2]では 133 件で計 358 件となっていた。²⁰ これは[問 1]と[問 2]の合計回答数 1,300 件の 28%を占めていた。[問 1]と[問 2]の回答数の第 2 位は、[回答<R02>(c)自分自身の能力や技能を高めることに関心があった]の計 316 件であり、合計回答数の 24%を占めていた。次いで回答数の第 3 位は、[回答<R03>(a)研究したい課題や問題意識があった]の計 218 件であり、合計回答数の 17%を占めていた。

図表 2-1-2 では[問 1]と[問 2]の回答数を博士課程の研究科の専攻分野別に示している。[人文]では[回答<R03>(a)研究したい課題や問題意識があった]の回答数が最も多く、計 17 件であり、合計回答数 56 件の 30%を占めていた。[社会]においても[回答<R03>(a)研究したい課題や問題意識があった]の回答数が最も多く、計 22 件であり、合計回答数 73 件の 30%を占めていた。[理学]においては[回答<R01>(b)研究すること自体に興味・関心があった]の回答数が最も多く、計 65 件であり、合計回答数 186 件の 35%を占めていた。[工学]においても[回答<R01>(b)研究すること自体に興味・関心があった]の回答数が最も多く、計 176 件であり、合計回答数 625 件の 28%を占めている。[農学]においては[回答<R01>(b)研究すること自体に興味・関心があった]の回答数が最も多く、計 20 件であり、合計回答数 72 件の 28%を占めていた。[保健]においては[回答<R02>(c)自分自身の能力や技能を高めることに関心があった]の回答数が最も多く計 72 件であり、合計回答数 263 件の 27%を占めていた。

博士課程在籍者の[問 3]では、[問 1]、[問 2]で(k)その他を選択した場合の具体的な理由を自由記述で尋ねた。[問 1]、[問 2]において[回答<R10>(k)その他]を回答した場合に、[問 3]に回答する形式であるため、内容のある自由記述は日本語で 20 件、英語で 10 件であった²¹。自由記述の回答例は、参考資料 2-1 に示している。

²⁰ 篠田・松澤(2016)では本調査と異なる選択肢で、科学技術・学術政策研究所 第 1 調査研究グループ(2018)および三木(2019)では本調査と同様の選択肢で、博士課程に進学した理由を尋ねている。篠田・松澤(2016)において回答数が最も多かった回答は「研究課題に対する興味」であった。また、科学技術・学術政策研究所 第 1 調査研究グループ(2018)に示される博士人材追跡調査(JD-Pro)の 2015 年コーホートおよび三木(2019)において、回答数が最も多かった回答は「研究すること自体に興味・関心があった」である。

²¹ 博士課程在籍者向け調査票の[問 1]、[問 2]において「(k)その他」を回答しなかったケースでも[問 3]に択一式回答の補足説明を記入するなど、内容のある自由記述が回答したケースもあった。

〔問 1〕 から〔問 3〕 までは、2019 年度以降に博士後期課程学生となった方のみお答え下さい。
 (2018 年度までの方については、2018 年秋に同じ質問をお伺いしているため。)

在〔問1〕 あなたが博士課程後期（博士課程（一貫）含む。）に進学した「最も主要な理由」を、以下の選択肢から1つ選択してください。

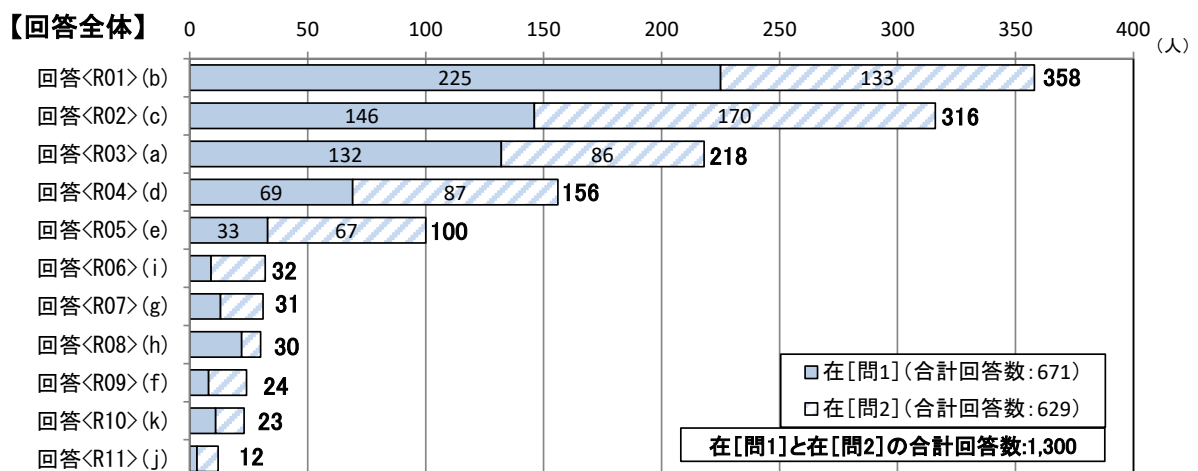
在〔問2〕 あなたが博士課程後期（博士課程（一貫）含む。）に進学した「2 番目の理由」を、以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答<R01>(b)研究すること自体に興味・関心があった
- 回答<R02>(c)自分自身の能力や技能を高めることに関心があった
- 回答<R03>(a)研究したい課題や問題意識があった
- 回答<R04>(d)大学教員や研究者になるために必要だった
- 回答<R05>(e)博士号を取れば、良い仕事や高い収入が期待できる
- 回答<R06>(i)フェローシップ等が得られた
- 回答<R07>(g)尊敬している先輩や、目標となる人が進学している
- 回答<R08>(h)雇用先で勧められた、または雇用先で学位が必要だった
- 回答<R09>(f)親や指導教員等から進学を勧められた
- 回答<R10>(k)その他（問 3 で具体的にお聞きます）
- 回答<R11>(j)学生でいたかった、または学生という身分が必要であった

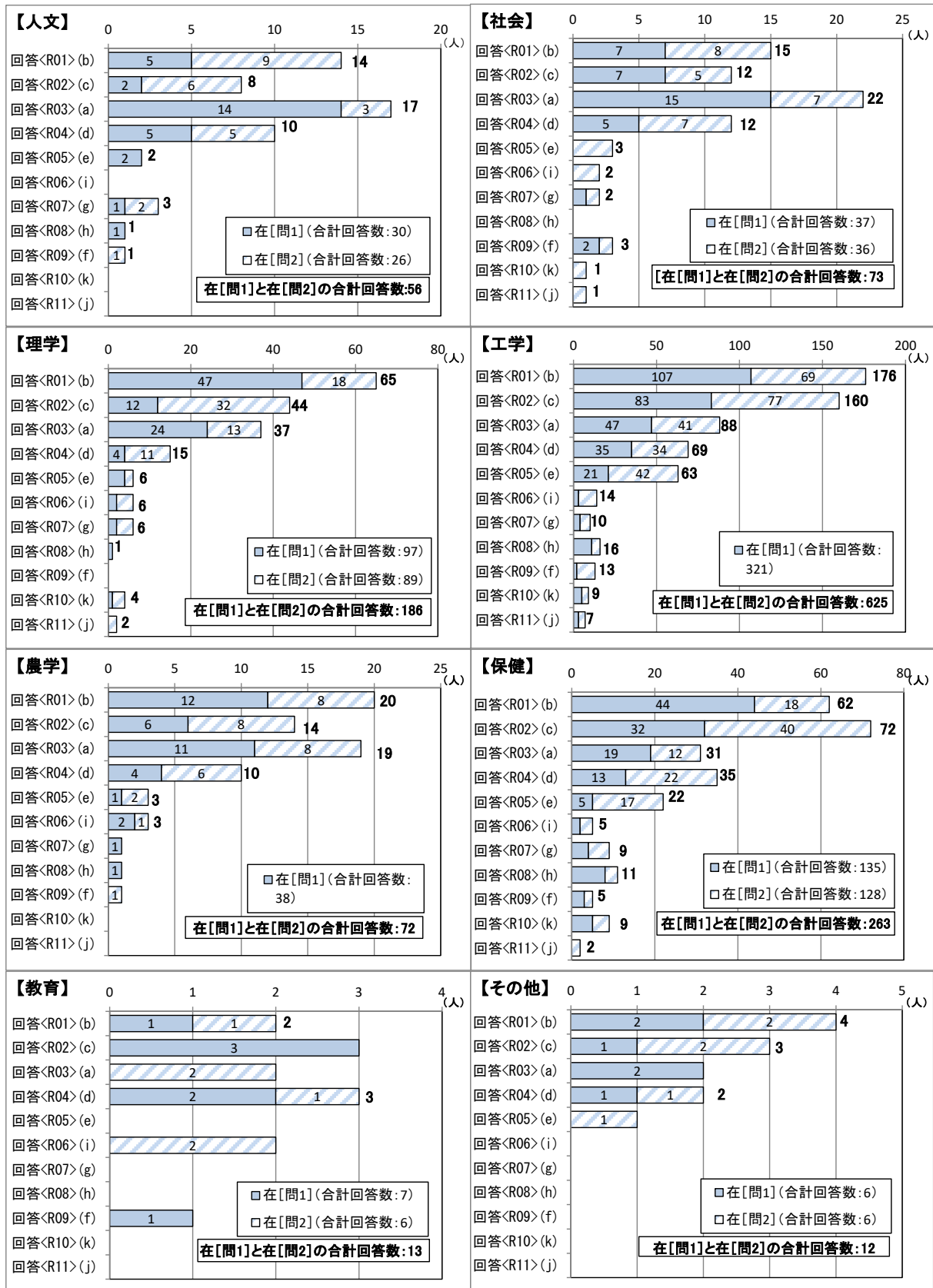
在〔問3〕 〔問1〕、〔問2〕で **(k) その他**を選択した方は、博士課程後期（博士課程（一貫）含む。）に進学した理由を具体的にお聞かせ下さい。〈該当する問番号〔問1〕又は〔問2〕記載の上、理由をご記載下さい。〉

＜回答自由記述＞

図表 2-1-1 博士課程に進学した理由に関する回答数<博士課程在籍者>



図表 2-1-2 専攻分野別：博士課程に進学した理由に関する回答数
〈博士課程在籍者〉



2-2. 博士課程修了後に希望する就職先(在[問 4]～[問 5])

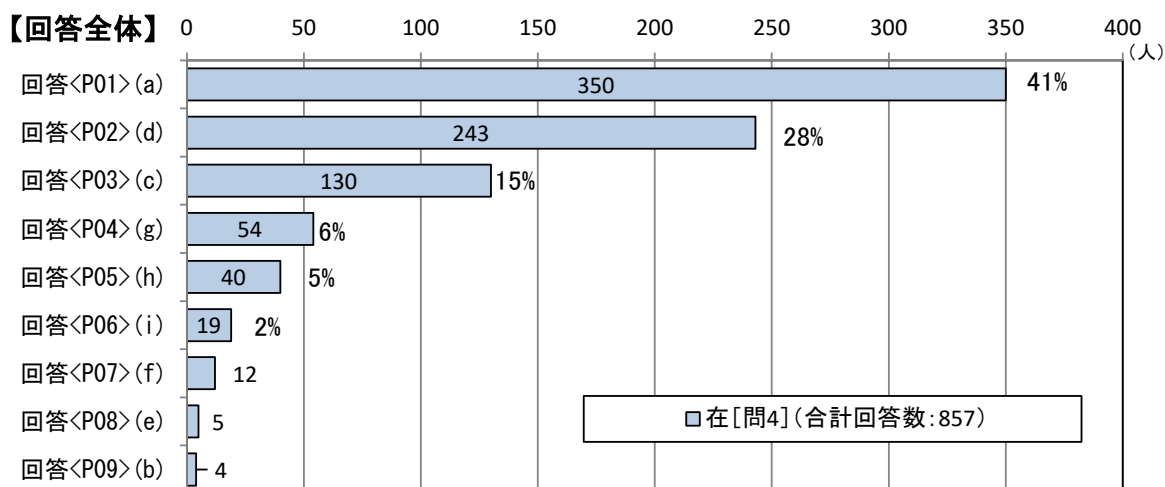
図表 2-2-1 は、博士課程在籍者の[問 4]博士課程修了後に希望する就職先(最も当てはまるもの)に関する回答数である。なお、調査票では[問 4]の回答項目を回答(a)～回答(i)の順で並べたが、ここでは、博士課程在籍者の回答数が多い順に回答の選択肢を<P01>～回答<P09>に並べ直した。図表 2-2-1 では[回答<P01>大学(短大・高専を含む)]の回答数が 350 件で最も多く、合計回答数 857 件の 41%を占めていた。次いで、[回答<P02>(d) 民間企業(自ら起業する場合を除く)]の回答数が 243 件で多く、合計回答数の 28%を占めていた。

図表 2-2-2 では[問 4]の回答数を博士課程の研究科の専攻分野別に示している。[工学]においては[回答<P02>(d) 民間企業(自ら起業する場合を除く)]の回答数が最も多く 159 件となっており、合計回答数 389 件の 41%を占めていた。また[保健]においては[回答<P01>大学(短大・高専を含む)]の 68 件(40%)に次いで「専門職(医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、弁護士、税理士等)」が 41 件(24%)となっていた。

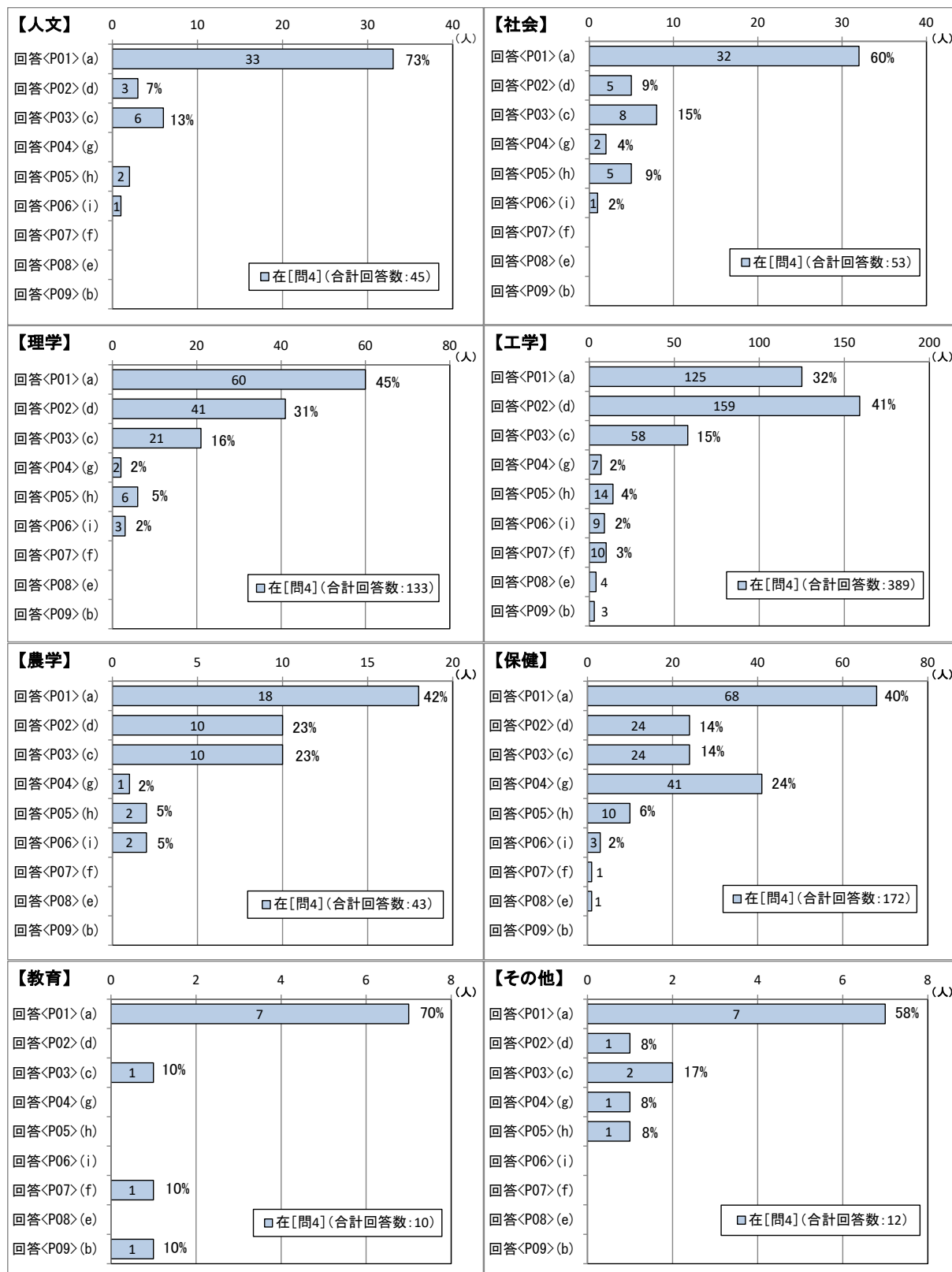
在[問 4] あなたが博士課程修了後に希望する就職先について、以下の中から最も当てはまる選択肢を 1 つ選択してください。

- 回答<P01>(a) 大学(短大・高専を含む)
- 回答<P02>(d) 民間企業(自ら起業する場合を除く)
- 回答<P03>(c) 公的機関(研究開発法人、独立行政法人、公務員等)
- 回答<P04>(g) 専門職(医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、弁護士、税理士等)
- 回答<P05>(h) 未定
- 回答<P06>(i) その他
- 回答<P07>(f) 起業
- 回答<P08>(e) 非営利団体(学校、大学、公的機関を除く)
- 回答<P09>(b) (a)以外の学校(小、中、高校など)

図表 2-2-1 博士課程修了後に希望する就職先の回答数<博士課程在籍者>



図表 2-2-2 専攻分野別：博士課程修了後に希望する就職先の回答数
〈博士課程在籍者〉



図表 2-2-3 は、博士課程在籍者の[問 5]博士課程修了後に希望する職種に関する属性別回答割合である²²。博士課程在籍者の回答全体では、[回答(a) 教育研究職(大学教員、研究職公務員、民間企業の研究従事 等)]と[回答(b) どちらかといえば教育研究職]の合計割合が66%(855 人のうち 565 人)となっていた。専攻分野別で、[回答(a) 教育研究職(大学教員、研究職公務員、民間企業の研究従事 等)]と[回答(b) どちらかといえば教育研究職]の合計割合が最も低かったのは[工学]の 61%(388 人のうち 235 人)であった。

在 [問5] あなたが博士課程修了後に希望する職種について、以下の選択肢から最もあてはまるものの一つ選択してください。〈なお、「教育研究職」とは大学、高校等の教員、研究職公務員、民間企業の研究従事等を、「非教育研究職」とは主に教育研究以外の仕事に従事する者で、専門・技術職、事務職、営業等を示すものとします。〉

回答(a) 教育研究職(大学教員、研究職公務員、民間企業の研究従事等)

回答(b) どちらかといえば教育研究職

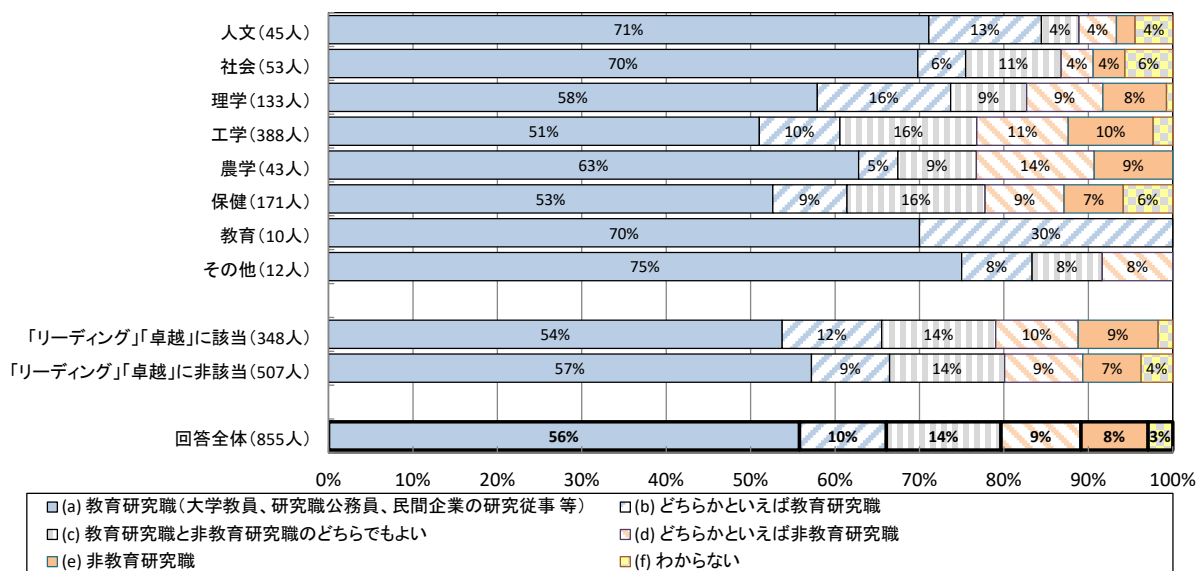
回答(c) 教育研究職と非教育研究職のどちらでもよい

回答(d) どちらかといえば非教育研究職

回答(e) 非教育研究職

回答(f) わからない

図表 2-2-3 博士課程修了後に希望する職種の回答割合<博士課程在籍者>



²² 三木(2019)においても、博士課程修了後に希望する職種を尋ねているが、回答の選択肢は本調査とは異なり、「教育研究職(大学教員、民間企業の研究従事等)」「専門職(医師、薬剤師、弁護士等)」「非教育研究職(事務、営業等。専門職を除く)」「教育研究職、専門職、非教育研究職のどれでも良い」「わからない」となっている。

2-3. 博士課程で身につけたい能力(在[問 6]～[問 8])

図表 2-3-1 は、博士課程在籍者の[問 6]～[問 8]就職後を見据えて、博士課程教育において身につけたい能力の 1 番目、2 番目、3 番目に関する回答数である²³。なお、調査票では回答(a)～回答(r)の順で回答項目を並べたが、本稿(本編)では図表の分かりやすさを考慮して、博士課程在籍者の回答数が多い順に回答の選択肢を<S01>～回答<S99>に並べ直した。

図表 2-3-1 において、[回答<S01>(b)専門知識・専門能力]の回答数が最も多く、[問 6]では 348 件、[問 7]では 178 件、[問 8]では 84 件の合計 610 件となっていた。これは[問 6]～[問 8]の合計回答数 2,553 件の 25%を占めていた。次いで[回答<S02>(a)研究遂行能力]、[回答<S03>(f)業務遂行能力]の回答数が多くなっていた。

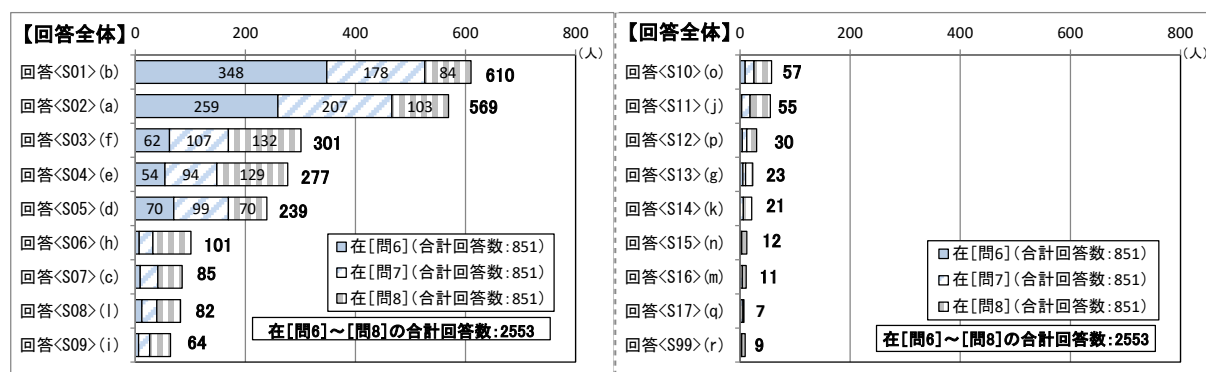
在[問 6] あなたが就職後を見据えて、博士課程教育において「最も身につけたい能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

在[問 7] あなたが就職後を見据えて、博士課程教育において「2 番目に身につけたい能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

在[問 8] あなたが就職後を見据えて、博士課程教育において「3 番目に身につけたい能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

回答<S01>(b)専門知識・専門能力	回答<S02>(a)研究遂行能力
回答<S03>(f)業務遂行能力	回答<S04>(e)問題設定力
回答<S05>(d)問題解決力	回答<S06>(h)論理的思考力
回答<S07>(c)判断力	回答<S08>(l)語学力
回答<S09>(i)プレゼンテーション力	回答<S10>(o)コミュニケーション力
回答<S11>(j)意欲・向上心	回答<S12>(p)創造性
回答<S13>(g)協調性	回答<S14>(k)一般教養・知識
回答<S15>(n)マネジメント力	回答<S16>(m)リーダーシップ
回答<S17>(q)その他	回答<S99>(r)なし

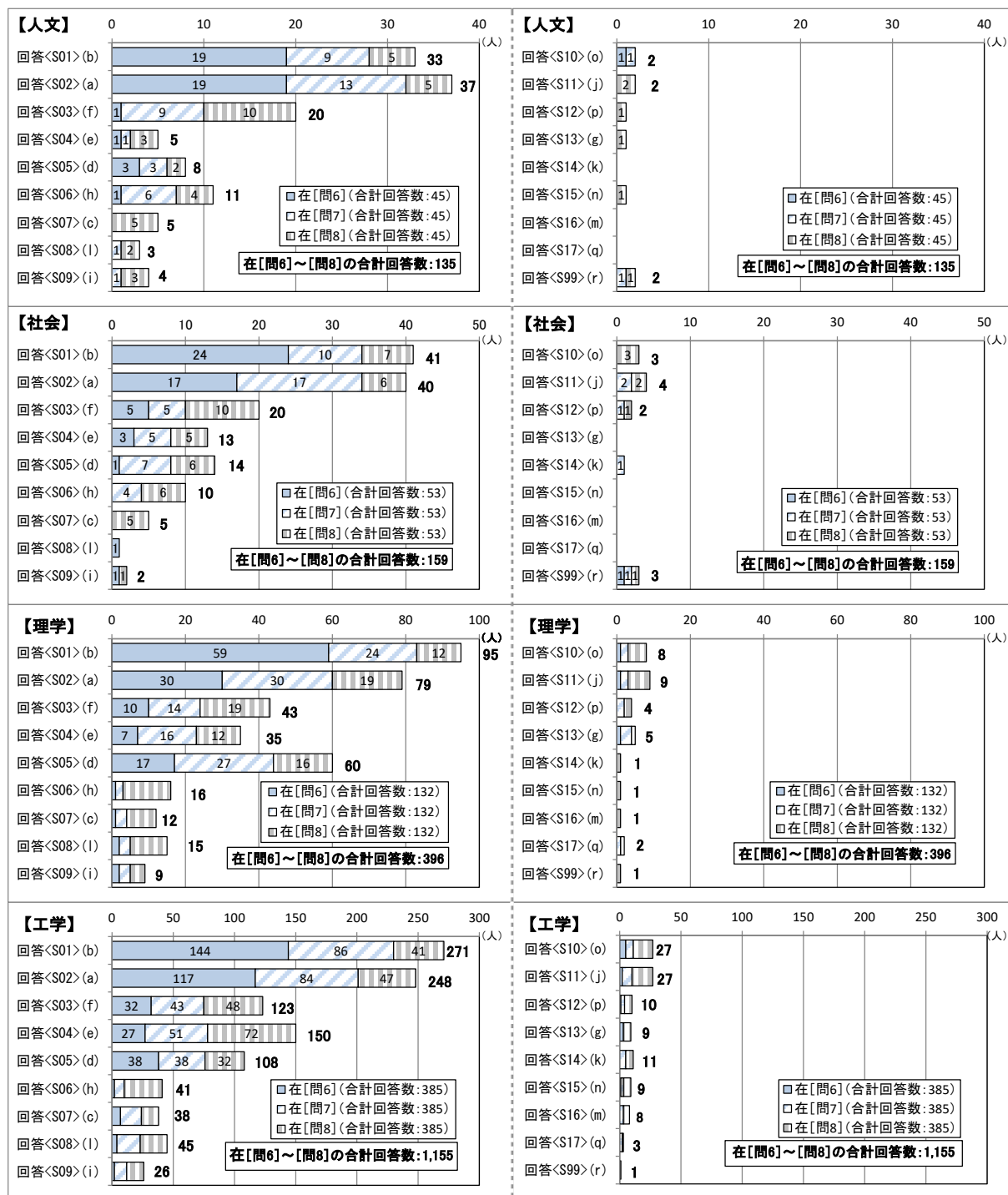
図表 2-3-1 博士課程で身につけたい能力の回答数<博士課程在籍者>



²³ 篠田・松澤(2016)および三木(2019)においても、本調査と同様の選択肢で「博士課程で身につけたい能力」を尋ねていた。各調査において回答数の 1 位は「研究遂行能力」、2 位は「専門知識・専門能力」であった。

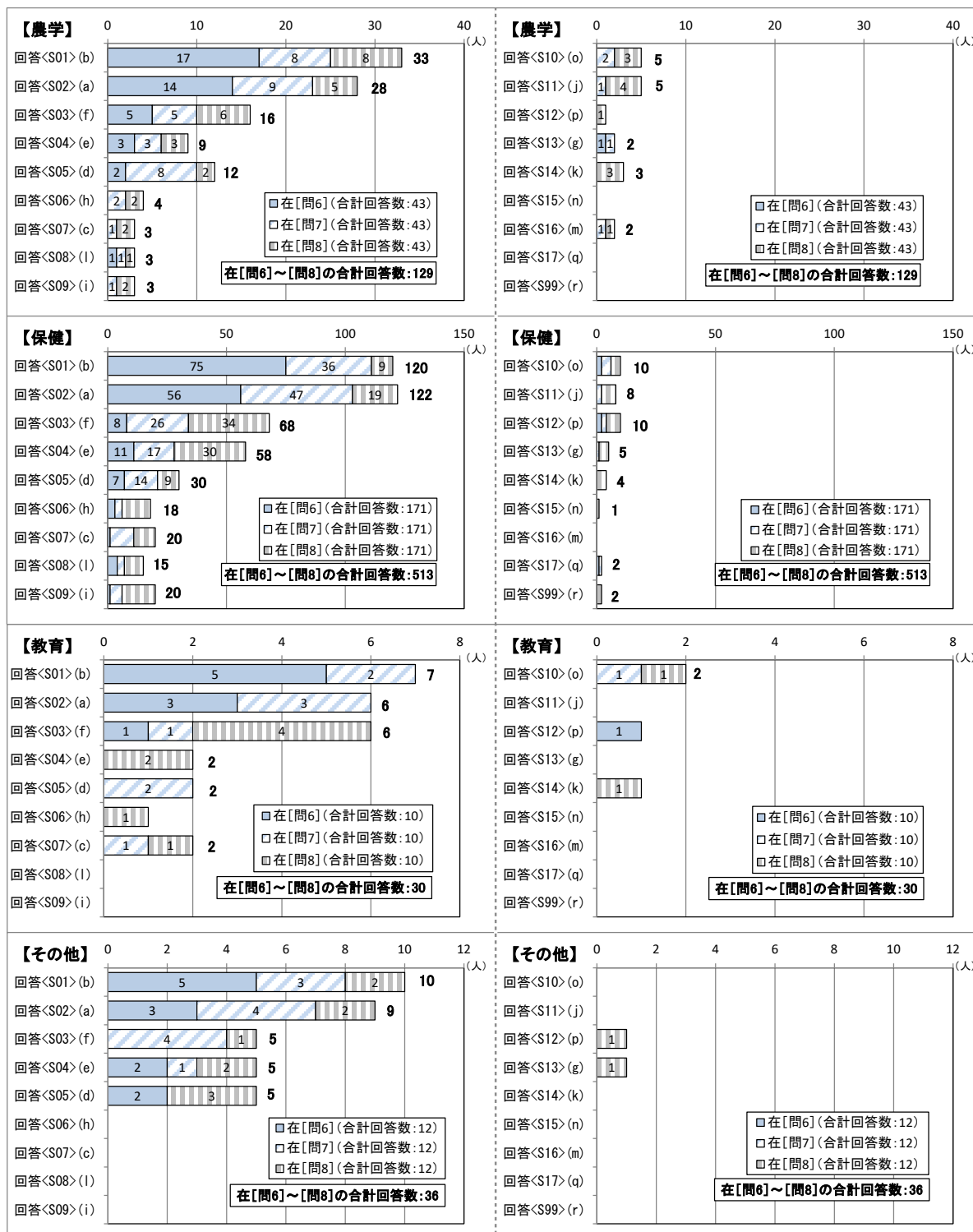
図表 2-3-2 は、専攻分野[人文][社会][理学][工学]の博士課程在籍者の[問6]～[問8]の身につけたい能力の1番目、2番目、3番目に関する回答数を示している。専攻分野[人文]においては[回答<S02>(a)研究遂行能力]の回答割合が、専攻分野[理学]においては[回答<S05>(d)問題解決力]の回答割合が、回答全体に比べて高くなっている。

図表 2-3-2 属性別：博士課程で身につけたい能力の回答数<博士課程在籍者(1)>



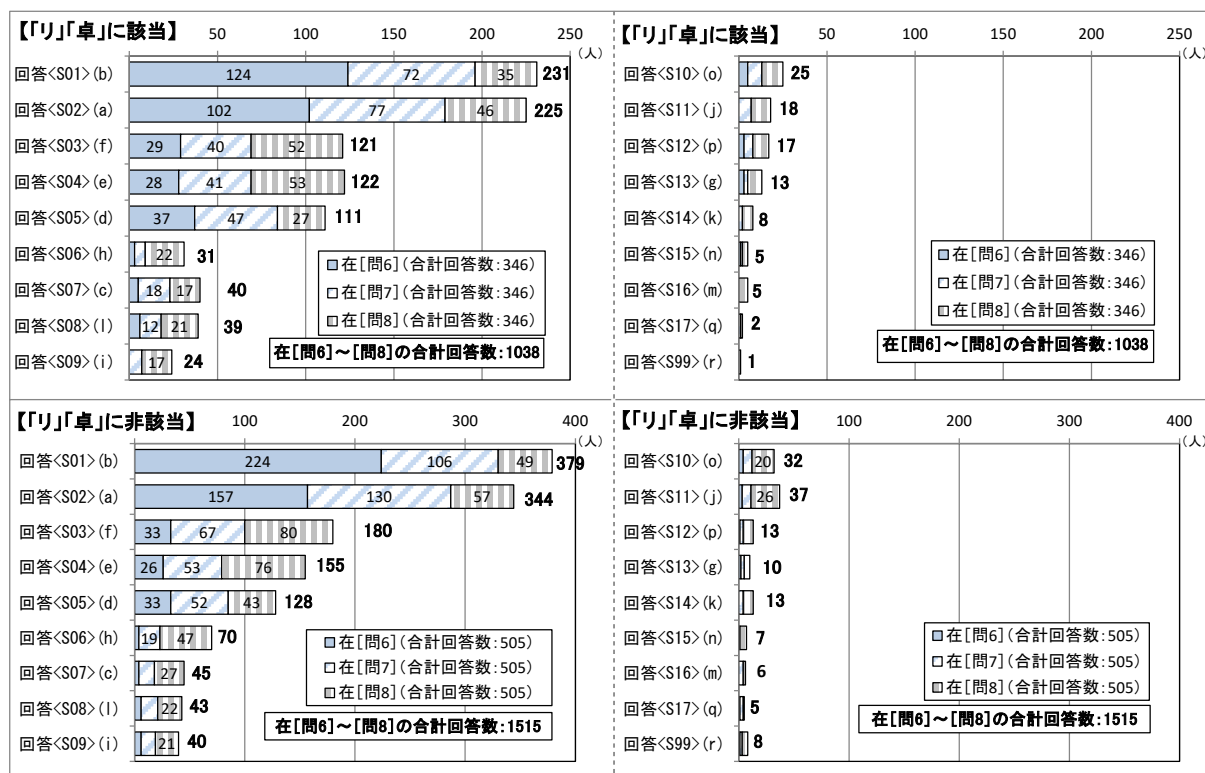
図表 2-3-3 は、専攻分野[農学][保健][教育][その他]の博士課程在籍者の[問6]～[問8]の身につけたい能力の1番目、2番目、3番目に関する回答数を示している。専攻分野[保健]においては[回答<S02>(a)研究遂行能力]の回答割合が、回答全体に比べて高くなっている。

図表 2-3-3 属性別：博士課程で身につけたい能力の回答数(博士課程在籍者(2))



図表 2-3-4 は、「リーディング」「卓越」の博士課程教育関連プログラムの該当有無]によって区別して、博士課程在籍者の[問 6]～[問 8]の身につけたい能力の 1 番目、2 番目、3 番目に関する回答数を示している。「リーディング」「卓越」の該当者]においては[回答<S05>(d)問題解決力]の回答割合が、回答全体に比べて高くなっている。

図表 2-3-4 属性別：博士課程で身につけたい能力の回答数<博士課程在籍者(3)>



2-4. 博士課程の専門分野に関する満足度(在[問 9]～[問 17])

博士課程在籍者向け調査票の[問 9]～[問 17]では「博士課程の専門分野に関する満足度」を尋ねた。²⁴ [問 9]～[問 16]では択一式の質問として、**博士課程プログラム(専門分野)**における

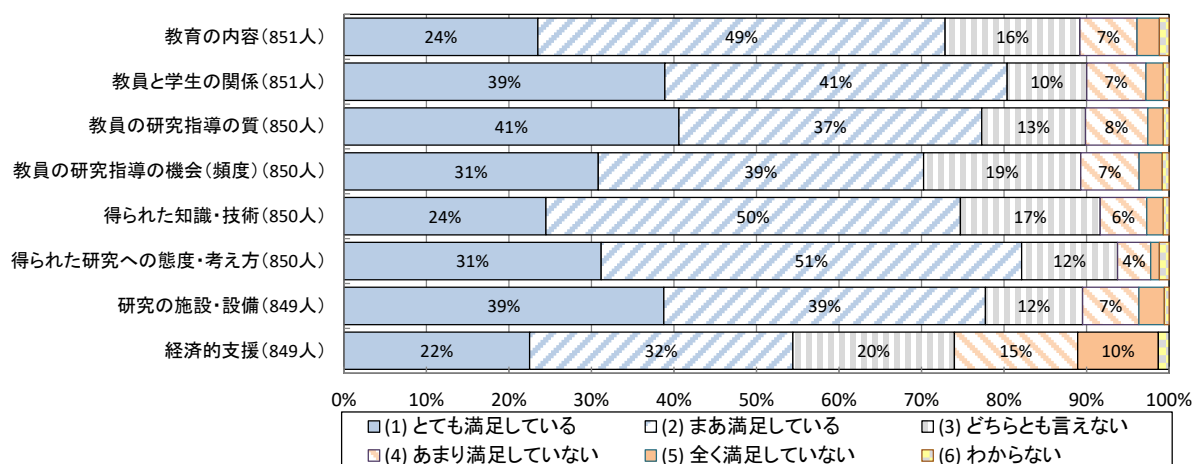
在 [問 9]	<u>教育の内容</u>
在 [問 10]	<u>教員と学生の関係</u>
在 [問 11]	<u>教員の研究指導の質</u>
在 [問 12]	<u>教員の研究指導の機会(頻度)</u>
在 [問 13]	<u>得られた知識・技術</u>
在 [問 14]	<u>得られた研究への態度・考え方</u>
在 [問 15]	<u>研究の施設・設備</u>
在 [問 16]	<u>経済的支援</u>

の満足度を下記の回答選択肢で尋ねた。

回答(1) とても満足している	回答(2) まあ満足している	回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない	回答(5) 全く満足していない	回答(6) わからない

図表 2-4-1 は博士課程在籍者の[問 9]～[問 16]に関する回答割合である。**[回答(1) とても満足している]**と**[回答(2) まあ満足している]**の合計割合が最も高かったのは**[問 14]得られた研究への態度・考え方**の 82%(850 人のうち 698 人)であった。一方、**[回答(1) とても満足している]**と**[回答(2) まあ満足している]**の合計割合が最も低かったのは**[問 16]経済的支援**の 54%(849 人のうち 462 人)であった。

図表 2-4-1 博士課程の専門分野に関する各満足度の回答割合<博士課程在籍者>



²⁴ 篠田・松澤(2016)において「博士課程プログラムの印象」を10種の側面で調査しているが、回答の選択肢は「とても良い」「まあ良い」「どちらともいえない」「あまり良くない」「全く良くない」「分からない」と本調査と異なる。

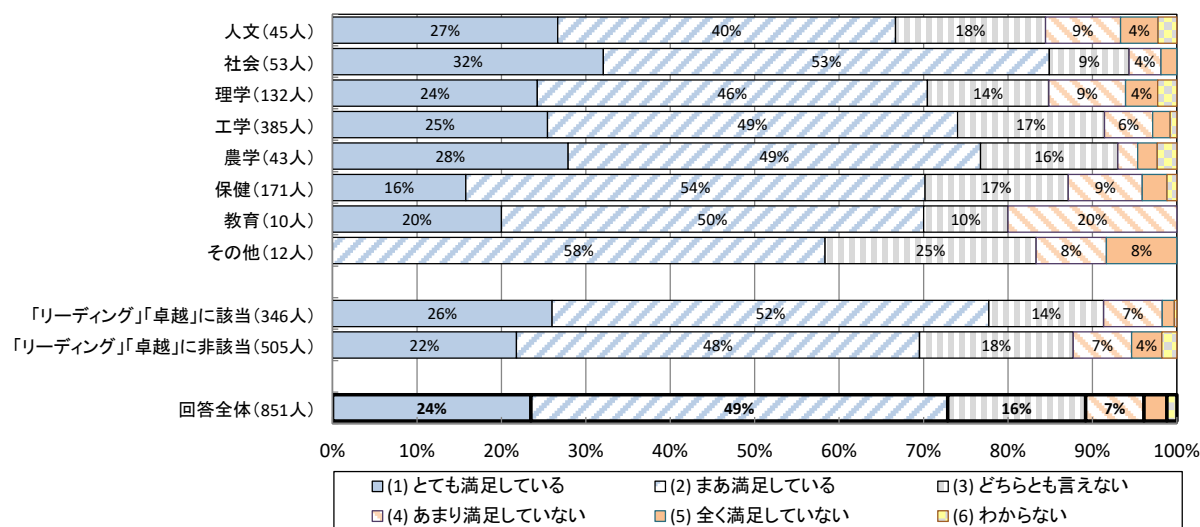
図表 2-4-2 は、博士課程在籍者の[問 9]博士課程プログラム(専門分野)における教育の内容についての満足度に関する属性別回答割合である。博士課程在籍者の回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 73%(851 人のうち 620 人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[社会]の 85%(53 人のうち 45 人)であった。

〈[問 9] から [問 17] までは、あなたが在籍中に受講した(受講している)博士課程プログラム(専門分野)に関するものです。〉

在 [問9] 博士課程プログラム(専門分野)における教育の内容について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-4-2 属性別：在[問 9：専門分野]における教育の内容の満足度
〈博士課程在籍者〉

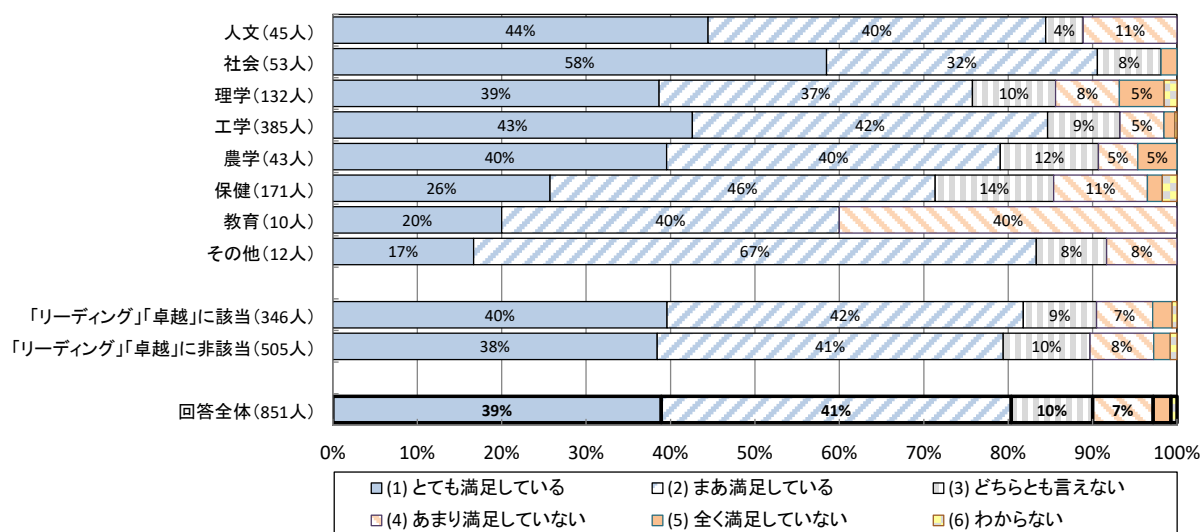


図表 2-4-3 は、博士課程在籍者の[問 10]博士課程プログラム(専門分野)における教員と学生の関係についての満足度に関する属性別回答割合である。博士課程在籍者の回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 80%(851 人のうち 684 人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[社会]の 91%(53 人のうち 48 人)であった。

在 [問10] 博士課程プログラム(専門分野)における教員と学生の関係について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-4-3 属性別：在[問 10:専門分野における教員と学生の関係]の満足度
〈博士課程在籍者〉

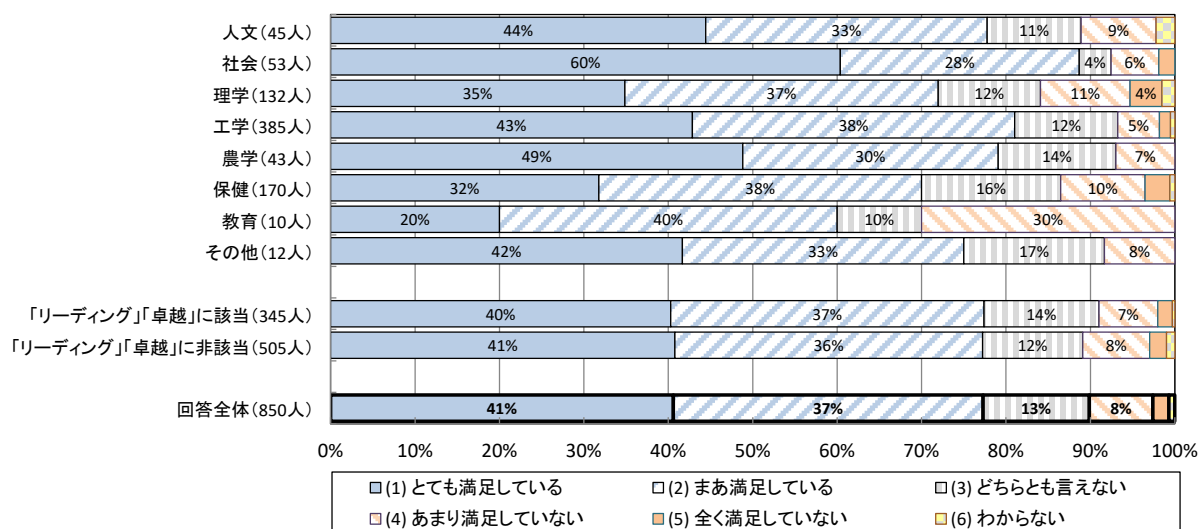


図表 2-4-4 は、博士課程在籍者の[問 11]博士課程プログラム(専門分野)における教員の研究指導の質についての満足度に関する属性別回答割合である。博士課程在籍者の回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 77%(850 人のうち 657 人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[社会]の 89%(53 人のうち 47 人)であった。

在 [問11] 博士課程プログラム(専門分野)における教員の研究指導の質について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-4-4 属性別：在[問 11:専門分野における教員の研究指導の質]の満足度
〈博士課程在籍者〉

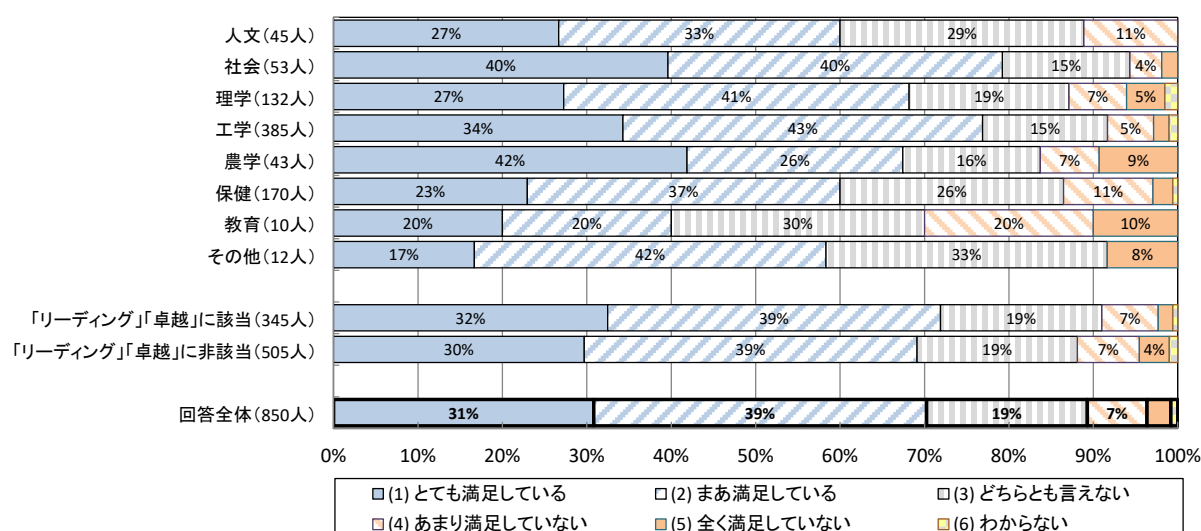


図表 2-4-5 は、博士課程在籍者の[問 12]博士課程プログラム(専門分野)における教員の研究指導の機会(頻度)についての満足度に関する属性別回答割合である。博士課程在籍者の回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 70%(850 人のうち 597 人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[社会]の 79%(53 人のうち 42 人)であった。

在 [問12] 博士課程プログラム(専門分野)における教員の研究指導の機会(頻度)について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-4-5 属性別：在[問 12:専門分野における教員の研究指導の機会(頻度)]の満足度〈博士課程在籍者〉

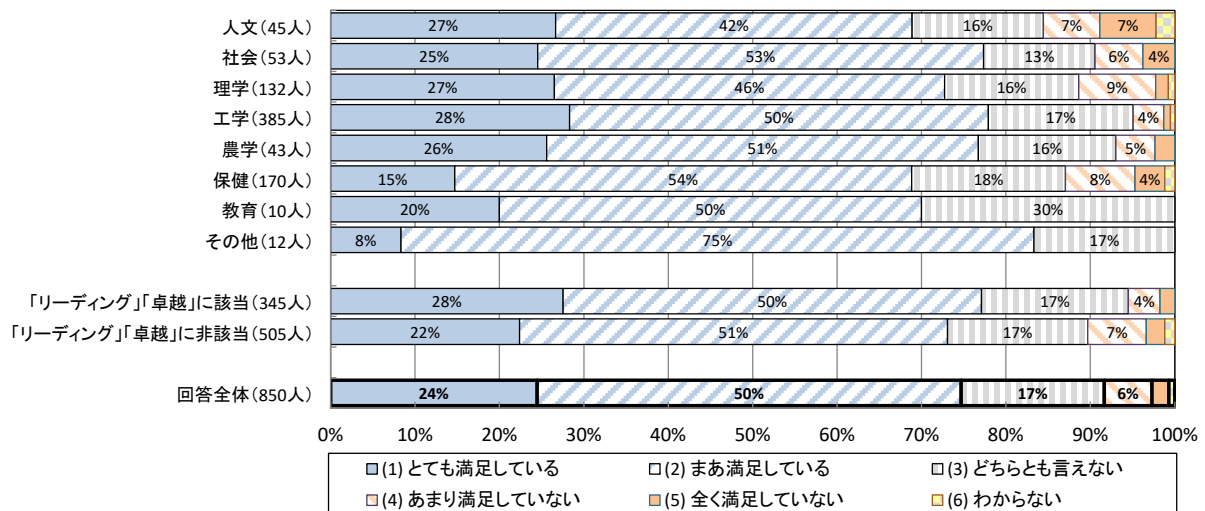


図表 2-4-6 は、博士課程在籍者の[問 13]博士課程プログラム(専門分野)で得られた知識・技術についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 75%(850 人のうち 635 人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[保健]の 69%(170 人のうち 117 人)であった。

在 [問13] 博士課程プログラム(専門分野)で得られた知識・技術について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-4-6 属性別：在[問 13:専門分野で得られた知識・技術]の満足度
〈博士課程在籍者〉

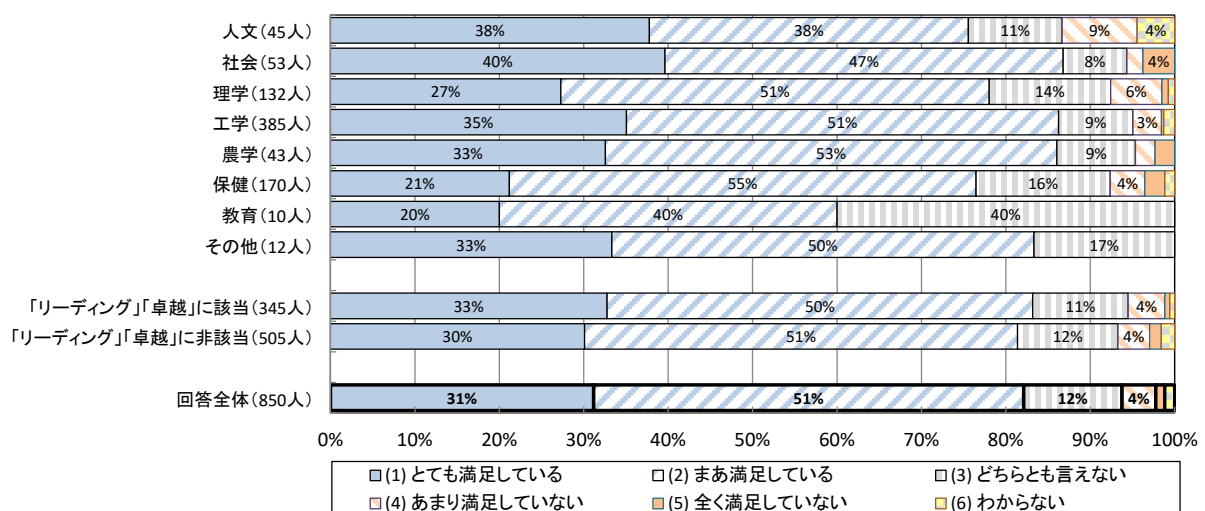


図表 2-4-7 は、博士課程在籍者の[問 14]博士課程プログラム(専門分野)で得られた研究への態度・考え方についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が82%(850人のうち698人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[社会]の87%(53人のうち46人)であった。

在[問14] 博士課程プログラム(専門分野)で得られた研究への態度・考え方について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-4-7 属性別：在[問 14:専門分野で得られた研究への態度・考え方]の満足度〈博士課程在籍者〉

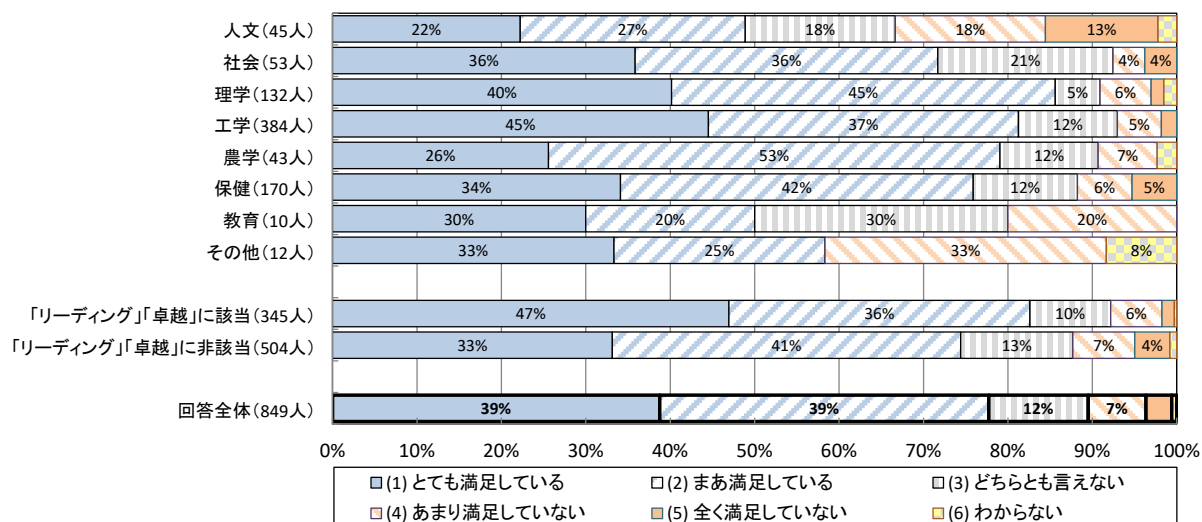


図表 2-4-8 は、博士課程在籍者の[問 15]博士課程プログラム(専門分野)における研究の施設・設備についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体は、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 78%(849 人のうち 660 人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[理学]の 86%(132 人のうち 113 人)であった。

在 [問15] 博士課程プログラム (専門分野) における研究の施設・設備について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-4-8 属性別：在[問 15:専門分野]における研究の施設・設備]の満足度<博士課程在籍者>

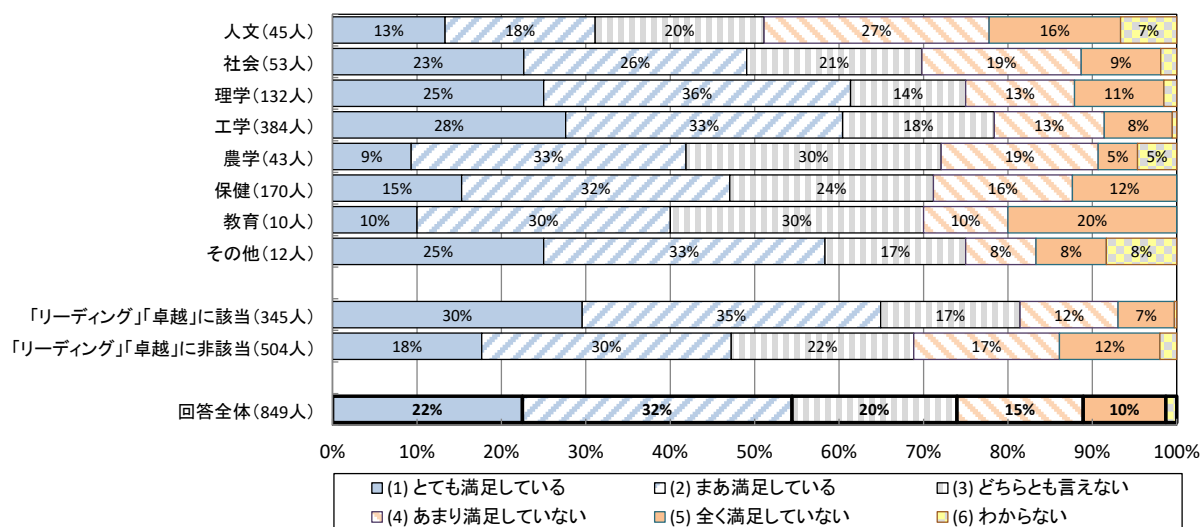


図表 2-4-9 は、博士課程在籍者の[問 16]博士課程プログラム(専門分野)における経済的支援についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 54%(849 人のうち 462 人)となっていた。²⁵[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、[「リーディング」「卓越」に該当]においては 65%(345 人のうち 224 人)である一方で、[「リーディング」「卓越」に非該当]においては 47%(504 人のうち 238 人)であった。博士課程在籍者の経済的支援に関する満足度において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」「卓越」の該当の有無によって、有意な差があった²⁶。

在[問 16] 博士課程プログラム(専門分野)における経済的支援について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-4-9 属性別：在[問 16:専門分野における経済的支援]の満足度
〈博士課程在籍者〉



²⁵ 篠田・松澤(2016)では、JGRADの登録者に対して「全般的な博士課程プログラムの質」を含めて10の側面で「博士課程プログラムの印象」をアンケートで尋ねていた。その一つの側面として「経済的支援の額」を尋ねており、博士課程在籍者の回答において、「とても良い」は21.3%、「まあ良い」は30.7%であった。

²⁶ [「リーディング」「卓越」に該当]と[「リーディング」「卓越」に非該当]の二群において、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合とそれ以外の回答の合計割合によって母比率の差の検定を行ったところz値は6.09となり、両側0.01%水準においても母比率が等しいという帰無仮説を棄却できる。

博士課程在籍者向け調査票の[問17]では博士課程プログラム(専門分野)に関して特に満足した点、満足していない(不満に思う)点に関する自由記述の記入を依頼した。[問17]の回答として、内容のある自由記述は日本語で206件、英語で22件であった。図表2-4-10は、博士課程在籍者の[問17]の日本語自由記述における頻出用語である。自由記述の回答例は、参考資料2-1に示している。

在[問17] 上記の博士課程プログラム(専門分野)に関する[問9] から[問16] について、あなたが特に満足した点、満足していない(不満に思う) 点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

〈[問9] 教育の内容 [問10] 教員と学生の関係 [問11] 教員の研究指導の質 [問12] 教員の研究指導の機会(頻度) [問13] 得られた知識・技術 [問14] 得られた研究への態度・考え方 [問15] 研究の施設・設備 [問16] 経済的支援〉

〈回答自由記述〉

図表 2-4-10 在[問 17]の頻出用語<博士課程在籍者>

抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数
研究	258	博士	86	感じる	46	論文	30
経済	96	学生	82	思う	43	プログラム	29
支援	95	課程	72	生活	34	教育	28
教員	92	満足	54	少ない	31	機会	27
指導	91	大学	47	必要	30	考える	26

2-5. 博士課程の専門分野以外に関する満足度（在〔問 18〕～〔問 23〕）

博士課程在籍者向け調査票の〔問18〕～〔問23〕では「博士課程の専門分野以外に関する満足度」を尋ねた。〔問18〕～〔問22〕では択一式の質問として、博士課程プログラム（専門分野以外）における

- 在〔問 18〕 インターンシップ
- 在〔問 19〕 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育
- 在〔問 20〕 語学（外国語）プログラム
- 在〔問 21〕 専門分野外の教養科目
- 在〔問 22〕 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）

の満足度を下記の回答選択肢で尋ねた。

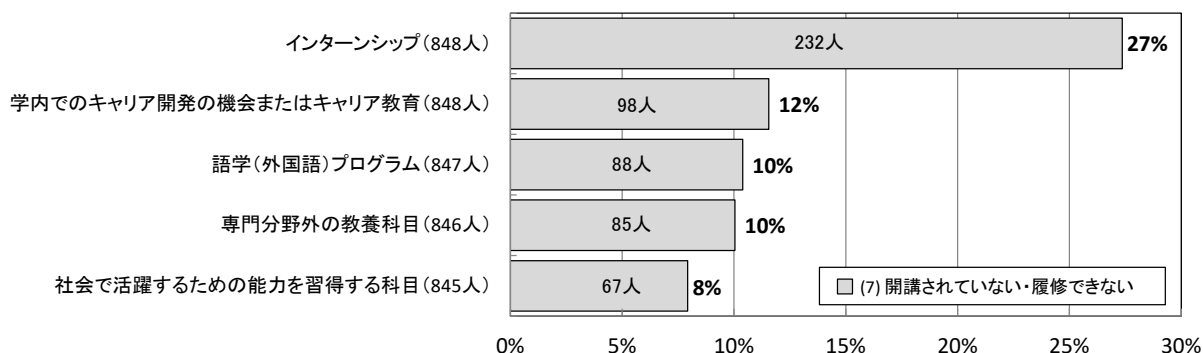
- | | | |
|-----------------------|-----------------|-----------------|
| 回答(1) とても満足している | 回答(2) まあ満足している | 回答(3) どちらとも言えない |
| 回答(4) あまり満足していない | 回答(5) 全く満足していない | 回答(6) わからない |
| 回答(7) 開講されていない・履修できない | | |

図表2-5-1は博士課程在籍者の〔問18〕～〔問22〕における[回答(7) 開講されていない・履修できない]の回答割合である²⁷。[回答(7) 開講されていない・履修できない]の割合が最も高かったのは、〔問18〕インターンシップの27%であった。一方で、[回答(7) 開講されていない・履修できない]の割合が最も低かったのは、〔問22〕社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）の27%であった。

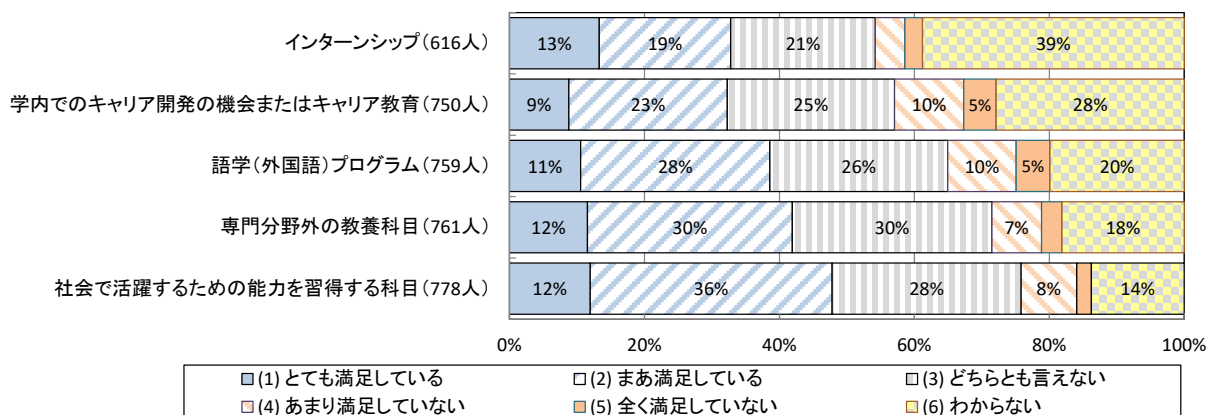
図表2-5-2は博士課程在籍者の〔問18〕～〔問22〕における回答(1)～(6)の割合である。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは〔問22〕社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）の48%（778人のうち372人）であった。

²⁷ 博士課程在籍者向けの調査票において、〔問 22〕は『社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）』と記載していたが、図表 2-5-1 および図表 2-5-2 では、『社会で活躍するための能力を習得する科目』と簡略化して記載している。

図表 2-5-1 博士課程の専門分野以外に関する各満足度における回答(7)の割合
〈博士課程在籍者〉



図表 2-5-2 博士課程の専門分野以外に関する各満足度の回答割合
〈博士課程在籍者(回答(7)を除く)〉



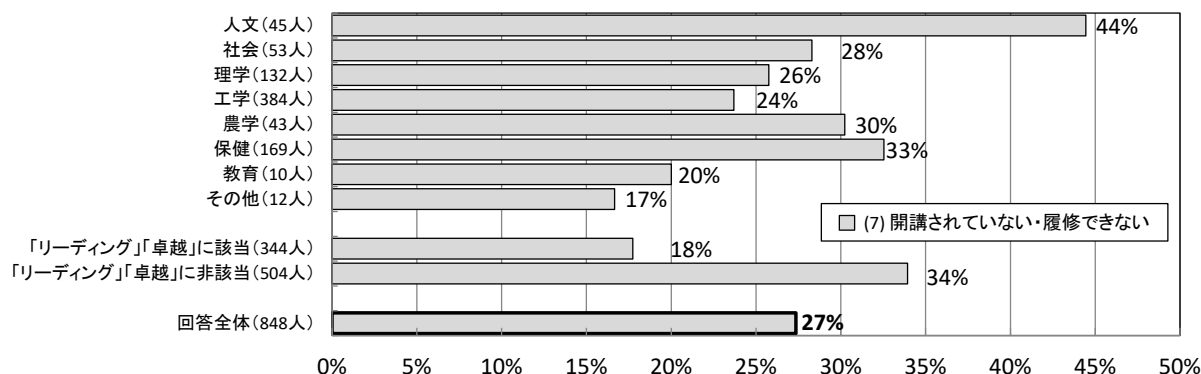
図表 2-5-3 および図表 2-5-4 は、博士課程在籍者の[問 18] **インターンシップ**についての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の回答者の属性別割合である。図表 2-5-3 が示すように、回答全体で[問 18]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、27%(848 人のうち 232 人)であった。また、図表 2-5-4 が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 33%(616 人のうち 202 人)となっていた。

〈 [問18] から [問23] までは、博士課程プログラム（専門分野以外の高度な教養の獲得や職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等）に関するものです。〉

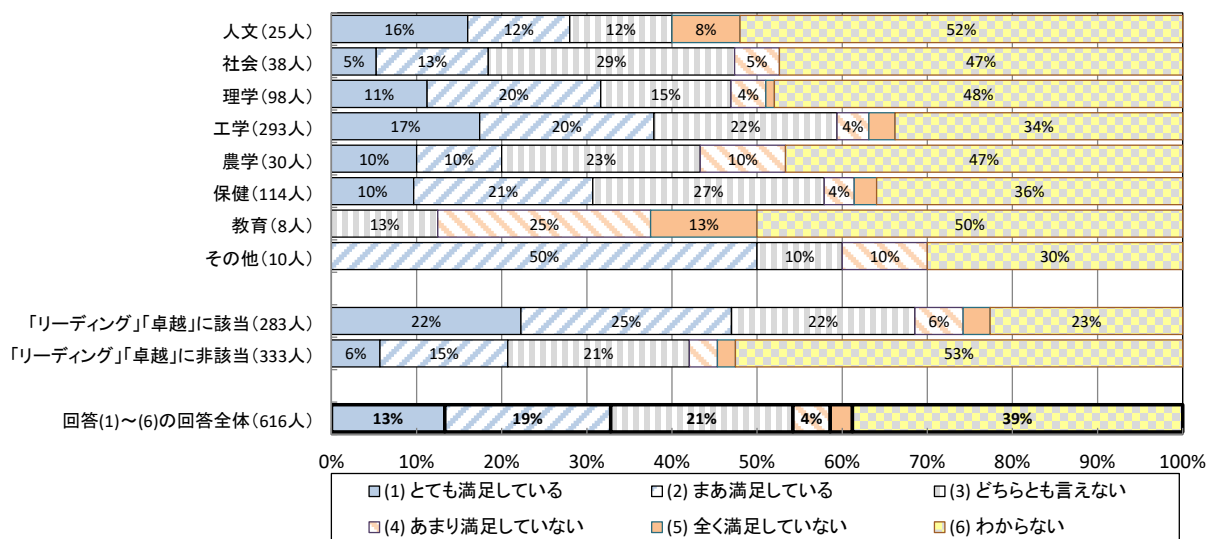
在 [問18] **インターンシップ**について、あなたはどれくらい満足していますか。

- | | | |
|-----------------------|-----------------|-----------------|
| 回答(1) とても満足している | 回答(2) まあ満足している | 回答(3) どちらとも言えない |
| 回答(4) あまり満足していない | 回答(5) 全く満足していない | 回答(6) わからない |
| 回答(7) 開講されていない・履修できない | | |

図表 2-5-3 属性別：在[問 18]における回答(7)の割合<博士課程在籍者>



図表 2-5-4 属性別：在[問 18]の満足度<博士課程在籍者(回答(7)を除く)>

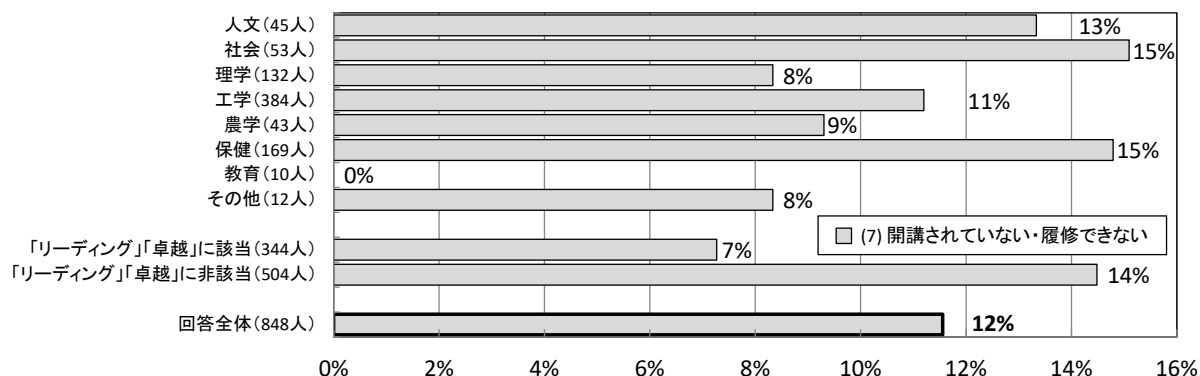


図表 2-5-5 および図表 2-5-6 は、博士課程在籍者の[問 18]学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育についての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の割合である。図表 2-5-5 が示すように、回答全体で[問 18]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、12%(848 人のうち 98 人)であった。また、図表 2-5-6 が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 32%(750 人のうち 242 人)となっていた。

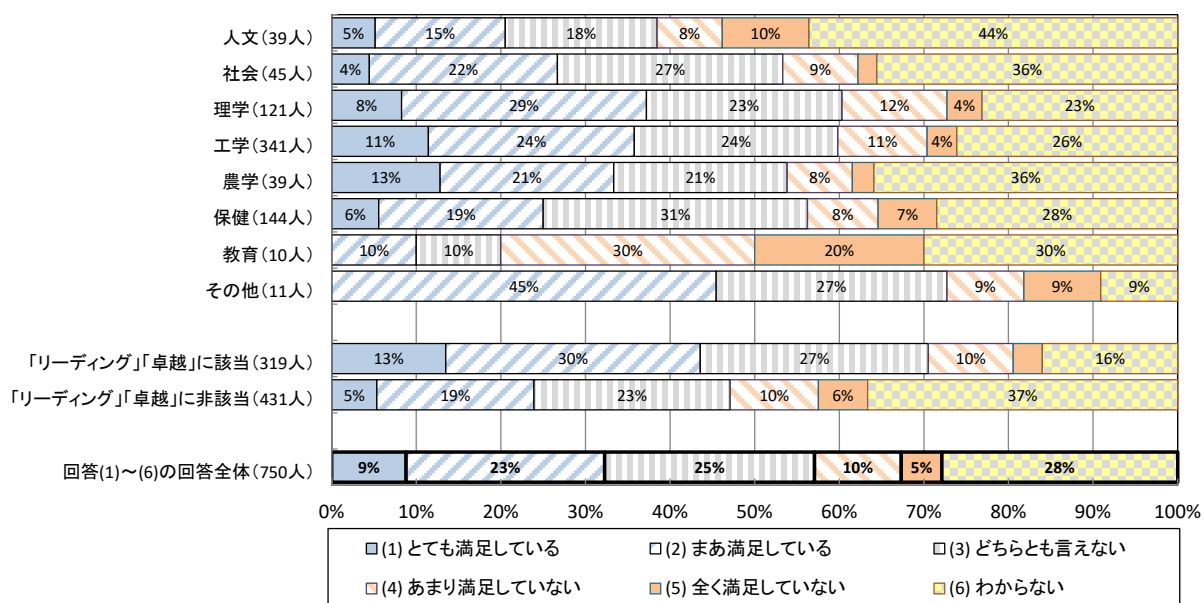
在 [問19] 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表 2-5-5 属性別：在[問 19]における回答(7)の割合<博士課程在籍者>



図表 2-5-6 属性別：在[問 19]の満足度<博士課程在籍者(回答(7)を除く)>

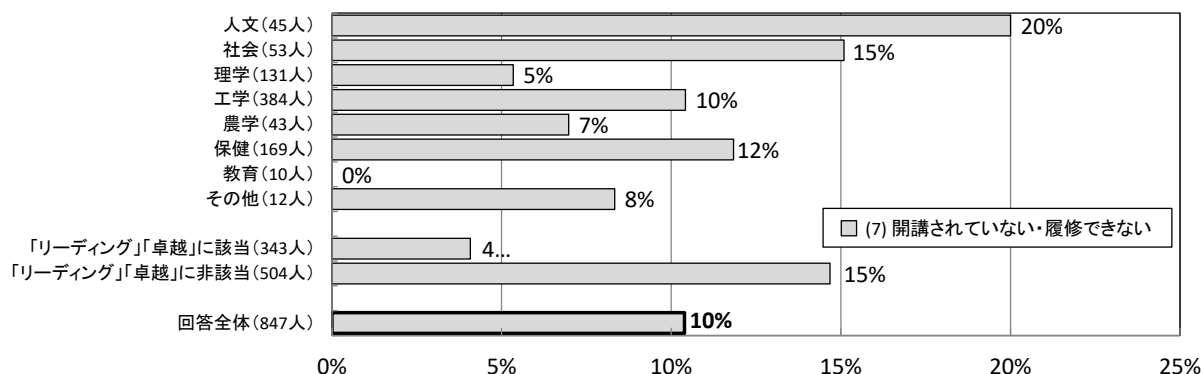


図表 2-5-7 および図表 2-5-8 は、博士課程在籍者の[問 20]語学(外国語)プログラムについての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の割合である。図表 2-5-7 が示すように、回答全体で[問 20]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、10%(847 人のうち 88 人)であった。また、図表 2-5-8 が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 39%(759 人のうち 293 人)となっていた。

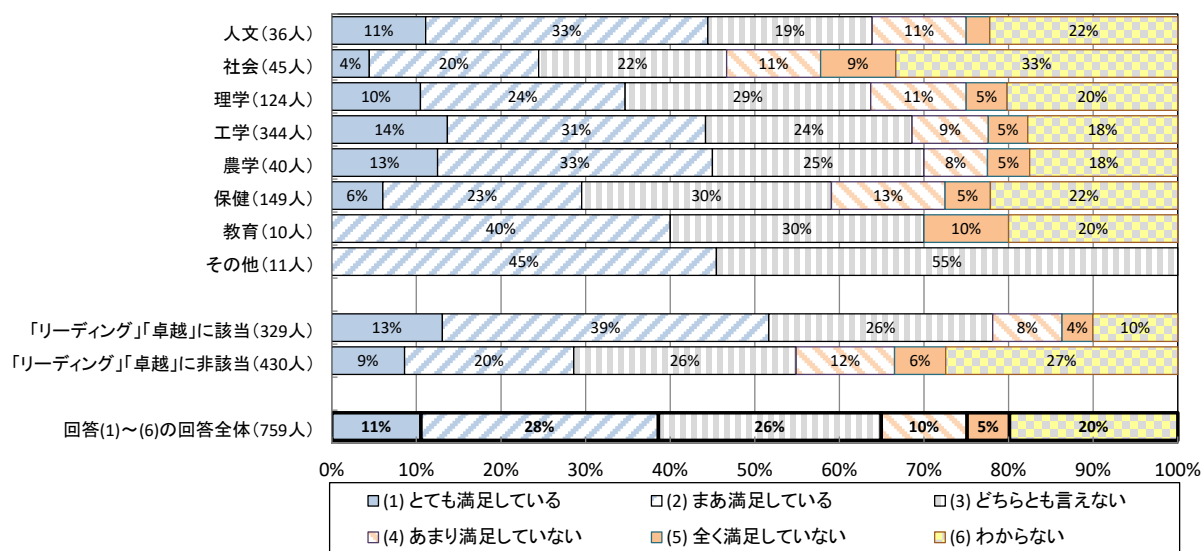
在 [問20] 語学 (外国語) プログラムについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表 2-5-7 属性別：在[問 20]における回答(7)の割合<博士課程在籍者>



図表 2-5-8 属性別：在[問 20]の満足度<博士課程在籍者(回答(7)を除く)>

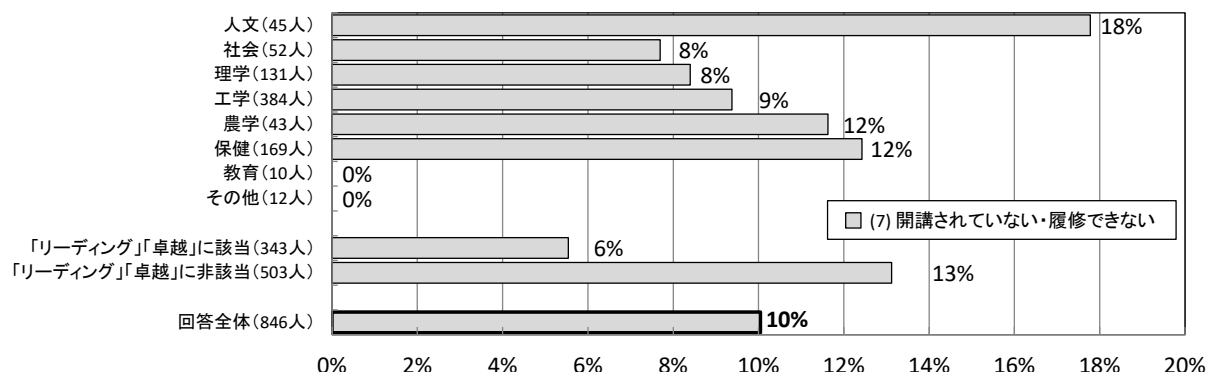


図表 2-5-9 および図表 2-5-10 は、博士課程在籍者の[問 21]専門分野外の教養科目についての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の割合である。図表 2-5-9 が示すように、回答全体で[問 21]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、10%(846 人のうち 85 人)であった。また、図表 2-5-10 が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 42%(761 人のうち 319 人)となっていた。

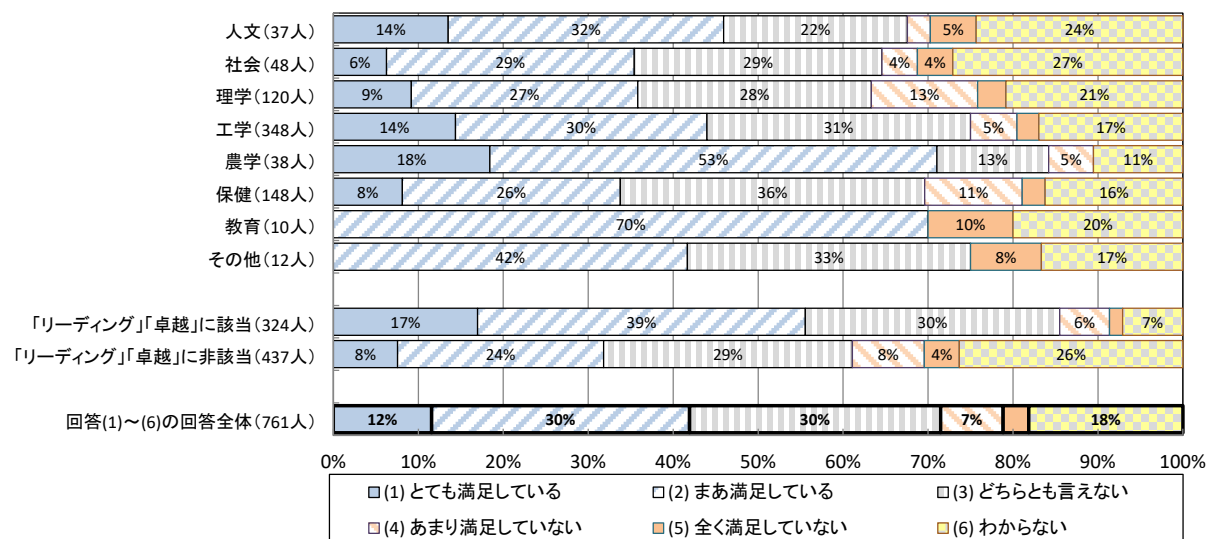
在 [問21] 専門分野外の教養科目について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表 2-5-9 属性別：在[問 21]における回答(7)の割合〈博士課程在籍者〉



図表 2-5-10 属性別：在[問 21]の満足度〈博士課程在籍者（回答(7)を除く）〉

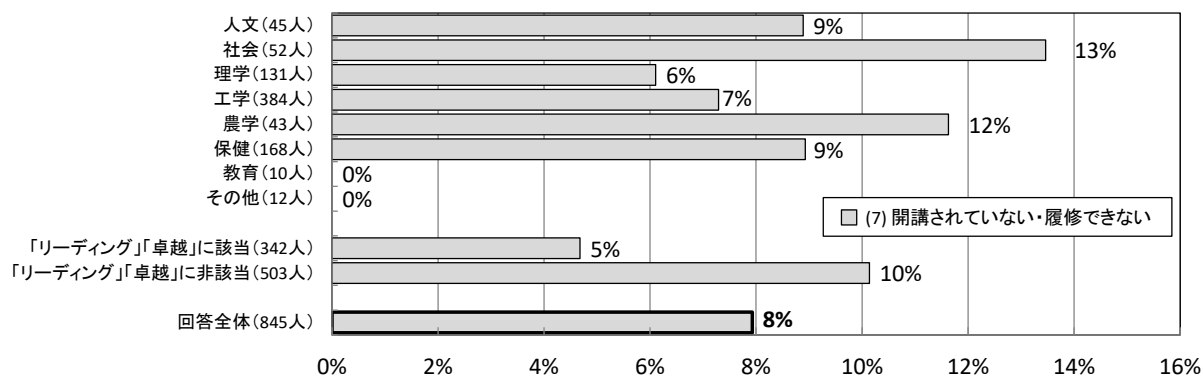


図表2-5-11および図表2-5-12は、博士課程在籍者の[問22] 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）についての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の割合である。図表2-5-11が示すように、回答全体で[問22]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、8%（67人のうち845人）であった。また、図表2-5-12が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が48%（778人のうち372人）となっていた。

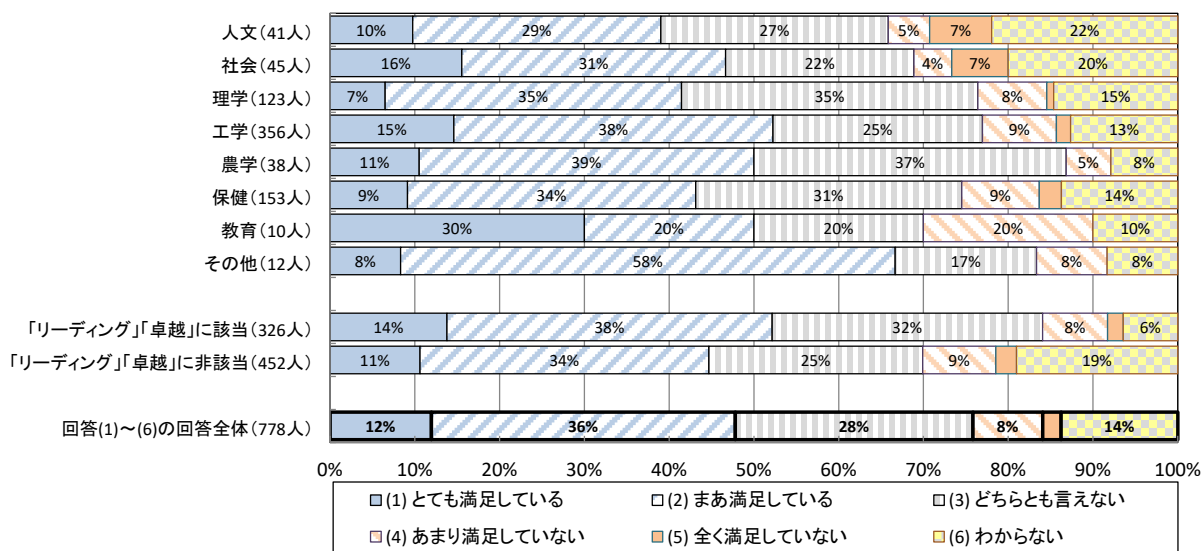
在 [問22] 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等） について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表 2-5-11 属性別：在[問 22]における回答(7)の割合〈博士課程在籍者〉



図表 2-5-12 属性別：在[問 22]の満足度〈博士課程在籍者(回答(7)を除く)〉



博士課程在籍者向け調査票の[問23]では博士課程プログラム(専門分野以外の高度な教養の獲得や、職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等)に関する自由記述の記入を依頼した。[問23]の回答として、内容のある自由記述は日本語で64件、英語で25件であった。図表2-5-13は、博士課程在籍者の[問23]の日本語自由記述における頻出用語である。自由記述の回答例は参考資料2-1に示している。

在[問23] 上記の博士課程プログラム(専門分野以外の高度な教養の獲得や、職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等)に関する[問18]から[問22]について、あなたが特に満足した点、満足していない(不満に思う)点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

〈[問18] インターンシップ [問19] 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育 [問20] 語学(外国語)プログラム [問21] 専門分野外の教養科目 [問22] 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例: 研究倫理、プレゼンテーション講座等)〉

<回答自由記述>

図表 2-5-13 在[問 23]の頻出用語<博士課程在籍者>

抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数
研究	33	授業	17	講義	14	多い	11
プログラム	22	機会	16	社会	14	インターンシップ	11
思う	21	分野	16	教育	13	大学	10
専門	21	課程	15	考える	12	満足	10
博士	21	学生	14	感じる	11	能力	10

2-6. 博士課程教育関連プログラムに関する満足度（在〔問 24〕～〔問 31〕）

博士課程在籍者向け調査票の〔問 24〕～〔問 31〕では「博士課程教育関連プログラムに関する満足度」を尋ねた。〔問 24〕～〔問 30〕では択一式の質問として、**博士課程教育リーディングプログラム**または**卓越大学院プログラム**に関する

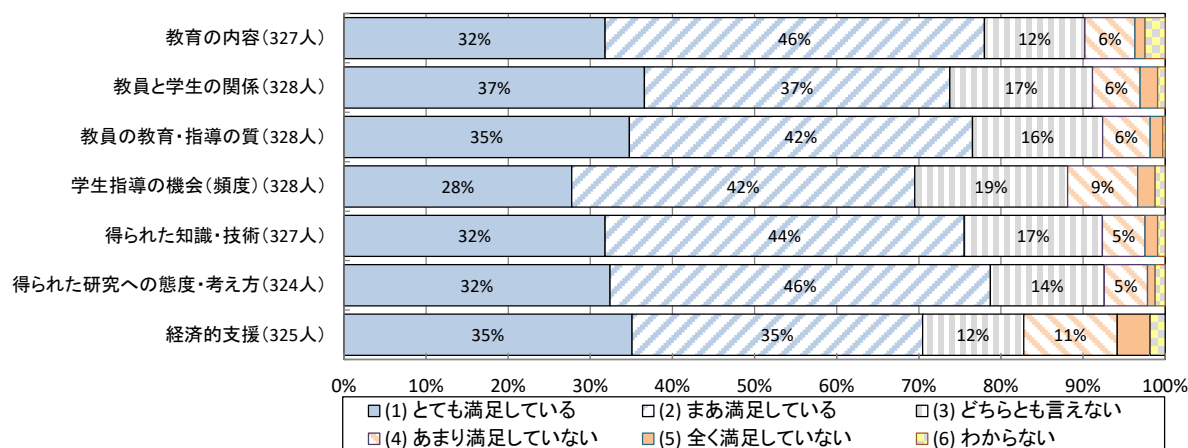
- 在〔問 24〕 **教育の内容**
- 在〔問 25〕 **教員と学生の関係**
- 在〔問 26〕 **教員の教育・指導の質**
- 在〔問 27〕 **学生指導の機会（頻度）**
- 在〔問 28〕 **得られた知識・技術**
- 在〔問 29〕 **得られた研究への態度・考え方**
- 在〔問 30〕 **経済的支援**

の満足度を下記の回答選択肢で尋ねた。

- 回答(1) とても満足している
- 回答(2) まあ満足している
- 回答(3) どちらとも言えない
- 回答(4) あまり満足していない
- 回答(5) 全く満足していない
- 回答(6) わからない

図表 2-6-1 は博士課程在籍者の〔問 24〕～〔問 30〕に関する回答割合である。〔回答(1) とても満足している〕と〔回答(2) まあ満足している〕の合計割合が最も高かったのは〔問 29〕**得られた研究への態度・考え方**の 79%（324 人のうち 255 人）であった。

図表 2-6-1 博士課程の教育関連プログラムに関する各満足度の回答割合
〈該当する博士課程在籍者〉



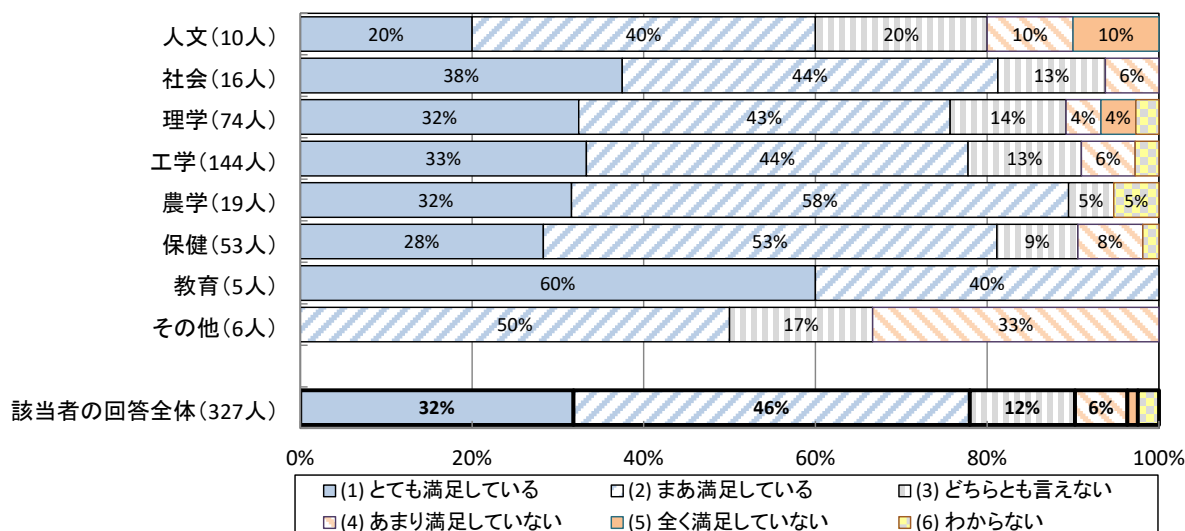
図表2-6-2は、博士課程在籍者の[問24]博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムの教育の内容についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が78%(327人のうち255人)であった。

〈[問24] から[問31] までは、博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムの受講者にお伺いします（それ以外の方は、[問24] から[問31] に対する回答は不要です。〉

在[問24] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムの教育の内容についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-6-2 属性別：在[問 24]の満足度〈該当する博士課程在籍者〉

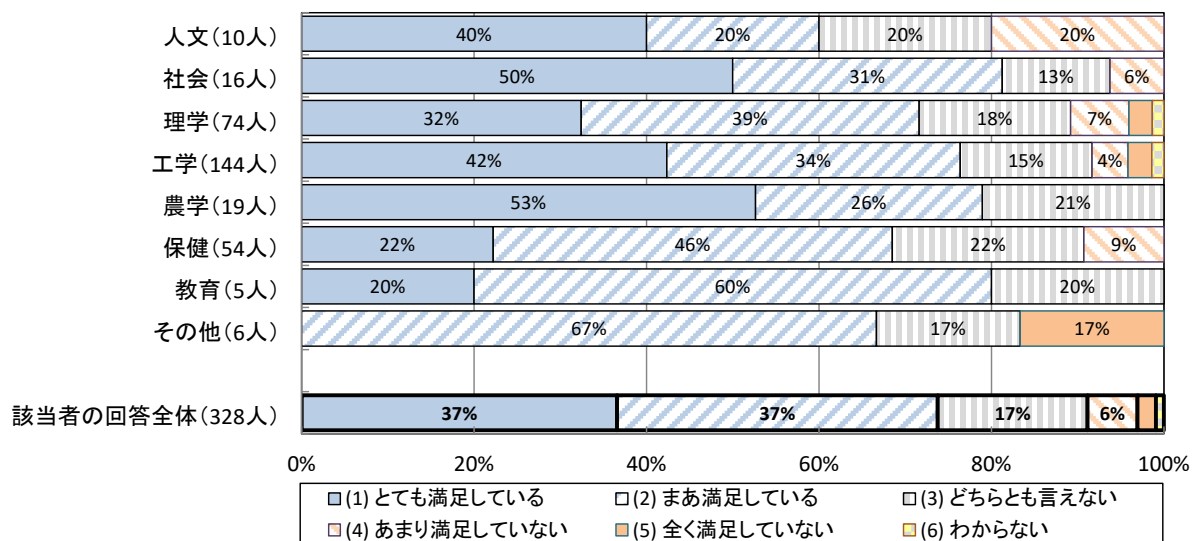


図表2-6-3は、博士課程在籍者の[問25]博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける教員と学生の関係についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は74%(328人のうち242人)であった。

在[問25] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける教員と学生の関係についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-6-3 属性別：在[問 25]の満足度<該当する博士課程在籍者>

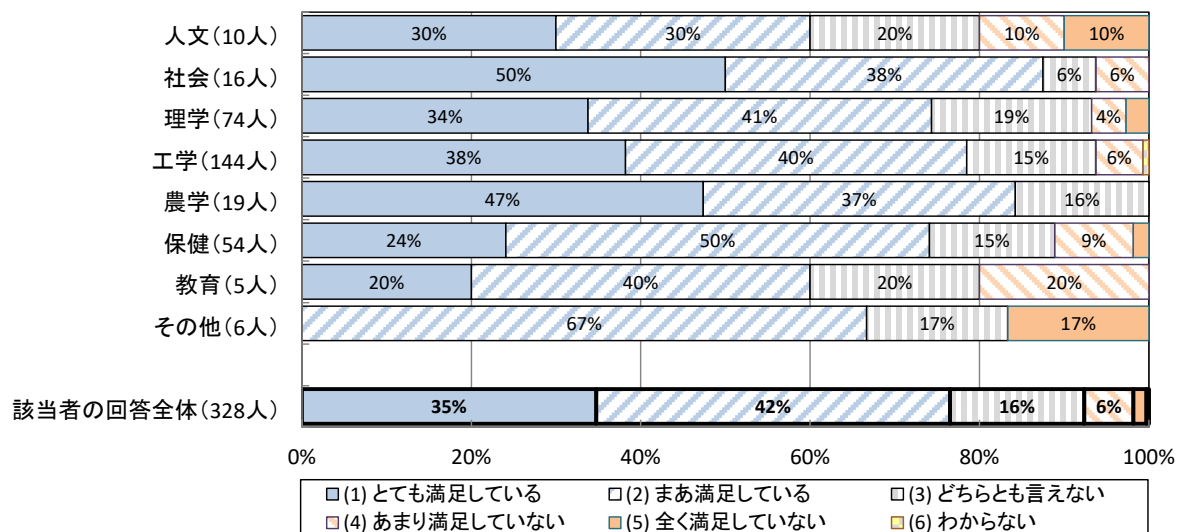


図表2-6-4は、博士課程在籍者の[問26]博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける教員の教育・指導の質についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が77%(328人のうち251人)となっていた。

在 [問26] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける教員の教育・指導の質についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-6-4 属性別：在[問 26]の満足度<該当する博士課程在籍者>

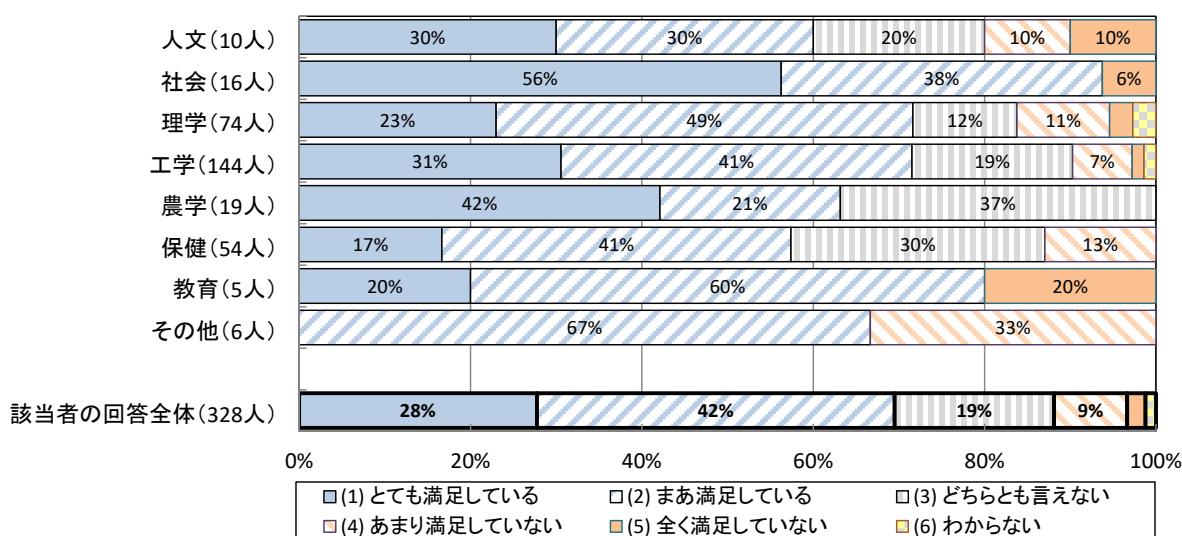


図表2-6-5は、博士課程在籍者の[問27]博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける学生指導の機会(頻度)についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が70%(328人のうち228人)となっていた。

在 [問27] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける学生指導の機会(頻度)についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-6-5 属性別：在[問 27]の満足度<該当する博士課程在籍者>

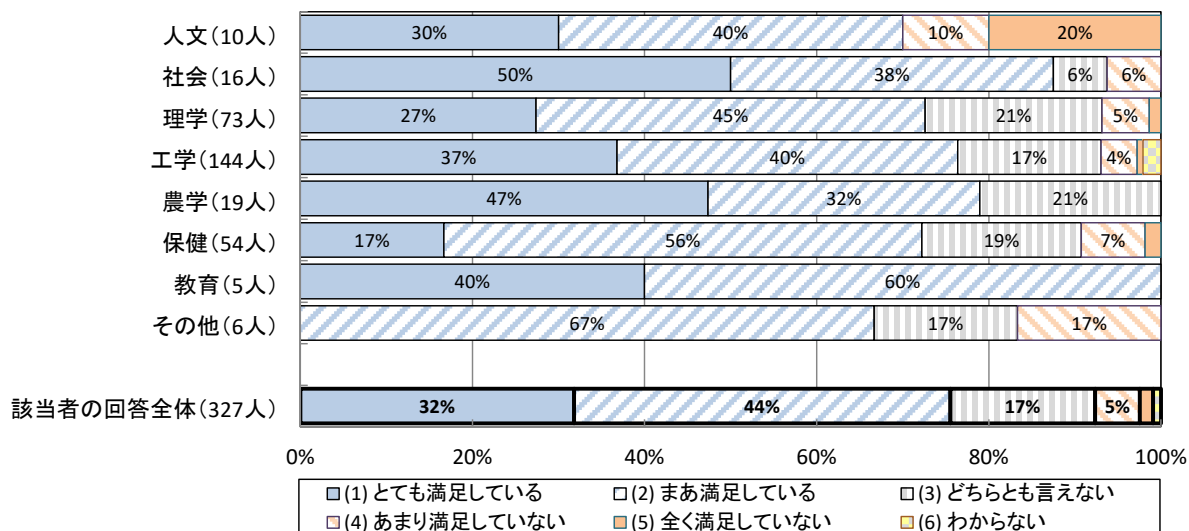


図表2-6-6は、博士課程在籍者の[問28]博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムで得られた知識・技術についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が76%(327人のうち247人)となっていた。

在 [問28] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムで得られた知識・技術についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-6-6 属性別：在[問 28]の満足度<該当する博士課程在籍者>

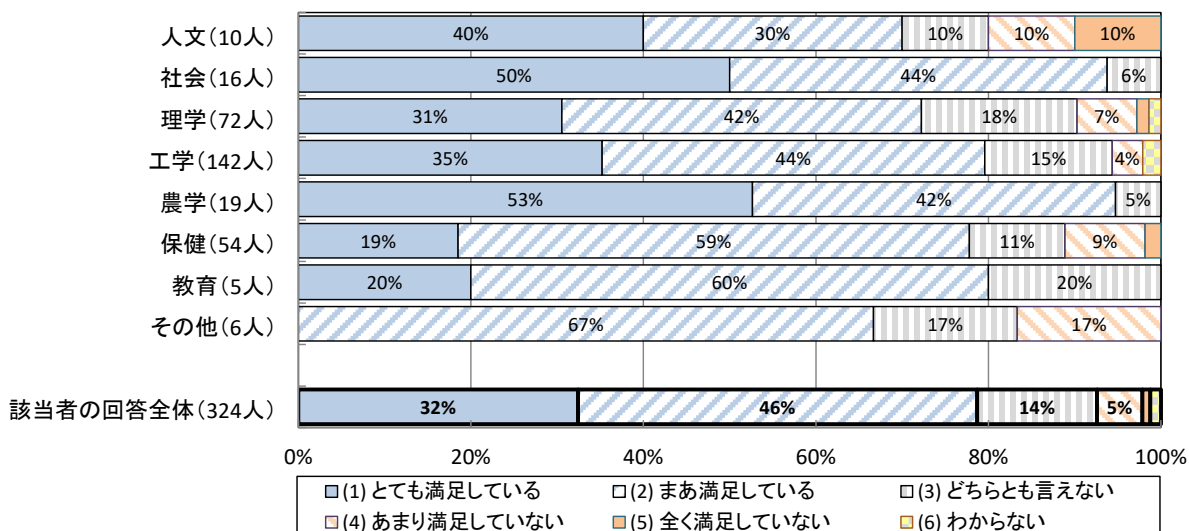


図表2-6-7は、博士課程在籍者の[問29]博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムで得られた研究への態度・考え方についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合がの79%(324人のうち255人)となっていた。

在[問29] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムで得られた研究への態度・考え方についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-6-7 属性別：在[問 29]の満足度<該当する博士課程在籍者>

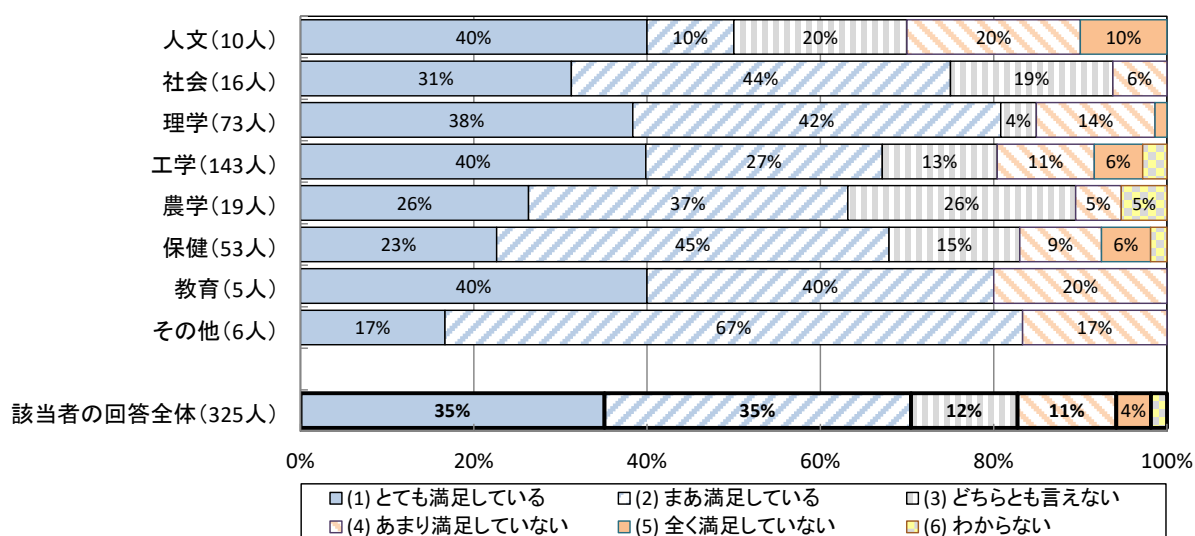


図表2-6-8は、博士課程在籍者の[問30]博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける経済的支援についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が70%(325人のうち229人)となっていた。

在 [問30] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける経済的支援についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-6-8 属性別：在[問 30]の満足度<該当する博士課程在籍者>



博士課程在籍者向け調査票の[問31]では博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムに関して特に満足した点、満足していない(不満に思う)点に関する自由記述の記入を依頼した。[問31]の回答として、内容のある自由記述は日本語で54件、英語で12件であった。自由記述の回答例は参考資料2-1に示している。

在 [問31] 上記の博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムに関する[問24] から[問30]について、あなたが特に満足した点、満足していない(不満に思う)点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

〈[問24] 教育の内容 [問25] 教員と学生の関係 [問26] 教員の研究指導の質 [問27] 教員の研究指導の機会(頻度) [問28] 得られた知識・技術 [問29] 得られた研究への態度・考え方 [問30] 経済的支援〉

<回答自由記述>

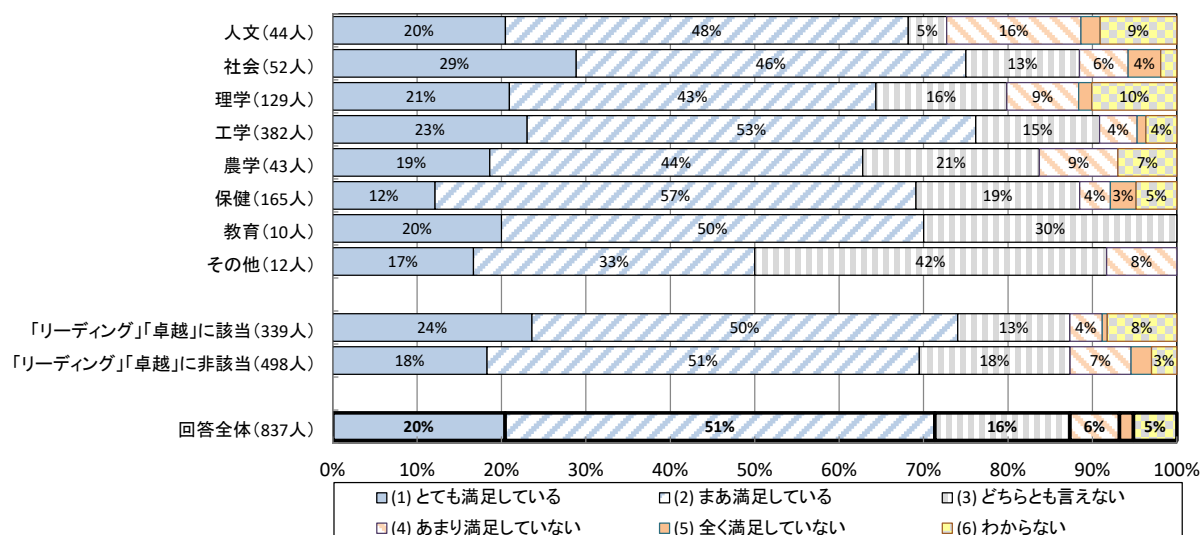
2-7. 博士課程のプログラム全体に関する満足度(在[問 32]～[問 34])

図表2-7-1は、博士課程在籍者の[問32]博士後期課程のプログラム全体についての満足度に関する属性別回答割合である。²⁸ 回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が71%(837人のうち597人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[工学]の76%(382人のうち291人)であった。

在[問 32] 博士後期課程（一貫制のときには3年次以降）全体についてお聞きます。あなたは、博士後期課程のプログラム全体について、どのくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 2-7-1 属性別：博士後期課程のプログラム全体に関する満足度
〈博士課程在籍者〉



図表2-7-2は、博士課程在籍者の[問33]博士後期課程に進学した現在の状況についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が69%(834人のうち598人)となっていた。

在[問 33] あなたは、博士後期課程に進学した現在の状況について、どのくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない

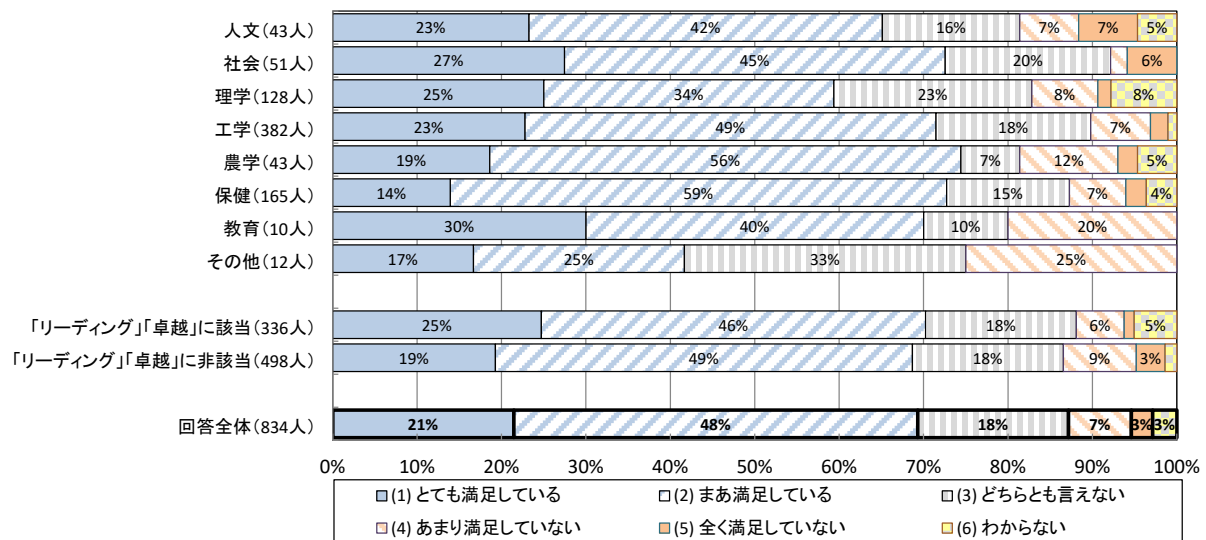
²⁸ 篠田・松澤(2016)においても「博士課程プログラムの満足度」を尋ねているが、その質問文は「現在所属する大学院の博士課程学生であることにどのくらい満足していますか。(修了者は所属していた大学院についてお答えください)」と本調査とは質問の内容が異なるため、両者の単純な比較はできない。なお、篠田・松澤(2016)における、在籍者の回答割合は「とても満足している」の割合は39%、「まあ満足している」が45%、「どちらともいえない」が11%、「あまり満足していない」が4%、「全く満足していない」が1%、「分からない」が1%であった。

回答(4) あまり満足していない

回答(5) 全く満足していない

回答(6) わからない

図表 2-7-2 属性別：博士後期課程に進学した現在の状況に関する満足度
〈博士課程在籍者〉



博士課程在籍者向け調査票の[問34]では博士課程への魅力を感じ進学を決意する決め手に関する自由記述の記入を依頼した。[問34]の回答として、内容のある自由記述は日本語で288件、英語で63件であった。図表2-7-3は、博士課程在籍者の[問34]の日本語自由記述における頻出用語である。自由記述の回答例は、参考資料2-1に示している。

在[問34] 修士課程から博士課程への進学を検討するに当たり、どのようなプログラムや研究環境の整備、学生への支援策や情報があれば、博士課程への魅力を感じ進学を決意する決め手になると思いますか。

＜回答自由記述＞

図表 2-7-3 在[問34]の頻出用語〈博士課程在籍者〉

抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数
博士	250	進学	139	企業	47	必要	42
研究	215	思う	134	修了	45	修士	41
支援	205	学生	105	情報	44	感じる	40
課程	181	就職	74	充実	43	環境	39
経済	157	考える	54	社会	42	教員	37

第3章 博士課程修了者等の調査結果

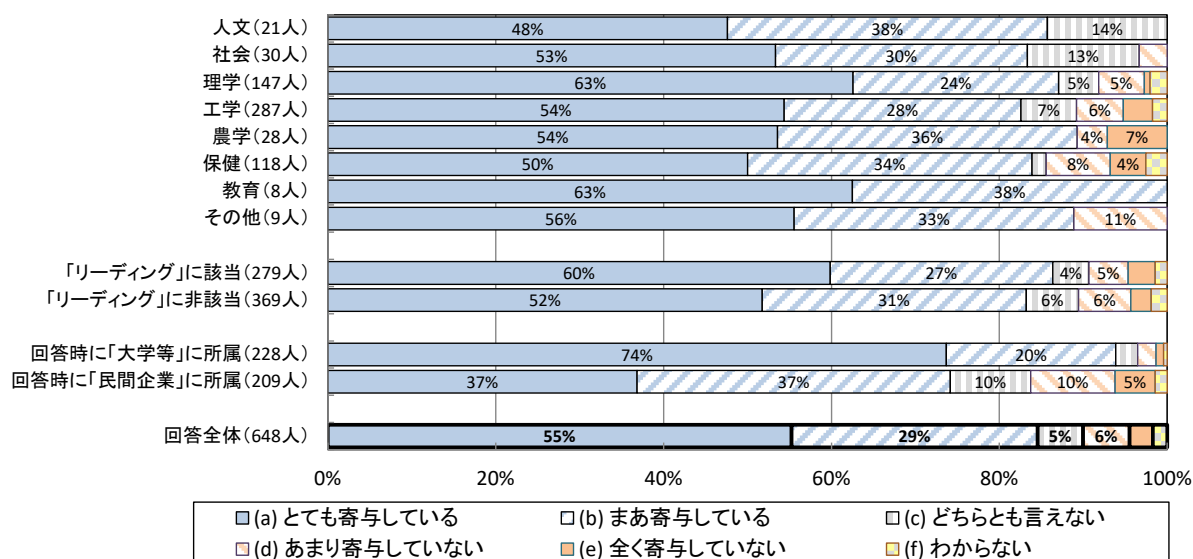
3-1. 博士課程教育の現在の職務への寄与(修[問1])

図表 3-1-1 は、博士課程修了者等の[問1]博士課程教育の現在の職務への寄与の属性別回答割合である。²⁹ 回答全体では、[回答(a) とても寄与している]と[回答(b) まあ寄与している]の合計割合は85%(648人のうち548人)となっていた。[回答(a) とても寄与している]と[回答(b) まあ寄与している]の合計割合は、「回答時に大学等に所属」している者が「回答時に民間企業に所属」している者に比べて高くなっていた。

修[問1] あなたが受けた博士課程教育は現在の職務にどれほど寄与していますか。以下の選択肢から一つ選択してください。

- 回答(a) とても寄与している 回答(b) まあ寄与している 回答(c) どちらとも言えない
回答(d) あまり寄与していない 回答(e) 全く寄与していない 回答(f) わからない

図表 3-1-1 属性別：博士課程教育の現在の職務への寄与の回答割合
〈博士課程修了者等〉



²⁹ 科学技術・学術政策研究所の第1調査研究グループにおいて、博士人材追跡調査(JD-Pro)の2015年コーホートの修了3.5年後における「現在の仕事と博士課程在籍時の研究内容の関連の程度」のデータを集計した。その結果、「強く関連している(博士課程の研究と同分野の研究活動が主な業務)」と「やや関連している(博士課程の研究に関する知識・技術を用いた業務)」の合計割合は、「人文」では77%、「社会」では76%、「理学」では82%、「工学」では82%、「農学」では84%、「保健」では83%、「その他」では77%であった。また、「雇用先が民間企業」の場合の「強く関連している(博士課程の研究と同分野の研究活動が主な業務)」と「やや関連している(博士課程の研究に関する知識・技術を用いた業務)」の合計割合は72%、「雇用先が民間企業以外(大学等を含む)」の場合の合計割合は90%であった。

3-2. 博士課程で身についた能力(修[問 2]～[問 4])

図表 3-2-1 は、博士課程修了者等の[問 2]～[問 4]:博士課程を通じて「身についたと思われる能力」の 1 番目、2 番目、3 番目に関する回答数である。³⁰ なお、調査票では回答(a)～回答(r)の順で回答項目を並べたが、本稿(本編)では博士課程在籍者との比較の分かりやすさを考慮して、博士課程修了者の[問 6]～[問 8]の回答数が多い順に回答の選択肢を<S01>～回答<S99>に並べ直した。

図表 3-2-1 において、[回答<S01>(b)専門知識・専門能力]の回答数が最も多く、[問 2]では 227 件、[問 3]では 160 件、[問 4]では 59 件の合計 446 件となっていた。これは[問 2]～[問 4]の合計回答数 1,909 件の 23%を占めていた。[問 1]と[問 2]の回答数の第 2 位は、[回答<S02>(a)研究遂行能力]の計 414 件であり、合計回答数の 22%を占めていた。次いで[回答<S03>(f)業務遂行能力]、[回答<S04>(e)問題設定力]の回答数が多くなっていた。

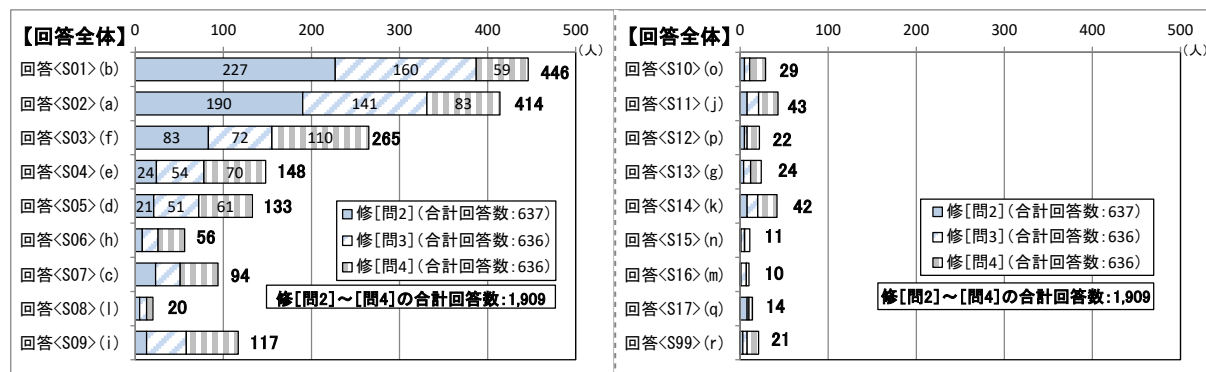
修[問 2] あなたが博士課程を通じて「最も身についたと思われる能力」を以下の選択肢から一つ選択してください。

修[問 3] あなたが博士課程を通じて「2 番目に身についたと思われる能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

修[問 4] あなたが博士課程を通じて「3 番目に身についたと思われる能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 回答<S01>(b)専門知識・専門能力 | 回答<S02>(a)研究遂行能力 |
| 回答<S03>(f)業務遂行能力 | 回答<S04>(e)問題設定力 |
| 回答<S05>(d)問題解決力 | 回答<S06>(h)論理的思考力 |
| 回答<S07>(c)判断力 | 回答<S08>(l)語学力 |
| 回答<S09>(i)プレゼンテーション力 | 回答<S10>(o)コミュニケーション力 |
| 回答<S11>(j)意欲・向上心 | 回答<S12>(p)創造性 |
| 回答<S13>(g)協調性 | 回答<S14>(k)一般教養・知識 |
| 回答<S15>(n)マネジメント力 | 回答<S16>(m)リーダーシップ |
| 回答<S17>(q)その他 | 回答<S99>(r)なし |

図表 3-2-1 修[問 2]～[問 4]の回答数(博士課程修了者等)



³⁰ 篠田・松澤(2016)では「博士課程在籍中に身につけたかった能力」を調査していた。

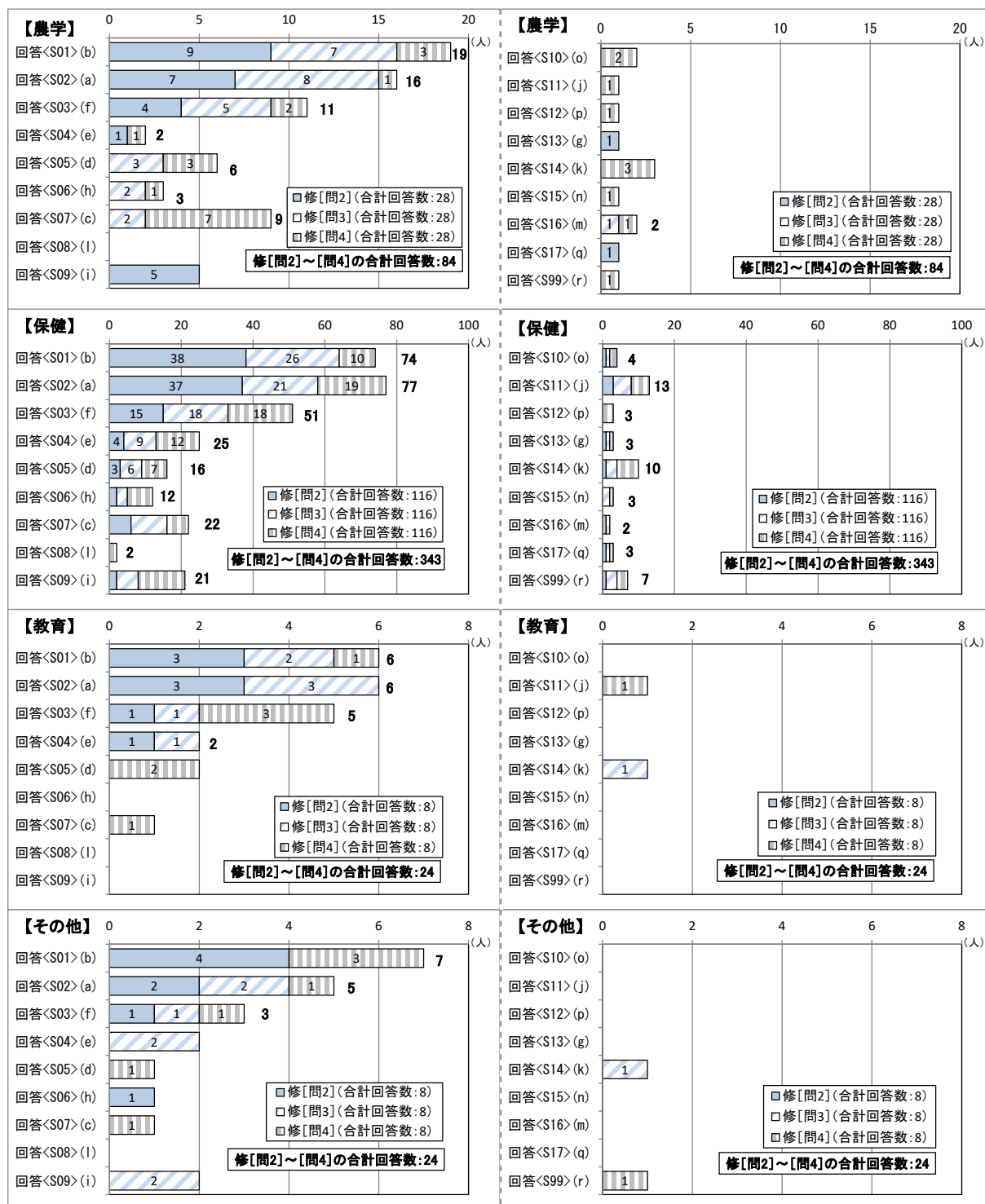
図表 3-2-2 は、専攻分野[人文][社会][理学][工学]の博士課程修了者等の[問2]～[問4]:博士課程を通じて「身についたと思われる能力」の1番目、2番目、3番目に関する回答数を示している。専攻分野[理学]においては[回答<S09>(i)プレゼンテーション力]の回答割合が回答全体に比べて高くなっている。

図表 3-2-2 属性別:修[問2]～[問4]の回答数<博士課程修了者等(1)>



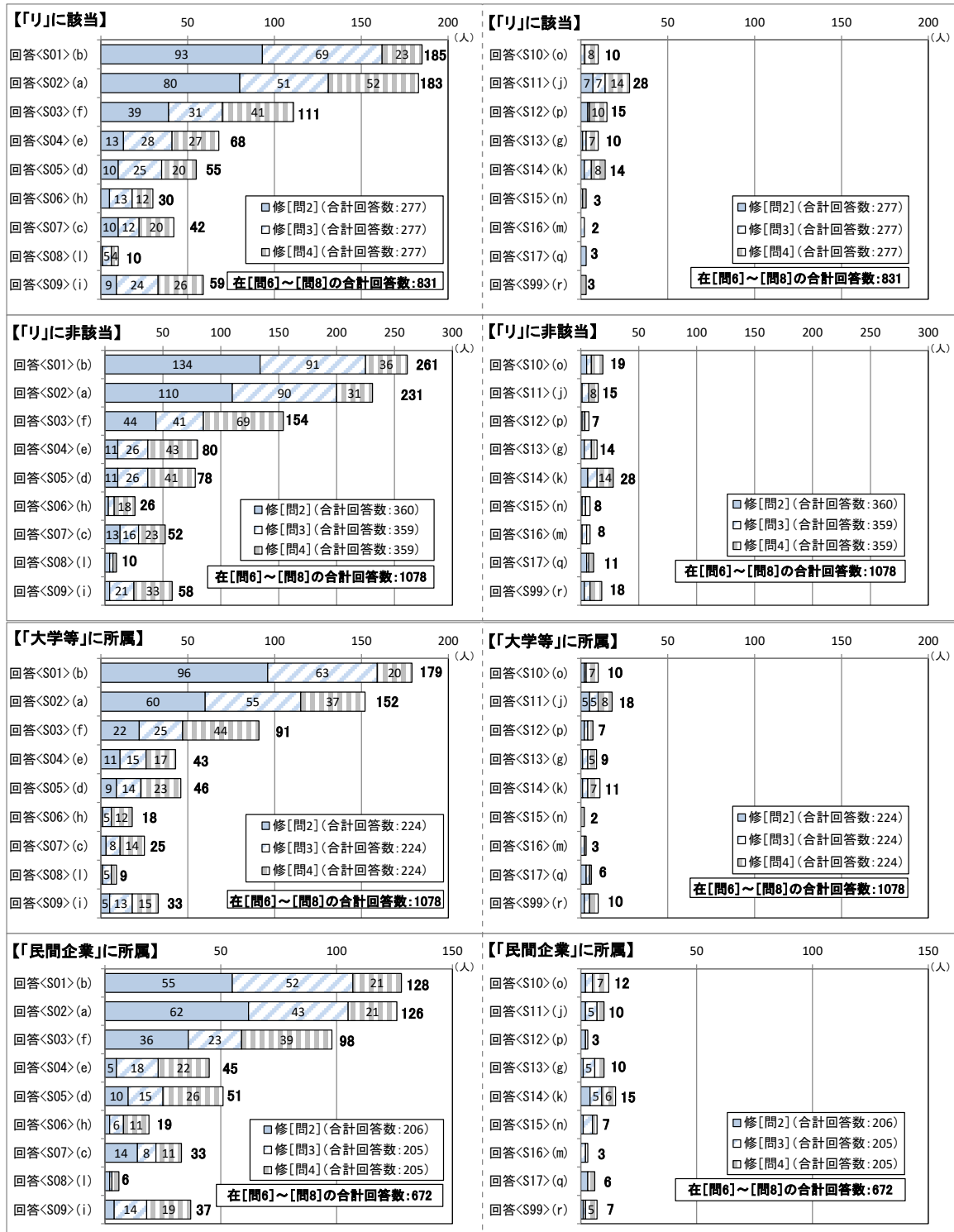
図表 3-2-3 は、専攻分野[農学][保健][教育][その他]の博士課程修了者等の[問 2]～[問 4]:博士課程を通じて「身についたと思われる能力」の 1 番目、2 番目、3 番目に関する回答数を示している。専攻分野[農学]および[保健]においては[回答<S07>(c)判断力]の回答割合が、回答全体に比べて高くなっている。

図表 3-2-3 属性別:修[問 2]～[問 4]の回答数<博士課程修了者等(2)>



図表 3-2-4 は、【博士課程在学時の「リーディング」の博士課程教育関連プログラムの該当有無】【回答時の「大学等所属」と「民間企業」の所属】によって区別して、博士課程修了者等の【問 2】～【問 4】:博士課程を通じて「身についたと思われる能力」の 1 番目、2 番目、3 番目に関する回答数を示している。

図表 3-2-4 属性別:修[問 2]～[問 4]の回答数<博士課程修了者等(3)>



3-3. 博士課程の専門分野に関する満足度(修[問 5]～[問 13])

博士課程修了者等向け調査票の[問 5]～[問 13]では「博士課程の専門分野に関する満足度」を尋ねた。[問 5]～[問 12]では択一式の質問として、**博士課程プログラム(専門分野)**における

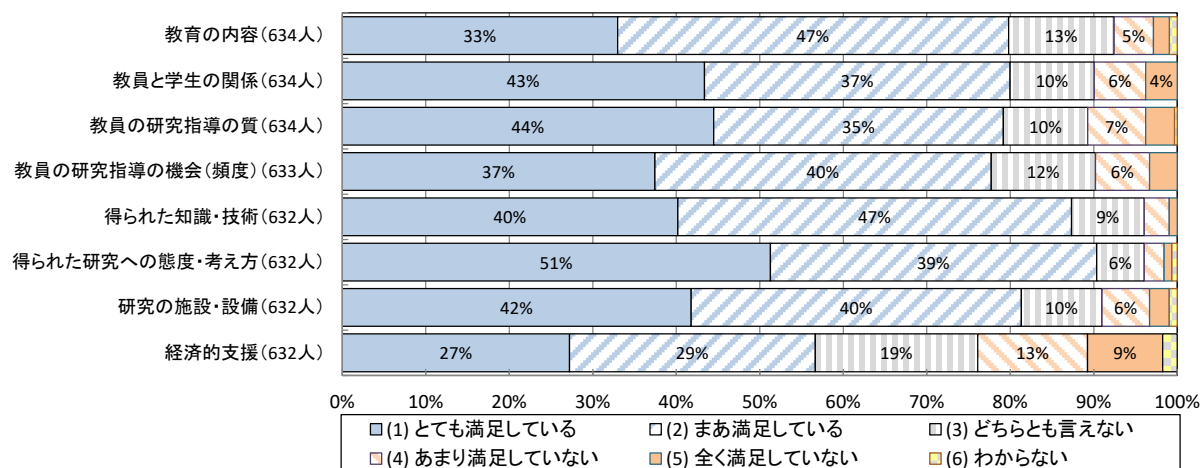
修 [問 5]	<u>教育の内容</u>
修 [問 6]	<u>教員と学生の関係</u>
修 [問 7]	<u>教員の研究指導の質</u>
修 [問 8]	<u>教員の研究指導の機会(頻度)</u>
修 [問 9]	<u>得られた知識・技術</u>
修 [問 10]	<u>得られた研究への態度・考え方</u>
修 [問 11]	<u>研究の施設・設備</u>
修 [問 12]	<u>経済的支援</u>

の満足度を下記の回答選択肢で尋ねた。

回答(1) とても満足している	回答(2) まあ満足している	回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない	回答(5) 全く満足していない	回答(6) わからない

図表 3-3-1 は博士課程修了者等の[問 5]～[問 12]に関する回答割合である。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[問 10]得られた研究への態度・考え方の 90%(632 人のうち 571 人)であった。一方、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も低かったのは[問 12]経済的支援の 57%(632 人のうち 358 人)あった。

図表 3-3-1 博士課程の専門分野に関する各満足度の回答割合<博士課程修了者等>



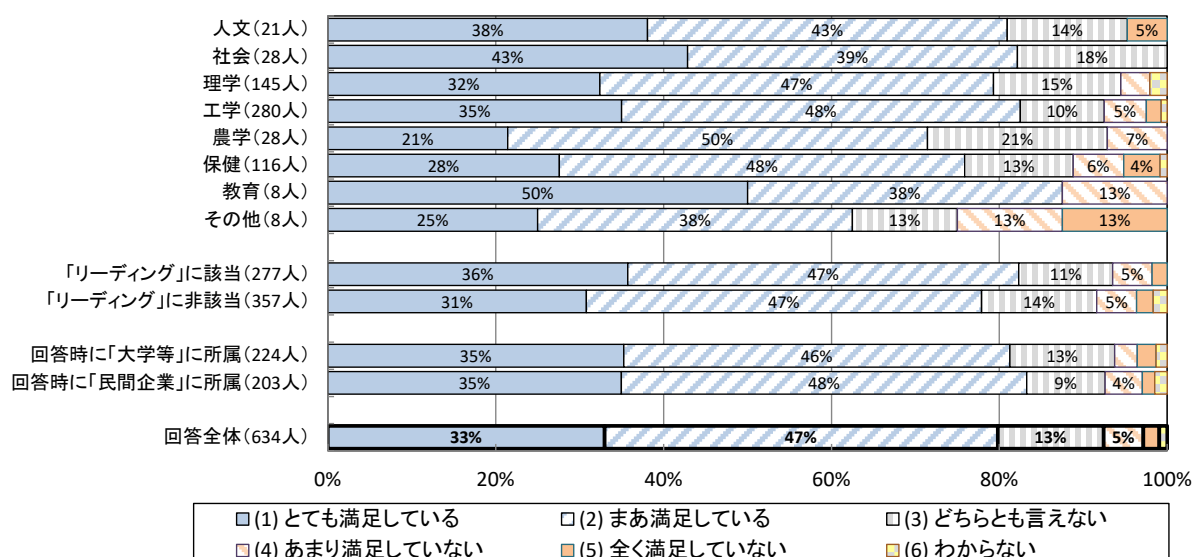
図表 3-3-2 は、博士課程修了者等の[問 5]博士課程プログラム(専門分野)における教育の内容についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 80%(634 人のうち 506 人)となっていた。

〈[問5] から [問15] までは受講していた博士課程プログラム(専門分野)に関するものです。〉

修[問5] 博士課程プログラム(専門分野)における教育の内容について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-3-2 属性別:修[問 5:専門分野における教育の内容]の満足度
〈博士課程修了者等〉

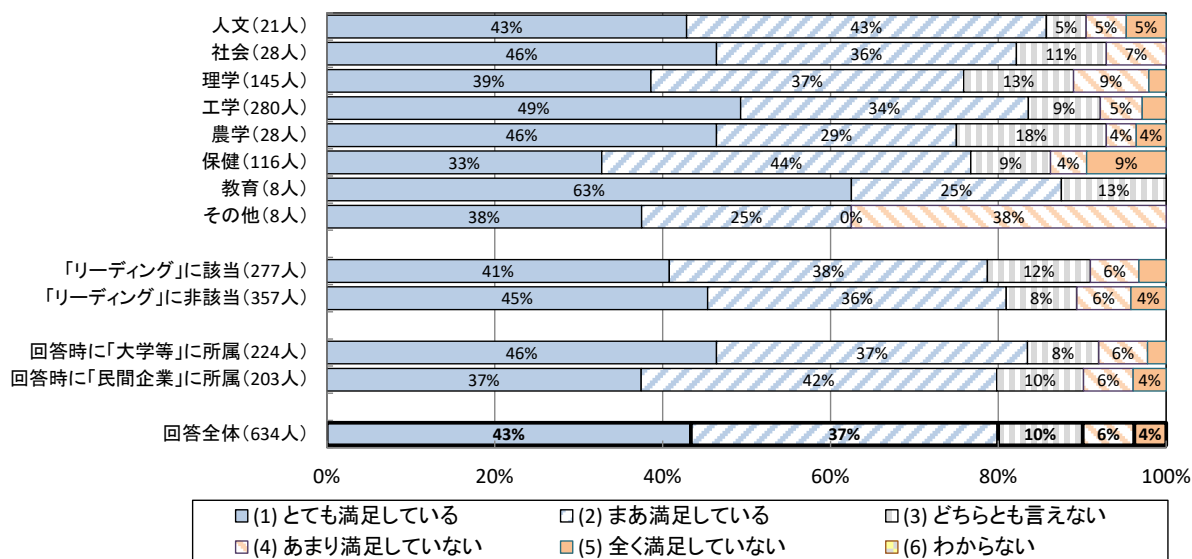


図表 3-3-3 は、博士課程修了者等の[問 6]博士課程プログラム(専門分野)における教員と学生の関係についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 80%(634 人のうち 507 人)となっていた。

修[問6] 博士課程プログラム(専門分野)における教員と学生の関係について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-3-3 属性別：修[問 6：専門分野における教員と学生の関係]の満足度
〈博士課程修了者等〉

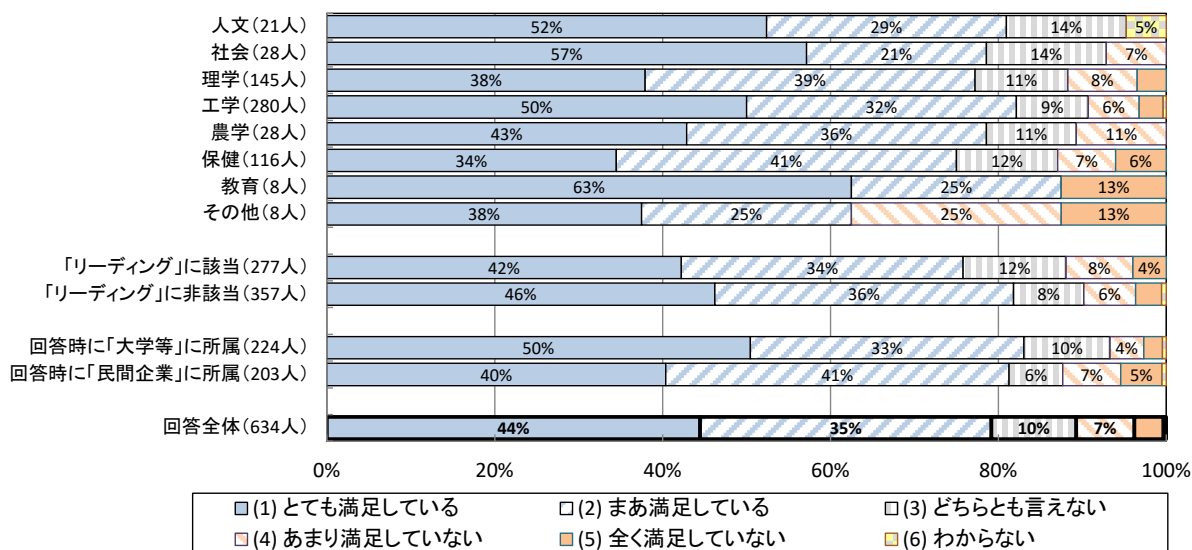


図表 3-3-4 は、博士課程修了者等の[問 7]博士課程プログラム(専門分野)における教員の研究指導の質についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が79%(634 人のうち 502 人)となっていた。

修[問7] 博士課程プログラム(専門分野)における教員の研究指導の質について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-3-4 属性別：修[問 7：専門分野における教員の研究指導の質]の満足度
〈博士課程修了者等〉

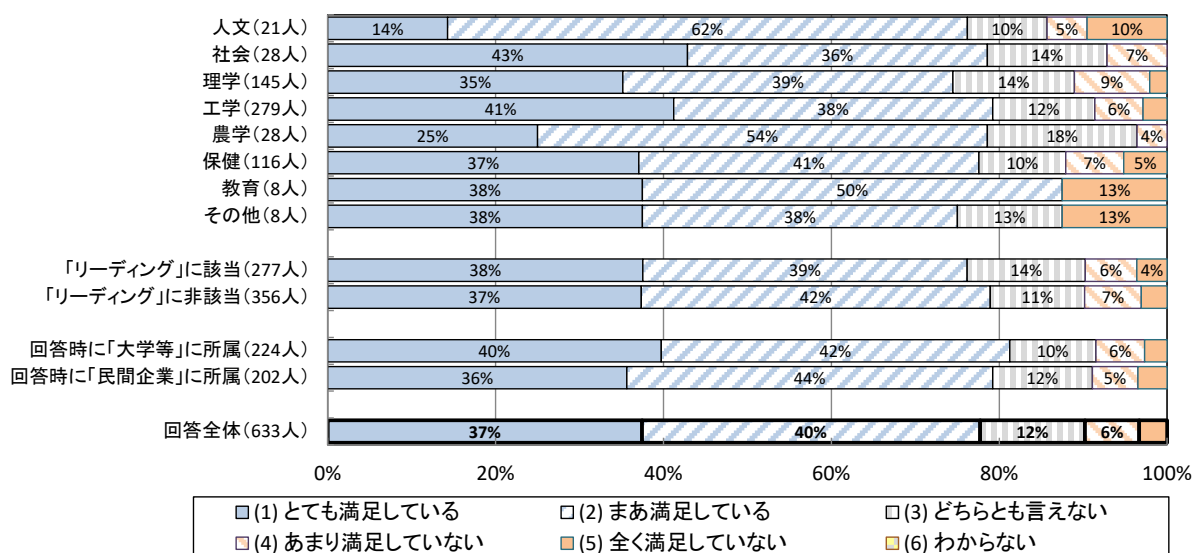


図表 3-3-5 は、博士課程修了者等の[問 8]博士課程プログラム(専門分野)における教員の研究指導の機会(頻度)についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 78%(633 人のうち 492 人)となっていた。

修[問8] 博士課程プログラム(専門分野)における教員の研究指導の機会(頻度)について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-3-5 属性別：修[問 8：専門分野における教員の研究指導の機会(頻度)]の満足度<博士課程修了者等>

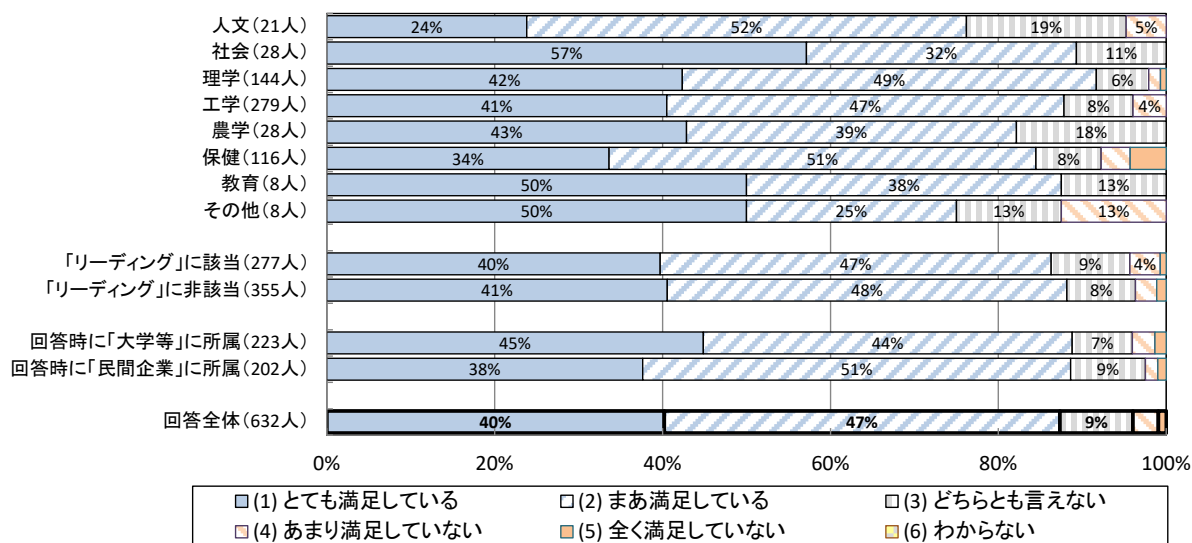


図表 3-3-6 は、博士課程修了者等の[問 9]博士課程プログラム(専門分野)で得られた知識・技術についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が 87%(632 人のうち 552 人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[理学]の 92%(144 人のうち 132 人)であった。

修[問9] 博士課程プログラム(専門分野)で得られた知識・技術について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-3-6 属性別：修[問 9：専門分野で得られた知識・技術]の満足度
〈博士課程修了者等〉

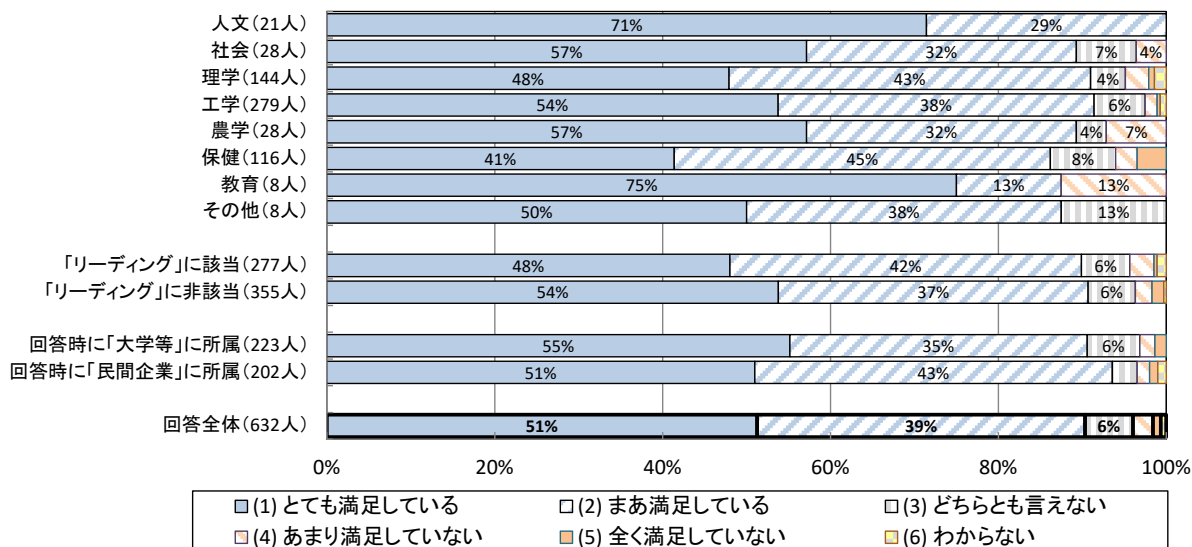


図表 3-3-7 は、博士課程修了者等の[問 10]博士課程プログラム(専門分野)で得られた研究への態度・考え方についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が 90%(632 人のうち 571 人)となっていた。

修[問10] 博士課程プログラム(専門分野)で得られた研究への態度・考え方について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-3-7 属性別：修[問 10：専門分野で得られた研究への態度・考え方]の満足度〈博士課程修了者等〉

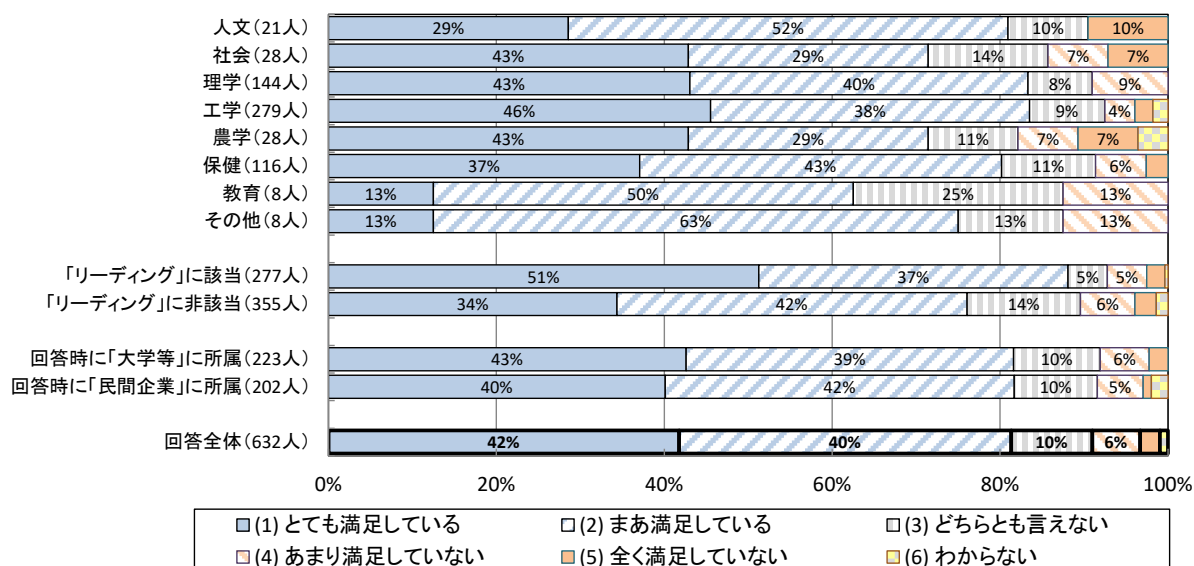


図表 3-3-8 は、博士課程修了者等の[問 11]博士課程プログラム(専門分野)における研究の施設・設備についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が 81%(632 人のうち 514 人)となっていた。専攻分野別では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[工学]の 84%(279 人のうち 233 人)であった。

修[問11] 博士課程プログラム(専門分野)における研究の施設・設備について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-3-8 属性別：修[問 11：専門分野における研究の施設・設備]の満足度
〈博士課程修了者等〉

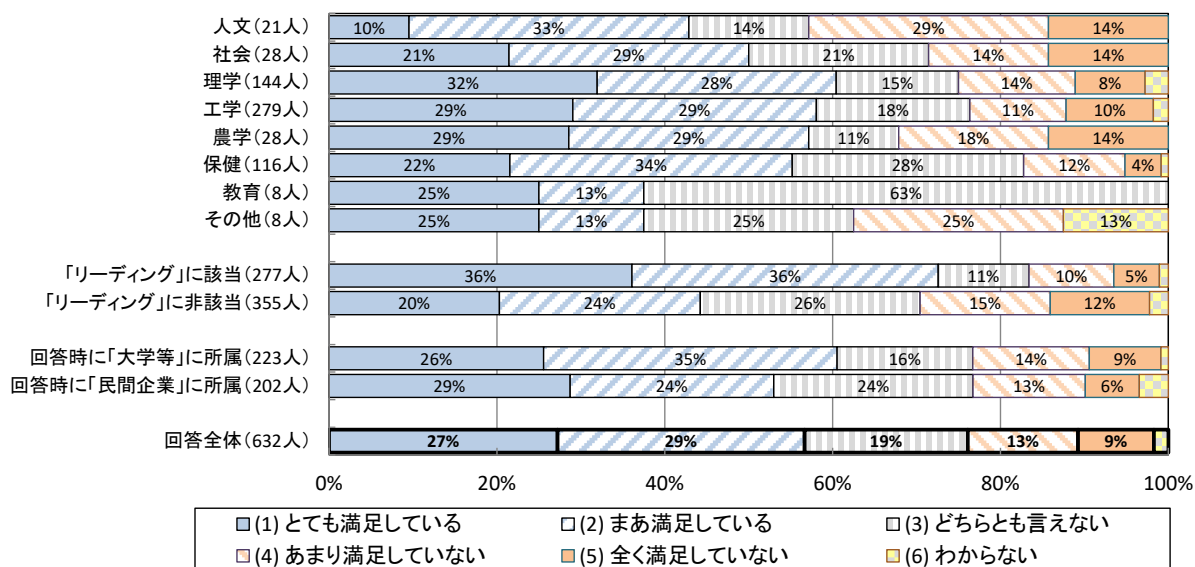


図表 3-3-9 は、博士課程修了者等の[問 12]博士課程プログラム(専門分野)における経済的支援についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が 57%(632 人のうち 358 人)となっていた。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」に該当]においては 73%(277 人のうち 201 人)である一方で、「リーディング」に非該当]においては 44%(355 人のうち 157 人)であった。博士課程修了者等の経済的支援に関する満足度において[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合は、「リーディング」の該当の有無によって、有意な差があった³¹。

修[問12] 博士課程プログラム(専門分野)における経済的支援について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-3-9 属性別：修[問 12:専門分野における経済的支援]の満足度
〈博士課程修了者等〉



³¹ [「リーディング」に該当]と[「リーディング」に非該当]の二群において、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合とそれ以外の回答の合計割合によって母比率の差の検定を行ったところ z 値は 7.13 となり、両側 0.01%水準においても母比率が等しいという帰無仮説を棄却できる。

博士課程修了者等の[問13]では博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムに関して特に満足した点、満足していない(不満に思う)点に関する自由記述の記入を依頼した。[問13]の回答として、内容のある自由記述は日本語で209件、英語で13件であった。図表3-3-10は、博士課程修了者等の[問13]の日本語自由記述における頻出用語である。自由記述の回答例は、参考資料2-2に示している。

修[問13] 上記の博士課程プログラム(専門分野)に関する[問5]から[問12]について、あなたが特に満足した点、満足していない(不満に思う)点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けると幸いです。

〈[問5] 教育の内容 [問6] 教員と学生の関係 [問7] 教員の研究指導の質 [問8] 教員の研究指導の機会(頻度) [問9] 得られた知識・技術 [問10] 得られた研究への態度・考え方 [問11] 研究の施設・設備 [問12] 経済的支援〉

＜回答自由記述＞

図表 3-3-10 修[問 13]の頻出用語<博士課程修了者等>

抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数
研究	198	学生	71	教育	29	感じる	26
指導	116	満足	66	受ける	27	機会	25
教員	112	博士	65	得る	27	知識	25
支援	90	課程	52	多い	26	論文	23
経済	85	思う	52	大学	26	少ない	22

3-4. 博士課程で印象に残ったこと(修[問 14]～[問 15])

図表 3-4-1 は、博士課程修了者等の[問 14]博士課程で最も印象に残った事項に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) 指導教官の指導のあり方]が45%となっていた。

回答(1) 指導教官の指導のあり方

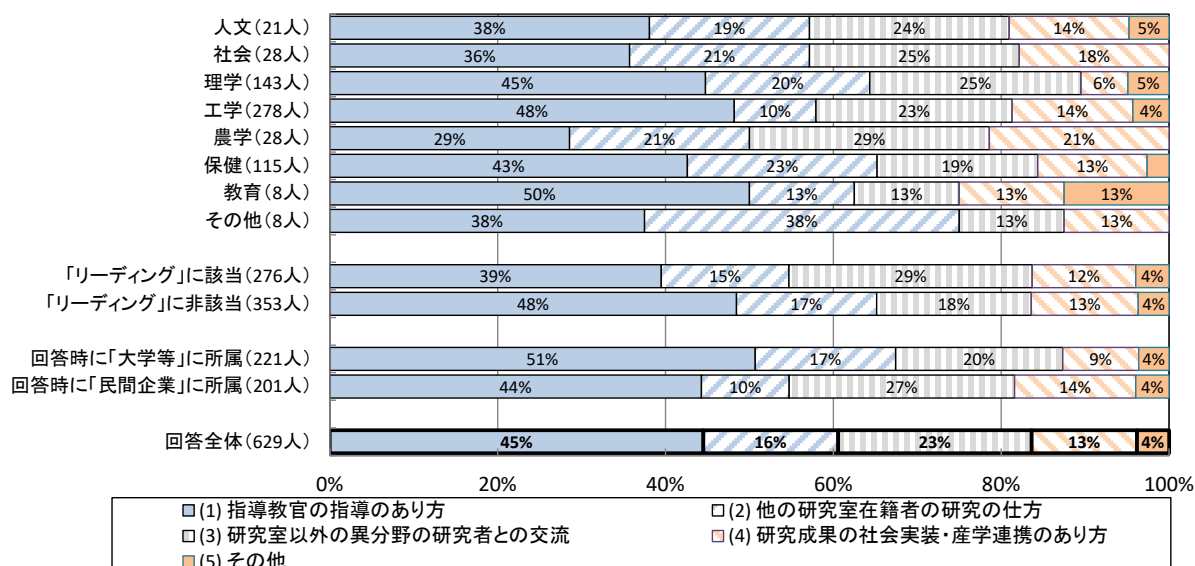
回答(2) 他の研究室在籍者の研究の仕方

回答(3) 研究室以外の異分野の研究者との交流

回答(4) 研究成果の社会実装・産学連携のあり方

回答(5) その他

図表 3-4-1 属性別：博士課程で最も印象に残った事項の回答割合
〈博士課程修了者等〉



博士課程修了者等向け調査票の[問15]では[問14]で(5)「その他」を選択された方に博士課程で最も印象に残った事項に関する自由記述の記入を依頼した。[問15]の回答として、内容のある自由記述は日本語で29件、英語で12件であった。自由記述の回答例は、参考資料2-2に示している。

修[問15] [問14]で(5)「その他」を選択された方は、博士課程で最も印象に残った事項を具体的に記載下さい。

<回答自由記述>

3-5. 博士課程の専門分野以外に関する満足度（修[問 16]～[問 21]）

博士課程修了者等向け調査票の[問16]～[問21]においては「博士課程の専門分野以外に関する満足度」を尋ねた。[問16]～[問20]では択一式の質問として、博士課程プログラム（専門分野以外）における

- 修 [問 16] インターンシップ
- 修 [問 17] 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育
- 修 [問 18] 語学（外国語）プログラム
- 修 [問 19] 専門分野外の教養科目
- 修 [問 20] 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目
 （例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）

の満足度を下記の回答選択肢で尋ねた。

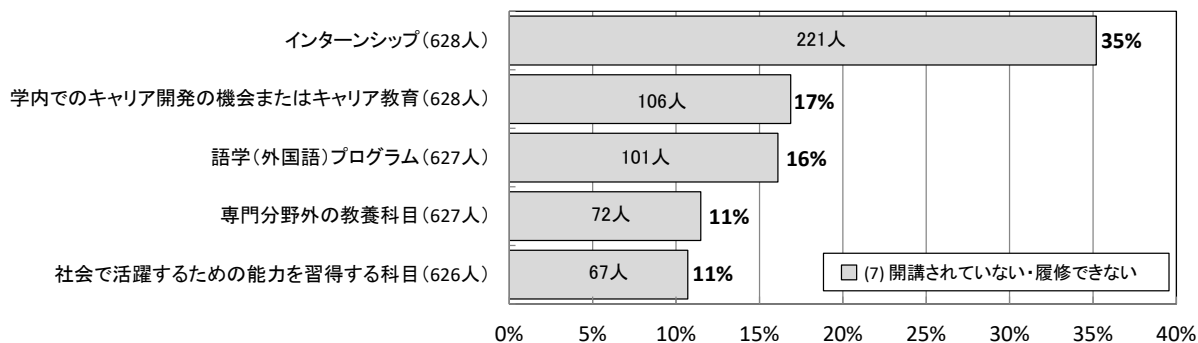
- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
- 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
- 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表3-5-1は博士課程修了者等の[問16]～[問20]における[回答(7) 開講されていない・履修できない]の回答割合である³²。[回答(7) 開講されていない・履修できない]の割合が最も高かったのは、[問16]インターンシップの35%であった。

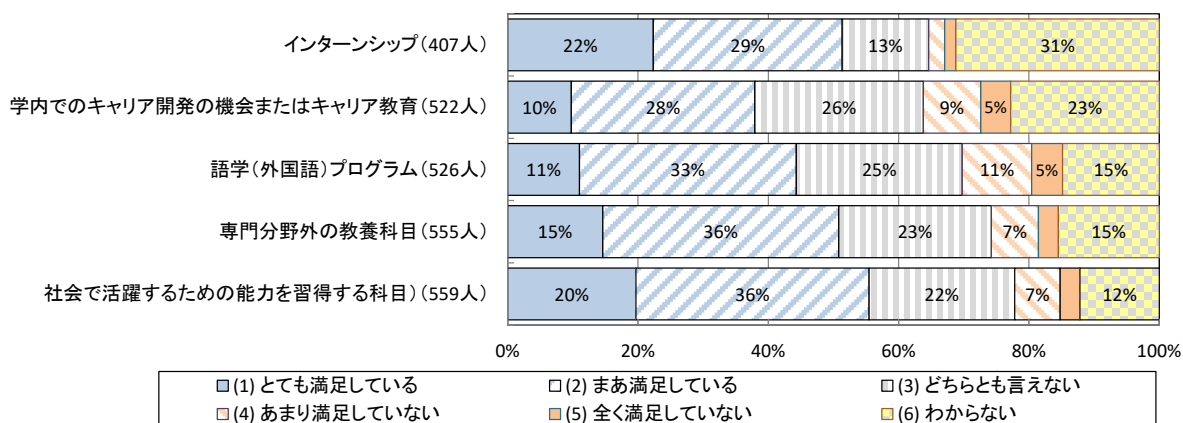
図表3-5-2は博士課程修了者等の[問16]～[問20]における回答(1)～(6)の割合である。[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[問20]社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）の55%（559人のうち310人）であった。

³² 博士課程修了者等向けの調査票において、[問 20]は『社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）』と記載していたが、図表 3-5-1 および図表 3-5-2 では、『社会で活躍するための能力を習得する科目』と簡略化して記載している。

図表 3-5-1 修[問 16]～[問 20]における回答(7)の割合〈博士課程修了者等〉



図表 3-5-2 博士課程の専門分野以外に関する各満足度の回答割合
〈博士課程修了者等(回答(7)を除く)〉



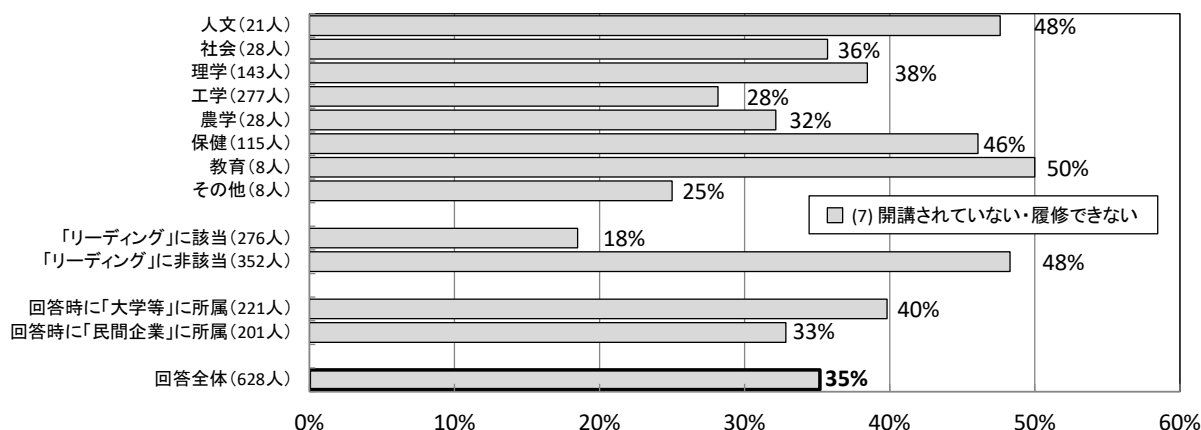
図表3-5-3および図表3-5-4は、博士課程修了者等の[問16] **インターンシップ**についての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の割合である。図表3-5-3が示すように、回答全体で[問16]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、35%(628人のうち221人)であった。また、図表3-5-4が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が51%(407人のうち209人)となっていた。

〈[問16] から [問21] までは、博士課程プログラム（専門分野以外の高度な教養の獲得や職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等）に関するものです。〉

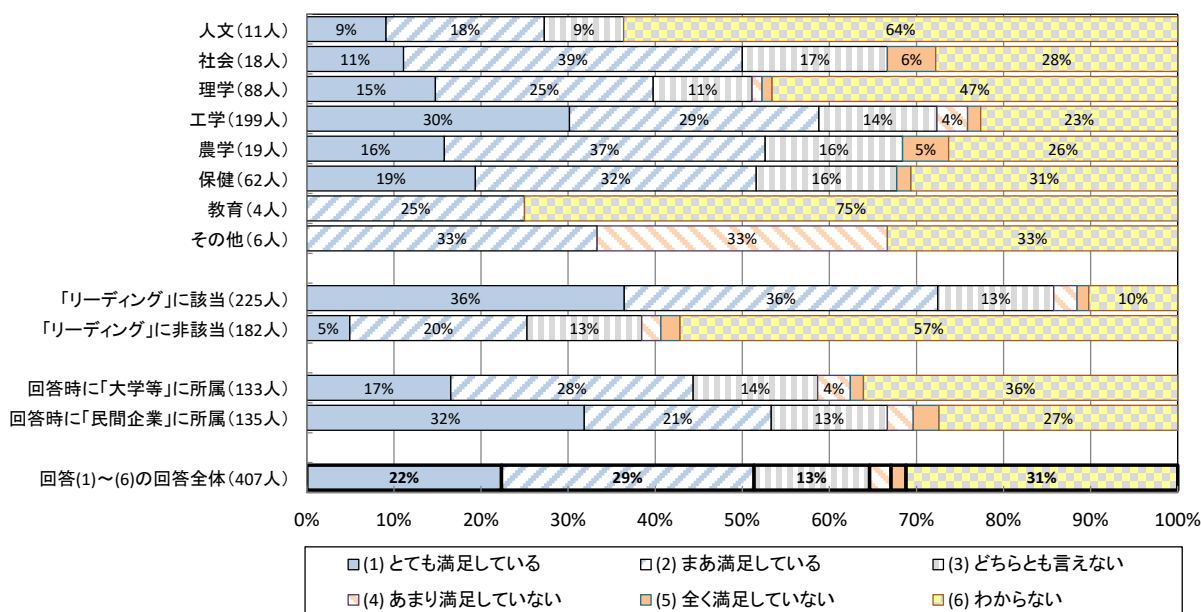
修 [問16] **インターンシップ**について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表 3-5-3 属性別：修[問 16]における回答(7)の割合<博士課程修了者等>



図表 3-5-4 属性別：修[問 16]の満足度<博士課程修了者等(回答(7)を除く)>

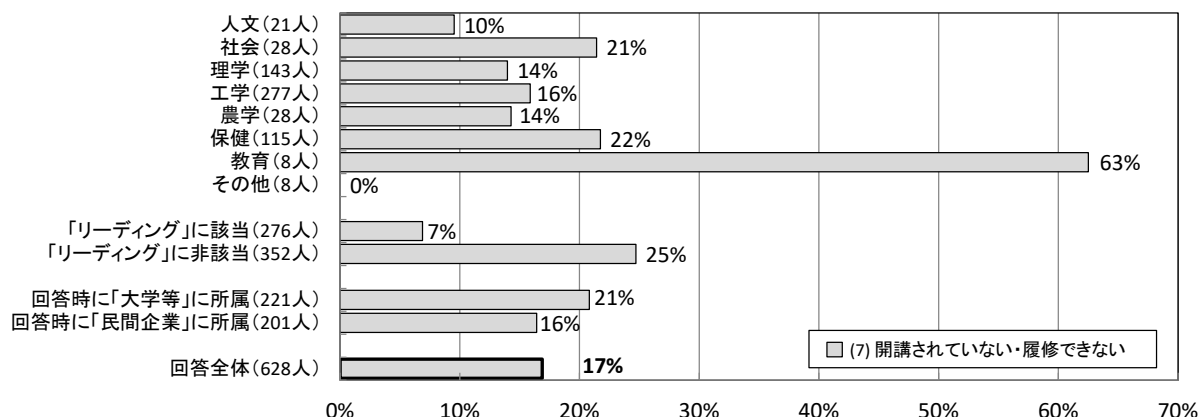


図表3-5-5および図表3-5-6は、博士課程修了者等の[問17]学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育についての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の割合である。図表3-5-5が示すように、回答全体で[問17]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、17%(628人のうち106人)であった。また、図表3-5-6が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が38%(522人のうち198人)となっていた。

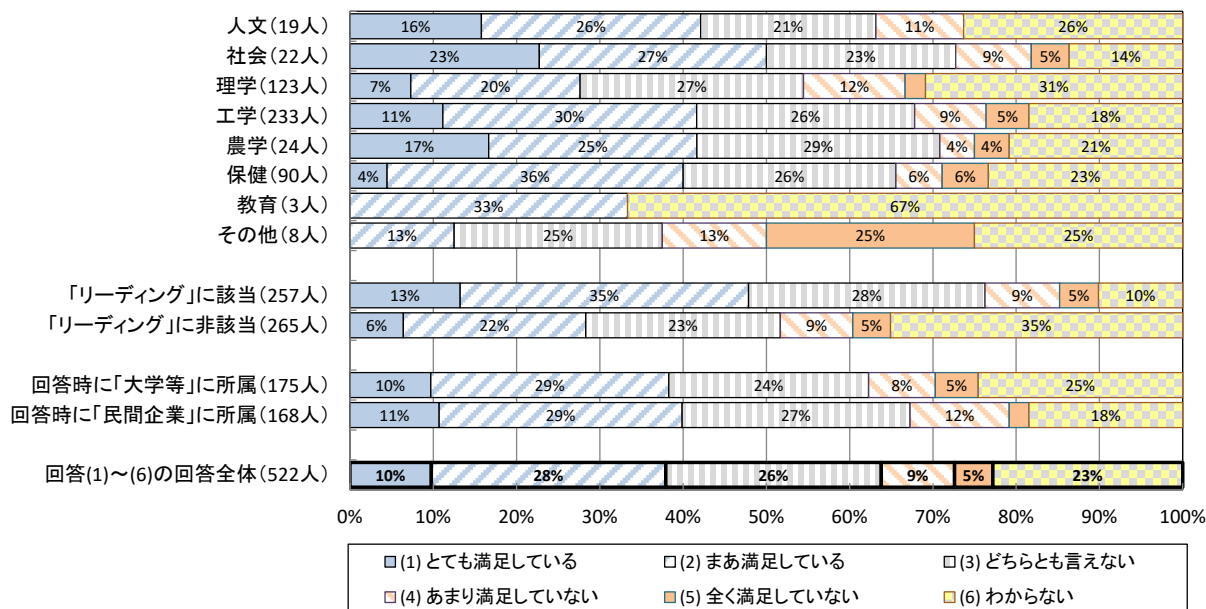
修[問17] 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表 3-5-5 属性別：修[問 17]における回答(7)の割合<博士課程修了者等>



図表 3-5-6 属性別：修[問 17]の満足度<博士課程修了者等(回答(7)を除く)>

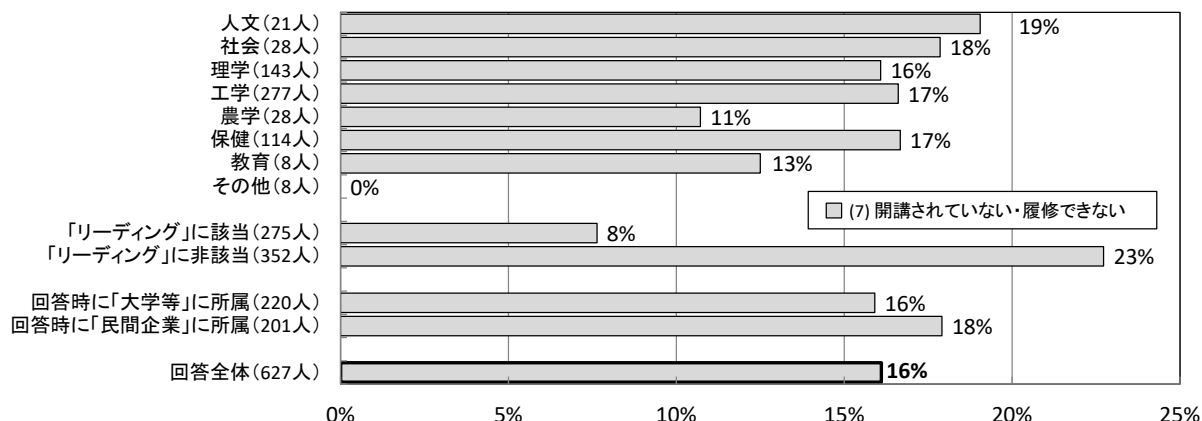


図表3-5-7および図表3-5-8は、博士課程修了者等の[問18]語学(外国語)プログラムについての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の割合である。図表3-5-7が示すように、回答全体で[問18]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、16%(627人のうち101人)であった。また、図表3-5-8が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が44%(526人のうち233人)となっていた。

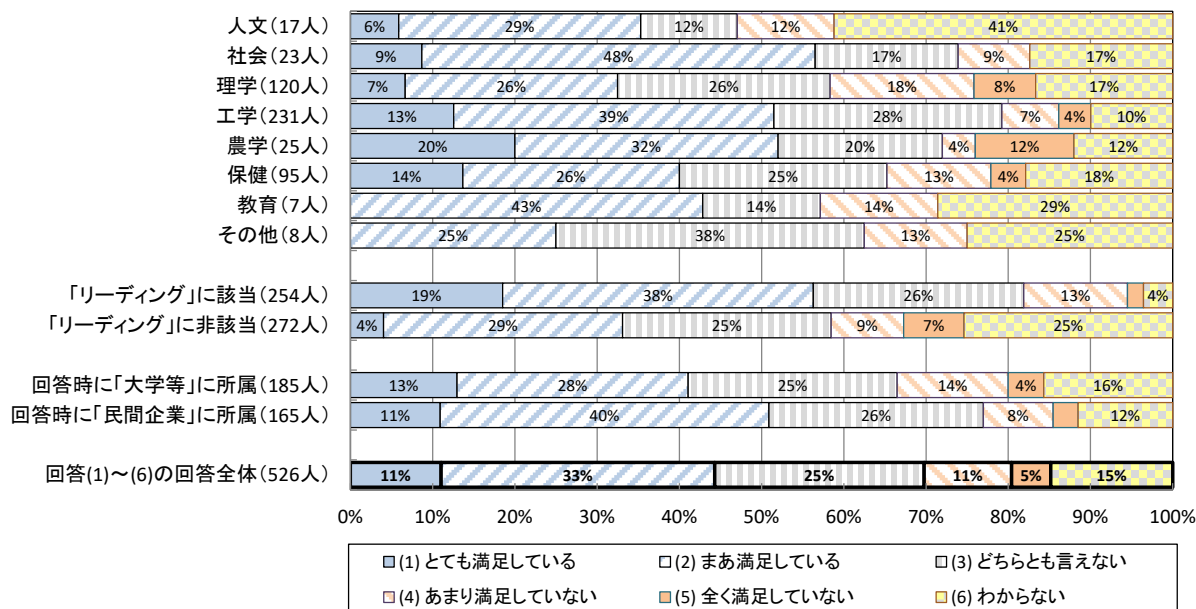
修[問18] 語学(外国語)プログラムについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表 3-5-7 属性別：修[問 18]における回答(7)の割合<博士課程修了者等>



図表 3-5-8 属性別：修[問 18]の満足度<博士課程修了者等(回答(7)を除く)>

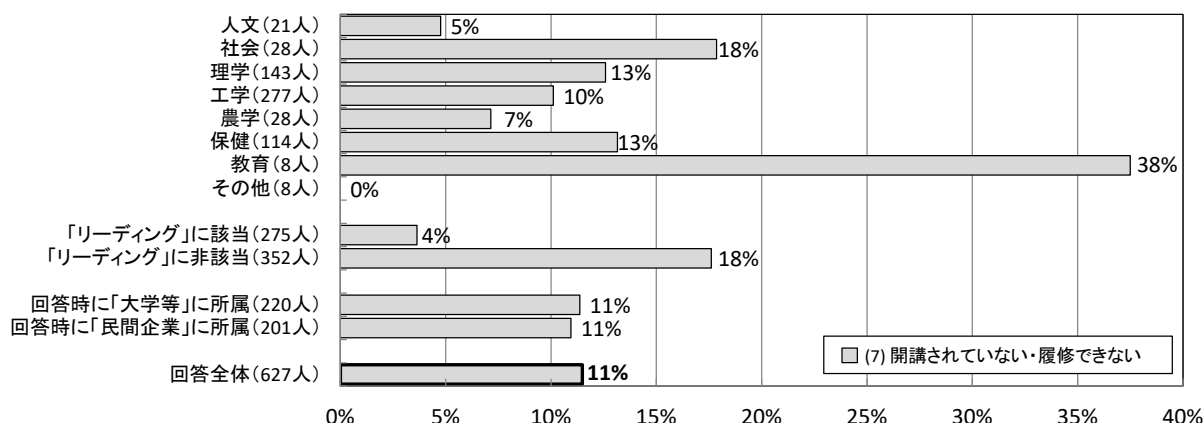


図表3-5-9および図表3-5-10は、博士課程修了者等の[問19]専門分野外の教養科目についての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の割合である。図表3-5-9が示すように、回答全体で[問19]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、11%(627人のうち72人)であった。また、図表3-5-10が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が51%(555人のうち282人)となっていた。

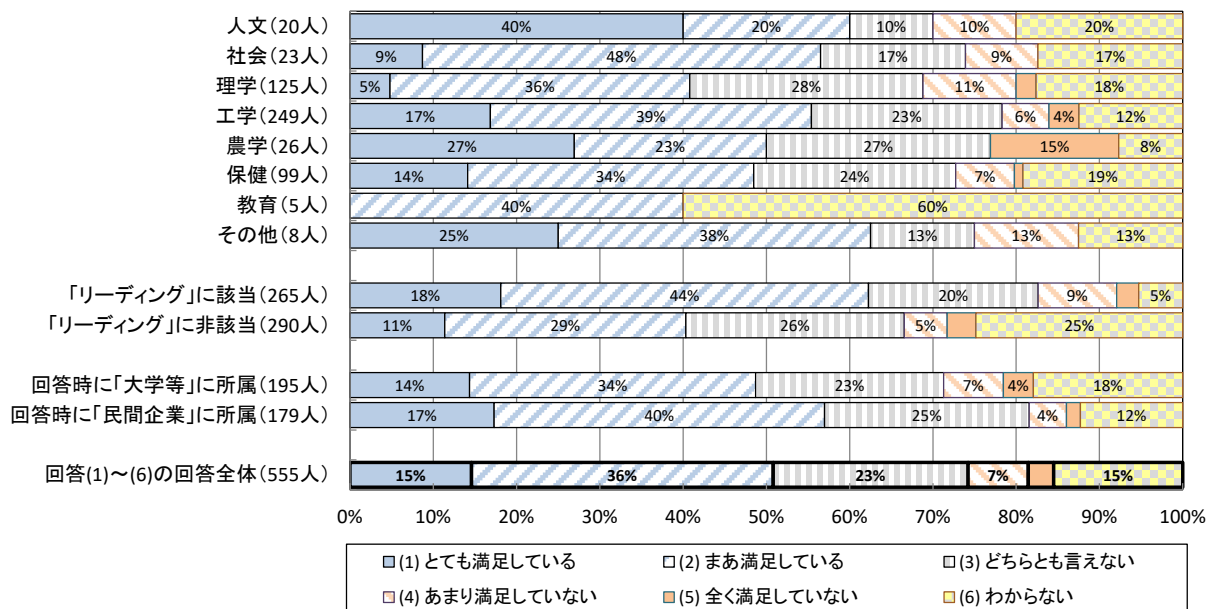
修[問19] 専門分野外の教養科目について、あなたはどれくらい満足していますか

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表 3-5-9 属性別：修[問 19]における回答(7)の割合<博士課程修了者等>



図表 3-5-10 属性別：修[問 19]の満足度<博士課程修了者等(回答(7)を除く)>

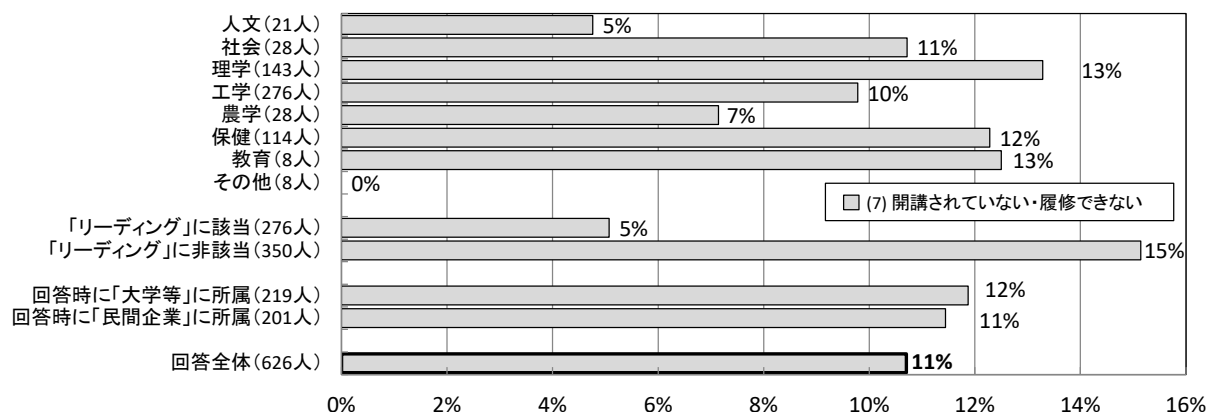


図表3-5-11および図表3-5-12は、博士課程修了者等の[問20] 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例：研究倫理、プレゼンテーション講座等) についての満足度に関する回答(7)および回答(1)～(6)の割合である。図表3-5-11が示すように、回答全体で[問20]に関して[回答(7) 開講されていない・履修できない]と回答した割合は、11%(626人のうち67人)であった。また、図表3-5-12が示すように、回答(1)～(6)の回答全体で[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が55%(559人のうち310人)となっていた。

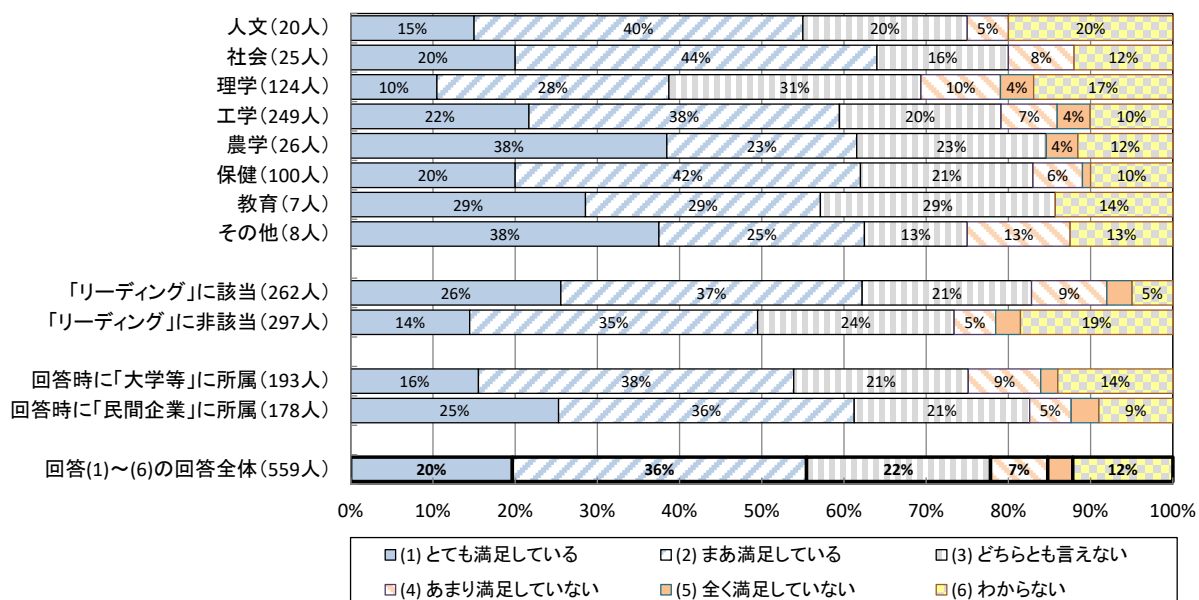
修[問20] 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例：研究倫理、プレゼンテーション講座等) について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

図表 3-5-11 属性別：修[問 20]における回答(7)の割合<博士課程修了者等>



図表 3-5-12 属性別：修[問 20]の満足度<博士課程修了者等(回答(7)を除く)>



博士課程修了者等向け調査票の[問21]では博士課程プログラム(専門分野以外の高度な教養の獲得や、職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等)に関する特に満足した点、満足していない(不満に思う)点の自由記述の記入を依頼した。[問21]の回答として、内容のある自由記述は日本語で106件、英語で9件であった。図表3-5-13は、博士課程修了者等の[問21]の日本語自由記述における頻出用語である。自由記述の回答例は、参考資料2-2に示している。

修[問21] 上記の博士課程プログラム(専門分野以外の高度な教養の獲得や、職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等)に関する[問16]から[問20]について、あなたが特に満足した点、満足していない(不満に思う)点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

<[問16] インターンシップ [問17] 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育 [問18] 語学(外国語)プログラム [問19] 専門分野外の教養科目 [問20] 社会で活躍するための能力を習

得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）〉

<回答自由記述>

図表 3-5-13 修[問 21]の頻出用語<博士課程修了者等>

抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数
研究	52	機会	28	社会	21	英語	19
プログラム	39	教育	28	分野	21	感じる	17
キャリア	37	満足	23	思う	20	専門	17
博士	32	インターンシップ	21	能力	20	海外	15
課程	29	外国	21	科目	19	学生	14

3-6. 博士課程教育関連プログラムに関する満足度（修[問 22]～[問 29]）

博士課程修了者等向け調査票の[問 22]～[問 29]では「3-6. 博士課程教育関連プログラムに関する満足度」を尋ねた。[問 22]～[問 28]では択一式の質問として、博士課程教育リーディングプログラムに関する

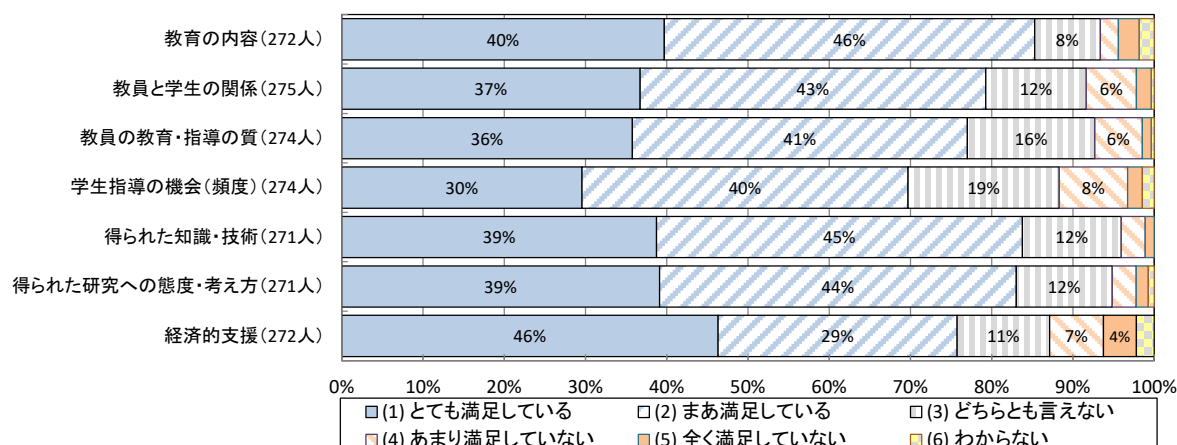
- 修 [問 22] 教育の内容
- 修 [問 23] 教員と学生の関係
- 修 [問 24] 教員の教育・指導の質
- 修 [問 25] 学生指導の機会（頻度）
- 修 [問 26] 得られた知識・技術
- 修 [問 27] 得られた研究への態度・考え方
- 修 [問 28] 経済的支援

の満足度を下記の回答選択肢で尋ねた。

- 回答(1) とても満足している
- 回答(2) まあ満足している
- 回答(3) どちらとも言えない
- 回答(4) あまり満足していない
- 回答(5) 全く満足していない
- 回答(6) わからない

図表 3-6-1 は博士課程修了者等の[問 22]～[問 28]に関する回答割合である。
[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も高かったのは[問 22]教育の内容の 85%(272 人のうち 232 人)であった。一方、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]の合計割合が最も低かったのは[問 25]学生指導の機会(頻度)の 70%(274 人のうち 191 人)であった。

図表 3-6-1 博士課程の教育関連プログラムに関する各満足度の回答割合
〈該当した博士課程修了者等〉



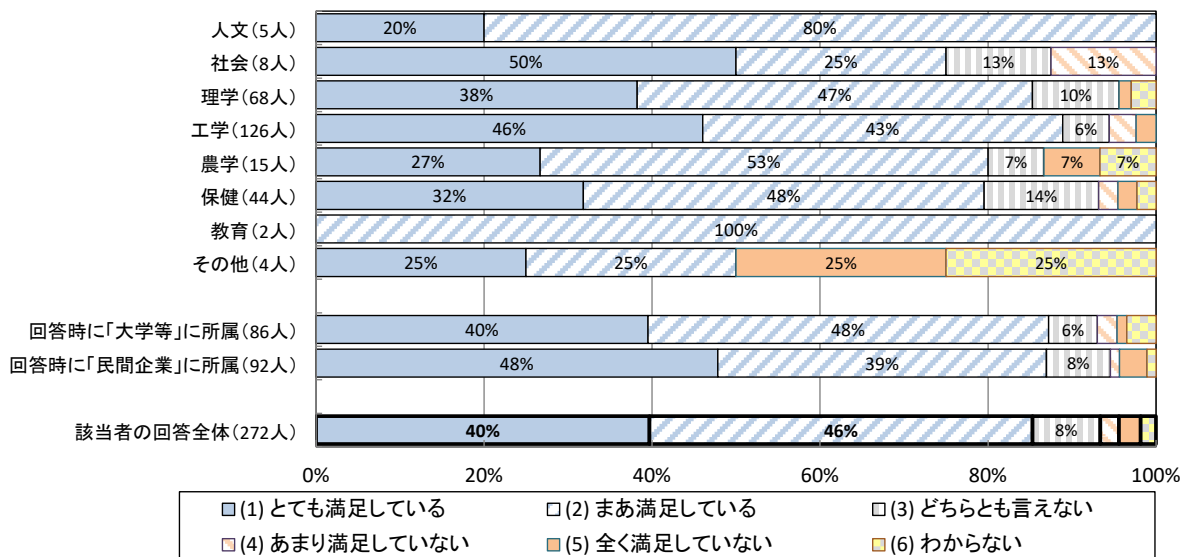
図表 3-6-2 は、博士課程修了者等の[問 22]博士課程教育リーディングプログラムの教育の内容についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が 85%(272 人のうち 232 人)となっていた。

く [問22] から [問29] までは、博士課程教育リーディングプログラムの受講経験者にお伺いします（それ以外の方は、[問22] から [問29] に対する回答は不要です。）

修 [問22] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムの教育の内容についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-6-2 属性別：修[問 22]の満足度<該当した博士課程修了者等>

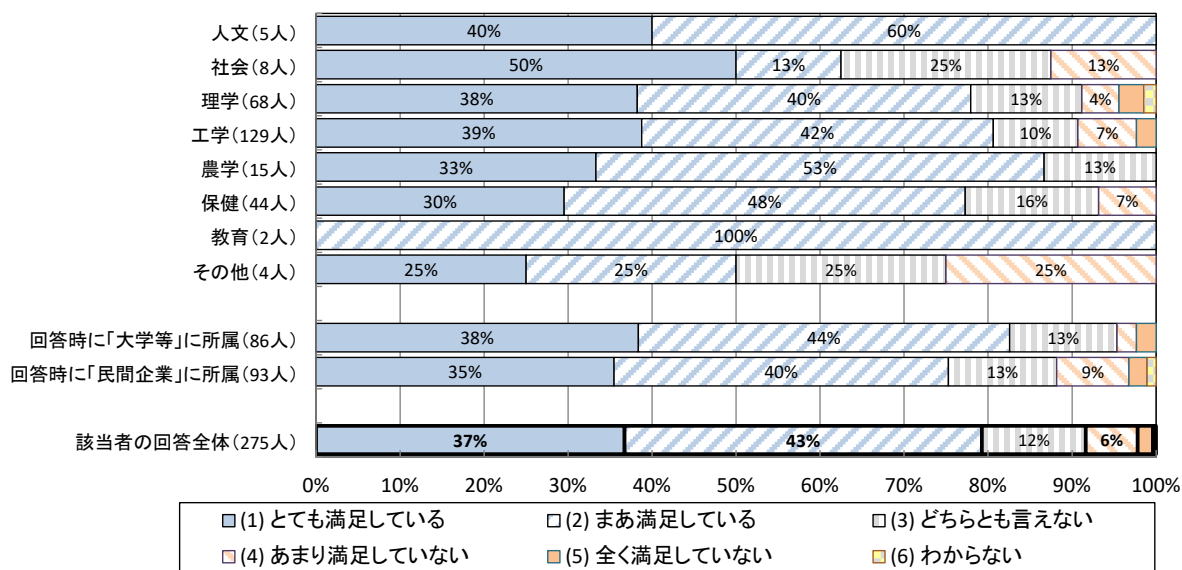


図表3-6-3は、博士課程修了者等の[問23]博士課程教育リーディングプログラムにおける教員と学生の関係についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が79%(275人のうち218人)となっていた。

修 [問23] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける教員と学生の関係についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-6-3 属性別：修[問 23]の満足度<該当した博士課程修了者等>

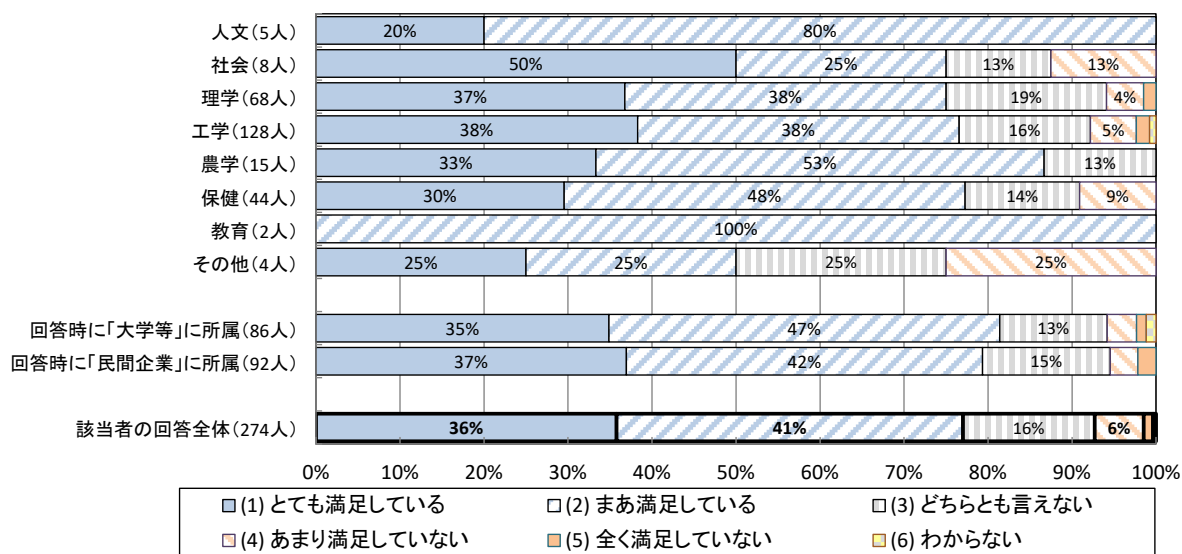


図表3-6-4は、博士課程修了者等の[問24]博士課程教育リーディングプログラムにおける教員の教育・指導の質についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が77% (274人のうち211人)となっていた。

修[問24] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける教員の教育・指導の質についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-6-4 属性別：修[問 24]の満足度<該当した博士課程修了者等>

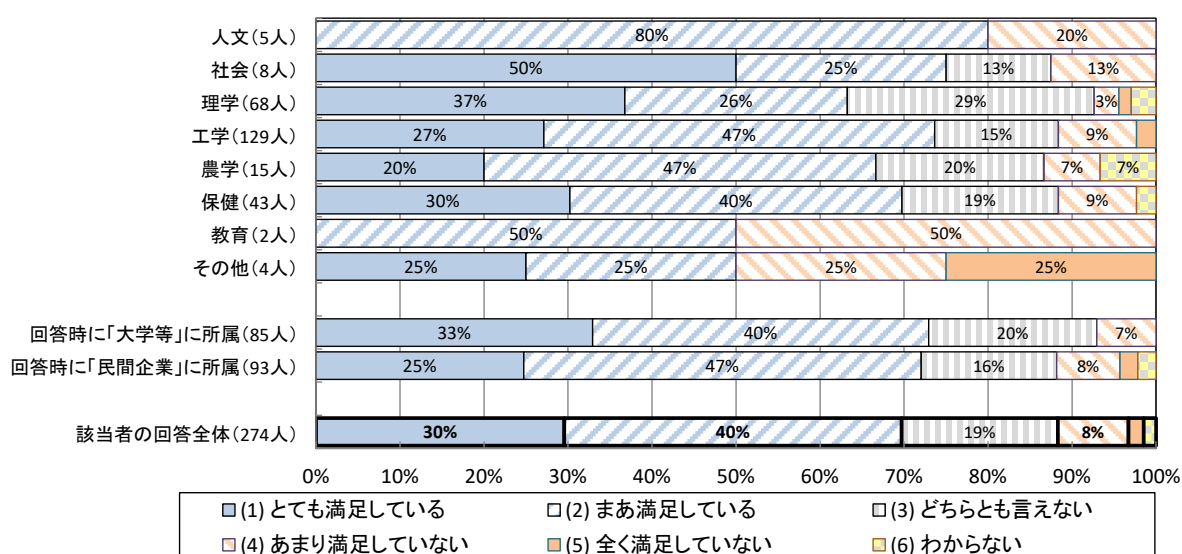


図表3-6-5は、博士課程修了者等の[問25]博士課程教育リーディングプログラムにおける学生指導の機会(頻度)についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が70% (274人のうち191人)となっていた。

修 [問25] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける学生指導の機会(頻度)についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-6-5 属性別：修[問 25]の満足度<該当した博士課程修了者等>

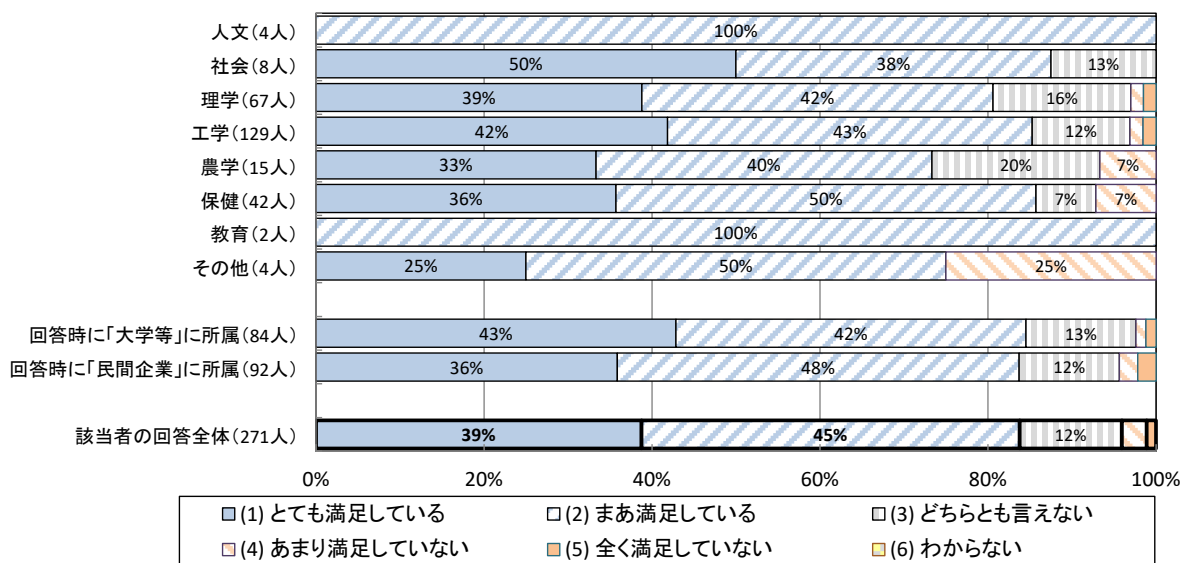


図表3-6-6は、博士課程修了者等の[問26]博士課程教育リーディングプログラムで得られた知識・技術についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が84% (271人のうち227人)となっていた。

修 [問26] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムで得られた知識・技術についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-6-6 属性別：修[問 26]の満足度<該当した博士課程修了者等>

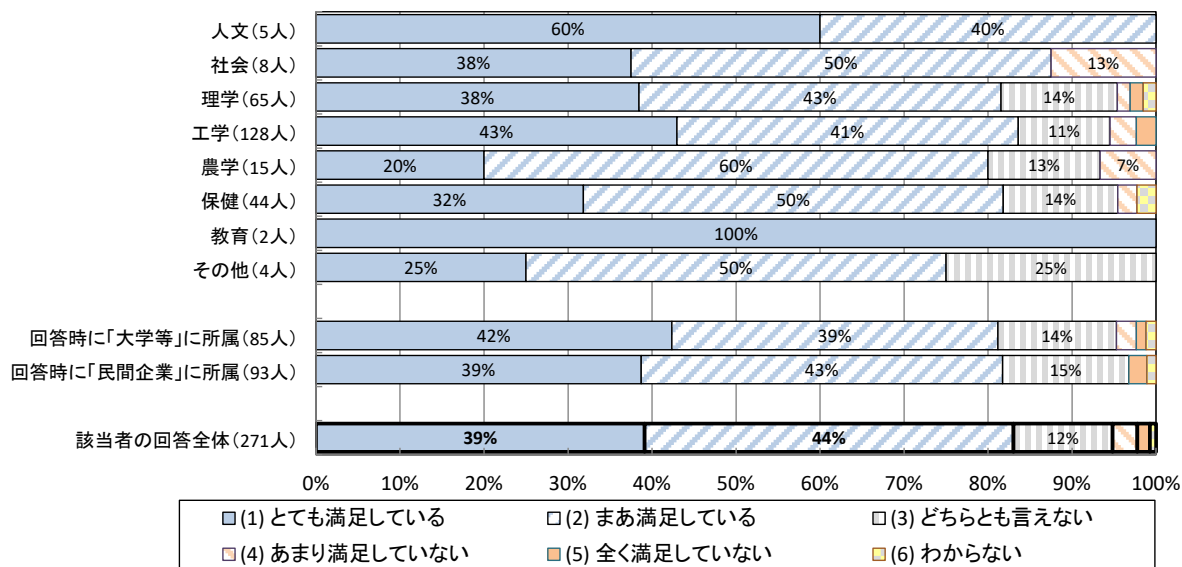


図表3-6-7は、博士課程修了者等の[問27]博士課程教育リーディングプログラムで得られた研究への態度・考え方についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) とても満足している]の合計割合は83%(271人のうち225人)となっていた。

修[問 27] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムで得られた研究への態度・考え方についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-6-7 属性別：修[問 27]の満足度<該当した博士課程修了者等>

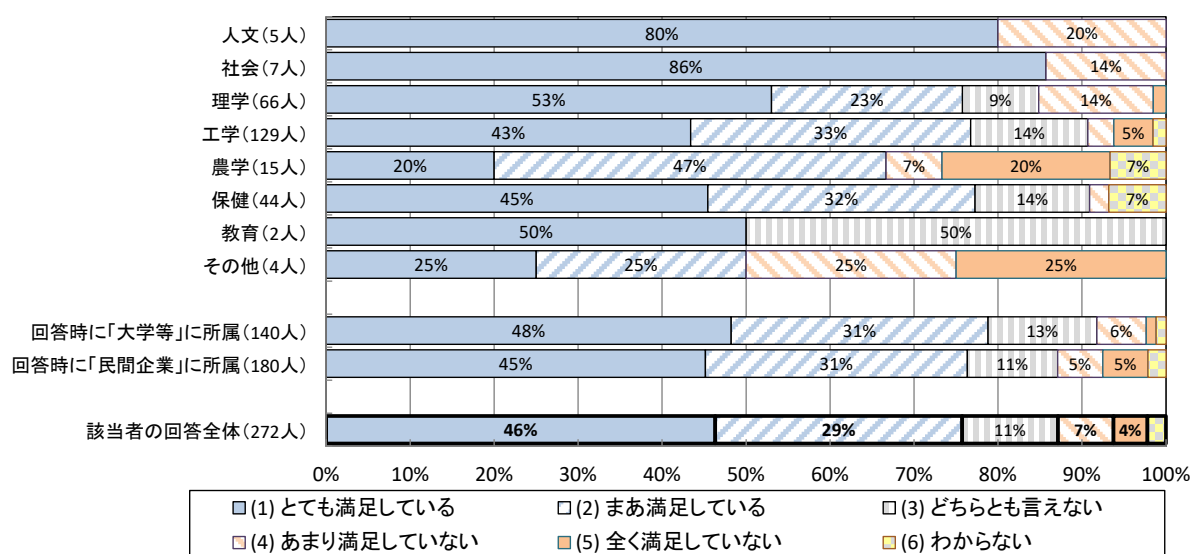


図表3-6-8は、博士課程修了者等の[問28]博士課程教育リーディングプログラムにおける経済的支援についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では、[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が76%(272人のうち206人)となっていた。

修 [問28] あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける経済的支援についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-6-8 属性別：修[問 28]の満足度〈該当した博士課程修了者等〉



博士課程修了者等向け調査票の[問29]では博士課程教育リーディングプログラムに関して特に満足した点、満足していない(不満に思う)点に関する自由記述の記入を依頼した。[問29]の回答として、内容のある自由記述は日本語で60件、英語で6件であった。自由記述の回答例は、参考資料2-2に示している。

修 [問29] 上記の博士課程教育リーディングプログラムに関する [問22] から [問28] について、あなたが特に満足した点、満足していない(不満に思う)点がありましたら、該当する問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

〈 [問22] 教育の内容 [問23] 教員と学生の関係 [問24] 教員の教育・指導の質 [問25] 学生指導の機会(頻度) [問26] 得られた知識・技術 [問27] 得られた研究への態度・考え方 [問28] 経済的支援〉

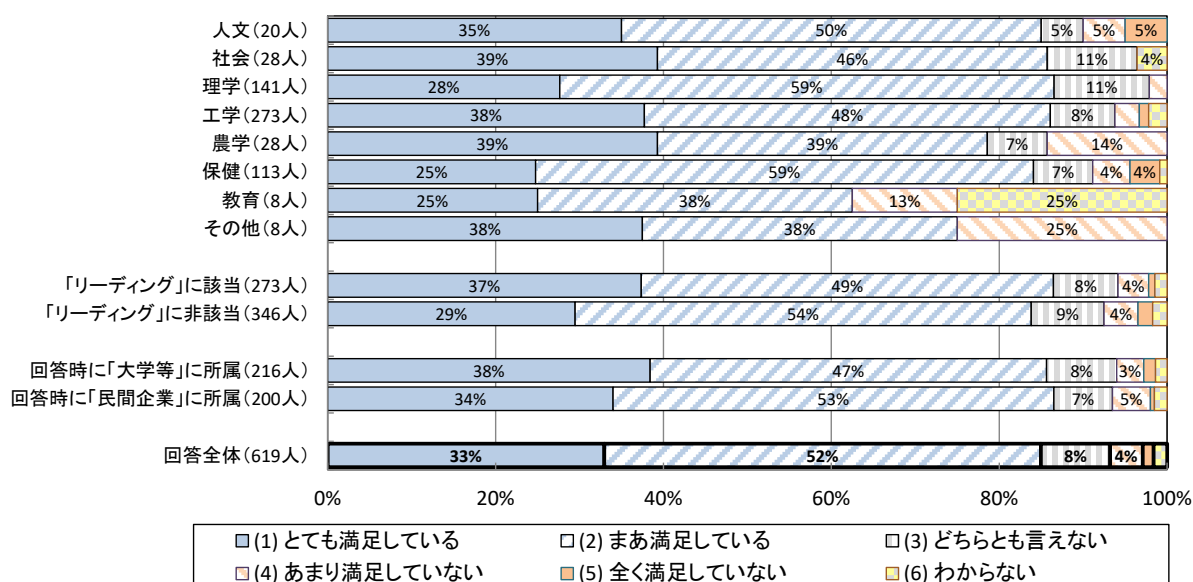
3-7. 博士課程のプログラム全体に関する満足度(修[問 30]～[問 32])

図表 3-7-1 は、博士課程修了者等の[問 30]博士後期課程のプログラム全体についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が 85%(619 人のうち 526 人)となっていた。

修[問30] 博士後期課程(一貫制のときには3年次以降)全体についてお聞きます。あなたは、博士後期課程のプログラム全体について、どのくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-7-1 属性別:博士後期課程のプログラム全体に関する満足度
<博士課程修了者等>

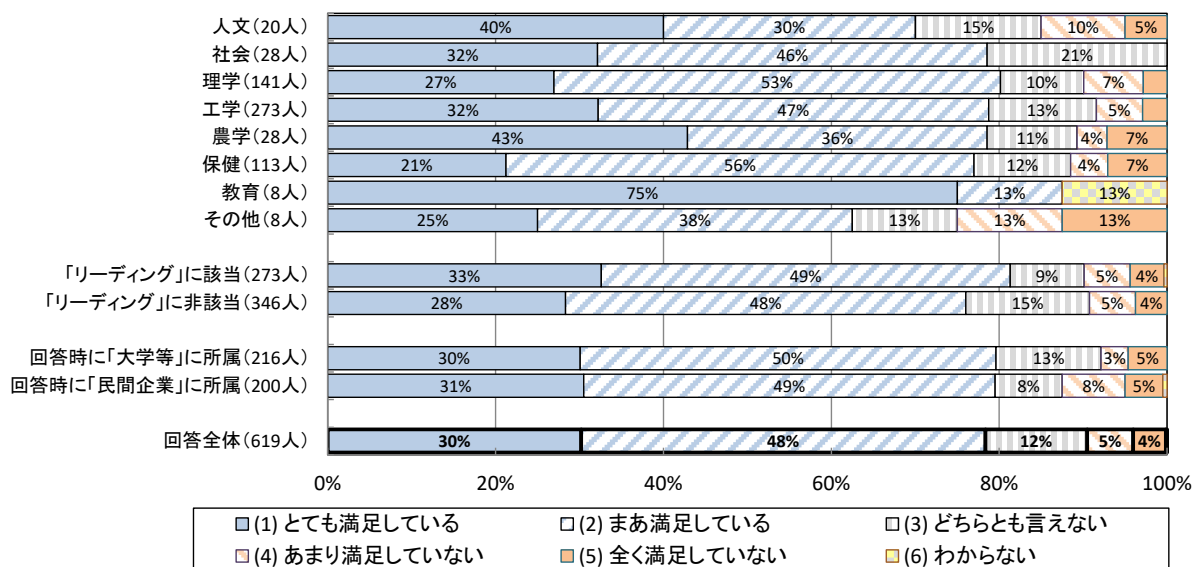


図表3-7-2は、博士課程修了者等の[問31]博士後期課程を修了しての現在の状況についての満足度に関する属性別回答割合である。回答全体では[回答(1) とても満足している]と[回答(2) まあ満足している]が78%(619人のうち485人)となっていた。

修[問31] あなたは、博士後期課程を修了してのあなたの現在の状況について、全体としてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

図表 3-7-2 属性別：博士課程修了後の現在の状況に関する満足度
〈博士課程修了者等〉



博士課程修了者等向け調査票の[問32]では博士課程への魅力を感じ進学を決意する決め手になると思うことについての自由記述の記入を依頼した。[問32]の回答として、内容のある自由記述は日本語で299件、英語で22件であった。図表3-7-3は、博士課程修了者等の[問32]の日本語自由記述における頻出用語である。自由記述の回答例は、参考資料2-2に示している。

修[問32] 修士課程から博士課程への進学を検討するに当たり、どのようなプログラムや研究環境の整備、学生への支援策や情報があれば、博士課程への魅力を感じ進学を決意する決め手になると思いますか。修了者としての立場からご意見をいただけますと幸いです。

＜回答自由記述＞

図表 3-7-3 修[問 32]の頻出用語〈博士課程修了者等〉

抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数	抽出語	回数
博士	359	経済	147	企業	72	情報	52
課程	265	進学	140	修士	70	感じる	50
研究	174	学生	134	社会	69	考える	47
思う	174	就職	97	キャリア	57	必要	47
支援	173	修了	84	取得	52	生活	46

[参考文献]

- 科学技術・学術政策研究所 第 1 調査研究グループ(2018)「博士人材追跡調査」第 2 次報告書」文部科学省 科学技術・学術政策研究所 NISTEP REPORT 174
<http://doi.org/10.15108/nr174>
- 科学技術・学術政策研究所 第 1 調査研究グループ(2020)「博士人材追跡調査」第 3 次報告書」文部科学省 科学技術・学術政策研究所 NISTEP REPORT 188
<http://doi.org/10.15108/nr188>
- 小林百合・梅川通久・星野利彦(2020)「博士人材データベース(JGRAD)の登録情報を用いた博士課程の経済的支援の効果に関する試行的分析」文部科学省 科学技術・学術政策研究所 DISCUSSION PAPER 182 <https://doi.org/10.15108/dp182>
- 齋藤経史・齊藤貴浩・梅川通久・星野利彦(2020)「新型コロナウイルス流行の研究活動への影響等に関する調査－博士人材データベース(JGRAD)におけるウェブアンケート調査－」文部科学省 科学技術・学術政策研究所 調査資料 298
<https://doi.org/10.15108/rm298>
- 篠田裕美・松澤孝明(2016)「博士人材データベース(JGRAD)を用いた博士課程在籍者・修了者の所属確認とキャリアパス等に関する意識調査」文部科学省 科学技術・学術政策研究所 調査資料 250 <https://doi.org/10.15108/rm250>
- 三木清香(2019)「博士人材データベース(JGRAD)を用いたキャリアパス等に関する意識調査－JGRAD アンケート 2018 結果報告－」文部科学省 科学技術・学術政策研究所 調査資料 281 <https://doi.org/10.15108/rm281>

[謝辞]

本調査にご回答いただいた JGRAD の登録者の皆様に深く感謝と敬意を表します。本当にありがとうございました。本稿が、政策当局における博士人材の育成施策の立案に資することを強く願います。

本調査の調査票は、令和 2 年(2020 年)5 月まで当研究所に勤務された小林百合さん(在勤時は上席研究官)が、JGRAD 参加大学の事務局などの意見を踏まえて作成したものです。データ分析を行う前に退職された小林百合さんは著者から外れましたが、ここに在勤時のご尽力を記して謝意を表します。また、第 1 調査研究グループにおいて博士人材追跡調査(JD-Pro)を担当している治部眞里上席研究官には、本稿における比較のために JD-Pro のデータを集計いただいたことにも謝意を表します。

また、本稿の校閲では、JGRAD の運用支援を委託している(株)日立コンサルティングの岡山将也シニアマネージャーおよび間杉奈々子シニアコンサルタントにも協力いただきました。システムの運用支援の範疇を超える作業にご協力いただいたことに感謝いたします。

[役割分担]

調査票作成: 小林百合(元 第 1 調査研究グループ 上席研究官)

データ分析・報告書執筆: 齋藤経史(第 1 調査研究グループ 上席研究官)

報告書監修: 梅川通久(第 1 調査研究グループ 上席研究官)
星野利彦(第 1 調査研究グループ 総括上席研究官)

【参考資料 1】 調査結果表

参考1-1. 博士課程在籍者に関する調査結果表

在〔問1〕あなたが博士課程後期（博士課程（一貫）含む。）に進学した「最も主要な理由」を、以下の選択肢から1つ選択してください。

〈次の設問で「2番目の理由」を質問します。〉

- 回答(a) 研究したい課題や問題意識があった
- 回答(b) 研究すること自体に興味・関心があった
- 回答(c) 自分自身の能力や技能を高めることに関心があった
- 回答(d) 大学教員や研究者になるために必要だった
- 回答(e) 博士号を取れば、良い仕事や高い収入が期待できる
- 回答(f) 親や指導教員等から進学を勧められた
- 回答(g) 尊敬している先輩や、目標となる人が進学している
- 回答(h) 雇用先で勧められた、または雇用先で学位が必要だった
- 回答(i) フェローシップ等が得られた
- 回答(j) 学生でいたかった、または学生という身分が必要であった
- 回答(k) その他（問3で具体的にお聞きします）

参考表 1-1-1 属性別：在〔問1〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答(g)	回答(h)	回答(i)	回答(j)	回答(k)	回答計
人文	14	5	2	5	2	0	1	1	0	0	0	30
社会	15	7	7	5	0	2	1	0	0	0	0	37
理学	24	47	12	4	4	0	2	1	2	0	1	97
工学	47	107	83	35	21	2	4	11	3	3	5	321
農学	11	12	6	4	1	0	1	1	2	0	0	38
保健	19	44	32	13	5	3	4	8	2	0	5	135
教育	0	1	3	2	0	1	0	0	0	0	0	7
その他	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	6
「リ」卓に該当	50	97	69	20	17	3	6	3	6	1	4	276
「リ」卓に非該当	82	128	77	49	16	5	7	19	3	2	7	395
回答計	132	225	146	69	33	8	13	22	9	3	11	671

在〔問2〕あなたが博士課程後期（博士課程（一貫）含む。）に進学した「2番目の理由」を、以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(a) 研究したい課題や問題意識があった
- 回答(b) 研究すること自体に興味・関心があった
- 回答(c) 自分自身の能力や技能を高めることに関心があった
- 回答(d) 大学教員や研究者になるために必要だった
- 回答(e) 博士号を取れば、良い仕事や高い収入が期待できる

- 回答(f) 親や指導教員等から進学を勧められた
 回答(g) 尊敬している先輩や、目標となる人が進学している
 回答(h) 雇用先で勧められた、または雇用先で学位が必要だった
 回答(i) フェローシップ等が得られた
 回答(j) 学生でいたかった、または学生という身分が必要であった
 回答(k) その他（問3で具体的にお聞きます）

参考表 1-1-2 属性別：在[問 2]の回答数<博士課程在籍者>

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答(g)	回答(h)	回答(i)	回答(j)	回答(k)	回答計
人文	3	9	6	5	0	1	2	0	0	0	0	26
社会	7	8	5	7	3	1	1	0	2	1	1	36
理学	13	18	32	11	2	0	4	0	4	2	3	89
工学	41	69	77	34	42	11	6	5	11	4	4	304
農学	8	8	8	6	2	1	0	0	1	0	0	34
保健	12	18	40	22	17	2	5	3	3	2	4	128
教育	2	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	6
その他	0	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	6
「リ」卓に該当	32	62	63	35	32	3	6	0	16	3	3	255
「リ」卓に非該当	54	71	107	52	35	13	12	8	7	6	9	374
回答計	86	133	170	87	67	16	18	8	23	9	12	629

在[問 4] あなたが博士課程修了後に希望する就職先について、以下の中から最もあてはまる選択肢を1つ選択してください。

- 回答(a) 大学（短大・高専を含む）
 回答(b) (a)以外の学校（小、中、高校など）
 回答(c) 公的機関（研究開発法人、独立行政法人、公務員等）
 回答(d) 民間企業（自ら起業する場合を除く）
 回答(e) 非営利団体（学校、大学、公的機関を除く）
 回答(f) 起業
 回答(g) 専門職（医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、弁護士、税理士等）
 回答(h) 未定
 回答(i) その他

参考表 1-1-3 属性別：在[問 4]の回答数<博士課程在籍者>

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答(g)	回答(h)	回答(i)	回答計
人文	33	0	6	3	0	0	0	2	1	45
社会	32	0	8	5	0	0	2	5	1	53
理学	60	0	21	41	0	0	2	6	3	133
工学	125	3	58	159	4	10	7	14	9	389
農学	18	0	10	10	0	0	1	2	2	43
保健	68	0	24	24	1	1	41	10	3	172
教育	7	1	1	0	0	1	0	0	0	10
その他	7	0	2	1	0	0	1	1	0	12
「リ」卓に該当	137	1	59	113	0	6	15	16	1	348
「リ」卓に非該当	213	3	71	130	5	6	39	24	18	509
回答計	350	4	130	243	5	12	54	40	19	857

在〔問5〕あなたが博士課程修了後に希望する職種について、以下の選択肢から最もあてはまるものを一つ選択してください。

〈なお、「教育研究職」とは大学、高校等の教員、研究職公務員、民間企業の研究従事等を、「非教育研究職」とは主に教育研究以外の仕事に従事する者で、専門・技術職、事務職、営業等を示すものとします。〉

回答(a) 教育研究職（大学教員、研究職公務員、民間企業の研究従事 等）

回答(b) どちらかといえば教育研究職

回答(c) 教育研究職と非教育研究職のどちらでもよい

回答(d) どちらかといえば非教育研究職

回答(e) 非教育研究職

回答(f) わからない

参考表 1-1-4 属性別：在〔問 5〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答計
人文	32	6	2	2	1	2	45
社会	37	3	6	2	2	3	53
理学	77	21	12	12	10	1	133
工学	198	37	63	42	39	9	388
農学	27	2	4	6	4	0	43
保健	90	15	28	16	12	10	171
教育	7	3	0	0	0	0	10
その他	9	1	1	1	0	0	12
「リ」「卓」に該当	187	41	47	34	33	6	348
「リ」「卓」に非該当	290	47	69	47	35	19	507
回答計	477	88	116	81	68	25	855

在〔問 6〕あなたが就職後を見据えて、博士課程教育において「最も身につけたい能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

〈続く設問で、「2 番目に」「3 番目に」身につけたい能力を問います。

身につけたい能力が 1 つしかない方は、こちらで 1 つ選択していただき〔問 7〕及び〔問 8〕では「(r) なし」で
ご回答いただけますと幸いです。〉

回答(a) 専門知識・専門能力	回答(b) 研究遂行能力	回答(c) 業務遂行能力
回答(d) 問題設定力	回答(e) 問題解決力	回答(f) 論理的思考力
回答(g) 判断力	回答(h) 語学力	回答(i) プレゼンテーション力
回答(j) コミュニケーション力	回答(k) 意欲・向上心	回答(l) 創造性
回答(m) 協調性	回答(n) 一般教養・知識	回答(o) マネジメント力
回答(p) リーダーシップ	回答(q) その他	回答(r) なし

参考表 1-1-5 属性別：在〔問 6〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答(g)	回答(h)	回答(i)	回答(j)
人文	19	19	0	3	1	1	0	1	0	0
社会	17	24	0	1	3	5	0	0	1	0
理学	30	59	1	17	7	10	1	1	2	1
工学	117	144	7	38	27	32	3	2	2	2
農学	14	17	0	2	3	5	1	0	0	0
保健	56	75	1	7	11	8	0	3	1	0
教育	3	5	0	0	0	1	0	0	0	0
その他	3	5	0	2	2	0	0	0	0	0
「リ」「卓」に該当	102	124	5	37	28	29	3	3	0	0
「リ」「卓」に非該当	157	224	4	33	26	33	2	4	6	3
回答計	259	348	9	70	54	62	5	7	6	3

	回答(k)	回答(l)	回答(m)	回答(n)	回答(o)	回答(p)	回答(q)	回答(r)	回答計
人文	0	0	0	0	1	0	0	0	45
社会	0	1	0	0	0	0	0	1	53
理学	0	2	0	0	1	0	0	0	132
工学	0	4	0	1	5	1	0	0	385
農学	0	1	0	0	0	0	0	0	43
保健	0	4	0	0	2	2	1	0	171
教育	0	0	0	0	0	1	0	0	10
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	12
「リ」「卓」に該当	0	6	0	1	5	3	0	0	346
「リ」「卓」に非該当	0	6	0	0	4	1	1	1	505
回答計	0	12	0	1	9	4	1	1	851

在〔問 7〕 あなたが就職後を見据えて、博士課程教育において「2 番目に身につけたい能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

- | | | |
|------------------|---------------|------------------|
| 回答(a) 専門知識・専門能力 | 回答(b) 研究遂行能力 | 回答(c) 業務遂行能力 |
| 回答(d) 問題設定力 | 回答(e) 問題解決力 | 回答(f) 論理的思考力 |
| 回答(g) 判断力 | 回答(h) 語学力 | 回答(i) プレゼンテーション力 |
| 回答(j) コミュニケーション力 | 回答(k) 意欲・向上心 | 回答(l) 創造性 |
| 回答(m) 協調性 | 回答(n) 一般教養・知識 | 回答(o) マネジメント力 |
| 回答(p) リーダーシップ | 回答(q) その他 | 回答(r) なし |

参考表 1-1-6 属性別：在〔問 7〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答(g)	回答(h)	回答(i)	回答(j)
人文	13	9	0	3	1	9	0	6	1	0
社会	17	10	0	7	5	5	0	4	0	2
理学	30	24	3	27	16	14	3	2	3	2
工学	84	86	17	38	51	43	0	8	10	8
農学	9	8	1	8	3	5	1	2	1	1
保健	47	36	10	14	17	26	1	3	5	2
教育	3	2	1	2	0	1	0	0	0	0
その他	4	3	0	0	1	4	0	0	0	0
「リ」卓に該当	77	72	18	47	41	40	2	6	7	7
「リ」卓に非該当	130	106	14	52	53	67	3	19	13	8
回答計	207	178	32	99	94	107	5	25	20	15

	回答(k)	回答(l)	回答(m)	回答(n)	回答(o)	回答(p)	回答(q)	回答(r)	回答計
人文	0	1	0	0	1	0	0	1	45
社会	1	0	0	0	0	1	0	1	53
理学	0	3	0	0	2	2	1	0	132
工学	5	19	0	2	6	3	2	0	385
農学	0	1	0	0	2	0	0	0	43
保健	0	3	0	0	4	2	1	0	171
教育	0	0	0	0	1	0	0	0	10
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	12
「リ」卓に該当	2	12	0	1	8	5	1	0	346
「リ」卓に非該当	4	15	4	1	8	3	3	2	505
回答計	6	27	0	2	16	8	4	2	851

在〔問 8〕 あなたが就職後を見据えて、博士課程教育において「3 番目に身につけたい能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

回答(a) 専門知識・専門能力 回答(b) 研究遂行能力 回答(c) 業務遂行能力
 回答(d) 問題設定力 回答(e) 問題解決力 回答(f) 論理的思考力
 回答(g) 判断力 回答(h) 語学力 回答(i) プレゼンテーション力
 回答(j) コミュニケーション力 回答(k) 意欲・向上心 回答(l) 創造性
 回答(m) 協調性 回答(n) 一般教養・知識 回答(o) マネジメント力
 回答(p) リーダーシップ 回答(q) その他 回答(r) なし

参考表 1-1-7 属性別：在〔問 8〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答(g)	回答(h)	回答(i)	回答(j)
人文	5	5	5	2	3	10	1	4	3	2
社会	6	7	5	6	5	10	0	6	1	2
理学	19	12	8	16	12	19	1	13	4	6
工学	47	41	14	32	72	48	6	31	14	17
農学	5	8	2	2	3	6	0	2	2	4
保健	19	9	9	9	30	34	4	12	14	6
教育	0	0	1	0	2	4	0	1	0	0
その他	2	2	0	3	2	1	1	0	0	0
「リ」卓に該当	46	35	17	27	53	52	8	22	17	11
「リ」卓に非該当	57	49	27	43	76	80	5	47	21	26
回答計	103	84	44	70	129	132	13	69	38	37

	回答(k)	回答(l)	回答(m)	回答(n)	回答(o)	回答(p)	回答(q)	回答(r)	回答計
人文	0	2	0	1	0	1	0	1	45
社会	0	0	0	0	3	1	0	1	53
理学	1	10	1	1	5	2	1	1	132
工学	6	22	5	6	16	6	1	1	385
農学	3	1	1	0	3	1	0	0	43
保健	4	8	0	1	4	6	0	2	171
教育	1	0	0	0	1	0	0	0	10
その他	0	0	0	0	0	1	0	0	12
「リ」卓に該当	6	21	5	3	12	9	1	1	346
「リ」卓に非該当	9	22	2	6	20	9	1	5	505
回答計	15	43	7	9	32	18	2	6	851

在【問9】博士課程プログラム（専門分野）における教育の内容について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-8 属性別：在【問9】の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	12	18	8	4	2	1	45
社会	17	28	5	2	1	0	53
理学	32	61	19	12	5	3	132
工学	98	187	67	22	8	3	385
農学	12	21	7	1	1	1	43
保健	27	93	29	15	5	2	171
教育	2	5	1	2	0	0	10
その他	0	7	3	1	1	0	12
「リ」「卓」に該当	90	179	47	24	5	1	346
「リ」「卓」に非該当	110	241	92	35	18	9	505
回答計	200	420	139	59	23	10	851

在【問10】博士課程プログラム（専門分野）における教員と学生の関係について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-9 属性別：在【問10】の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	20	18	2	5	0	0	45
社会	31	17	4	0	1	0	53
理学	51	49	13	10	7	2	132
工学	164	162	33	20	5	1	385
農学	17	17	5	2	2	0	43
保健	44	78	24	19	3	3	171
教育	2	4	0	4	0	0	10
その他	2	8	1	1	0	0	12
「リ」「卓」に該当	137	146	30	23	8	2	346
「リ」「卓」に非該当	194	207	52	38	10	4	505
回答計	331	353	82	61	18	6	851

在〔問11〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員の研究指導の質について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-10 属性別：在〔問 11〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	20	15	5	4	0	1	45
社会	32	15	2	3	1	0	53
理学	46	49	16	14	5	2	132
工学	165	147	47	19	5	2	385
農学	21	13	6	3	0	0	43
保健	54	65	28	17	5	1	170
教育	2	4	1	3	0	0	10
その他	5	4	2	1	0	0	12
「リ」「卓」に該当	139	128	47	24	6	1	345
「リ」「卓」に非該当	206	184	60	40	10	5	505
回答計	345	312	107	64	16	6	850

在〔問12〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員の研究指導の機会（頻度）について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-11 属性別：在〔問 12〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	12	15	13	5	0	0	45
社会	21	21	8	2	1	0	53
理学	36	54	25	9	6	2	132
工学	132	164	57	21	7	4	385
農学	18	11	7	3	4	0	43
保健	39	63	45	18	4	1	170
教育	2	2	3	2	1	0	10
その他	2	5	4	0	1	0	12
「リ」「卓」に該当	112	136	66	23	6	2	345
「リ」「卓」に非該当	150	199	96	37	18	5	505
回答計	262	335	162	60	24	7	850

在〔問13〕 博士課程プログラム（専門分野）で得られた知識・技術について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-12 属性別：在〔問 13〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	12	19	7	3	3	1	45
社会	13	28	7	3	2	0	53
理学	35	61	21	12	2	1	132
工学	109	191	66	14	3	2	385
農学	11	22	7	2	1	0	43
保健	25	92	31	14	6	2	170
教育	2	5	3	0	0	0	10
その他	1	9	2	0	0	0	12
「リ」「卓」に該当	95	171	60	13	6	0	345
「リ」「卓」に非該当	113	256	84	35	11	6	505
回答計	208	427	144	48	17	6	850

在〔問14〕 博士課程プログラム（専門分野）で得られた研究への態度・考え方について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-13 属性別：在〔問 14〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	17	17	5	4	0	2	45
社会	21	25	4	1	2	0	53
理学	36	67	19	8	1	1	132
工学	135	197	34	13	1	5	385
農学	14	23	4	1	1	0	43
保健	36	94	27	7	4	2	170
教育	2	4	4	0	0	0	10
その他	4	6	2	0	0	0	12
「リ」「卓」に該当	113	174	39	15	2	2	345
「リ」「卓」に非該当	152	259	60	19	7	8	505
回答計	265	433	99	34	9	10	850

在〔問15〕 博士課程プログラム（専門分野）における研究の施設・設備について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-14 属性別：在〔問 15〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	10	12	8	8	6	1	45
社会	19	19	11	2	2	0	53
理学	53	60	7	8	2	2	132
工学	171	141	45	20	7	0	384
農学	11	23	5	3	0	1	43
保健	58	71	21	11	9	0	170
教育	3	2	3	2	0	0	10
その他	4	3	0	4	0	1	12
「リ」「卓」に該当	162	123	33	21	5	1	345
「リ」「卓」に非該当	167	208	67	37	21	4	504
回答計	329	331	100	58	26	5	849

在〔問 16〕 博士課程プログラム（専門分野）における経済的支援について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-15 属性別：在〔問 16〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	6	8	9	12	7	3	45
社会	12	14	11	10	5	1	53
理学	33	48	18	17	14	2	132
工学	106	126	69	50	31	2	384
農学	4	14	13	8	2	2	43
保健	26	54	41	28	21	0	170
教育	1	3	3	1	2	0	10
その他	3	4	2	1	1	1	12
「リ」「卓」に該当	102	122	57	40	23	1	345
「リ」「卓」に非該当	89	149	109	87	60	10	504
回答計	191	271	166	127	83	11	849

在【問18】 インターンシップについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-1-16 属性別：在【問 18】の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	4	3	3	0	2	13	20	45
社会	2	5	11	2	0	18	15	53
理学	11	20	15	4	1	47	34	132
工学	51	60	63	11	9	99	91	384
農学	3	3	7	3	0	14	13	43
保健	11	24	31	4	3	41	55	169
教育	0	0	1	2	1	4	2	10
その他	0	5	1	1	0	3	2	12
「リ」「卓」に該当	63	70	61	16	9	64	61	344
「リ」「卓」に非該当	19	50	71	11	7	175	171	504
回答計	82	120	132	27	16	239	232	848

在【問19】 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-1-17 属性別：在【問 19】の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	2	6	7	3	4	17	6	45
社会	2	10	12	4	1	16	8	53
理学	10	35	28	15	5	28	11	132
工学	39	83	82	36	12	89	43	384
農学	5	8	8	3	1	14	4	43
保健	8	28	45	12	10	41	25	169
教育	0	1	1	3	2	3	0	10
その他	0	5	3	1	1	1	1	12
「リ」「卓」に該当	43	96	86	32	11	51	25	344
「リ」「卓」に非該当	23	80	100	45	25	158	73	504
回答計	66	176	186	77	36	209	98	848

在〔問20〕 語学（外国語）プログラムについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-1-18 属性別：在〔問 20〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	4	12	7	4	1	8	9	45
社会	2	9	10	5	4	15	8	53
理学	13	30	36	14	6	25	7	131
工学	47	105	84	31	16	61	40	384
農学	5	13	10	3	2	7	3	43
保健	9	35	44	20	8	33	20	169
教育	0	4	3	0	1	2	0	10
その他	0	5	6	0	0	0	1	12
「リ」「卓」に該当	43	127	87	27	12	33	14	343
「リ」「卓」に非該当	37	86	113	50	26	118	74	504
回答計	80	213	200	77	38	151	88	847

在〔問21〕 専門分野外の教養科目について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-1-19 属性別：在〔問 21〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	5	12	8	1	2	9	8	45
社会	3	14	14	2	2	13	4	52
理学	11	32	33	15	4	25	11	131
工学	50	103	108	19	9	59	36	384
農学	7	20	5	2	0	4	5	43
保健	12	38	53	17	4	24	21	169
教育	0	7	0	0	1	2	0	10
その他	0	5	4	0	1	2	0	12
「リ」「卓」に該当	55	125	97	19	5	23	19	343
「リ」「卓」に非該当	33	106	128	37	18	115	66	503
回答計	88	231	225	56	23	138	85	846

在〔問22〕 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-1-20 属性別：在〔問 22〕の回答数<博士課程在籍者>

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	4	12	11	2	3	9	4	45
社会	7	14	10	2	3	9	7	52
理学	8	43	43	10	1	18	8	131
工学	52	134	88	31	6	45	28	384
農学	4	15	14	2	0	3	5	43
保健	14	52	48	14	4	21	15	168
教育	3	2	2	2	0	1	0	10
その他	1	7	2	1	0	1	0	12
「リ」「卓」に該当	45	125	104	25	6	21	16	342
「リ」「卓」に非該当	48	154	114	39	11	86	51	503
回答計	93	279	218	64	17	107	67	845

在〔問24〕～在〔問30〕は、「博士課程教育リーディングプログラム」または「卓越大学院プログラム」の該当者のみで集計

在〔問24〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムの教育の内容についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-21 属性別：在〔問 24〕の回答数<該当する博士課程在籍者>

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	2	4	2	1	1	0	10
社会	6	7	2	1	0	0	16
理学	24	32	10	3	3	2	74
工学	48	64	19	9	0	4	144
農学	6	11	1	0	0	1	19
保健	15	28	5	4	0	1	53
教育	3	2	0	0	0	0	5
その他	0	3	1	2	0	0	6
回答計	104	151	40	20	4	8	327

在〔問25〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける教員と学生の関係についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-22 属性別：在〔問 25〕の回答数〈該当する博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	4	2	2	2	0	0	10
社会	8	5	2	1	0	0	16
理学	24	29	13	5	2	1	74
工学	61	49	22	6	4	2	144
農学	10	5	4	0	0	0	19
保健	12	25	12	5	0	0	54
教育	1	3	1	0	0	0	5
その他	0	4	1	0	1	0	6
回答計	120	122	57	19	7	3	328

在〔問26〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける教員の教育・指導の質についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-23 属性別：在〔問 26〕の回答数〈該当する博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	3	3	2	1	1	0	10
社会	8	6	1	1	0	0	16
理学	25	30	14	3	2	0	74
工学	55	58	22	8	0	1	144
農学	9	7	3	0	0	0	19
保健	13	27	8	5	1	0	54
教育	1	2	1	1	0	0	5
その他	0	4	1	0	1	0	6
回答計	114	137	52	19	5	1	328

在〔問27〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける学生指導の機会（頻度）についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-24 属性別：在〔問 27〕の回答数〈該当する博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	3	3	2	1	1	0	10
社会	9	6	0	0	1	0	16
理学	17	36	9	8	2	2	74
工学	44	59	27	10	2	2	144
農学	8	4	7	0	0	0	19
保健	9	22	16	7	0	0	54
教育	1	3	0	0	1	0	5
その他	0	4	0	2	0	0	6
回答計	91	137	61	28	7	4	328

在〔問28〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムで得られた知識・技術についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-25 属性別：在〔問 28〕の回答数〈該当する博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	3	4	0	1	2	0	10
社会	8	6	1	1	0	0	16
理学	20	33	15	4	1	0	73
工学	53	57	24	6	1	3	144
農学	9	6	4	0	0	0	19
保健	9	30	10	4	1	0	54
教育	2	3	0	0	0	0	5
その他	0	4	1	1	0	0	6
回答計	104	143	55	17	5	3	327

在〔問29〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムで得られた研究への態度・考え方についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-26 属性別：在〔問 29〕の回答数〈該当する博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	4	3	1	1	1	0	10
社会	8	7	1	0	0	0	16
理学	22	30	13	5	1	1	72
工学	50	63	21	5	0	3	142
農学	10	8	1	0	0	0	19
保健	10	32	6	5	1	0	54
教育	1	3	1	0	0	0	5
その他	0	4	1	1	0	0	6
回答計	105	150	45	17	3	4	324

在〔問30〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける経済的支援についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-27 属性別：在〔問 30〕の回答数〈該当する博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	4	1	2	2	1	0	10
社会	5	7	3	1	0	0	16
理学	28	31	3	10	1	0	73
工学	57	39	19	16	8	4	143
農学	5	7	5	1	0	1	19
保健	12	24	8	5	3	1	53
教育	2	2	0	1	0	0	5
その他	1	4	0	1	0	0	6
回答計	114	115	40	37	13	6	325

在〔問32〕 博士後期課程（一貫制のときには3年次以降）全体についてお聞きます。あなたは、博士後期課程のプログラム全体について、どのくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-28 属性別：在〔問 32〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	9	21	2	7	1	4	44
社会	15	24	7	3	2	1	52
理学	27	56	20	11	2	13	129
工学	88	203	56	17	4	14	382
農学	8	19	9	4	0	3	43
保健	20	94	32	6	5	8	165
教育	2	5	3	0	0	0	10
その他	2	4	5	1	0	0	12
「リ」「卓」に該当	80	171	45	13	2	28	339
「リ」「卓」に非該当	91	255	89	36	12	15	498
回答計	171	426	134	49	14	43	837

在〔問 33〕 あなたは、博士後期課程に進学した現在の状況について、どのくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-1-29 属性別：在〔問 33〕の回答数〈博士課程在籍者〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	10	18	7	3	3	2	43
社会	14	23	10	1	3	0	51
理学	32	44	30	10	2	10	128
工学	87	186	70	27	8	4	382
農学	8	24	3	5	1	2	43
保健	23	97	24	11	4	6	165
教育	3	4	1	2	0	0	10
その他	2	3	4	3	0	0	12
「リ」「卓」に該当	83	153	60	19	4	17	336
「リ」「卓」に非該当	96	246	89	43	17	7	498
回答計	179	399	149	62	21	24	834

参考1-2. 博士課程修了者等に関する調査結果表

修[問1] あなたが受けた博士課程教育は現在の職務にどれほど寄与していますか。以下の選択肢から一つ選択してください。

回答(a) とても寄与している

回答(b) まあ寄与している

回答(c) どちらとも言えない

回答(d) あまり寄与していない

回答(e) 全く寄与していない

回答(f) わからない

参考表 1-2-1 属性別:修[問1]の回答数<博士課程修了者等>

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答計
人文	10	8	3	0	0	0	21
社会	16	9	4	1	0	0	30
理学	92	36	7	8	1	3	147
工学	156	81	19	16	10	5	287
農学	15	10	0	1	2	0	28
保健	59	40	2	9	5	3	118
教育	5	3	0	0	0	0	8
その他	5	3	0	1	0	0	9
「リ」に該当	167	74	12	13	9	4	279
「リ」に非該当	191	116	23	23	9	7	369
「大学等」に所属	168	46	6	5	2	1	228
「民間企業」に所属	77	78	20	21	10	3	209
回答計	358	190	35	36	18	11	648

修〔問 2〕 あなたが博士課程を通じて「最も身についたと思われる能力」を以下の選択肢から一つ選択してください。

（続く設問で「2 番目に」「3 番目に」身についた能力を問います。身につけたい能力が 1 つしかない方は、こちらで 1 つ選択していただき、〔問 3〕及び〔問 4〕では「(r) なし」でご回答いただけますと幸いです。）

回答(a) 専門知識・専門能力 回答(b) 研究遂行能力 回答(c) 業務遂行能力
 回答(d) 問題設定力 回答(e) 問題解決力 回答(f) 論理的思考力
 回答(g) 判断力 回答(h) 語学力 回答(i) プレゼンテーション力
 回答(j) コミュニケーション力 回答(k) 意欲・向上心 回答(l) 創造性
 回答(m) 協調性 回答(n) 一般教養・知識 回答(o) マネジメント力
 回答(p) リーダーシップ 回答(q) その他 回答(r) なし

参考表 1-2-2 属性別：修〔問 2〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答(g)	回答(h)	回答(i)	回答(j)
人文	4	9	1	1	1	4	0	0	0	0
社会	9	10	0	0	1	6	0	1	0	0
理学	49	50	3	6	6	16	2	3	4	1
工学	79	104	13	11	10	36	0	1	2	4
農学	7	9	0	0	1	4	1	0	5	0
保健	37	38	6	3	4	15	1	2	2	3
教育	3	3	0	0	1	1	0	0	0	0
その他	2	4	0	0	0	1	0	1	0	0
「リ」に該当	80	93	10	10	13	39	1	5	9	7
「リ」に非該当	110	134	13	11	11	44	3	3	4	1
「大学等」に所属	60	96	3	9	11	22	1	1	5	5
「民間企業」に所属	62	55	14	10	5	36	1	2	4	2
回答計	190	227	23	21	24	83	4	8	13	8

	回答(k)	回答(l)	回答(m)	回答(n)	回答(o)	回答(p)	回答(q)	回答(r)	回答計
人文	1	0	0	0	0	0	0	0	21
社会	0	0	0	0	1	0	0	0	28
理学	1	1	0	1	1	0	2	0	146
工学	5	4	0	0	2	5	4	2	282
農学	0	0	0	0	0	0	1	0	28
保健	1	0	1	0	1	0	1	1	116
教育	0	0	0	0	0	0	0	0	8
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	8
「リ」に該当	2	1	0	0	0	4	3	0	277
「リ」に非該当	6	4	1	1	5	1	5	3	360
「大学等」に所属	1	1	0	0	2	2	3	2	224
「民間企業」に所属	4	2	0	1	2	2	3	1	206
回答計	8	5	1	1	5	5	8	3	637

修 [問 3] あなたが博士課程を通じて「2 番目に身についたと思われる能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

- | | | |
|------------------|---------------|------------------|
| 回答(a) 専門知識・専門能力 | 回答(b) 研究遂行能力 | 回答(c) 業務遂行能力 |
| 回答(d) 問題設定力 | 回答(e) 問題解決力 | 回答(f) 論理的思考力 |
| 回答(g) 判断力 | 回答(h) 語学力 | 回答(i) プレゼンテーション力 |
| 回答(j) コミュニケーション力 | 回答(k) 意欲・向上心 | 回答(l) 創造性 |
| 回答(m) 協調性 | 回答(n) 一般教養・知識 | 回答(o) マネジメント力 |
| 回答(p) リーダーシップ | 回答(q) その他 | 回答(r) なし |

参考表 1-2-3 属性別：修[問 3]の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答(g)	回答(h)	回答(i)	回答(j)
人文	7	5	1	1	1	1	1	2	0	1
社会	6	10	1	5	0	4	0	0	1	0
理学	30	41	5	13	12	13	1	3	14	2
工学	64	69	9	23	29	29	5	8	22	5
農学	8	7	2	3	0	5	0	2	0	0
保健	21	26	10	6	9	18	1	3	6	5
教育	3	2	0	0	1	1	0	0	0	0
その他	2	0	0	0	2	1	0	0	2	0
「リ」に該当	51	69	12	25	28	31	2	13	24	7
「リ」に非該当	90	91	16	26	26	41	6	5	21	6
「大学等」に所属	55	63	8	14	15	25	3	5	13	5
「民間企業」に所属	43	52	8	15	18	23	5	6	14	5
回答計	141	160	28	51	54	72	8	18	45	13

	回答(k)	回答(l)	回答(m)	回答(n)	回答(o)	回答(p)	回答(q)	回答(r)	回答計
人文	1	0	0	0	0	0	0	0	21
社会	0	1	0	0	0	0	0	0	28
理学	4	3	0	1	1	2	1	0	146
工学	2	4	4	1	4	1	0	2	281
農学	0	0	1	0	0	0	0	0	28
保健	3	0	1	2	1	0	1	3	116
教育	1	0	0	0	0	0	0	0	8
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	8
「リ」に該当	4	5	2	1	2	1	0	0	277
「リ」に非該当	8	3	4	3	4	2	2	5	359
「大学等」に所属	3	5	2	0	1	2	2	3	224
「民間企業」に所属	5	1	2	4	3	0	0	1	205
回答計	12	8	6	4	6	3	2	5	636

修〔問4〕 あなたが博士課程を通じて「3番目に身についたと思われる能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

回答(a) 専門知識・専門能力 回答(b) 研究遂行能力 回答(c) 業務遂行能力
 回答(d) 問題設定力 回答(e) 問題解決力 回答(f) 論理的思考力
 回答(g) 判断力 回答(h) 語学力 回答(i) プレゼンテーション力
 回答(j) コミュニケーション力 回答(k) 意欲・向上心 回答(l) 創造性
 回答(m) 協調性 回答(n) 一般教養・知識 回答(o) マネジメント力
 回答(p) リーダーシップ 回答(q) その他 回答(r) なし

参考表 1-2-4 属性別：修〔問4〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(a)	回答(b)	回答(c)	回答(d)	回答(e)	回答(f)	回答(g)	回答(h)	回答(i)	回答(j)
人文	4	2	1	1	4	3	2	1	1	0
社会	3	0	1	3	7	6	0	1	1	1
理学	19	11	7	13	19	32	2	5	16	5
工学	36	29	19	31	27	45	7	15	28	9
農学	1	3	7	3	1	2	0	1	0	1
保健	19	10	6	7	12	18	1	7	13	5
教育	0	1	1	2	0	3	0	0	0	1
その他	1	3	1	1	0	1	0	0	0	0
「リ」に該当	52	23	20	20	27	41	7	12	26	14
「リ」に非該当	31	36	23	41	43	69	5	18	33	8
「大学等」に所属	37	20	14	23	17	44	5	12	15	8
「民間企業」に所属	21	21	11	26	22	39	4	11	19	3
回答計	83	59	43	61	70	110	12	30	59	22

	回答(k)	回答(l)	回答(m)	回答(n)	回答(o)	回答(p)	回答(q)	回答(r)	回答計
人文	1	0	0	0	1	0	0	0	21
社会	1	2	0	1	1	0	0	0	28
理学	4	2	0	2	4	3	0	2	146
工学	7	1	2	1	8	7	3	6	281
農学	3	0	1	1	2	1	0	1	28
保健	6	2	0	1	2	3	1	3	116
教育	0	0	0	0	0	0	0	0	8
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	8
「リ」に該当	8	4	0	2	8	10	0	3	277
「リ」に非該当	14	3	3	4	10	4	4	10	359
「大学等」に所属	7	3	1	2	7	3	1	5	224
「民間企業」に所属	6	3	1	2	7	1	3	5	205
回答計	22	7	3	6	18	14	4	13	636

修〔問5〕 博士課程プログラム（専門分野）における教育の内容について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-5 属性別：修〔問5〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	8	9	3	0	1	0	21
社会	12	11	5	0	0	0	28
理学	47	68	22	5	0	3	145
工学	98	133	28	14	5	2	280
農学	6	14	6	2	0	0	28
保健	32	56	15	7	5	1	116
教育	4	3	0	1	0	0	8
その他	2	3	1	1	1	0	8
「リ」に該当	99	129	31	13	5	0	277
「リ」に非該当	110	168	49	17	7	6	357
「大学等」に所属	79	103	28	6	5	3	224
「民間企業」に所属	71	98	19	9	3	3	203
回答計	209	297	80	30	12	6	634

修〔問6〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員と学生の関係について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-6 属性別：修〔問6〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	9	9	1	1	1	0	21
社会	13	10	3	2	0	0	28
理学	56	54	19	13	3	0	145
工学	138	96	24	14	8	0	280
農学	13	8	5	1	1	0	28
保健	38	51	11	5	11	0	116
教育	5	2	1	0	0	0	8
その他	3	2	0	3	0	0	8
「リ」に該当	113	105	34	16	9	0	277
「リ」に非該当	162	127	30	23	15	0	357
「大学等」に所属	104	83	19	13	5	0	224
「民間企業」に所属	76	86	21	12	8	0	203
回答計	275	232	64	39	24	0	634

修〔問7〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員の研究指導の質について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-7 属性別：修〔問7〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	11	6	3	0	0	1	21
社会	16	6	4	2	0	0	28
理学	55	57	16	12	5	0	145
工学	140	90	24	17	8	1	280
農学	12	10	3	3	0	0	28
保健	40	47	14	8	7	0	116
教育	5	2	0	0	1	0	8
その他	3	2	0	2	1	0	8
「リ」に該当	117	93	34	22	11	0	277
「リ」に非該当	165	127	30	22	11	2	357
「大学等」に所属	113	73	23	9	5	1	224
「民間企業」に所属	82	83	13	14	10	1	203
回答計	282	220	64	44	22	2	634

修〔問8〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員の研究指導の機会（頻度）について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-8 属性別：修〔問8〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	3	13	2	1	2	0	21
社会	12	10	4	2	0	0	28
理学	51	57	21	13	3	0	145
工学	115	106	34	16	8	0	279
農学	7	15	5	1	0	0	28
保健	43	47	12	8	6	0	116
教育	3	4	0	0	1	0	8
その他	3	3	1	0	1	0	8
「リ」に該当	104	107	39	17	10	0	277
「リ」に非該当	133	148	40	24	11	0	356
「大学等」に所属	89	93	23	13	6	0	224
「民間企業」に所属	72	88	24	11	7	0	202
回答計	237	255	79	41	21	0	633

修〔問9〕 博士課程プログラム（専門分野）で得られた知識・技術について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-9 属性別：修〔問9〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	5	11	4	1	0	0	21
社会	16	9	3	0	0	0	28
理学	61	71	9	2	1	0	144
工学	113	132	23	11	0	0	279
農学	12	11	5	0	0	0	28
保健	39	59	9	4	5	0	116
教育	4	3	1	0	0	0	8
その他	4	2	1	1	0	0	8
「リ」に該当	110	129	26	10	2	0	277
「リ」に非該当	144	169	29	9	4	0	355
「大学等」に所属	100	98	16	6	3	0	223
「民間企業」に所属	76	103	18	3	2	0	202
回答計	254	298	55	19	6	0	632

修〔問10〕 博士課程プログラム（専門分野）で得られた研究への態度・考え方について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-10 属性別：修〔問10〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	15	6	0	0	0	0	21
社会	16	9	2	1	0	0	28
理学	69	62	6	4	1	2	144
工学	150	105	17	4	1	2	279
農学	16	9	1	2	0	0	28
保健	48	52	9	3	4	0	116
教育	6	1	0	1	0	0	8
その他	4	3	1	0	0	0	8
「リ」に該当	133	116	16	8	1	3	277
「リ」に非該当	191	131	20	7	5	1	355
「大学等」に所属	123	79	14	4	3	0	223
「民間企業」に所属	103	86	6	3	2	2	202
回答計	324	247	36	15	6	4	632

修〔問11〕 博士課程プログラム（専門分野）における研究の施設・設備について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-11 属性別：修〔問 11〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	6	11	2	0	2	0	21
社会	12	8	4	2	2	0	28
理学	62	58	11	13	0	0	144
工学	127	106	25	10	6	5	279
農学	12	8	3	2	2	1	28
保健	43	50	13	7	3	0	116
教育	1	4	2	1	0	0	8
その他	1	5	1	1	0	0	8
「リ」に該当	142	102	13	13	6	1	277
「リ」に非該当	122	148	48	23	9	5	355
「大学等」に所属	95	87	23	13	5	0	223
「民間企業」に所属	81	84	20	11	2	4	202
回答計	264	250	61	36	15	6	632

修〔問12〕 博士課程プログラム（専門分野）における経済的支援について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-12 属性別：修〔問 12〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	2	7	3	6	3	0	21
社会	6	8	6	4	4	0	28
理学	46	41	21	20	12	4	144
工学	81	81	51	32	29	5	279
農学	8	8	3	5	4	0	28
保健	25	39	32	14	5	1	116
教育	2	1	5	0	0	0	8
その他	2	1	2	2	0	1	8
「リ」に該当	100	101	30	28	15	3	277
「リ」に非該当	72	85	93	55	42	8	355
「大学等」に所属	57	78	36	31	19	2	223
「民間企業」に所属	58	49	48	27	13	7	202
回答計	172	186	123	83	57	11	632

修 [問14] あなたが在籍していた博士課程で最も印象に残った事項は何ですか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) 指導教官の指導のあり方
- 回答(2) 他の研究室在籍者の研究の仕方
- 回答(3) 研究室以外の異分野の研究者との交流
- 回答(4) 研究成果の社会実装・産学連携のあり方
- 回答(5) その他

参考表 1-2-13 属性別：修[問 14]の回答数<博士課程修了者等>

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答計
人文	8	4	5	3	1	21
社会	10	6	7	5	0	28
理学	64	28	36	8	7	143
工学	134	27	65	40	12	278
農学	8	6	8	6	0	28
保健	49	26	22	15	3	115
教育	4	1	1	1	1	8
その他	3	3	1	1	0	8
「リ」に該当	109	42	80	34	11	276
「リ」に非該当	171	59	65	45	13	353
「大学等」に所属	112	37	44	20	8	221
「民間企業」に所属	89	21	54	29	8	201
回答計	280	101	145	79	24	629

修 [問16] インターンシップについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している
- 回答(2) まあ満足している
- 回答(3) どちらとも言えない
- 回答(4) あまり満足していない
- 回答(5) 全く満足していない
- 回答(6) わからない
- 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-2-14 属性別：修[問 16]の回答数<博士課程修了者等>

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	1	2	1	0	0	7	10	21
社会	2	7	3	0	1	5	10	28
理学	13	22	10	1	1	41	55	143
工学	60	57	27	7	3	45	78	277
農学	3	7	3	0	1	5	9	28
保健	12	20	10	0	1	19	53	115
教育	0	1	0	0	0	3	4	8
その他	0	2	0	2	0	2	2	8
「リ」に該当	82	81	30	6	3	23	51	276
「リ」に非該当	9	37	24	4	4	104	170	352
「大学等」に所属	22	37	19	5	2	48	88	221
「民間企業」に所属	43	29	18	4	4	37	66	201
回答計	91	118	54	10	7	127	221	628

修〔問17〕 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-2-15 属性別：修〔問 17〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	3	5	4	2	0	5	2	21
社会	5	6	5	2	1	3	6	28
理学	9	25	33	15	3	38	20	143
工学	26	71	61	20	12	43	44	277
農学	4	6	7	1	1	5	4	28
保健	4	32	23	5	5	21	25	115
教育	0	1	0	0	0	2	5	8
その他	0	1	2	1	2	2	0	8
「リ」に該当	34	89	73	23	12	26	19	276
「リ」に非該当	17	58	62	23	12	93	87	352
「大学等」に所属	17	50	42	14	9	43	46	221
「民間企業」に所属	18	49	46	20	4	31	33	201
回答計	51	147	135	46	24	119	106	628

修〔問18〕 語学（外国語）プログラムについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-2-16 属性別：修〔問 18〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	1	5	2	2	0	7	4	21
社会	2	11	4	2	0	4	5	28
理学	8	31	31	21	9	20	23	143
工学	29	90	64	16	9	23	46	277
農学	5	8	5	1	3	3	3	28
保健	13	25	24	12	4	17	19	114
教育	0	3	1	1	0	2	1	8
その他	0	2	3	1	0	2	0	8
「リ」に該当	47	96	65	32	5	9	21	275
「リ」に非該当	11	79	69	24	20	69	80	352
「大学等」に所属	24	52	47	25	8	29	35	220
「民間企業」に所属	18	66	43	14	5	19	36	201
回答計	58	175	134	56	25	78	101	627

修〔問19〕 専門分野外の教養科目について、あなたはどれくらい満足していますか

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-2-17 属性別：修〔問 19〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	8	4	2	2	0	4	1	21
社会	2	11	4	2	0	4	5	28
理学	6	45	35	14	3	22	18	143
工学	42	96	57	14	9	31	28	277
農学	7	6	7	0	4	2	2	28
保健	14	34	24	7	1	19	15	114
教育	0	2	0	0	0	3	3	8
その他	2	3	1	1	0	1	0	8
「リ」に該当	48	117	54	25	7	14	10	275
「リ」に非該当	33	84	76	15	10	72	62	352
「大学等」に所属	28	67	44	14	7	35	25	220
「民間企業」に所属	31	71	44	8	3	22	22	201
回答計	81	201	130	40	17	86	72	627

修〔問20〕 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）について、あなたはどれくらい満足していますか。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない
 回答(7) 開講されていない・履修できない

参考表 1-2-18 属性別：修〔問 20〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答(7)	回答計
人文	3	8	4	1	0	4	1	21
社会	5	11	4	2	0	3	3	28
理学	13	35	38	12	5	21	19	143
工学	54	94	49	17	10	25	27	276
農学	10	6	6	0	1	3	2	28
保健	20	42	21	6	1	10	14	114
教育	2	2	2	0	0	1	1	8
その他	3	2	1	1	0	1	0	8
「リ」に該当	67	96	54	24	8	13	14	276
「リ」に非該当	43	104	71	15	9	55	53	350
「大学等」に所属	30	74	41	17	4	27	26	219
「民間企業」に所属	45	64	38	9	6	16	23	201
回答計	110	200	125	39	17	68	67	626

修〔問22〕～修〔問28〕は、「博士課程教育リーディングプログラム」の該当者のみで集計

修〔問22〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムの教育の内容についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-19 属性別：修〔問22〕の回答数〈該当した博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	1	4	0	0	0	0	5
社会	4	2	1	1	0	0	8
理学	26	32	7	0	1	2	68
工学	58	54	7	4	3	0	126
農学	4	8	1	0	1	1	15
保健	14	21	6	1	1	1	44
教育	0	2	0	0	0	0	2
その他	1	1	0	0	1	1	4
「大学等」に所属	34	41	5	2	1	3	86
「民間企業」に所属	44	36	7	1	3	1	92
回答計	108	124	22	6	7	5	272

修〔問23〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける教員と学生の関係についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-20 属性別：修〔問23〕の回答数〈該当した博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	2	3	0	0	0	0	5
社会	4	1	2	1	0	0	8
理学	26	27	9	3	2	1	68
工学	50	54	13	9	3	0	129
農学	5	8	2	0	0	0	15
保健	13	21	7	3	0	0	44
教育	0	2	0	0	0	0	2
その他	1	1	1	1	0	0	4
「大学等」に所属	33	38	11	2	2	0	86
「民間企業」に所属	33	37	12	8	2	1	93
回答計	101	117	34	17	5	1	275

修〔問24〕あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける教員の教育・指導の質についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-21 属性別：修〔問 24〕の回答数〈該当した博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	1	4	0	0	0	0	5
社会	4	2	1	1	0	0	8
理学	25	26	13	3	1	0	68
工学	49	49	20	7	2	1	128
農学	5	8	2	0	0	0	15
保健	13	21	6	4	0	0	44
教育	0	2	0	0	0	0	2
その他	1	1	1	1	0	0	4
「大学等」に所属	30	40	11	3	1	1	86
「民間企業」に所属	34	39	14	3	2	0	92
回答計	98	113	43	16	3	1	274

修〔問25〕あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける学生指導の機会（頻度）についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-22 属性別：修〔問 25〕の回答数〈該当した博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	0	4	0	1	0	0	5
社会	4	2	1	1	0	0	8
理学	25	18	20	2	1	2	68
工学	35	60	19	12	3	0	129
農学	3	7	3	1	0	1	15
保健	13	17	8	4	0	1	43
教育	0	1	0	1	0	0	2
その他	1	1	0	1	1	0	4
「大学等」に所属	28	34	17	6	0	0	85
「民間企業」に所属	23	44	15	7	2	2	93
回答計	81	110	51	23	5	4	274

修〔問26〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムで得られた知識・技術についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-23 属性別：修〔問 26〕の回答数〈該当した博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	0	4	0	0	0	0	4
社会	4	3	1	0	0	0	8
理学	26	28	11	1	1	0	67
工学	54	56	15	2	2	0	129
農学	5	6	3	1	0	0	15
保健	15	21	3	3	0	0	42
教育	0	2	0	0	0	0	2
その他	1	2	0	1	0	0	4
「大学等」に所属	36	35	11	1	1	0	84
「民間企業」に所属	33	44	11	2	2	0	92
回答計	105	122	33	8	3	0	271

修〔問27〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムで得られた研究への態度・考え方についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-24 属性別：修〔問 27〕の回答数〈該当した博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	3	2	0	0	0	0	5
社会	3	4	0	1	0	0	8
理学	25	28	9	1	1	1	65
工学	55	52	14	4	3	0	128
農学	3	9	2	1	0	0	15
保健	14	22	6	1	0	1	44
教育	2	0	0	0	0	0	2
その他	1	2	1	0	0	0	4
「大学等」に所属	36	33	12	2	1	1	85
「民間企業」に所属	36	40	14	0	2	1	93
回答計	106	119	32	8	4	2	271

修〔問28〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける経済的支援についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-25 属性別：修〔問 28〕の回答数〈該当した博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	4	0	0	1	0	0	5
社会	6	0	0	1	0	0	7
理学	35	15	6	9	1	0	66
工学	56	43	18	4	6	2	129
農学	3	7	0	1	3	1	15
保健	20	14	6	1	0	3	44
教育	1	0	1	0	0	0	2
その他	1	1	0	1	1	0	4
「大学等」に所属	41	26	11	5	1	1	85
「民間企業」に所属	42	29	10	5	5	2	93
回答計	126	80	31	18	11	6	272

修〔問30〕 博士後期課程（一貫制のときには3年次以降）全体についてお聞きます。あなたは、博士後期課程のプログラム全体について、どのくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-26 属性別：修〔問 30〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	7	10	1	1	1	0	20
社会	11	13	3	0	0	1	28
理学	39	83	16	3	0	0	141
工学	103	132	21	8	3	6	273
農学	11	11	2	4	0	0	28
保健	28	67	8	5	4	1	113
教育	2	3	0	1	0	2	8
その他	3	3	0	2	0	0	8
「リ」に該当	102	134	21	10	2	4	273
「リ」に非該当	102	188	30	14	6	6	346
「大学等」に所属	83	102	18	7	3	3	216
「民間企業」に所属	68	105	14	9	1	3	200
回答計	204	322	51	24	8	10	619

修〔問31〕 あなたは、博士後期課程を修了してのあなたの現在の状況について、全体としてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- 回答(1) とても満足している 回答(2) まあ満足している 回答(3) どちらとも言えない
 回答(4) あまり満足していない 回答(5) 全く満足していない 回答(6) わからない

参考表 1-2-27 属性別：修〔問 31〕の回答数〈博士課程修了者等〉

	回答(1)	回答(2)	回答(3)	回答(4)	回答(5)	回答(6)	回答計
人文	8	6	3	2	1	0	20
社会	9	13	6	0	0	0	28
理学	38	75	14	10	4	0	141
工学	88	127	35	15	8	0	273
農学	12	10	3	1	2	0	28
保健	24	63	13	5	8	0	113
教育	6	1	0	0	0	1	8
その他	2	3	1	1	1	0	8
「リ」に該当	89	133	24	15	11	1	273
「リ」に非該当	98	165	51	19	13	0	346
「大学等」に所属	65	107	27	7	10	0	216
「民間企業」に所属	61	98	16	15	9	1	200
回答計	187	298	75	34	24	1	619

【参考資料 2】 自由記述の回答例

参考資料 2 では、自由記述の主な回答例を示す。なお、回答例においては誤字脱字の修正、固有名詞や個人の特定に繋がりがねない情報の除去などの上、主要部分を抜粋したものがある。

参考 2-1 博士課程在籍者の自由記述の回答例

在〔問 3〕 その他の進学理由

在〔問 3〕 〔問 1〕、〔問 2〕で **(k) その他**を選択した方は、博士課程後期（博士課程（一貫）含む。）に進学した理由を具体的にお聞かせ下さい。〈該当する問番号〔問 1〕又は〔問 2〕記載の上、理由をご記載下さい。〉

- 博士前期課程での指導教員と一緒に研究を続けたいと感じた。〔社会〕
- 業務上、研究開発を行うようになり、修士課程では不十分であった知識や研究をもう一度学びたいと考え、職場の協力も十分にある。〔工学〕
- 現在の仕事上の課題を解決させるために必要。〔工学〕
- 大学から入学金・授業料免除、TA など金銭的に手厚い援助があった。〔工学〕
- 論文を書いて指導教官に恩返しをしたかった。〔工学〕
- 今研究しているテーマで自分自身の科学研究能力を高めることも期待。〔農学〕
- 修士課程修了後の就職先で学術的な問題意識が芽生え、自然科学研究へ元々興味があった。〔農学〕
- 学部生時代から行っていた研究の成果が出ており、やり遂げたかった。〔保健〕
- 研究能力を高め、更に発展的な研究ができる。〔保健〕
- 博士号を取得すれば、選択肢が増える。〔保健〕
- リーディング大学院に所属し、5 年間やり通したかった。〔保健〕
- 修士論文テーマに関して、明らかになっていないことが多く、このテーマを深めたいと考えた。博士課程の学生との意見交換や指導を受け、研究者としての力を高められる。〔保健〕
- 博士課程において薬剤師免許の取得が可能。〔保健〕
- I want to upgrade my knowledge in the legal field in order to catch up with the international legal trend 〔社会〕
- In order to obtain a professor position in a university, one must obtain a doctorate degree.〔工

学]

- I am required to have a doctorate to teach at University.[工学]
- To enrich my knowledge and skill in research to contribute in the development of my country [工学]
- Interested in research activity and finding a good job.[工学]
- I want to widen my bachelor and master degree level experience and knowledge of environmental engineering and management.[工学]
- I have the opportunity to pursue PhD at foreign country. It's been my dream for long time.[工学]
- I found that I want to reveal some parts of my previous master research that I have not been solved yet.[農学]

在[問 17] 博士課程プログラム(専門分野)の満足した点、満足していない点

在 [問17] 上記の博士課程プログラム（専門分野）に関する [問9] から [問16] について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けると幸いです。

〈 [問9] 教育の内容 [問10] 教員と学生の関係 [問11] 教員の研究指導の質 [問12] 教員の研究指導の機会（頻度） [問13] 得られた知識・技術 [問14] 得られた研究への態度・考え方 [問15] 研究の施設・設備 [問16] 経済的支援〉

[問 9] 教育の内容

- 自分ひとりでは学ぶことができなかったことを体系的に学ぶことができ満足。[人文]
- 大学としてのマクロな教育プログラムが機能しているように思えない。[工学]
- 修士と修了条件は異なるが教育内容として違いがない点に満足していない。[工学]

[問 10] 教員と学生の関係

- フルタイムで働く社会人も就学しやすい環境作りに国として取り組んでほしい。[社会]
- 教授から研究内容を提案されることなく、自分で考えた研究を行える。[保健]
- The support by faculty members is exceptional. They thought about all aspects of research and education. Not just about the science, but also the life and wellbeing of graduate students. [保健]

〔問 11〕 教員の研究指導の質

- 大型プロジェクト研究で、教員の研究指導の質が低い。〔理学〕
- 教員の論理的思考力・知識が最先端とかけ離れ有意義なディスカッションができない。〔理学〕
- 卒業や早期卒業に関する基準を示すべき。〔保健〕

〔問 12〕 教員の研究指導の機会（頻度）

- 研究室の指導教官は非常に忙しく、一人当たりの指導時間や機会が少ない。〔工学〕
- 時間を割いて頂ける先生もおられるが、機会が少ない先生がおられ、コミュニケーションがとれず、研究内容を理解されていない場合がある。〔工学〕
- 指導教員が大学の運営等の会議に忙殺され、研究の議論が行えていない。〔農学〕

〔問 13〕 得られた知識・技術

- 得られた知識・技術、学外研修も含め、会社にはない実験設備を使用でき、新しい実験や技術を経験、様々なコネクションができ満足。〔工学〕

〔問 14〕 得られた研究への態度・考え方

- 研究者の情熱が、今の大学に感じられず役所的。〔工学〕
- 分析機器の老朽化で壊れやすく、修理費も高いので、学生が自ら修理し、膨大な時間を使う。また、研究費が限られ、機器の更新も難しい。〔農学〕

〔問 15〕 研究の施設・設備

- 学内の蔵書は限られ、他大学の図書館や公立図書館の訪問利用や貸借の手続きに時間がかかり、煩雑。図書館相互利用の仕組みが整うと良い。〔人文〕

〔問 16〕 経済的支援

- 奨励金で経済的に楽になり、とても感謝しているが、家賃や物価が高く、生きていくのにいっぱい。将来なども考えると不安。結局働いて副収入を得ている。〔人文〕
- 日本人学生が応募できる奨学金が少なく、応募条件の「経済的に困窮している」という基準が低すぎ、応募できるものがほとんどない。経済的支援の基準を緩和して欲しい。〔社会〕

- 理系に比べ文系の経済支援が少なく、奨学金など応募チャンスも少ない。[社会]
- 学振からの給付金で一人暮らしをしながら学費を支払う生活は厳しい。博士課程進学率が低い要因に経済的な問題。学費減額や給付型奨学金などの採択率の増をしてほしい。[理学]
- 博士学生に対する経済的支援は乏しく、研究はおろか、生活がままならない。博士学生に対する経済的支援をさらに充実させてほしい。[理学]
- 経済的支援は満足していない。米国は学振がなくてもある程度の給料はもらえ、生活を自立できるが、日本では学振なしでは無理。[理学]
- 経済的に厳しい現状なので、海外の学会・勉強会への参加がためらわれる。[理学]
- リーディングプログラムと学振の研究奨励費を併用できるようにするか、博士後期課程の授業料免除を全員に割り当てるべき。暮らすには経済的支援が厳しすぎる。[理学]
- 生活費と研究費の両方を賄う必要があるが、就業に時間を割くと研究の進捗も滞りやすい。できたら TA や RA、研究院雇用の機会の増大や経済的援助を行ってほしい。[理学]
- 既存の奨学金や授業料免除だけでは、博士課程に係る費用を賄うのは不可能、教育研究職に就職を目指す場合はポストへの不安もあり借金できない。教育研究職の増加を目指すのであれば、非教育研究職と別枠で優遇措置をとるべき。[工学]
- 授業料免除に加え、毎月 15 万円の奨励金は非常に良かった。[工学]
- 欧米の博士課程は職業とみなされており、それに比すると極めて不十分。[工学]
- 研究に専念するにはアルバイトを削る必要があるが、アルバイトを削ると生活していけないので、アルバイトを続けている。[工学]
- 給与収入があると経済的支援制度の対象外。社会人であろうと金銭的負担が大きいことには変わりなく、平等に経済的支援対象としてほしい。[工学]
- 博士課程学生や研究者は、研究が仕事でもっと支援があって良い。最近は”目立つ”研究成果や論文の数ばかり注目、そこに選択と集中され、研究や論文の質が下がっている。[工学]
- リーディングプログラムで収入を得ているが、その中から学費を払わなければならない、決して楽ではない。[農学]
- I got enough money to live in Japan during my study period.[保健]

在[問 23] 博士課程プログラム(専門分野以外)の満足した点、満足していない点

在 [問23] 上記の博士課程プログラム（専門分野以外の高度な教養の獲得や、職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等）に関する [問18] から [問22] について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです

す。

〈〔問18〕 インターンシップ 〔問19〕 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育 〔問20〕 語学（外国語）プログラム 〔問21〕 専門分野外の教養科目 〔問22〕 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）〉

〔問 18〕 インターンシップ

- 博士学生になって初めてインターンシップに参加でき、大学での研究活動で培ったスキルを産業界で応用する方法を学べて満足。〔理学〕
- インターンシップは開講されているが1ヶ月～半年など長期のものが多く、博士課程の大事な研究時間を割くのには向いていない。〔工学〕
- インターンに関して、機会の提供やインターン先の生活支援が手厚くありがたかった。〔保健〕
- 海外インターンシップで国際共同研究に従事したことは、今後研究者としてのキャリアを積む上で有用な経験。〔保健〕
- Thanks to my instructor's strong network I could get a very useful intership in a prestigious Japanese company directly related with my research project. I also believe this experience may turn out a professional opportunity after my graduation. 〔工学〕

〔問 20〕 語学(外国語)プログラム

- 教育プログラム内の外国語教育、とくに英語論文作成はない。〔工学〕
- More language programs could improve the ability of communication.〔工学〕
- The language program was very helpful in enhancing my Japanese skill for both everyday life and academic-related research proposal composition (that sometimes is required for scholarship application). I cannot thank enough the instructor that was willing to help me anytime.〔工学〕
- Language program (japanese) is easily accessible by all students irregardless of their status in the University.〔工学〕

〔問 21〕 専門分野外の教養科目

- 博士課程は専門分野を極めるため、専門以外の教養や職場で使う能力のプログラムは不要。必要であれば大学の他の課程や学外の講座を受講すれば良い。〔工学〕

〔問 22〕 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例:研究倫理、プレゼン

テーション講座等)

- 研究倫理に対する認識が甘い教員や大学院生が多い。人間を対象とした研究を実施している研究科であるのに研究倫理に関する意識が国際的な水準と比べ遅れを取っている。[社会]
- ベンチャービジネスに関する授業が、ビジネスとプレゼンテーションを学ぶ上で役立つ。[理学]
- 英語でプレゼンテーションを行う講義を大学院でも受けることができ、国際学会での発表で活かすことができた。[工学]

在[問 31] 博士課程の教育関連プログラムの満足した点、満足していない点

在[問31] 上記の博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムに関する[問24] から[問30] について、あなたが特に満足した点、満足していない(不満に思う)点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

〈[問24] 教育の内容 [問25] 教員と学生の関係 [問26] 教員の研究指導の質 [問27] 教員の研究指導の機会(頻度) [問28] 得られた知識・技術 [問29] 得られた研究への態度・考え方 [問30] 経済的支援〉

[問 24] 教育の内容

- Leading program provides a variety of classes, activities, and events, for encouraging students to be a global leadership with the strong of hard-skill, soft-skill and business mind-set under the concept of Innitiative and Creativity. [工学]

[問 25] 教員と学生の関係

- The faculty are very supportive towards graduate students. They both give some guidance, and at the same time, the freedom to develop our project. [保健]

[問 27] 教員の研究指導の機会(頻度)

- 様々な分野の先生方にも意見がいただけ研究が幅広くなり良いと思うが、年 1 ではなく、年 2 ぐらいでポスター発表の機会があると、もう少し自身の研究が進む。[農学]
- 海外の研究室をめぐる機会などが与えられ、普段交流しない違う研究科の学生や海外の学生と交流することで、語学力の向上以上に多くの学びが得られた。[理学]

[問 28] 得られた知識・技術

- 主専攻の研究では得られなかったであろう、産業界での博士の活躍について、方法論からキ

キャリアパスまで様々なことを学べて満足。産業界での研究職を目指していたため、目指す人材になるにあたって必要なことを学べた。[農学]

【問 30】 経済的支援

- リーディングプログラムの経済的支援が、再来年度から奨励金や研究制度、自主企画制度といった経済的支援が終わってしまうことが不満。[人文]
- 学振特別研究員への応募を勧めるにも関わらず採用されるとリーディング大学院の支援がなくなり、義務だけ残る。研究費や学会参加の旅費という形で支援いただきたい。[理学]
- 経済的支援の額面を同年代の社会人の手取り収入と比べ、その差に悲観することはあるが、同時に経済的な支援を受けられるだけありがたい。[理学]
- 成果評価と連動した経済支援が好ましい。長期間学生に投資する割には成果を出さなくても出しても変わらないなら同じプログラムにいる場合に関係を良くしない。[理学]
- 経済的支援が得られる機会が増えたことに満足。[工学]
- リーディング大学院はよい試み。数年ごとの制度刷新ではなく、定常的な支援を希望。[工学]
- 授業料免除に加え、月 15 万円の奨励金は、経済的に助けになった。[工学]
- リーディングプログラムから経済支援をしていただけることに感謝。[保健]
- The financial support from the Program for Leading Graduate Schools was terminated by March 2020. It's difficult to find other scholarships in midtime of a doctoral program. It's a kind of financial burden for current students. [保健]

在【問 34】 博士課程への進学を決意する決め手

在【問 34】 修士課程から博士課程への進学を検討するに当たり、どのようなプログラムや研究環境の整備、学生への支援策や情報があれば、博士課程への魅力を感じ進学を決意する決め手になると思いますか。

【経済的支援、学費の軽減について】

- 人によっては何年も在籍するので、各人の経済状況に合わせた学費の減額や免除などの策が所属機関毎にあれば、より博士課程進学を考える学生が増えるのではないかと。[人文]
- 経済的支援制度の充実。(研究経費支援・返済不要奨学金・無利子奨学金)博士課程院生や博士課程 OB・OG との交流機会の増加。[人文]
- 経済的な支援(奨励金や学費免除)について、なかなか情報を得られない。もっと情報が公開されていれば、進学を決意できる人が増えるのではないかと。[人文]

- 海外の大学のように、博士課程学生が給料をもらうことができ、授業料を支払わなくて良いと、学生ではなく、自立した研究者として博士課程に誇りと安心感を持てると思う。[人文]
- 経済的な支援(生活、研究面両方で)、学生一人一人に確実に研究スペースを用意、海外大学院とのダブルディグリーなど学位取得の柔軟化、国外研究機関の教員も含めアドバイザーグループの構成。(理念ではなく、実践として)[人文]
- 第一に、生活保障(幅広い層への授業料免除など)。ほとんど授業科目を履修しないのに授業料が高すぎる。生活が成り立たない中で進学の見直しは難しい。[人文]
- 就学や調査・研究に活用できる経済的支援、所属大学に関わらず柔軟に受講できるプログラムや研究プロジェクト、修了後に活用できる支援制度(主に研究活動を支援する制度)に関する情報の提供、大学等の公募やその他の就職に関する具体的な情報の提供など。[人文]
- 大きな問題は授業料や生活費。授業料をゼロ、生活面の経済支援を充実すべき。[社会]
- 第一に経済的支援が重要。研究活動にかかる費用(資料収集、研究会・学会の参加、海外へのフィールドワークなど)は大きい。質の良い研究は、十分な経済的支援が必要。[社会]
- 在学中の経済状況と卒業後の就職状況、研究に対する意欲が重要。仕事をしながら、博士課程を履修できるシステムを拡充。文系博士課程学生の多くは3年で卒業できない。卒業要件を簡単にするか、最初から在学期間を伸ばした方がいい。人生設計が難しい。[社会]
- 特にコロナが蔓延している現段階、学費考慮などが無いと進学がかなり困難。平時でも一定の支援が無いとあきらめざるを得ない人がある。[社会]
- 海外並みに研究費が与えられ、生活が保証されれば進学する。DC並とは言わないが、せめて院生全体に研究費が行き渡るように。[社会]
- 最低でも家賃程度の月収(奨学金)、数十万円程度の研究費の一律支給。[理学]
- 博士課程の学費が無料だといい。博士後期課程に進む人は多くないはずで、本当に博士後期課程に進みたいのに金銭的な事情で踏み切れない人の後押しになる。[理学]
- 経済的支援を最優先に。お金がネックになり辞めざるを得ない人、あきらめてしまう人が多い。[理学]
- 経済的支援があることが大きな決め手。修士課程から博士課程まで5年間の支援を保証してもらえれば、修士から博士課程進学を意識して研究計画を立てられる。[理学]
- 第一に経済的な支援が重要。首都圏と地方とで経済的支援が同額では不平等。博士後期課程進学者への授業料の免除や、奨励費の併用を積極的に進めるべき。[理学]
- 月20万円程度の経済的支援、親からの仕送りやアルバイトなどを一切必要としない程度の支援が必要。[理学]
- 経済的支援が大切。就職活動も支援があるとありがたい。[理学]

- 博士の金銭面のサポート充実やその周知、博士の進路に関する指導や情報の周知。[理学]
- 極少数精鋭で月 40 万程度の経済的支援。海外企業への半年レベルのインターンシップ。現在の支援は悪平等、経済支援の上限の大きいプログラムを用意すべき。[理学]
- 進学後の金銭的な安心を得られるような支援策。金銭的に厳しい状況にある学生にも英語教育の機会提供が重要。留学支援一辺倒では人材の多様性は生まれない。[理学]
- 経済的支援が充実していれば博士課程の魅力を感じ進学を決意する決め手になる。[理学]
- 一にも二にも経済支援。研究活動に高い意欲を持ち業績を挙げた学部・修士の学生は周りに多くいたが、過半は就職した。お金の心配が無ければ博士に残った人が何人もいる。[理学]
- 金銭面のサポートと雇用機会の増加。博士学生として身に着けられる研究遂行能力以外の能力のアピール。[工学]
- 学費免除・返還不要の奨学金等の経済的支援と博士課程修了者の進路(就職率・就職先・雇用形態)情報[工学]
- 経済支援の充実、具体的に希望が抱けるキャリアプラン提示、主指導教員以外の教員からの研究活動支援。博士号が期間を費やして手に入れる価値があることの啓蒙活動。[工学]
- 専門分野に加えて周辺分野との議論の場があること。経済的支援が充実していること。[工学]
- 収入が支出を上回るような生活基盤の確保(奨学金ではなく給料を払う)大学院を就職予備校扱いしない、研究に前向きな学生が集まる環境の整備、大学教員の雑務の減少と収入の増加、大学教員の常勤職の増加、民間企業との強力なコネクションによる就職支援[工学]
- より充実した経済的支援。学費がかかる上に学卒と比べ 5 年入社が遅れ、新卒入社を前提として給与制度設計されている国内は生涯年収減。進学を阻む主要因は経済的理由。[工学]
- 授業料免除。大学教員が博士学生を指導する十分な時間と余裕(米国と比べて、日本の教員は雑務が多い)、博士終了後ポストが十分な数あること(企業の場合は給与、アカデミアの場合は研究環境が優れているポストが望ましい)。留学推進プログラム。[工学]
- 経済的な支援が不足している。授業料免除や給与型奨学金など多くの支援制度があると研究活動にもっと専念できるようになる。[工学]
- 日本学術振興会の特別研究員やリーディングプログラムの奨励金制度はありがたい。しかし、奨励金だけでは生活できないため(特に首都圏)、拡充を希望する。[工学]
- 学費面の経済支援はありがたい。生活費面でも支援があるとより魅力が増す。[工学]
- 生活資金の援助は必須。生活資金に不安があればアルバイト等に時間を割かなくてはならなくなり、留学やインターンシップ等への視野は広がらない。[工学]
- やりたい研究ができるかどうかが重要だが、同じくらい大事なことは経済的支援。心配は経済的に大丈夫なのかということ。経済的な支援策があれば迷いなく進学を決意する。[工学]

- 経済的な支援があり、最低限の生活ができ、研究活動に集中することができること。[工学]
- もっと学生に経済的支援制度を設定すれば助かる。博士課程の間にいろんな状況と不安定ファクターがあるため経済的問題が解決できれば、研究に専念できる。[工学]
- 海外と同等レベルの経済支援(授業料免除、生活に必要な経済支援)[工学]
- 不安は、経済的なものと将来。経済的支援として、授業料無償化、家賃補助は必須。[工学]
- 欧米と同程度の研究に専念するための、返済不要で給付型の奨学金制度などの経済的支援策と、博士課程修了後の民間企業等就職に向けた支援策の充実[工学]
- 進学に伴う経済負担及び卒業後の進路について安心できれば。地方大学は経済支援もあまりない。進学者も少ないため進路情報も乏しく、これでは進学者は増えない。[工学]
- 入学料、授業料の免除に加え、アルバイト雇用を行うなど経済支援が決め手になる。[工学]
- 進学後の進路がしっかりとっていて、安定して仕事(研究活動を含む)に取り組める環境が提供されること。博士課程修了者の募集企業や機関が増加する事。[工学]
- 授業料の全額免除と大企業の初任給以上の経済的支援と福利厚生。科学の発展に貢献して、学振採用されるくらい優秀でも年収 240 万、そこから授業料、年金、健康保険料等々払わなければならない現状では、修士の学生は進学しない。[工学]
- 金銭面の優遇、将来設計の支援制度の充実(自ら調べる自立性は重要だが、研究が将来に具体的にどう役立つのか、入学前から検討する機会がない。)[工学]
- 経済的支援、博士課程修了後の民間就職先、アカデミックポスト(無期限)の充実。[工学]
- 進学の決断をする時期(修士 1 年次年末～年始)までに採否が決定する経済的支援。[工学]
- 経済的な支援、アカデミックに進んでいないロールモデルの紹介(特に女性の場合はどのような進路を選んでいるか知る機会が少ない。)[工学]
- 経済的支援と修了後の進路決定に関する支援を手厚くし、明確に伝えれば良い。[農学]
- 金銭面での支援が重要。博士号を取得できるかという不安、博士号取得後の就業先が見通せない状況、積み重なる貸与型の奨学金と学費の支払いなど、博士課程進学そのものがリスクの高い選択肢なことが問題。[農学]
- 経済的な支援が少なすぎ、その点が改善されれば進学決意の決め手となる。[農学]
- 学費の免除、経済支援の充実などにより不安材料を取り除くことで進学を決意できる。[保健]
- 博士課程向けの奨学金制度の充実や、修士課程の早い段階から受けられる博士課程在籍者による説明会の開催など。[保健]
- 奨学金などの経済的支援や就職活動での支援などがあれば進学を決意する。[保健]

- 経済的支援と、指導教員が異動した場合の異動先への転学等の支援。[保健]
- 在学中の経済的支援(学術特別研究員や返済不要の奨学金)や博士課程修了後の就職状況についてある程度見通しが立てば博士課程進学を前向きに考えられる。[保健]
- Sufficient financial support, for daily life and research activities, with full tuition fee waiver. [社会]
- I think the most important support that can be given is financial support. I have many friends that parents could not support for 3 more years, so they had to find a job to survive. Money is the key here. [理学]
- I think if there are many scholarships to support Ph.D. students' education, it will be encouraged master students to enter doctoral course. [理学]
- I think financial support is a very important factor. Without the worry of money, students can work hard on academic aspects and improve their research and study. [工学]
- I would bet that full scholarships are the most important factor for a master student to decide to go into doctoral course. [工学]

【キャリア情報の発信・充実について】

- 博士後期課程後の就活に関する具体的なプログラム。(インターンシップ等)[理学]
- 修了直後に就く研究職(ポスドク)は有期で不安定なことが多いので、安定して研究を続けられるポストを用意するなど環境整備が行われなければ博士課程への進学者は増えない。[理学]
- 進学後のキャリアパスを示されれば、魅力を感じ、進学を決意する決め手になる。[理学]
- 「博士課程に進学すると就職が難しい」「アカデミックの道に進めたとしても経済面で苦勞する」という認識や雰囲気改善されれば博士課程の進学に魅力を感じる人は増える。[工学]
- 修了後のキャリアが不透明なので、それに関する情報があればいい。[工学]
- 博士課程OBが、産業界、行政機関、教育研究機関でどのようなキャリアアップし、収入、雇用保障の経済状況で活躍できるのかの情報が欲しい。[工学]
- 博士を取得することが、今後、自分の人生にどのような利益をもたらす可能性があるのか具体的にわかれば。[工学]
- 博士学生が少ないため博士後期に対するシステム全体が浅く、どのように行動すべきかが自身に委ねられてしまうため、博士課程の過ごし方などを多少でも示すことが必要。[工学]
- 博士号を取得することによってのみ達成できる、もしくは達成できる確率が大きく上がる事例を情報発信する。例)企業での開発チームの立ち上げ等。[工学]

- 博士課程修了後の進路の安定性の確保。この国において博士号を取ることはまたは博士課程で学ぶことの価値を高める必要がある。最低でも経済支援は必要。[工学]
- 博士は母集団が小さくキャリア形成が研究室単位のスコープ(あるいは座学・公開情報)でしか得られない。リーディング大学院のOB会を作れば、キャリアの不透明さを軽減できるのではないか。[工学]
- 学生数が少ないので教員や事務の方との距離が近く、当事者意識が自ずと持てるので自分に合っていた。修了後の進路がもっと透明になれば、進学する人も増える。[農学]
- 博士取得後の進路に関する情報が欲しい。博士課程後期課程まで進んだ後、大学に残る以外の進路に関する情報が欲しい。[農学]
- 博士号取得者の現状や社会的な優位性についての具体的な情報。[農学]
- 博士課程が活かされるのがどういった場面なのか、どういったキャリアが築けるのか具体例を紹介すべき。[保健]
- 大学院卒業後の具体的なキャリア形成についての情報があると良い。[保健]
- 博士課程進学は、その3年間で労働市場での経験と引き換えに費やすこと。それに見合う内容と、その後のキャリア設計が描ければ、自ずと一定数の学生は進学を希望。[教育]
- Encouraging applicants who have interested in the doctoral course by introducing useful information such as a financial support system that they can apply or job opportunities that they might get after they graduate. [工学]
- Clearly in Future and Career Path which showing the benefit of doctoral course to persuade the master students. [工学]
- I believe more information about job opportunities in companies or academic institutions should be presented so students can know that after doctoral students they have other opportunities other than stay at the academic field[工学]
- Nowadays, the opportunity for a longterm research career is tough. If the school can offer a program that prepares the students for some other science-related career, it will be more attractive. [農学]

【教育内容の改変、教員の魅力向上について】

- 「研究生生活から得られる達成感とは何か」が伝えられれば良い。[人文]
- 博士ゼミへの参加機会、指導教員との面談を通じた指導方針の共有機会。[社会]
- スカイプによるゼミ参加など、有職者でありかつ遠隔地に在住・在勤していても研究活動ができる環境や支援があること。[社会]

- 研究助成や研究推進の機会など学生向けに広く展開。蔵書がなく他図書館から取り寄せる不便がある。[理学]
- 研究室での活動以外に、オールラウンド型の博士課程教育リーディングプログラムのように、幅広く学べる機会があれば進学する決め手になる。特に、博士を取得して民間企業などへの就職を考える学生にとって登龍門がなければ博士課程には進学しない。[理学]
- 修士課程で研究のおもしろさを感じられたら博士課程後期にも進んでみようと思えるのではないか。そのため指導教官とのよい関係性作り、仲間との出会いなど大切。[理学]
- 魅力のある研究内容と研究支援に尽きる。夢のない作業を繰り返すような内容の研究では、より深く追求したいと思うはずがない。[工学]
- さまざまな分野の優秀な研究者とコミュニケーションができる場を増えることにより、自分自身が進学後の将来像をイメージできるようなプログラムがあれば、進学意欲が高まる。[工学]
- 修了後の進路がイメージしにくいいため、博士を修了した先輩方の話を伺う機会(学内セミナー等)があれば良い。[工学]
- 進路決定の時期に、修士課程学生と博士後期課程学生が意見交換できる場の提供。[工学]
- 学生個人に合った方法で研究の面白さを感じさせ、生活資金の援助があれば良い。加えて、修了後のキャリアに関する選択肢をいくらか提示できれば進学しやすいのではないかと。[工学]
- 給与の発生するインターンシップ。受け入れ可能な企業、研究機関等の協力が必要となるが。自らの研究活動に給与が発生すると責任感が増して良い刺激になる。[工学]
- 企業や公共機関との共同研究がより増えれば、研究費不足の問題が改善され、また学生が自身のキャリア形成についてイメージしやすい環境になる。[農学]
- カッコいいと思える研究、研究者に出会う機会があることが重要。手軽に大学、分野の垣根を超えた研究者との交流の機会があると良い。[農学]
- 責任を果たすことを求められるが、大きな裁量権が与えられることを示すと博士課程への魅力を感じ、進学を決意する決め手になる。[保健]
- 基礎研究だけではなく、臨床研究や教育研究に関するノウハウ、実務的な教育手法に関するノウハウなどに関する講座が増えるといい。[保健]
- 進学者のほとんどが研究職を希望するが、経済的な理由や就職の困難さから修士課程で就職する院生が多い。博士課程への経済的な支援を強化しなければ魅力を感じない。[保健]
- 指導してくださる先生の業績や人柄に惹かれるのが一番。[その他]
- Lab's environment. The relationship with the supervisor and other staff and students. Many master students quit continuing doctoral courses because they find problems with the supervisor. [理学]

- I think the first important factor is the supervisor, whether he or she can lead the students to the correct direction and whether they can co-work on specific topics. [理学]
- I think it is essential to have a good student support system with supportive teaching staff to guide the student during doctoral course.[理学]
- Opportunity to attend conferences and trainings outside the lab. Opportunity to explore personal research ideas. [工学]
- A good advisor can invoke the interest of the student to pursue and further their study to doctoral course. [保健]

【就職支援、企業等とのマッチング強化について】

- 就職や学費などの支援。特に博士課程修了者が不利にならない就職活動環境の整備。[社会]
- 経済的支援とキャリア支援。とりわけ就職への支援は全く足りていない。大学や大学教員に任せず、民間のエージェント等を活用した方が良い。[理学]
- 一番の障壁は就業に対する不安。アカデミアもポストが少なく、博士としての価値で採用してくれる日本企業も少ない。学生側への支援策や情報ではなく、企業側へ博士課程採用のメリットをアピールしていくことが、学生が博士課程へ進学を決める動機拡大に繋がる。[工学]
- 就職活動をしていると、博士学生は専門性を注視され、研究能力ではなく研究内容が問われる。社会人博士のような就職しながらに研究できるような環境があれば、アカデミック志望でない学生も進学するメリットがあるのではないか。[工学]
- 学位取得後の就業支援は必須。学卒・修士了の新卒学生より就職難であるという実態と、それに見合う報酬がもらえないという課題を解決しない限り、進学者は減る一方だろう。[工学]
- 学内の就職ガイダンスに参加しても、博士は対象でないと断られることがある。博士学生への就職支援体制を充実してほしい。[農学]
- 企業との連携の充実や進学後の生活の保障や具体的なメリットデメリットの提示[農学]
- 進路の支援が整っていれば良い。20 歳代の大部分を研究に費やすので、高い収入ややりがいのある職につける保証がある程度なければ進学に積極的になることは難しい。[保健]
- 学位取得後の就職先の保証と研究費応募における年齢制限の緩和[保健]
- I want to be involved in research collaboration with a company so that I can have a sense of working at a company and prepare myself for job hunting[工学]

【その他・複合】

- 安定したポストが得られる保証があること。学費免除制度があること。博士号保持者に対する社会的評価や需要が高まり、博士号への憧れが強まるような取り組みがなされること。[人文]
- まずは自身の研究を好きになり、発展させたいと願うことが大前提。指導教員の学部、修士課程の教育に委ねられている。また将来のキャリア形成の不安を払拭する必要がある。[工学]
- 研究設備の充実。(図書館の蔵書数や、オンライン上で利用できる電子データベースなど)や経済的支援(学内・学外の奨学金を含む)があると、博士課程への魅力を感じる。[工学]
- 学部時代の授業の在り方が重要だと思います。単位を取るための勉強でなく学術的な面での面白さに気付かせるような授業が必要。[工学]
- 博士号取得条件に査読付き論文何本というものがよくあるが、査読通過の可否はどんな査読者に当たるかという運任せの部分が大きく、一生を左右する基準にしていっていいと思えず、見通しの効く修了要件が分かりやすく掲げられていれば、安心して博士課程に進学できる。[工学]
- 修士課程時点において、博士課程進学者との交流や相談の機会があると、進学の後押しになる。[工学]
- 設備・金銭・性別の差異があっても研究機会が確保される具体例を示してほしい。[その他]
- I think the most important factor is the student's passion for what s/he intends to study, because that is where internal energy for self motivation lies. Everything else is secondary or auxiliary. [理学]
- It is better to start with marsters program to enter into doctor program. Long term research gives good understanding and skill in respective field. [工学]
- Student personal interest in doing research, followed by good career counselling and research orientation. [工学]
- Support for international students in life adaptation and provide materials in English. [工学]
- The research information could be provided to the foreigner more sufficient. [工学]
- Student personal interest in doing research, followed by good career counselling and research orientation. [工学]
- Master students consider the style of the lab, teachers, and previous graduate students. When Ms students see the previous graduate, students have found suitable jobs, they will be encouraged to pursue doctoral course. [農学]
- I think Enthusiasm to learn and research, is the most important factor. [保健]

参考 2-2 博士課程修了者等の自由記述の回答例

修[問 13] 博士課程プログラム(専門分野)の満足した点、満足していない点

修[問13] 上記の博士課程プログラム(専門分野)に関する[問5]から[問12]について、あなたが特に満足した点、満足していない(不満に思う)点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

〈[問5] 教育の内容 [問6] 教員と学生の関係 [問7] 教員の研究指導の質 [問8] 教員の研究指導の機会(頻度) [問9] 得られた知識・技術 [問10] 得られた研究への態度・考え方 [問11] 研究の施設・設備 [問12] 経済的支援〉

<回答自由記述>

[問 5]教育の内容

- 明示的に与えられる教育機会も重要だが、それ以上に同一のプログラムに在籍する異分野の学生との切磋琢磨を通じた専門性の広域化が大きい。自身の研究分野の応用先の着想などに関して現在まで寄与している。[社会]
- 海外の教育に比べ、教員らによる教育へのエフォートは低かった。[理学]
- プロジェクトベースのチームで課題解決する教育があったが、その時の経験が現在の民間企業で研究をチームで進める上で役に立っていると感じる。[工学]
- 教育の内容海外留学を必須にしてほしかった。必須でなかったために、指導教員との調整が上手くいかなかった。[工学]
- 自身の専門分野と異なる理系科目に加え、技術経営・イノベーションについて学ぶ機会が提供されていた。[工学]
- 専門書や施設を希望すれば使わせていただけ、資料の取り寄せやアクセスもそこそこでき、本当にありがたかったです。[農学]
- 研究室のセミナーで論理的思考力が鍛えられた。[保健]
- 指導教官から指導を受けることはあまりなく、他分野の先生に指導して頂いた。初めからそちらに相談する様に言われた。[保健]
- 期待以上の幅広い知識、最新の知見を世界の著名な先生から講義いただくことができて大変有意義であった。[保健]
- The education content is rather general and lacking of depth content [農学]

〔問 6〕 教員と学生の関係

- 一対一でタコツボ化しやすい。指導に意欲がない教員だと他の教員も口を出しにくく中途退学した学生が多い。〔理学〕
- 教員と学生の上に圧倒的な上下関係があり、自らの意に反して教員の意向に従わざるを得ない場面があった。〔理学〕
- 先生方も過ストレス状況なのは分かりますし、失礼なのは重々承知ですが、専門分野に隣接する分野なのに知識が少ない(勉強する時間が取れない)、精神状態の悪い方が見受けられた。先生方のメンタルケアを優先していただきたい。〔農学〕
- The staff at the university highly professional, friendly and helpful. Providing information to the students, professors were very keen on student's researches and provided valuable comments, suggestions on how to improve their work. 〔工学〕

〔問 7〕 教員の研究指導の質

- 教員の研究指導の博士課程では大学の先生と討議する機会があり、これにより専門家としての基礎を習得することができた。〔社会〕
- 教員の研究指導の質人材育成という観点を持っていないように感じられた。ひどい場合は学生を良いコマのような扱いをする。また、嫉妬心や矜持から人として尊敬できない教員スタッフも多く、学生の内面の成長の場としても充実しているとは言い難い。〔工学〕
- 大学教員の大半は「指導」の専門家ではない。指導者としての技能や人間性については本人の裁量に拠るところが大きく、問題が生じている場合もある。〔工学〕
- 教員の研究指導の質審査員となる教員陣の中で合格要件や水準がまちまちであり、事前にその水準を示される機会もない。一発勝負となっている。自身の指導教官が良しとしても、真逆の判定が出ることもあった。〔その他〕
- There was few opportunities to discuss my research topic with other professors. I believe that my professor was satisfied with my own research, but input from other professors would lead to improving the research facilities/research equipment. 〔工学〕

〔問 8〕 教員の研究指導の機会(頻度)

- 教員が忙しくディスカッションの機会が十分でないときがあった。〔理学〕
- 対面での指導も少ないが、メールを通しての指導も返信が遅いため十分でない。〔理学〕
- 複数のプロジェクトを担当する中で、指導教員の居室に実験結果をディスカッションしに行くことで指導頻度が上がった。受け身で研究を進めるのではなく、自ら動くことも重要。〔工学〕

- 社会人入学したため、平日夜間や日曜日しか研究指導を受けられる機会がないが十分に対応してもらえなかった。社会人枠を設けながら、社会人への配慮が不足している。[その他]
- I think the research instruction is based on a smooth communication process between teaching staff and the student, which depends on the self-encouragement of the student and proper assistance from teaching staff, which I had during the course.[工学]

【問 9】 得られた知識・技術

- 私の所属していた大学院は、海外からの留学生が多く、触れ合う機会が多かったため、語学力が特に向上したことが大変ありがたかったです。[工学]

【問 10】 得られた研究への態度・考え方

- 研究への態度・考え方とも満足。問題、課題に論理的に取り組めるようになった。[社会]
- 産業界に入ると研究と産業の乖離を感じる。産学連携はより一層強く進める必要。[工学]
- 研究内容とはかけ離れた分野の企業へ就職したが、研究に対する考え方は通じるものがあり、それなりにできていると自負できる。[工学]

【問 11】 研究の施設・設備

- 電子ジャーナルで読めないものが多かった。ドイツのように国立大学が連携して出版社と交渉にあたって欲しかった。[社会]

【問 12】 経済的支援

- 休学して博士課程でやりくりするお金を貯めた。これがなければもう少し研究に早くから取り組み、年齢も余裕が生まれたのではないか。[人文]
- 経済的支援金額が十分でないという問題もあるが一年または半年単位で支給が決定され、しかも直前になるまで支援の可否が決定されないため、長期的な計画が立てづらいという問題があった。[人文]
- 現在設けられている本学の博士課程学生への給付型奨学金の機会が得られればなお良かった。経済的な部分が最もストレスフルだった。[社会]
- 博士課程進学者は 9 年以上学費を払い、さらに親元から離れるものは家賃等も負担になるので、資金難になる学生がいる。[理学]

- 海外の大学にて現在職務を遂行しているが、経済的支援の差は歴然。経済的な余裕をもつことで、研究に集中し、博士課程での学びを最大限活かせる環境になる。[理学]
- 経済的支援:東京都心部で下宿、アルバイトは不可、本業の研究に加えてインターンシップや遠方の実習などにも参加するというプログラムを、支援金のみで受講し続けるのは非常に苦しかった。[理学]
- 経済的支援について経済的支援のおかげで、海外への留学などもでき、充実した学生生活を送ることができました。[理学]
- 経済的支援のおかげで、家族に対し負担をかけることなく博士課程へと進学することができたため、満足している。[理学]
- 経済的支援学生生活が長くなる分、授業料の全額免除の適用はありがたかった。[理学]
- 経済的支援自分は実家暮らし+学費全額免除だったためなんとかやっていけたが、学費全額免除でも家庭によっては厳しいと思う。[理学]
- 経済的支援博士研究のためにアルバイトは思うようにできず、経済的に苦しい時期が長かった。大学独自の支援を一定程度受けることができたが、査読付論文の有無が支援額を左右し、査読付論文を出版するまでは特に苦しい思いをした。[理学]
- 現在は研究の対価として給与をいただいております、比較的高い意欲を持って研究に取り組むことができている。研究費も自身で獲得できており、必要なものを優先して購入することができるなど、スムーズに研究を遂行できている。一方、博士課程在籍時にも給与や専用の研究費が支払われていれば、より高いモチベーションを持ち、それを維持しながらスムーズに研究ができたと思う。[理学]
- 支援していただいたのはとてもありがたかったが、それでも東京での一人暮らしを全て賄えるほどではなかった。[理学]
- 世帯主の年収が(奨学金の対象とならない程度に)高い一方で、世帯主からの支援を受けられないような立場の博士課程在籍者は、学振を受ける・アルバイトをするなどの自助努力が求められるばかりで、安心して研究を行えない。[理学]
- アルバイトなどをせずに実験に集中できたことが特に満足している。[工学]
- 海外の博士課程とは違い、日本の博士課程で見られる個人の経済的問題はかなり大きい。[工学]
- 学振の支給額がそれほど多くない点。一年ごとのノルマを設定されてもいいので、副業を全面的に解禁してほしい。[工学]
- 学振特別研究員に採用されず扶養家族になる学生は授業料免除にも通りにくく、採用された人との経済格差が大きいと感じる。[工学]
- 経済的支援について、返済不要の奨学金を頂いているが、税金が高すぎてかなり困難な生活

を送っていた。「学業に関わる個人事業主は減税」などの改善しない限り、推進が進まないと明確に分かる。[工学]

- 経済的支援はもう少し充実させた方が良くと思う。博士課程の学生は経済的に厳しい状況に置かれている。[工学]
- 経済的支援給付金を受けていると TA、RA などでもらえる金額に上限ができてしまうのはなくしてほしい。学業・研究活動に支障がないようにという配慮からだと思うが、学業・研究活動に関係する仕事なら問題ないと思う。[工学]
- 経済的支援博士学生をサポートする制度(学費支給、奨学金制度、研究費助成など)が海外と比べて乏しい。博士課程進学率が低い原因。[工学]
- 経済的支援不満な点あり。奨学金を借りていたが、免除申請が博士論文・公聴会の時期と被り、とても申請書を書く余裕はなかったため申請することができなかった。[工学]
- 個人的には経済支援が得られた方ではあるが、それでも生活がギリギリだったり、返済義務がある奨学金だったりしたので、もう少し金銭面での余裕が欲しかった。[工学]
- 社会人が博士後期課程へ入学する際は、基本的に全額学費は自己負担となる。一定収入ある立場なので仕方ないと思うが、何らかの学費減免措置があってほしい。[工学]
- 同じプログラムに所属する学生同士であるにも関わらず、年度によって経済的支援の程度に差があり公平ではないケースが見られた。[工学]
- 学費以外に課程のプログラムで必須の通信費やプリンター使用代などが年十万円以上かかり、費用の工面に苦労した。[保健]
- 経済的支援が充実していたため、研究およびスキルアップに注力することができた。[保健]
- 会人博士として入学したが、経済的状況はかなり厳しいものがあつた。通常の課程博士であればさらに厳しいものであつたと想像される。[保健]
- Applying for scholarships is extremely stressful and there's a large chance of not getting them. The work for applying also loses time that could be used for research instead. [工学]

修[問 15] 博士課程で最も印象に残った事項

修[問15] [問14] で(5)「その他」を選択された方は、博士課程で最も印象に残った事項を具体的に記載下さい。

<回答自由記述>

- 研究論文の執筆について、丁寧に指導頂きました。厳密性、正確性の大切さを学びました。[人文]
- 異分野の人と研究について交流したこと。私の専門は、同じ専攻の人間にも研究内容を説明

するのは極めて困難なのですが、それでも他の研究科の人と交流する上で、新たな気づきがあったと思っています。[理学]

- 自分自身で考え、研究を進める力が自然と身についた点。[理学]
- 科学の奥深さと、その細分化された研究領域ゆえの社会生活への還元の難しさ。[理学]
- 研究や学問に対する平等さが印象的だった。教授に対してであっても、疑問に思う事、おかしいと思う事を指摘できる雰囲気。[理学]
- 最先端研究と教育を両立し続けることの苦勞[工学]
- 異分野であっても博士を目指す研究者と接することで刺激になり自身の成長に繋がった。[工学]
- アカデミアで経済的に安定した生活を続けていくことの困難さ[工学]
- 日々の研究活動に加え、科研費獲得に向けた活動に参画させてもらえたこと。[工学]
- 周囲の先生方のストイックかつ適切な研究方法が刺激的で、モチベーションを維持できた。[保健]
- トップレベル研究室での研究の在り方、スピード感にカルチャーショックをうけた。[保健]

修[問 21] 博士課程プログラム(専門分野以外)の満足した点、満足していない点

修[問21] 上記の博士課程プログラム（専門分野以外の高度な教養の獲得や、職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等）に関する[問 8] から[問20]について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

〈[問16] インターンシップ [問17] 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育 [問18] 語学（外国語）プログラム [問19] 専門分野外の教養科目 [問20] 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）〉

＜回答自由記述＞

[問 16] インターンシップ

- インターンシップについて、特に満足した点は、海外に3か月の研究留学ができたことです。そのための期間や資金、受入研究室との交渉など、博士課程プログラムの様々なサポートがあってはじめて可能になったことです。[工学]
- 有益な経験となるか、研究機関や企業の無給研究補助者としての時間投資となるかは受け入れ機関との契約や信頼関係が左右するだろう。[工学]
- インターンシップの経験が将来の進路を決めるきっかけになった。[工学]

- 海外での企業インターンシップは研究能力を向上させられただけでなく、異文化の理解にも繋がり、人生において非常によい経験になった。[工学]
- 海外企業でのインターンシップが用意されており非常に有意義な経験であった。一方で、海外留学とインターンシップが3ヶ月ずつであったため、インターンシップ6ヶ月に絞っても良いと思う。[工学]
- 研究が好きで多くの実験をしたいと感じる中で、インターンシップの重要性がわからない。企業側が、業務内容など明確にしたうえで、募集をかけるべき。[工学]
- 公設試験場へインターンに行ったが、学生の期間中に公設試験場を知ることができ、社会人になってからの研究に大いに役立っている点。[工学]
- 自身のキャリアに沿って実行できたインターンシップは、とても有意義であった。[工学]
- インターンシップとして海外の研究機関と国内の企業に参加することができ、色々な体験をすることができたのは非常に良かった。特に産学を体験できたのは貴重でした。[保健]

[問 17] 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育

- 博士課程を修了するのに必死だったため、博士取得後のキャリアを考える期間があまりなかった。[理学]
- 博士課程向けのキャリア育成(高度技術経営塾)は受講する価値があった。[理学]
- 自身のキャリア構築や社会で活躍するための能力について考える機会は、幸いにも指導教員が常に与えてくださり感謝しているが、プログラムとしてそのような機会や科目があったことは記憶していない。[工学]
- キャリア教育自体は良いが、そもそもそのようなキャリア教育を受けた博士を評価しない企業が依然として多い。採用面接でも関心を示さない企業もあった。[工学]
- 学内でのキャリア開発の機会についてリーディングプログラムに履修している範囲では、異分野融合や産業界との強いつながりを感じられた。また学内既存制度として、キャリア開発のための情報展開は積極的に行われていたと思う。問題点は、教員がそれを許可するかどうかの問題である。[工学]
- 学位取得後のキャリアに関する教育やアドバイスはほとんどなく、自分で情報収集するしかなかった。[工学]
- 博士課程在学中には、博士取得後のキャリア開発の機会についてのプログラムを受講する機会がなかった。取得後でもよいので、そのような機会が欲しい。[工学]
- 最新の博士のキャリア動向を学べたことは非常に有意義だった。これを踏まえて博士課程および、その後のキャリアをどのように進むか、ある程度の指針を早期に立てることができた。[工学]

- 産学連携講座や大学内の会社説明会は非常に満足している。博士の企業就職が修士に比べるとまだまだ一般的ではないので、博士号を取得している企業の研究開発職の方と接する機会は非常に貴重だったし、有用な情報を得ることができた。[工学]
- 研究室によって、外部プログラムへの参加にポジティブ、ネガティブな印象が分かれており、私の研究室ではどちらかと言えば、研究室の業務だけをやってなさいというスタンスだった。そのため、研究職以外のキャリア開発やキャリア教育などのサポートは受けられなかった。[保健]
- This is a very challenging matter because of education for career development cannot be uniform, one working environment or career environment would be different than others, so the education for career development should vary or diverse by considering different environment. [工学]

[問 18] 語学(外国語)プログラム

- 所属していた専攻が外国語の能力をあまり必要としていない専攻だったが、修了後その能力の必要性を強く感じるので、語学プログラムの充実をさせてほしい。[人文]
- 海外留学に対するプログラムからのサポートが厚く、海外留学や国際学会参加を多く経験することができたことは特に満足した点である。[理学]
- 博士課程プログラムの一環として語学プログラムを増やしてほしい。[理学]
- ネイティブの英語の先生(オーストラリア人)から少人数で英語の指導を受けた。毎週テーマがあり、アクティブラーニングできた。[保健]
- 語学(外国語)プログラム:外国語を使えるようになって以前より自分に自信がついた。この自身は生き方に良い影響を与えた。[保健]
- 語学(外国語)プログラムこのプログラムは当初開講されておりましたが、博士課程の途中から開講され、学外の講師を招いて実施されましたが、とても有意義であり、勉強になりました。この講義で今後どうやって研究のための英語を向上させればよいかについて考えるきっかけ作りができました。[保健]
- 在籍していた研究室では、海外で研究する機会が多く、英語を学ぶ機会が多かった。しかし、そうでない場合、大学として英語を学ぶ機会が少なすぎる。[保健]
- The language program is important for international students since it's required a least for a comfortable daily life. [工学]
- We had the opportunity to see how professors communicate and interact with international researchers, both in English and Japanese. [工学]

〔問 19〕 専門分野外の教養科目

- グループワークや課題が多い講座が多く、本業の研究活動の時間をとられてしまうという物理的、心理的なハードルが高い。そのせいで積極的に参加できない。〔理学〕
- 研究成果を3年間(実質2年間)で求められる以上、それ以外のことで特に専門分野と周辺以外の大きく異なる分野(例えば科学に対する法学や文学のような)までに割く余裕が全体的に無いのではないかと感じている。〔理学〕
- 博士課程の学生が必修の専門分野外の科目を設定するのであれば、単位取得に必要な出席と、到達するべき目標の設定を明確にしてほしい。〔理学〕
- 博士課程在籍者および進学予定者向けにマネジメントを行える人材の育成を目的としたセミナーが開講され、それを履修することができた。内容の質は回によってかなりばらつきがあったが研究のみでは得られない知識に多く触れることができた。〔理学〕
- 分野外の最新の話題に触れることができたことに満足している。〔理学〕
- 自分の専門分野に集中してしまい、視野が狭くなりがちな博士課程であるが、他分野に触れることが出来るプログラムのおかげで視野を広く持つと共に、異分野を結びつけて考える力を付けることができ、満足している。〔工学〕
- 専門分野外の教養科目コミュニケーションを行う上で、専門以外の知識があることは、必須であり、興味の幅、人としての基盤を高めた要因となった。〔工学〕
- 専門分野外の教養科目教養科目について、多忙な研究生活の中で講義や課題に時間を費やさなければならなかった点は大変に感じたが、研究分野以外に興味の幅を広げることができたことは非常に有意義に感じた。〔工学〕
- 必要なら自分で学ぶくらいの能力は博士学生にはあるので、必要単位数を設定して不必要に講義をとらせるのはやめてもらいたい。〔工学〕

〔問 20〕 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目(例:研究倫理、プレゼンテーション講座等)

- 効果的なプレゼンテーション教育のカリキュラムは必修にすべきだと思います。〔工学〕
- 効果的な論文執筆法や研究発表法についてのレクチャーがあり、非常に役に立った。〔工学〕
- 社会での活躍に必要な能力のうち、論理的思考力は重要であると考え。ビジネス本に記載されているようなあいまいなものではなく、学問としての論理学を教育したほうが良いと最近考えている。〔工学〕
- 相手に理解していただき、かつ相手からコメント(発想)を受けることの重要性を学びました。〔工学〕

- 博士後期課程者向けに海外での留学を支援するプログラムがあったことが大変良かったです。ぜひ続けていただきたいです。[工学]
- 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目グローバルリーダー教員のリーンプラッチャード。[その他]
- I think these skills are very important, as long with communication skills, for researchers. Research by itself loses a great value without them. [工学]

修[問 29] 博士課程の教育関連プログラムの満足した点、満足していない点

修[問29] 上記の博士課程教育リーディングプログラムに関する[問22] から[問28] について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、該当する問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

〈[問22] 教育の内容 [問23] 教員と学生の関係 [問24] 教員の教育・指導の質 [問25] 学生指導の機会（頻度） [問26] 得られた知識・技術 [問27] 得られた研究への態度・考え方 [問28] 経済的支援〉

<回答自由記述>

[問 22] 教育の内容

- I am satisfied but I do hope there are more lectures in English [保健]

[問 23] 教員と学生の関係

- リーディングプログラムの説明会で、自分の専攻とは異なる分野の教員を選ぶように促された。当時はそうだなと思ってよく考えずに専門分野と違う人を選んだが、今考えると自分の分野に近い人を選んだほうが後の能力開発やキャリア形成に役立ったかもしれない。[理学]
- 教員と学生の関係について副指導教員制度により他学部の先生から指導頂けたことは、貴重な経験だったと思います。[理学]
- 教員と学生の関係専門の指導教官よりも、より話やすく、言いたいことがいえる雰囲気があった。民間出身の指導者や相談者、メンターという人たちが、アカデミアと実際の民間企業を橋渡しする形で、文化の差異や必要される能力、知識を教えてくれた。[その他]

[問 24] 教員の教育・指導の質

- 教員の教育・指導の質に関して特に満足した点は、学生に対して意欲的かつ積極的であった点です。私自身も積極的であれば、より学べるが多かったと思います。[工学]

- 所属研究室以外の教員の指導は、個人的にはメンター的な役割が非常に大きかった。所属研究室では少し話しにくい内容を、相談できた点で精神的に楽になったところはある。[工学]

[問 25] 学生指導の機会(頻度)

- リーディングプログラムは副専攻であり、主専攻の研究の時間を確保するため、活動を制限せざるを得なかった側面もある。全体的に評価が低いのはリーディングプログラムだけが問題ではなく、主専攻の指導教員の理解が得られず、満足に活動できなかったことにも原因がある。[理学]

[問 26] 得られた知識・技術

- 得られた知識・技術実際に研究の役に立つ知識や技術が得られたというよりも見識を深めるとい程度のものであった。ただ広い分野で研究を行う上では役に立っていると思う[理学]
- 海外の研究機関に滞在することができた。このことで海外の専門の近い先生と直接議論ができただけでなく、共同研究等後の研究にも大きい影響があった。[理学]
- 得られた知識・技術直接得られた知識や技術というよりは、それを得るための機会が履修を通してえられたことが良かった。具体的には博士課程生や企業人との交流、留学機会などである。[工学]
- 各界のトップ人材との交流会や発表の場を設けていただき、常に刺激を受けながら自身の知識を深めることができた。[工学]
- 一年間の海外留学経験が得られたことに満足している。[工学]
- We had lots of opportunity to gain new insights as well as opportunities to develop not only our core skills but also in establishing soft knowledges[工学]

[問 27] 得られた研究への態度・考え方

- 分野外の学びを通して、自分の専門分野を相対的に理解することができるようになった。[人文]
- 得られた研究への態度・考え方 満足している海外研究・留学の機会を与えていただき、視野が広がった。[工学]
- 様々な専門分野を、エネルギー変換というキーワードで結び合わせたプログラム全体のテーマ設定がよかったと思う。それに沿って受けた教育が、一つの課題を多面的に捉える習慣に繋がっていると思う。[工学]

【問 28】 経済的支援

- 所属したプログラムでは長期間の海外研究経験を積むための潤沢な経済的支援をいただき、心より感謝しています。[工学]
- 経済的支援について、日本学術振興会の特別研究員の給与を超えてはならないという理由によって奨励金の給付金が月額 20 万円になるのはおかしい。[工学]
- アルバイトなどをせずに実験などに集中することができたので満足している。[工学]
- 授業料、研究費、奨励金など経済的支援が手厚く、研究およびプログラム活動に集中することができた。[工学]
- 収入の観点では明らかに一般企業に就職するメリットの方が大きい。しかし、仕事の量は博士課程学生の方が大きいと思われる。[工学]
- プログラムで入ったにも関わらず、期間終了後支援が大幅に減った。最初からプログラム終了後を考え、無理ならば募集の仕方、人数を調整すべきです。[農学]
- 実績を出したにも関わらず、大学及びリーディングプログラムによる経済的支援に変化はなかった。[保健]
- アルバイトをすることなく、学業に専念することができたので、大変助かった。[保健]
- 経済的支援が充実していたことで、研究やスキルアップに注力することができた。[保健]
- The financial support was reduced due to expiration of leading program. [理学]

修【問 32】 博士課程への進学を決意する決め手

修【問32】 修士課程から博士課程への進学を検討するに当たり、どのようなプログラムや研究環境の整備、学生への支援策や情報があれば、博士課程への魅力を感じ進学を決意する決め手になると思いますか。修了者としての立場からご意見をいただけますと幸いです。

<回答自由記述>

【経済的支援・学費の軽減について】

- 博士をとるにあたって非常に大変な思いをするにも関わらず、学費を払わなければならないという状況が博士課程進学に対するもっとも大きな障壁になっていると思う。博士課程では安い賃貸に住み、好きなものを買いくく、節約をしながら、苦しい精神状態で3年間過ごしていた。修士卒の社会人と同程度の生活ができる程度の収入が必須である。[人文]
- 女性の博士課程進学には金銭的な問題の他、特に結婚出産が遅れるという古い考えがはびこり、進学に興味さえも持たない女性の学生が多い。それは先輩方や社会人からそのようなわさや話を聞くからである。どのようにこのような事態を解決すればいいのか私にもわからない

が、この問題は博士進学を検討する女性の学生にとっては大きな壁となっていることは間違いない。[社会]

- 経済的な支援や学振などの研究費を獲得する申請書の書き方の支援があり、進学者のほぼ全員に経済的な利点があるとよいと思う。[社会]
- 奨学金および研究費の助成があると良い。また、課程終了後の就職支援プログラムが整えられていると、民間志向の学生の進学率が上がると思う。[社会]
- ①博士学生のキャリアパスが明確であること。②経済的支援が保証されていること。③単なる労働力として見えるような雰囲気を作らないこと。④問題設定能力、問題解決能力、論理的思考力が育てばあらゆる分野で活躍できる人材になると広く訴えること。[社会]
- 経済的支援は重要と感じました。才能と意欲がありながら、経済的な理由で博士進学を断念し、修士卒で出て行った先輩後輩を見てきました。[理学]
- 一般的に経済支援が十分でない状況では、経済的支援の詳細な情報が早くから周知されている必要がある。また、あくまでも博士課程教育の究極の目的は専門分野の研究能力を身につけることなので、専門課程とのバッティングが生じないかはよく確かめる必要がある。[理学]
- 研究生を送る上での経済的な支援や、就職について相談する機会が多くあると助かると思います。[理学]
- 経済的支援はとくに修士課程から博士課程への進学を考える上で重要な視点であると考えます。経済的支援とは、在学中の支援だけではなく、卒業後にもある程度の経済性を担保できるという道筋がないと、学部・修士・博士課程へと直接の進学を考える学生にとっては大きなハードルになると思う。[理学]
- ①経済的な支援、終了後の進路の公表をし、学生の不安を取り除く。②大学教員だけでなく、企業でも博士号取得者のニーズがあることを公表。[理学]
- 世間一般的に博士課程に進学したのちの就職状況が悪いという風潮を一新するような情報の提示や海外のように返済不要の奨学金などの経済的支援制度。[工学]
- 学振 DC をとれない場合、やはり就職した場合との収入の差が生まれるので、経済的支援のあるプログラムが進学の決め手になると思います。[工学]
- 海外研究留学を必須とするプログラムで滞在費と一部研究費を負担していただけるようなプログラムがあると魅力的だと思います。[工学]
- 経済的支援は必須であるが、それに加えて、プログラムの負荷が大きすぎないことが大事なように感じる。プログラムの負荷が多すぎると、学生間や学生・教員間でのコミュニケーションがプログラムのタスクに集中してしまい、真の人的交流や研究内容の熟成が疎かとなり得る。[工学]
- 経済的支援と社会的立場の保証。就職活動も見据えた企業との提携がもう少しあっても良いとは感じました。[工学]

- 生活支援の制度(給料)、就職支援制度(機会)、在学時の研学生生活を保護する制度。(休みを取りたいときに取れるように学生を保護する制度)[工学]
- 博士学生期間中の金銭的な不安が博士課程進学を妨げるようである。学振特別研究員や大学の学位プログラム等があるが、多くは採択決定が就職活動期間終了後のため、予算獲得に挑戦するがお金が取れなかった場合には諦めて就職するという選択肢が取れない。[工学]
- 経済支援。留学生は国費で博士後期課程に進めているのに日本人にはその門戸が狭い。この状況ではなかなか日本人学生に博士課程の魅力を訴求することは難しいと思う。[工学]
- 費用面の援助は必要だと思いました。社会の認知は工学系でも低く思いました。研究室の人員構造についても(博士、修士、学士、助教)についてももう少し、分野問わず見直したほうがいいと思いました。[工学]
- 経済的な問題と学位修了後のキャリア問題がもっともネックになると思われるので、それぞれ給付型の経済的支援の充実と産業界への広報の充実やインターンシップなどの積極的な提携が行われることが望ましい。[工学]
- 奨学金や留学支援のさらなる充実、博士の資格を持った大学職員の給与の増額。[工学]
- 研究に集中するためにも、経済的な支援を手厚くすることが必要だと思います。博士人材に期待をかけるのであればせめて大卒初任給程度の支給をしても良いのではないのでしょうか。[工学]
- とにかく経済的な不安が進学の意思を阻害していると思う。具体的には在学中の経済支援が確実に得られ生活していけるのかという不安と修了後にまともな職につけるのかという不安があった。前者は経済支援の額を上げればどうにかなるが、後者は社会全体の問題なので、ぜひ博士取得者の受け皿を増やす試みもお願いしたい。[工学]
- 博士課程修了前後の経済的支援がより充実し、実力のある博士取得者が活躍できる社会になれば、博士課程への魅力が高まり、おのずと博士課程進学者は増えると思う。[工学]
- 奨学金ではなく、学生への給与の支給を求める。博士課程は、学生というよりも研究員という位置づけで、研究活動に対する給与があってしかるべきである。でなければ、生活に余裕のある家庭の子息しか博士課程に進学することができず、多様性の欠如につながる。[工学]
- 経済的な支援制度が大きいと思います。その一方で、支援制度の周知の仕方に関しても工夫する必要があると思います。修士課程の序盤から支援制度の説明があると学生も計画的に研究や進学を検討できると思います。[工学]
- 真面目にやっても研究の成果が論文としてでるかどうかわからない。そのため奨学金について、博士課程3年の標準修了年限だけでなく、最大5年ほど保障してもらえると、挑戦的な課題に対しても取り組むことができるので、良いプログラムになると思う。[工学]
- 博士課程在籍者への経済支援をもっと充実させて欲しい。また修士課程進学時点でまったく博士課程への進学を考えていないものが多かった。博士課程の魅力は修士の学生だけでなく

学部生や社会により周知することが必要だと思う。[工学]

- 博士課程に進学する人全員に対する経済的支援。博士課程に進学することを決意する時点で、経済的支援が受けられるかどうかは確定していないことは非常に不安であったため。[工学]
- 経済的支援が重要であると思う。現在働いているドイツでは、博士課程の学生は勿論、修士課程の学生に対しても経済的な支援がなされており、魅力を感じる。[工学]
- 経済的な支援が最も重要です。多くは養ってくれる人はいないため、自分自身の収入での生活になります。勉強する時間を確保するためには、経済的な支援が一番ありがたかったです。[農学]
- 最低限の経済的支援(研究という仕事に対する対価)は必須だと思います。博士課程での研究や教育に魅力を感じても、経済的な支援がない場合は進学を諦めざるを得ない。[保健]
- 経済支援に加え、博士課程=学生ではなく、博士課程=研究者とみなされるような環境の整備があると、優秀な後輩にも博士課程進学が勧められると思います。また、上長の印鑑の取得等に代表される細かい事務手続きを少なくし、研究に専念できる環境も必要です。[保健]
- 学生便覧に記載されている修了要件と、実際に指導教員が修了を認める要件との齟齬があるのが問題だと思います。こうした齟齬が取り除かれることが明示されるとよいと思います。[保健]
- 修士卒業後に就職する同期と比べて見劣りしない生活面での経済的支援。研究面では特別研究員奨励費のような、博士学生が自由に執行できる資金の拡充など。[保健]
- ①学生が主体的になって行動できる空気や環境が整っていることを示すこと。②主体的に行動できない学生もいるので、そのような学生には教員がサポートする。学生が安心して研究できるように教員がサポートする。[その他]
- Financial support. It takes years to catch up to master students in salary compensation and you have to deal with 3 extra years of debt. [工学]
- Master students need scholarship to be able to enter the doctoral course. This is particularly true for international students who do not have the financial means to live and survive in Tokyo. [保健]

【キャリア情報の発信・充実について】

- 積極的に博士課程学生を採用している企業や団体などの情報が多いと安心材料になると思う。また、研究がうまく行かなかったり、研究以外のことに興味を持って博士課程を中退したりする場合のロールモデルやその場合の情報があると安心できると思う。[人文]
- 博士課程が終わったとしても、転職市場では学士や修士卒と同等の扱いしか受けないところを改善すべきである。すなわち、転職市場で一つの基準である現在の給料の項目を少しでも改善できるようにすること。最低でも入社3年目と同等の給料は必要である。これに尽きる。[社

会]

- 博士課程修了後のキャリア形成を支援するプログラム。修士課程修了者との差異を明確に示して欲しい。[理学]
- 日本における博士号取得者に対する将来が閉ざされている。最近までの、経験を積むための海外ポスドクというもののより、日本での労働・研究条件が悪いから海外に出るしか選択肢がない。結果、優秀な人材は海外に流出している[理学]
- 就職よりも博士に進学したときの方がローリスクハイリターンになること博士課程中の経済的な安定性博士課程取得後のアカデミックポジションが十分にあること研究以外の雑務がないこと。[理学]
- 修士課程の修了することより、博士課程の修了することの方が、例えば報酬面が著しく増加するなどの社会での存在価値。[理学]
- 博士課程からのキャリアがより分かりやすくなると思います。博士向けの就職支援を行っている方も就職活動について明確な方針を立てることができていないようでした。大学にはできるだけ積極的に企業とやり取りをし、博士が必要な企業と連携して学生を支援していただければ、と考えています。[理学]
- 博士課程修了後の進路についての情報が曖昧で、誰からも明確な支援や情報を得られない。修了後の進路に関するサポートが充実すると良い。[理学]
- 現在社会で活躍している博士課程修了者から博士課程進学の特長とデメリットを聞き取り調査し、それを大学や政府機関、メディアを通じて広く社会に発信することが重要と考える。[理学]
- 博士課程修了後の明確なビジョンが見える様に、修了者の進路を例に紹介するとともに、進学するか迷っている人と修了者の交流会や講演会を開いて両者が接する機会を増やすこと。また、就学中の学生が外に出やすいように指導教員などに話を通しておくなど、外部からの協力も必要になってくる部分があるのではと思う。[理学]
- 博士課程の「出口」の展望で実績がなければならないと考えている。アカデミアでなく企業就職する場合、企業から見た博士課程の評価が良ければ履修学生も増えるかもしれない。しかし、日本の企業(特に製造系大企業)では、新卒採用をマンパワーとして勘定する傾向にあり、そこで博士の良さは発揮されない。(そもそも誰が博士卒なのか把握していない人事制度である)。企業に対して博士卒の良さを伝える必要がある。[工学]
- 博士取得者の問題設定、解決能力や論理的思考力という能力が重要であることを世間一般に対して周知していくことが必要。小手先のプログラムや情報提供では改善しないと思われる。[工学]
- ロールモデルがはっきり分野ごとに明確に紹介してくれると良い。研究テーマ、海外経験、年収、生活スタイルなど、研究以外も含めた総合的な将来設計が描けるとより進学が具体的に

る。[工学]

- 卒業後の就職や昇格に影響しないため、お金と労力をかけることに戸惑う。博士課程の社会的認識、地位の向上に努めてほしい。[工学]
- 修士卒の企業勤務者よりも高い報酬(賞与や福利厚生も含めて)がないと優秀な人材の多くを博士課程へ進学させることは厳しいと思う。[工学]
- 将来への不安(安定した職につけるか?)があり博士課程への進学を断念する人が多い印象のため、その不安を払拭できるような博士取得後の明確なキャリアを提示することが重要であると思います。[工学]
- 博士号取得後のキャリアパスをより具体的かつ明確にできる(更なる)情報発信。また、学位取得後のキャリアを実現可能にする教育環境の整備が必要と考えています。[工学]
- 博士在学中は経済的事情やライフステージの変化、今後のキャリアへの不安が大きい。これらの要因は研究への意欲にも影響すると感じる。具体的な就職事情などが明らかになれば、不安が減り博士課程での研究が魅力になると思う。[工学]
- 修了後のキャリア形成プログラム・学位取得者への優遇制度のある機関情報等、修了者支援情報の充実・語学プログラム[工学]
- 多くの修士課程の学生にとって博士課程終了後にどのようなキャリアがあり得るのかということ具体的イメージすることは非常に難しいと思われる。参考となるキャリアモデルを知ることができる機会や情報発信が有用ではないかと考える。[工学]
- 博士号取得後の明るい未来を想像できる情報や支援があれば、進学を決意できるのではと思います。研究業績や能力がある方でもなかなか常勤のポストがない現状では、進学を薦めにくいです。[工学]
- 博士課程を修了した後のイメージが明確に描けないことが進学への不安につながっている。漠然と研究者を志しても、ポストは少なく研究者として生き残ることができるのはごく一部だということを皆理解しており、人生を投げうつ覚悟のある者だけが博士課程に進学するという現状がある。博士課程を修了することで、どのような能力が身に付き、それがどのように社会で行かされるのか、研究者としての道に限らず、広くロールモデルを知ることができれば、進学へのハードルも下がるのではないかと。[工学]
- 博士取得後に一般企業で働くというキャリアパスの存在を示してもらえると、進学という選択肢を受け入れやすくなるのではないと思う。[工学]
- 博士課程を修了した後の進路について、事前にいろいろな情報が得られやすい環境があると進学を決意する決め手になると考える。[農学]
- より多くの博士課程修了者の成功者を具体的に知ることができる SNS に専用ページを作り頻繁に更新すること。私や同年代の知り合いの当時のことを思い返すと、修士課程で企業に就職する自分をイメージするのに比べ、博士課程卒業後の自分が就職するもしくは研究者にな

るのをイメージするのは格段に難しかったです。[保健]

- 日本での博士修了の重要性をもっと情報発信するべきである。それが、一番の支援になると信じる。プログラムを継続することは間違いなく重要である。日本国では、5年おきに名前を変えつつ素晴らしい奨学金・教育支援が継続して続いていると感じている。ワイドショーなどのテレビ、インターネットで書かれているのは博士人材の有益な情報よりもデメリットが多いように思う。これが世間の考えを負の方向に傾けている。[保健]
- 博士後期課程後のキャリアに不安を感じさせないようにすること。そのキャリアが金銭面などで魅力的になること。おそらく、科学への興味を伸ばす政策だけでは進学する人は多くならないです。[保健]
- 博士人材として即戦力となれる資格取得支援、研究に対する経済的支援、専門外の視野も広く身に付けられる機会の提供など。また、修了後のキャリア支援を修了生の属性にとらわれずに幅広く展開していただけたことが多様な人材の育成、活用につながると考えられる。[その他]
- A clear understanding of: 1) What are the career paths after the doctoral program 2) For each career path, what are the key points that are needed and have to be obtained while doing the doctoral program. [社会]
- Provision of a well thought out career plan. to answer is it worth pursuing a PhD? [社会]
- A clear connection between doctoral studies and employment opportunities/options upon graduation. [工学]
- More comprehensive career education. I thought I had chosen a good company to work after graduation, but I cannot apply any of the skills I acquired during the program here. It is difficult to change jobs in Japan. [工学]
- I think it depends on the market needs for Doctor graduates, students will enroll more if they found it will lead to a better future. [工学]
- I think that good job prospects in the academe or in the industry would attract more students into the doctoral course. A clear distinction between the salary of a master and doctor course graduate within the industry. [工学]

【教育内容の改変、教員の魅力向上について】

- その学問分野の本質に基づき教育・研究に取り組んでいる研究者・教育者の存在を大学で発信すれば、博士課程への進学を決意する決め手になると思います。[理学]
- 博士課程では研究を進める上では研究室の教員としか交流がなかった。他の研究室の教員との交流を増やすことは研究に広がりを持たせられる点や研究に対する姿勢を多くの人から学

ぶ上で重要だと思う。[理学]

- 自分が課程在籍時に所属している研究室の設備や方針・考え方がすべてではないということ
を認識することができる(井の中の蛙にならない)仕組み(たとえば他研究室や関連他大学の
教育・研究を知る機会等)があると見識も広がり、自他の環境・位置づけを知り研究への意欲
が高まると思います。[工学]

【就職支援、企業等とのマッチング強化について】

- 博士課程に進学すると、人生設計や就職を不安に感じると思うので、進路・就職へのサポート
体制をアピールしたらいいかと思う。[社会]
- 就職支援や、博士号取得者を優遇する企業・団体が充実すれば良いと思います。または、取
得にあたり、在籍年数が伸びたり、単位取得退学になっても許容される環境であれば、取得で
きるかどうか自信がなくても進学する人が増えると思います。[工学]
- 学費の支援と就職先の斡旋だと思います。国際競争力を向上させるためにも企業と連携し、
win-win となる人材育成の新たな仕組みづくりが必要だと思います。[工学]
- 就職の間口が狭いことが問題にあると思う。大学や独立法人の研究所の採用は非常に狭い門
であり、採用されたとしても任期付であるのがほとんどである。残りの選択肢として企業への就
職を考えるが、古くからある企業ほど博士卒の学生を見下した評価されることも少なくない。夢
のある将来が描けるようなキャリア設定ができる環境を整備することを求めます。[工学]
- 就職状況の現状を明確に示したうえで、就職までのプランニングについてより支援を充実させ
ることが望まれる。[保健]
- 生活するための物価に見合った経済的支援と、とても大変な研究生生活での心労を減らすため
のメンター制度が、博士課程でのカリキュラムを達成する上で大変重要だと感じます。[保健]
- Research environment that not only ensuring the facilities but also engaging the research goal
and output to the industries as well as to the world of policymakers and practitioners. [工学]

【その他・複合】

- 科学技術立国を目指すにも関わらず、博士課程進学後の待遇が悪すぎる。現状、物好きしか
進学しておらず、優秀な人材の流出は免れない。むしろ、医者のを待遇を参考にすればよろしい
と進言します。資格こそ少し難しいですが、一定安定の診療報酬制度これに尽きる。[社会]
- 経済的には修士を修了して日本企業に就職する方が「安定」という印象が持たれている。経済
的な安定やワークアンドライフバランスばかり求める学生が多い印象で、大学に入る以前の教
育(小学校など)が重要だと思う。[理学]

- 社会人大学院生でもプライベートで進学できるように、講義の在り方(仕事と両立できるようにオンラインで自由な時間に受講可能とするなど)や助成金を充実させた方が良い。[理学]
- 意欲ある優秀な学生が経済的な理由で進学を諦めないような支援策が必要。研究者以外の道へ進んでも、博士号を取得したことが評価される社会でないと、優秀な学生は進学しない。[理学]
- 修了年数について、高いインパクトファクター(この数値を明確化することが重要)の雑誌に 1 報投稿できれば短縮することが可能であるとするような具体的なプログラムを設置することも良いと思う。[工学]
- 大学院生の社会的な地位の向上と出口としての博士人材の活用の促進が必須だと考える。一方で同期の院生などを見ていると、博士課程への入学試験自体はもう少し厳しくてもいいように感じる。入り口を狭めて優秀な学生を集め、彼らに出口として魅力的な選択肢を豊富に与えられるのが最良だと考える。[工学]
- 博士課程への進学は良くも悪くも文化的な環境が影響すると思う。身近に活躍している博士課程の学生や博士研究員がいて、コミュニケーションが取れる環境にあると、博士課程が進路選択に加わりやすい。この意味で、博士課程に進学した学生や研究員が活躍できる研究環境の整備や経済的支援の拡充が進学の魅力を向上させることにつながると思う。[工学]
- 博士課程で得られる最も重要な経験は、若くして一人前の研究者として一流の研究者たちとディスカッションする機会であり、それはどのような仕事、活動においても役に立つ。そしてそれはアカデミックなキャリアしか知らない教授からは伝えることが不可能な博士課程の魅力である。[工学]
- 企業における博士課程修了者採用の位置づけが不明です。企業によって新卒扱いか新卒対象外(中途採用のみ)になり、これは外国人留学生に対してとても不安要素になります(ビザ問題もある)。[工学]
- プログラムの問題で無く、博士課程修了者への社会受容性の問題が大きいと思います。特に、企業における中間層の理解が低いと感じます。博士号を持つ人と持たない人、社会人ドクターと課程ドクターとの比較がある程度明確にした方が良いかと思います。[農学]
- 学費、大学の設備(図書館の機能など)、英語の論文の読み書きができる教授、統計のコンサルテーションがある、模擬倫理申請会議がある。[保健]
- The well guided program and sufficient financial support will allow postgraduate student comfort and peace mind to focus on their study and research. [理学]
- Interesting research topics, combined with a fairly high scholarship, can encourage students to go to graduate school. [工学]

【参考資料 3】 調査票のテキスト

参考資料 3 では、ウェブアンケート調査に用いた日本語版調査票および英語版調査票のテキストを示す。

参考 3-1 日本語版調査票のテキスト(博士課程在籍者向け)

令和元年度（2019 年度）JGRAD アンケート（博士課程在籍者向け）

—教育プログラムへの満足度等に関する調査—

JGRAD にご協力いただきありがとうございます。JGRAD は博士人材の皆様がより一層社会で活躍するための様々な政策立案に役立てるよう、博士人材の現況をデータで示して政策議論に提供しています。このアンケートも博士人材の現況を示す一環として実施しておりますので、ご協力のほど何卒お願い致します。

このアンケートでは、集計・分析の際に、博士人材データベース（JGRAD）の登録情報を使用します。アンケートにお答えいただく前に、登録情報が最新情報に更新されていることを確認してください（2020 年 4 月以降のプロフィール変更が確定している方は、プロフィール新規情報を入力してください）。

回答の基準時は 2020 年 3 月時点をお願いします（2020 年 3 月に博士課程を修了される方は「博士課程在籍者」として回答してください。）

質問は 34 問ですが、回答に要する時間は 10 分程度です（ただし、自由記述欄に丁寧にご回答いただくと、もう少しかかります）。

なお、設問には、以前回答したことのある設問が出てくるかもしれませんが、これはみなさんの現在の意識を問うためのものですので、ご協力をお願いいたします。

〔問 1〕 から 〔問 3〕 までは、2019 年度以降に博士後期課程学生となった方のみお答え下さい。（2018 年度までの方については、2018 年秋に同じ質問をお伺いしているため。）

〔問 1〕 あなたが博士課程後期（博士課程（一貫）含む。）に進学した「最も主要な理由」を、以下の選択肢から 1 つ選択してください（次の設問で「2 番目の理由」を質問します）。

- (a) 研究したい課題や問題意識があった
- (b) 研究すること自体に興味・関心があった
- (c) 自分自身の能力や技能を高めることに関心があった

- (d) 大学教員や研究者になるために必要だった
- (e) 博士号を取れば、良い仕事や高い収入が期待できる
- (f) 親や指導教員等から進学を勧められた
- (g) 尊敬している先輩や、目標となる人が進学している
- (h) 雇用先で勧められた、または雇用先で学位が必要だった
- (i) フェローシップ等が得られた
- (j) 学生でいたかった、または学生という身分が必要であった
- (k) その他（具体的に）

〔問 2〕 あなたが博士課程後期（博士課程（一貫）含む。）に進学した「2 番目の理由」を、以下の選択肢から 1 つ選択してください。

〔問 3〕 〔問 1〕、〔問 2〕で **（k）その他**を選択した方は、博士課程後期（博士課程（一貫）含む。）に進学した理由を具体的にお聞かせ下さい。該当する問番号（問 1 又は問 2）記載の上、理由をご記載下さい。

〈自由記述：該当する問番号（問 1 又は問 2）と理由を記載〉

〔問 4〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員の研究指導の質について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (a) 大学（短大・高専を含む）
- (b) (a)以外の学校（小、中、高校など）
- (c) 公的機関（研究開発法人、独立行政法人、公務員等）
- (d) 民間企業（自ら起業する場合を除く）
- (e) 非営利団体（学校、大学、公的機関を除く）
- (f) 起業
- (g) 専門職（医師、歯科医師、獣医師、薬剤師、弁護士、税理士等）
- (h) 未定
- (i) その他

〔問 5〕 あなたが博士課程修了後に希望する職種について、以下の選択肢から最もあてはまるものを一つ選択してください。なお、「教育研究職」とは大学、高校等の教員、研究職公務員、民間企業の研究従事等を、「非教育研究職」とは主に教育研究以外の仕事に従事する者で、専門・技術職、事務職、営業等を示すものとします。

- (a) 教育職（中学・高校の教員
- (b) どちらかといえば研究職・教育職
- (c) 研究職・教育職と非教育研究職のどちらでもよい
- (d) どちらかといえば非教育研究職
- (e) 非教育研究職
- (f) わからない

〔問 6〕 あなたが就職後を見据えて、博士課程教育において「最も身につけたい能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。（続く設問で、「2 番目に」「3 番目に」身に着けたい能力を問います。身につけたい能力が 1 つしかない方は、こちらで 1 つ選択していただき、問 7 及び問 8 では「(r) なし」でご回答いただけますと幸いです。）

- (a) 専門知識・専門能力
- (b) 研究遂行能力
- (c) 業務遂行能力
- (d) 問題設定力
- (e) 問題解決力
- (f) 論理的思考力
- (g) 判断力
- (h) 語学力
- (i) プレゼンテーション力
- (j) コミュニケーション力
- (k) 意欲・向上心
- (l) 創造性
- (m) 協調性
- (n) 一般教養・知識
- (o) マネジメント力
- (p) リーダーシップ
- (q) その他
- (r) なし

〔問 7〕 あなたが就職後を見据えて、博士課程教育において「2 番目に身につけたい能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

- (a) 専門知識・専門能力
- (b) 研究遂行能力
- (c) 業務遂行能力
- (d) 問題設定力
- (e) 問題解決力
- (f) 論理的思考力
- (g) 判断力
- (h) 語学力
- (i) プレゼンテーション力
- (j) コミュニケーション力
- (k) 意欲・向上心
- (l) 創造性
- (m) 協調性
- (n) 一般教養・知識
- (o) マネジメント力
- (p) リーダーシップ
- (q) その他
- (r) なし

〔問 8〕 あなたが就職後を見据えて、博士課程教育において「3 番目に身につけたい能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

- (a) 専門知識・専門能力
- (b) 研究遂行能力
- (c) 業務遂行能力
- (d) 問題設定力
- (e) 問題解決力
- (f) 論理的思考力
- (g) 判断力
- (h) 語学力
- (i) プレゼンテーション力

- (j) コミュニケーション力
- (k) 意欲・向上心
- (l) 創造性
- (m) 協調性
- (n) 一般教養・知識
- (o) マネジメント力
- (p) リーダーシップ
- (q) その他
- (r) なし

〔問 9〕 から〔問 17〕 までは、在籍中に受講した（受講している）博士課程プログラム（専門分野）に関するものです。

〔問 9〕 博士課程プログラム（専門分野）における教育の内容について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 10〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員と学生の関係について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 11〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員の研究指導の質について、あなたはど

れくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 2〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員の研究指導の機会（頻度）について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 3〕 博士課程プログラム（専門分野）で得られた知識・技術について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 4〕 博士課程プログラム（専門分野）で得られた研究への態度・考え方について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している

- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 5〕 博士課程プログラム（専門分野）における研究の施設・設備について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 6〕 博士課程プログラム（専門分野）における経済的支援について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 7〕 上記の博士課程プログラム（専門分野）に関する〔問 9〕から〔問 16〕について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けると幸いです。

〔問 9〕 教育の内容 〔問 10〕 教員と学生の関係 〔問 11〕 教員の研究指導の質 〔問 12〕 教員の研究指導の機会（頻度） 〔問 13〕 得られた知識・技術 〔問 14〕 得られた研究への態度・考え方 〔問 15〕 研究の施設・設備 〔問 16〕 経済的支援

〈自由記述〉

〔問 18〕 から 〔問 23〕 までは、博士課程プログラム（専門分野以外の高度な教養の獲得や職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等）に関するものです。

〔問 18〕 インターンシップについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 19〕 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育について、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 20〕 語学（外国語）プログラムについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 21〕 専門分野外の教養科目について、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 2〕 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）について、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 3〕 上記の博士課程プログラム（専門分野以外の高度な教養の獲得や、職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等）に関する〔問 18〕から〔問 22〕について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。

〔問 18〕 インターンシップ 〔問 19〕 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育

〔問 20〕 語学（外国語）プログラム 〔問 21〕 専門分野外の教養科目 〔問 22〕 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）

〈自由記述〉

〔問 24〕 から博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムの受講者にお伺いします（それ以外の方は、〔問 24〕 から〔問 31〕 に対する回答は不要です）。〔問 31〕 までは、博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムの受講者にお伺いします（それ以外の方は、〔問 24〕 から〔問 31〕 に対する回答は不要です）。

〔問 24〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムの教育の内容についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 25〕 から 〔問 30〕 は博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムの受講者にお伺いします。

〔問 25〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける教員と学生の関係についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 26〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける教員の教育・指導の質についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 7〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける学生指導の機会（頻度）についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 8〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムで得られた知識・技術についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 9〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムで得られた研究への態度・考え方についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 3 0〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムにおける経済的支援についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 3 1〕 上記の博士課程教育リーディングプログラムまたは卓越大学院プログラムに関する〔問 24〕 から〔問 30〕について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けると幸いです。〔問 24〕 教育の内容 〔問 25〕 教員と学生の関係 〔問 26〕 教員の研究指導の質 〔問 27〕 教員の研究指導の機会（頻度） 〔問 28〕 得られた知識・技術 〔問 29〕 得られた研究への態度・考え方 〔問 30〕 経済的支援

〈自由記述〉

〔問 3 2〕 博士後期課程（一貫制のときには 3 年次以降）全体についてお聞きます。あなたは、博士後期課程のプログラム全体について、どのくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 3 3〕 あなたは、博士後期課程に進学した現在の状況について、どのくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 3 4〕 修士課程から博士課程への進学を検討するに当たり、どのようなプログラムや研究環境の整備、学生への支援策や情報があれば、博士課程への魅力を感じ進学を決意する決め手になると思いますか。

〈自由記述〉

ご回答、ありがとうございました。

参考 3-2 日本語版調査票のテキスト(博士課程修了者等向け)

令和元年度（2019 年度）JGRAD アンケート（博士課程修了者等向け）

—教育プログラムへの満足度等に関する調査—

JGRAD にご協力いただきありがとうございます。JGRAD は博士人材の皆様がより一層社会で活躍するための様々な政策立案に役立てるよう、博士人材の現況をデータで示して政策議論に提供しています。このアンケートも博士人材の現況を示す一環として実施しておりますので、ご協力のほど何卒お願い致します。

このアンケートでは、集計・分析の際に博士人材データベース（JGRAD）の登録情報を使用します。アンケートにお答えいただく前に、登録情報が最新情報に更新されていることを確認してください（2020 年 4 月以降のプロフィール変更が確定している方は、プロフィール新規情報を入力してください）。

回答の基準時は 2020 年 3 月時点をお願いします（2020 年 3 月に博士課程を修了される方は「博士課程在籍者」として回答してください。それ以前に終了された方は、博士過程修了者として、この回答様式に回答をお願いします。）

質問は 32 問ですが、回答に要する時間は 10 分程度です（ただし、自由記述欄に丁寧にご回答いただくと、もう少しかかります）。

なお、設問には、以前回答したことのある設問が出てくるかもしれませんが、これはみなさんの現在の意識を問うためのものですので、ご協力をお願いいたします。

〔問 1〕 あなたが受けた博士課程教育は現在の職務にどれほど寄与していますか。以下の選択肢から一つ選択してください。

- (a) とても寄与している
- (b) まあ寄与している
- (c) どちらとも言えない
- (d) あまり寄与していない
- (e) 全く寄与していない
- (f) わからない

〔問 2〕 あなたが博士課程を通じて「最も身についたと思われる能力」を以下の選択肢から一つ選択してください。（続く設問で「2 番目に」「3 番目に」身についた能力を問います。身につけたい能力が 1 つしかない方は、こちらで 1 つ選択していただき、問 3 及び問 4 では

「(r) なし」でご回答いただけますと幸いです。)

- (a) 専門知識・専門能力
- (b) 研究遂行能力
- (c) 業務遂行能力
- (d) 問題設定力
- (e) 問題解決力
- (f) 論理的思考力
- (g) 判断力
- (h) 語学力
- (i) プレゼンテーション力
- (j) コミュニケーション力
- (k) 意欲・向上心
- (l) 創造性
- (m) 協調性
- (n) 一般教養・知識
- (o) マネジメント力
- (p) リーダーシップ
- (q) その他
- (r) なし

〔問 3〕 あなたが博士課程を通じて「2 番目に身についたと思われる能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

〔問 4〕 あなたが博士課程を通じて「3 番目に身についたと思われる能力」を、以下の選択肢から一つ選択してください。

〔問 5〕 から〔問 15〕 までは受講していた博士課程プログラム（専門分野）に関するものです。

〔問 5〕 博士課程プログラム（専門分野）における教育の内容について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している

- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 6〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員と学生の関係について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 7〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員の研究指導の質について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 8〕 博士課程プログラム（専門分野）における教員の研究指導の機会（頻度）について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない

- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 9〕 博士課程プログラム（専門分野）で得られた知識・技術について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 10〕 博士課程プログラム（専門分野）で得られた研究への態度・考え方について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 11〕 博士課程プログラム（専門分野）における研究の施設・設備について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 2〕 博士課程プログラム（専門分野）における経済的支援について、あなたはどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 3〕 上記の博士課程プログラム（専門分野）に関する〔問 5〕から〔問 12〕について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けると幸いです。〔問 5〕 教育の内容 〔問 6〕 教員と学生の関係 〔問 7〕 教員の研究指導の質 〔問 8〕 教員の研究指導の機会（頻度） 〔問 9〕 得られた知識・技術 〔問 10〕 得られた研究への態度・考え方 〔問 11〕 研究の施設・設備 〔問 12〕 経済的支援

〈自由記述〉

〔問 1 4〕 あなたが在籍していた博士課程で最も印象に残った事項は何ですか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) 指導教官の指導のあり方
- (2) 他の研究室在籍者の研究の仕方
- (3) 研究室以外の異分野の研究者との交流
- (4) 研究成果の社会実装・産学連携のあり方
- (5) その他

〔問 1 5〕 〔問 14〕で(5)「その他」を選択された方は、博士課程で最も印象に残った事項を具体的に記載下さい。

〈自由記述〉

〔問 16〕から〔問 21〕までは、博士課程プログラム（専門分野以外の高度な教養の獲得や職

場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等）に関するものです。

〔問 1 6〕 インターンシップについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 7〕 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育について、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 8〕 語学（外国語）プログラムについて、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 1 9〕 専門分野外の教養科目について、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している

- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 0〕 **社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）**について、あなたはどれくらい満足していますか。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 1〕 上記の博士課程プログラム（専門分野以外の高度な教養の獲得や、職場や社会で活用できる能力の涵養のためのプログラム等）に関する〔問 16〕 から〔問 20〕について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。〔問 16〕 インターンシップ 〔問 17〕 学内でのキャリア開発の機会またはキャリア教育 〔問 18〕 語学（外国語）プログラム 〔問 19〕 専門分野外の教養科目 〔問 20〕 社会で活躍するための能力を習得することを目指した科目（例：研究倫理、プレゼンテーション講座等）。

〈自由記述〉

〔問 22〕 から〔問 29〕までは、博士課程教育リーディングプログラムの受講経験者にお伺いします（それ以外の方は、〔問 22〕 から〔問 29〕に対する回答は不要です）。

〔問 2 2〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムの**教育の内容**についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- (1) とても満足している

- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 3〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける教員と学生の関係についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 4〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける教員の教育・指導の質についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 5〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける学生指導の機会（頻度）についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない

- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 6〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムで得られた知識・技術についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 7〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムで得られた研究への態度・考え方についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 2 8〕 あなたが受けた博士課程教育リーディングプログラムにおける経済的支援についてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から 1 つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 29〕 上記の博士課程教育リーディングプログラムに関する〔問 22〕 から〔問 28〕 について、あなたが特に満足した点、満足していない（不満に思う）点がありましたら、該当する問番号を記載の上、自由記述欄に記述頂けますと幸いです。〔問 23〕 教員と学生との関係 〔問 24〕 教員の教育・指導の質 〔問 25〕 学生指導の機会（頻度） 〔問 26〕 得られた知識・技術 〔問 27〕 得られた研究への態度・考え方 〔問 28〕 経済的支援

〈自由記述〉

〔問 30〕 博士後期課程（一貫制のときには3年次以降）全体についてお聞きします。あなたは、博士後期課程のプログラム全体について、どのくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 31〕 あなたは、博士後期課程を修了してのあなたの現在の状況について、全体としてどれくらい満足していますか。以下の選択肢から1つ選択してください。

- (1) とても満足している
- (2) まあ満足している
- (3) どちらとも言えない
- (4) あまり満足していない
- (5) 全く満足していない
- (6) わからない

〔問 32〕 修士課程から博士課程への進学を検討するに当たり、どのようなプログラムや研究環境の整備、学生への支援策や情報があれば、博士課程への魅力を感じ進学を決意する決め手になると思いますか。修了者としての立場からご意見をいただけますと幸いです。

〈自由記述〉

ご回答、ありがとうございました。

参考 3-3 英語版調査票のテキスト(博士課程在籍者向け)

JGRAD questionnaire (for doctoral students) for FY 2019

-A survey on satisfaction with the educational program-

Thank you for your cooperation with JGRAD, which provides data on the current status of doctoral candidates for policy discussions so that they can contribute to the formulation of various policies to make them more active in society.

This questionnaire will be handled together with the registration information for the PhD database. Before filling out the survey, please check your profile information and update it to your current information.

If you have completed your doctoral program in March 2020, please fill out the "Questionnaire for Doctoral Students"

If you have already withdrawn from the doctoral program, such as withdrawing from the program after obtaining credits or dropping out, please fill out the "Questionnaire for Doctoral Program Graduates".

There are 34 questions and they take a little over 10 minutes to answer (but if you answer carefully in the open-ended section, it will take a little longer).

Thank you for your cooperation.

From Q1 to Q3 below, only doctoral students who entered in FY2019 and FY2020 are asked to answer.

[Q1] What is "the first reason" that you entered doctoral course (including 5-year doctoral course)?(At Q2, we will ask you "the second reason".)

- (a) I had an issue or a problem that I wanted to research.
- (b) I was interested in research activity itself.
- (c) I was interested in evolving my ability or skill.
- (d) It was necessary to get doctorate in order to be teaching staff or a researcher.

- (e) I can expect good job or high revenue by getting doctorate.
- (f) I was urged to enter doctoral course by my parent, instructor, etc.
- (g) Senior whom I respected or the person who is a role model for me had entered doctoral course.
- (h) The employer (organization/company) urged or requested me to get doctorate.
- (i) I could get grant (fellowship, scholarship, etc.) to enter doctoral course.
- (j) I wanted or needed to be a student.
- (k) Other reason (please write concretely at Q3)

[Q 2] What is “the second reason” that you entered doctoral course (including 5-year doctoral course)?

- (a) I had an issue or a problem that I wanted to research.
- (b) I was interested in research activity itself.
- (c) I was interested in evolving my ability or skill.
- (d) It was necessary to get doctorate in order to be teaching staff or a researcher.
- (e) I can expect good job or high revenue by getting doctorate.
- (f) I was urged to enter doctoral course by my parent, instructor, etc.
- (g) Senior whom I respected or the person who is a role model for me had entered doctoral course.
- (h) The employer (organization/company) urged or requested me to get doctorate.
- (i) I could get grant (fellowship, scholarship, etc.) to enter doctoral course.
- (j) I wanted or needed to be a student.
- (k) Other reason (please write concretely at Q3)

[Q 3] As for those who selected “(k) Other reason” in Q1 or Q2, it is appreciated if you could write down the question number of your choice (k) (Q1 or Q2) and the concrete reason you entered doctoral

course in the column below.

〈free writing〉

From Q1 to Q3 below, only doctoral students who entered in FY2019 and FY2020 are asked to answer.

[Q 4] What is the organization or profession that you want to enter the most after completion of your doctoral course?

- (a) University (including junior college and technical college [Kosen])
- (b) School other than (a) (elementary school, junior high school, high school, etc.)
- (c) Public organization (national research institute, independent administrative agency, ministry, local government, etc.)
- (d) Private company (excluding starting a business)
- (e) Nonprofit organization (excluding university, school, public organization)
- (f) Starting a business
- (g) Profession (Physician, surgeon, dentist, veterinarian, pharmacist, lawyer, accountant, etc.)
- (h) Not yet decided
- (i) Others

[Q 5] What is the type of job that you want to have the most after completion of your doctoral course?

- (a) Education/research (university educational staff, public official engaged in research, high school teacher, researcher in private company, etc.)
- (b) Rather education/research
- (c) Fine with either education/research or not education/research
- (d) Rather not education/research

- (e) Not education/research
- (f) Not yet decided/do not know

[Q 6] Taking into account your life after completion of your doctoral course, what is the first ability/skill you want to have during your doctoral course?

- (a) Professional knowledge/skill/ability
- (b) Research implementation ability
- (c) Business implementation ability
- (d) Problem setting ability
- (e) Problem solving ability
- (f) Logical thinking ability
- (g) Judgement
- (h) Foreign language skill
- (i) Presentation skill
- (j) Communication skill
- (k) Motivation/Ambition
- (l) Creativity
- (m) Cooperativeness
- (n) Liberal arts/General education
- (o) Management skill
- (p) Leadership
- (q) Others
- (r) None

[Q 7] Taking into account your life after completion of your doctoral course, what is the second ability/skill you want to have during your doctoral course?

- (a) Professional knowledge/skill/ability
- (b) Research implementation ability
- (c) Business implementation ability
- (d) Problem setting ability
- (e) Problem solving ability

- (f) Logical thinking ability
- (g) Judgement
- (h) Foreign language skill
- (i) Presentation skill
- (j) Communication skill
- (k) Motivation/Ambition
- (l) Creativity
- (m) Cooperativeness
- (n) Liberal arts/General education
- (o) Management skill
- (p) Leadership
- (q) Others
- (r) None

[Q 8] Taking into account your life after completion of your doctoral course, what is the third ability/skill you want to have during your doctoral course?

- (a) Professional knowledge/skill/ability
- (b) Research implementation ability
- (c) Business implementation ability
- (d) Problem setting ability
- (e) Problem solving ability
- (f) Logical thinking ability
- (g) Judgement
- (h) Foreign language skill
- (i) Presentation skill
- (j) Communication skill
- (k) Motivation/Ambition
- (l) Creativity
- (m) Cooperativeness
- (n) Liberal arts/General education
- (o) Management skill
- (p) Leadership
- (q) Others

(r) None

Q9 - Q17 below are the satisfaction level survey regarding the doctoral course (special course) you are now taking or you took.

[Q 9] To what extent are you satisfied with the education contents of your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 0] To what extent are you satisfied with the relationship between instructor/teaching staff and students at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 1] To what extent are you satisfied with the quality of research instruction of your instructor/teaching staff at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all

(6) Do not know

[Q 1 2] To what extent are you satisfied with the opportunity/frequency of research instruction of your instructor/teaching staff at your doctoral course (special course)?

(1) Very satisfied

(2) Rather satisfied

(3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)

(4) Not satisfied very much

(5) Not satisfied at all

(6) Do not know

[Q 1 3] To what extent are you satisfied with the knowledge/skill that you got at your doctoral course (special course)?

(1) Very satisfied

(2) Rather satisfied

(3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)

(4) Not satisfied very much

(5) Not satisfied at all

(6) Do not know

[Q 1 4] To what extent are you satisfied with the attitude/viewpoint to research you got at your doctoral course (special course)?

(1) Very satisfied

(2) Rather satisfied

(3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)

(4) Not satisfied very much

(5) Not satisfied at all

(6) Do not know

[Q 1 5] To what extent are you satisfied with the research

facility/research equipment at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 6] To what extent are you satisfied with the financial support at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 7] From Q9 to Q16 on your doctoral course (special course) above, if you have the especially satisfactory/dissatisfactory point, it is appreciated if you could write the number of the question (ex: Q9) and your opinion at the column below.

〈free writing〉

Q18 – Q23 below are the satisfaction level survey regarding the doctoral course other than special course (ex: programs for advanced general education, programs for enforcing skill which you can utilize in your working place or in society, etc.) that you are now taking or you took.

[Q 1 8] To what extent are you satisfied with the internship at your doctoral

course?

- (1) Rather satisfied
- (2) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (3) Not satisfied very much
- (4) Not satisfied at all
- (5) Very satisfied
- (6) Do not know

[Q 1 9] To what extent are you satisfied with the education for career development at your doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 0] To what extent are you satisfied with the language program at your doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 1] To what extent are you satisfied with programs for advanced general education other than special course at your doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 2] To what extent are you satisfied with **programs for enforcing skill which you can utilize in your working place or in society** (ex: program for research integrity, program for presentation skill, etc.) at your doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 3] From Q18 to Q22 on your doctoral course other than special course above, if you have the especially satisfactory/dissatisfactory point, it is appreciated if you could write the number of the question (ex: Q19) and your opinion at the column below.

Q18. the internship at your doctoral course?

Q19. the education for career development at

Q20. the language program

Q21. programs for advanced general education other than special course

Q22. programs for enforcing skill which you can utilize in your working place or in society

〈free writing〉

From Q24 to Q31 below, only doctoral students who are taking or who took

“Program for Leading Graduate Schools” or “Doctoral Program for World-leading Innovative & Smart Education (WISE Program)” are asked to answer.

[Q 2 4] To what extent are you satisfied with the education contents of “Program for Leading Graduate Schools” or WISE Program?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 5] To what extent are you satisfied with the relationship between teaching staff and students at “Program for Leading Graduate Schools” or WISE Program?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 6] To what extent are you satisfied with the quality of research instruction of your teaching staff at “Program for Leading Graduate Schools” or WISE Program?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 7] To what extent are you satisfied with the opportunity/frequency of research instruction of your teaching staff at “Program for Leading Graduate Schools” or WISE Program?

[Q 2 8] To what extent are you satisfied with the knowledge/skill that you got at “Program for Leading Graduate Schools” or WISE Program?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 9] To what extent are you satisfied with the attitude/viewpoint to research you got at “Program for Leading Graduate Schools” or WISE Program?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 3 0] To what extent are you satisfied with the financial support at “Program for Leading Graduate Schools” or WISE Program?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all

(6) Do not know

[Q 3 1] Q31. From Q24 to Q30 on “Program for Leading Graduate Schools” or WISE Program above, if you have the especially satisfactory/dissatisfactory point, it is appreciated if you could write the number of the question (ex: Q24) and your opinion at the column below.

Q24 the education contents

Q25 the relationship between teaching staff and students

Q26 the quality of research instruction of your teaching staff

Q27 the opportunity/frequency of research instruction of your teaching staff

Q28 the knowledge/skill that you got

Q29 the attitude/viewpoint to research you got

Q30 the financial support

〈free writing〉

FROM Q32 TO Q34, WE WOULD LIKE TO ASK ALL THE REGISTERED DOCTORAL STUDENTS TO ANSWER.

[Q 3 2] To what extent are you satisfied with whole doctoral course (as for 5-year doctoral course, from 3rd degree course)?

(1) Very satisfied

(2) Rather satisfied

(3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)

(4) Not satisfied very much

(5) Not satisfied at all

(6) Do not know

[Q 3 3] To what extent are you satisfied with your present situation after entering doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 3 4] What program, research environment, student support system, information, or what another factor can allure master students to enter doctoral course the most? It would be highly appreciated if you write your idea in the column below.

〈free writing〉

Thank you for your kind cooperation.

参考 3-4 英語版調査票のテキスト(博士課程修了者等向け)

JGRAD questionnaire (for doctoral graduates) for FY 2019

-A survey on satisfaction with the educational program-

Thank you for your cooperation with JGRAD, which provides data on the current status of doctoral candidates for policy discussions so that they can contribute to the formulation of various policies to make them more active in society.

This questionnaire will be handled together with the registration information for the PhD database. Before filling out the survey, please check your profile information and update it to your current information.

If you have completed your doctoral program in March 2020, please fill out the "Questionnaire for Doctoral Students".

If you have already withdrawn from the doctoral program, such as withdrawing from the program after obtaining credits or dropping out, please fill out the "Questionnaire for Doctoral Program Graduates".

There are 32 questions and they take a little over 10 minutes to answer (but if you answer carefully in the open-ended section, it will take a little longer).

Thank you for your cooperation.

FROM Q1 TO Q21 AND FROM Q30 TO Q32, WE WOULD LIKE TO ASK ALL THE REGISTERED DOCTORAL GRADUATES.

[Q1] To what extent is the doctoral course education that you took contributing to your present work?

- (a) Contributing very much
- (b) Rather contributing
- (c) Cannot say whether contributing or not (neutral)
- (d) Not contributing very much
- (e) Not contributing at all
- (f) Do not know

[Q 2] Please select the ability/skill you obtained the most during your doctoral course from the alternative below.

(At Q3 and Q4, we will ask you the second and third ability/skill you obtained. If you think that you obtained just one ability/skill from the alternative below, answer this Q2 and select (r) none at Q3 and Q4.)

- (a) Professional knowledge/skill/ability
- (b) Research implementation ability
- (c) Business implementation ability
- (d) Problem setting ability
- (e) Problem solving ability
- (f) Logical thinking ability
- (g) Judgement
- (h) Foreign language skill
- (i) Presentation skill
- (j) Communication skill
- (k) Motivation/Ambition
- (l) Creativity
- (m) Cooperativeness
- (n) Liberal arts/General education
- (o) Management skill
- (p) Leadership
- (q) Others
- (r) None

[Q 3] What is the ability/skill you obtained during your doctoral course?
(Second answer)

- (a) Professional knowledge/skill/ability
- (b) Research implementation ability
- (c) Business implementation ability
- (d) Problem setting ability
- (e) Problem solving ability
- (f) Logical thinking ability
- (g) Judgement

- (h) Foreign language skill
- (i) Presentation skill
- (j) Communication skill
- (k) Motivation/Ambition
- (l) Creativity
- (m) Cooperativeness
- (n) Liberal arts/General education
- (o) Management skill
- (p) Leadership
- (q) Others
- (r) None

[Q 4] What is the ability/skill you obtained during your doctoral course?
(Third answer)

- (a) Professional knowledge/skill/ability
- (b) Research implementation ability
- (c) Business implementation ability
- (d) Problem setting ability
- (e) Problem solving ability
- (f) Logical thinking ability
- (g) Judgement
- (h) Foreign language skill
- (i) Presentation skill
- (j) Communication skill
- (k) Motivation/Ambition
- (l) Creativity
- (m) Cooperativeness
- (n) Liberal arts/General education
- (o) Management skill
- (p) Leadership
- (q) Others
- (r) None

Q5 - Q15 below are the satisfaction level survey regarding the doctoral course (special course) you took.

[Q 5] To what extent are you satisfied with the education contents of your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 6] To what extent are you satisfied with the relationship between teaching staff and students at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 7] To what extent are you satisfied with the quality of research instruction of your teaching staff at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 8] To what extent are you satisfied with the opportunity/frequency of research instruction of your teaching staff at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 9] To what extent are you satisfied with the knowledge/skill that you got at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 0] To what extent are you satisfied with the attitude/viewpoint to research you got at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 1] To what extent are you satisfied with the research facility/research equipment at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 2] To what extent are you satisfied with the financial support at your doctoral course (special course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 3] Q13. From Q5 to Q12 on your doctoral course (special course) above, if you have the especially satisfactory/dissatisfactory point, we would appreciate that you could write the number of the question (ex: Q5) and your opinion at the column below.

Q5 the education contents

Q6 the relationship between teaching staff and students

Q7 the quality of research instruction of your teaching staff

Q8 the opportunity/frequency of research instruction of your teaching staff

Q9 the knowledge/skill that you got

Q10 the attitude/viewpoint to research you got

Q11 the research facility/research equipment

Q12 the financial support

〈free writing〉

[Q 1 4] What was the most impressive matter during your doctoral course?

- (1) Way of instruction by instructor/teaching staff
- (2) Way of conducting research by laboratory colleagues
- (3) Interaction with researchers of different field
- (4) Way of social implementation/industry-academia collaboration of research results
- (5) Others

[Q 1 5] (To those who selected "(5)Others" in Q14)

It is appreciated if you could write the most impressive matter during your doctoral course in the column below.

〈free writing〉

Q16 – Q21 below are the satisfaction level survey regarding the doctoral course other than special course (ex: programs for advanced general education, programs for enforcing skill which you can utilize in your working place or in society, etc.) that you took at your doctoral course.

[Q 1 6] To what extent are you satisfied with the internship at your doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 7] To what extent are you satisfied with the education for career

development at your doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 8] To what extent are you satisfied with the language program at your doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 1 9] To what extent are you satisfied with programs for advanced general education other than special course at your doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 0] To what extent are you satisfied with programs for enforcing skill which you can utilize in your working place or in society (ex: program for research integrity, program for presentation skill,

etc.) at your doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 1] Q21. From Q16 to Q20 on your doctoral course other than special course above, if you have the especially satisfactory/dissatisfactory point, we would appreciate that you could write the number of the question (ex: Q16) and your opinion at the column below.

Q16 the internship

Q17 the education for career development

Q18 the language program

Q19 programs for advanced general education other than special course

Q20 programs for enforcing skill which you can utilize in your working place or in society (ex: program for research integrity, program for presentation skill, etc.)

〈free writing〉

From Q22 to Q29 below, only doctoral graduates who took "Program for Leading Graduate Schools" are asked to answer.

[Q 2 2] To what extent are you satisfied with the education contents of "Program for Leading Graduate Schools"?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all

(6) Do not know

[Q 2 3] To what extent are you satisfied with the relationship between teaching staff and students at "Program for Leading Graduate Schools"?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 4] To what extent are you satisfied with the quality of research instruction of your teaching staff at "Program for Leading Graduate Schools"?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 5] To what extent are you satisfied with the opportunity/frequency of research instruction of your teaching staff at "Program for Leading Graduate Schools"?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all

(6) Do not know

[Q 2 6] To what extent are you satisfied with the knowledge/skill that you got at “Program for Leading Graduate Schools”?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 7] To what extent are you satisfied with the attitude/viewpoint to research you got at “Program for Leading Graduate Schools”?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 8] To what extent are you satisfied with the financial support at “Program for Leading Graduate Schools”?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 2 9] From Q22 to Q28 on “Program for Leading Graduate Schools” above, if you have the especially satisfactory/dissatisfactory point, we would appreciate if you could write the number of the question (ex: Q22) and your opinion at the column below.

Q22 the education contents

Q23 the relationship between teaching staff and students

Q24 the quality of research instruction of your teaching staff

Q25 the opportunity/frequency of research instruction of your teaching staff

Q26 the knowledge/skill that you got

Q27 the attitude/viewpoint to research you got

Q28 the financial support

〈free writing〉

FROM Q30 TO Q32, WE WOULD LIKE TO ASK ALL THE REGISTERED DOCTORAL GRADUATES.

[Q 3 0] To what extent are you satisfied with whole doctoral course (as for 5-year doctoral course, from 3rd degree course)?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)
- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 3 1] To what extent are you satisfied with your present situation after completing doctoral course?

- (1) Very satisfied
- (2) Rather satisfied
- (3) Cannot say whether satisfied or not (neutral)

- (4) Not satisfied very much
- (5) Not satisfied at all
- (6) Do not know

[Q 3 2] What program, research environment, student support system, information or what another factor can allure master students to enter doctoral course the most? It would be highly appreciated if you write your idea in the column below.

〈free writing〉

Thank you for your kind cooperation.

調査資料-302

博士課程の教育プログラムへの満足度等に関する調査
ー2020 年における博士人材データベース(JGRAD)ウェブアンケート調査ー

2021 年 2 月

文部科学省 科学技術・学術政策研究所
第1調査研究グループ
齋藤経史 梅川通久 星野利彦

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-2-2 中央合同庁舎第 7 号館 東館 16 階
TEL: 03-3581-2395 FAX: 03-3503-3996

“Survey on satisfaction with doctoral education programs
- Web Questionnaire Survey on Japan Graduates Database (JGRAD) in 2020-”
February 2021

SAITO Keiji, UMEKAWA Michihisa, and HOSHINO Toshihiko
1st Policy-Oriented Research Group
National Institute of Science and Technology Policy (NISTEP)
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT), Japan

<https://doi.org/10.15108/rm302>



<https://www.nistep.go.jp>